WILLCOM

取扱説明書

形名 WS011SH

は　じ　め　に

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または、ウィルコムサービスセンターまでご連絡ください。
別添の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

●この製品を正しくお使いいただくために、『取扱説明書』（本書）および『かんたん操作ガイド』をよくお読みになってからご使用ください。また、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役にたちます。

各機能の詳しい使いかたを知りたい場合

この『取扱説明書』（本書）をお読みください。

基本的な使いかたを知りたい場合

付属の『かんたん操作ガイド』をお読みください。

●当社は、この製品の使用誤り、ご使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き一切その責任を負いません。
●当社は、この製品において内蔵ソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果に関しては、いかなる保証も致しかねますので、あらかじめご了承のほどお願い申しあげます。
なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
●お客様または第三者がこの製品の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障･修理のときや電池交換の方法を誤ったときは記憶内容が変化･消失するおそれがあります。
●次のことを必ずお守りください。
重要な内容は必ず控えを取っておいてください。動作確認済みの市販のmicroSDカードにバックアップ（保管）することができます。
●この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」（☞0-7ページ）を必ずお読みください。

公衆サービスについて

ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときは、契約手数料がかかります。
また、契約申込後は毎月の基本料金と通話料がかかります。

くわしくは、下記ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ●ご契約内容（加入、変更、引越等）
- ●オプションサービス
- ●この製品の紛失
- ●基本料金・通話料等
- ●サービスエリア
- ●その他、通信サービスについて

ウィルコムサービスセンター

受付時間：9：00 ～ 19：00
（日・祝日を除く）
この製品から…………………… 局番なしの 116（無料）
一般加入電話・公衆電話から… 0120-921-156（無料）
（携帯電話・PHS からもかけられます。）番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

ウィルコムのデータ通信に関してのお問い合わせ

受付時間：9：00 ～ 19：00
（日・祝日も受付）
この製品から…………………… 局番なしの 157（無料）
一般加入電話・公衆電話から… 0120-921-157（無料）
（携帯電話・PHS からもかけられます。）番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

携帯電話・PHS 端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず右記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル･リサイクル･ネットワーク
携帯電話･PHSのリサイクルにご協力を。

ご注意
- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客様の情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

もくじ

1章　基本操作

2章　インターネットやメールの準備

3章　電話

4章　メール

5 章　インターネット

6 章　映像と音楽

7 章　パソコンとの連携

8 章　その他の機能

9 章　設定

10 章　付録

この製品には、本書で説明している以外に次のプログラムなどがあります。

- DicLand 辞書
- 連絡先
- メモ
- Excel Mobile
- 電卓
- Picsel PDF Viewer
- 予定表
- 仕事
- Word Mobile
- PowerPoint Mobile
- ゲーム

これら本書に記載していないアプリケーションの説明は、付属の Getting Started CD（本書では、CD-ROM と記載していることもあります）に収録されているアプリケーションマニュアルに記載していますので、併せて、ご覧ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

危険	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図表示の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

■ WS011SH 本体の取り扱いについて

⚠ 警告

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに AC アダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まず AC アダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 指定の AC アダプターや充電池をご使用ください。指定以外の AC アダプターや充電池などを使用すると、火災・事故の原因となります。

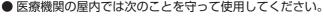
⚠ 警告

- 屋外で雷が鳴っているときは、使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 交通事故の原因になりますので、自動車・バイク・自転車などを運転中は使用しないでください。自動車・バイク運転中の使用は法律で禁止されています。自動車・バイク・自転車などを安全な場所に止めてからご使用ください。

- 航空機など使用を禁止された区域では電源を切ってください。航空機内での使用は禁止されています。
  ただし、ワイヤレス LAN 装着のある航空機内において、この製品から当該ワイヤレス LAN システムに接続して使用する場合は、離着陸時を除き内蔵ワイヤレス LAN を作動させることができます。

- 通話するときは周囲の安全を確認してから、使用してください。安全を確認せずに通話すると、転倒や交通事故などの原因になります。

- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどから十分離して携行および使用してください。

- 満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、この製品の電源を切ってください。
  電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
  - ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、この製品を持ち込まないでください。
  - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

- 自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器に影響を与える場合があります。
  ご注意していただきたい電子機器の例：心臓ペースメーカ、補聴器、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。心臓ペースメーカやその他医療用電子機器をお使いの場合は、各機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

- 心臓の弱い方は、バイブレータや着信音の設定に注意してください。

- ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている場合、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。このような経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。バイブレータを設定しているときも、ご注意ください。

- 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、この製品に影響を受けたりする場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、このようなときは使用しないでください。

- 皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め医師の治療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

- microSD カードや W-SIM を取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがスロットに確実に装着されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。microSD カードや W-SIM を装着しているカードスロットを顔の方に向けて、取り付けたり、取り外さないでください。急に指を離すと、カードが飛び出し危険です。

■充電池の取り扱いについて

⚠ 危険

- 充電池（リチウムイオン充電池）について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂の原因となります。

 ・この製品で使用できる充電池は、EA-BL15 です。これ以外の充電池は使用しないでください。
 ・装着するとき、充電池の向きが決められています。この製品にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電池の向きを確かめてください。
 ・充電には、付属の AC アダプター（EA-83）以外のものを使用しないでください。また、充電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。
 ・直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所（60℃以上）に放置しないでください。
 ・釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
 ・外傷、変形の著しい充電池は使用しないでください。
 ・分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
 ・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
 ・端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリー、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
 ・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。

⚠ 危険

● 充電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こすおそれがあります。

⚠ 警告

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。
・電子レンジや高圧容器に入れないでください。
・水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。
・充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
・液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
・充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

⚠ 注意

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
・小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。

・乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児がこの製品から取り出さないように注意してください。

・充電は必ず５～35℃の範囲で行ってください。

・充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。

● 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

● 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、充電池を本体に装着しないでお買いあげの販売店にご持参ください。

■ AC アダプターの取り扱いについて

⚠ 警告

● WS011SH 本体に接続する AC アダプターは、必ず付属の EA-83 を使用してください。他の AC アダプターは使用しないでください。

● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

● 付属の AC アダプターはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

● ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

● 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。

・AC アダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。

・AC アダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。

・お客様による改造や分解・修理はしないでください。

・AC アダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

・AC アダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。

・コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

● 使用されないときには、安全のため、AC アダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

● 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに AC アダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外しお買いあげの販売店にご連絡ください。

● 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

● 長期間使用されないときには、安全のため、AC アダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

⚠ 注意

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
  - ・周囲温度 0 ～ 40 ℃、湿度 35 ～ 85%の範囲でご使用ください。
  - ・直射日光の当たる場所では使用しないでください。
  - ・ほこりの多い場所に置かないでください。
  - ・落下させたり衝撃を与えないでください。
  - ・つけ根部分を無理に曲げないでください。
  - ・重いものを載せないでください。
  - ・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
  - ・布などでくるまないでください。

■付属 CD-ROM の取り扱いについて

⚠ 警告

- 付属の CD-ROM は、一般オーディオ用の CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に被害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

■ microSD カードやスタイラスの取り扱いについて

⚠ 注意

- microSD カードやスタイラスは、小さなお子様があやまって飲み込むことがないように、小さなお子様の手の届かない所に保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

使用上のご注意とお手入れのしかた

落としたり、ズボンのポケットに入れたり、満員電車の中などで強い衝撃や力を与えたりしないでください。また、ハンドストラップなどをご使用になり、落とさないようにしてください。
故障や破損の原因となります。

日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因となります。

画面は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。
汚れたまま画面をタップすると傷つくことや、スタイラスのすべりが悪くなることがあります。

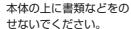
表示部を開いた状態で表示部だけを持って移動したり、振り回したりしないでください。
本体が外れ、落ちて破損したり故障の原因となります。

ホコリの多い場所や湿度の高いところに置いたり、使用しないでください。
故障の原因となります。

お手入れは、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

健康のため、この製品を長時間使い続けないでください。
連続して使用する場合は適度に（一時間ごとに 10 ～ 15 分）休憩をとって、目や手、腕など身体を休めてください。

画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。
画面などを傷めることがあります。

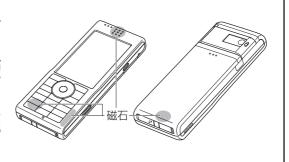
スタイラスの先や画面の汚れを取って操作してください。
汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、スタイラスのすべりが悪くなることがあります。

本体の上に書類などをのせないでください。
誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
また、液晶画面の上に直接、本や書類などを置いたままにして長時間圧力がかかった状態にしないでください。表示がにじんだり破損の原因になります。

使用中に、強い磁石を近づけないでください。
故障の原因となります。

突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。

防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

長時間使用していると（特に内蔵ワイヤレスLAN使用時など）、この製品は温かくなりますが、故障ではありません。

この製品には磁石が埋め込まれています（右図）。
磁気に弱いカード類（テレフォンカードや定期券など）を磁石の周囲に近づけないようにしてください。
カード類などに記録されているデータが消えてしまうことがありますのでご注意ください。

●内蔵カメラについて

・レンズに直射日光があたらないようにしてください。直射日光があたる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
・大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。

●USB ポート／カードスロットについて

・USB ポートや microSD カードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記憶内容の消失の原因になります。
・USB ポートや microSD カードスロットなどにはカバーがあります。使用していないときは、カバーを閉じてください。

●液晶表示について

・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。
・画面タップの操作は、付属のスタイラスを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものは、使わないでください。

●公衆の場で使用するときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。

●ハンドストラップについて

ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っぱるなどストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

●この製品が持つ PHS 電話機能は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

著作権等に関するお願い

音楽用 CD 等各種 CD、TV 映像等、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、他人の肖像が含まれる画像データを利用する場合、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。
著作権にかかわる画像やサウンドの伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。
実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、この製品にはデジタルカメラ機能が搭載されていますが、このデジタルカメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

ワイヤレス LAN に関するご注意

・**電波法に基づく適合証明について**

この製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、この製品を使用するときに、無線局の免許は必要ありません。

ただし、下記のことは行わないでください。法律に罰せられることがあります。

・この製品に内蔵のワイヤレス LAN モジュールを分解、改造する

・この製品の銘板をはがす

「2.4」　：使用する周波数帯域を表します（2.4GHz 帯）。

「DS/OF」：変調方式を表します（DS-SS 変調方式／ OFDM 変調方式）。

「4」　：想定される与干渉距離を表します（約 40m）。

「■■■」：2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

・**電波干渉に関するご注意**

この製品の使用周波数帯は 2.4GHz です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この製品の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、またはこの製品の運用を停止してください。
3. 医療機器（心臓ペースメーカ）などの動作に影響を与える場合がありますので、病院内などにいる時や、混雑した場所（満員電車の中など）では、ワイヤレス LAN を無効にしてください。

・**使用上のご注意**

この製品に内蔵されているワイヤレス LAN は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

ご注意

- **本品は、総務省の技術基準に適合しています。**
- **本品に付されている表示は、その証明マークです。**
- **表示マークの付された製品を総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。改造すると法律により罰せられます。**

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

ワイヤレス LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して、この製品とワイヤレスアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- **通信内容を盗み見られる**

  悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、
  - ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
  - メールの内容

  などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- **不正に侵入される**

  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
  - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  - コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

  などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレスアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
ワイヤレス LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレスアクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、ワイヤレス LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
※他社製のワイヤレス LAN 機器をお使いの場合は、各製品のマニュアルを参照してください。
当社では、お客様が、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）のワイヤレス LAN のセキュリティに関するガイドラインについてはこちらをご参照ください。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/wirelessLAN2/index.html

・ Microsoft、ActiveSync、Outlook、Excel Mobile、Windows Live、PowerPoint Mobile、Windows、Windows Media、Windows ロゴ、MSN ロゴ、Office ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

・ この製品では、株式会社アプリックスが Java™ アプリケーションの実行速度が速くなるように設計した JBlend™ が搭載されています。
Powered by JBlend™. Copyright 1997-2007 Aplix Corporation.
All rights reserved.
JBlend および JBlend に関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

・ microSD™ は SD Card Association の商標です。
microSD ロゴは商標です。

・ Flash、Flash Lite および Macromedia は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

・ Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの商標です。

・ Picsel、Picsel Powered、Picsel Viewer、Picsel File Viewer、Picsel Document Viewer、Picsel PDF Viewer また Picsel キューブロゴは Picsel Technologies の商標、または登録商標です。

・ Opera は、Opera Software ASA の商標または登録商標です。Opera に関する詳細については、http://jp.opera.com をご覧ください。

・「ATOK」および「APOT」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

・ QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

・ Marvell® は Marvell International Ltd. の登録商標です。

・ この製品に収録されている DicLand 辞書のデータは、下記の辞典・事典にもとづいています。
●『エクシード英和辞典』©2002
　編者：三省堂編修所
●『エクシード和英辞典』©2002
　編者：三省堂編修所
●『デイリーコンサイス国語辞典 第 3 版』©2002
　編者：佐竹秀雄・三省堂編修所
●『キーワードで引く英文ビジネスレター事典』©2002
　監修：橋本光憲
　編者：三省堂編修所

W-ZERO3 メール、W+Info で使用している「HTML パーサ・ライブラリ」は以下の「変更済み BSD ライセンス」に従います。

- IrSimple™、IrSS™、IrDA®、IrMC™ は、Infrared Data Association® の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

Windows Mobile 6 End User License Agreement

- You have acquired a device ("DEVICE") that includes software licensed by Sharp Corporation from an affiliate of Microsoft Corporation ("MS"). Those installed software products of MS origin, as well as associated media, printed materials, and "online" or electronic documentation ("SOFTWARE") are protected by international intellectual property laws and treaties. The SOFTWARE is licensed, not sold. All rights reserved.
- IF YOU DO NOT AGREE TO THIS END USER LICENSE AGREEMENT ("EULA"), DO NOT USE THE DEVICE OR COPY THE SOFTWARE. INSTEAD, PROMPTLY CONTACT Sharp Corporation FOR INSTRUCTIONS ON RETURN OF THE UNUSED DEVICE(S) FOR A REFUND. **ANY USE OF THE SOFTWARE, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO USE ON THE DEVICE, WILL CONSTITUTE YOUR AGREEMENT TO THIS EULA (OR RATIFICATION OF ANY PREVIOUS CONSENT).**
- SOFTWARE includes software already installed on the DEVICE ("DEVICE Software") and MS software contained on the CD-ROM disk ("Companion CD").

GRANT OF SOFTWARE LICENSE. This EULA grants you the following license:
DEVICE Software. You may use the DEVICE Software as installed on the DEVICE.
Companion CD. A Companion CD is included with your DEVICE, and you may install and use the Microsoft® ActiveSync® component on one (1) or more personal computers to exchange information with one (1) or more computing devices that contain a compatible version of the Microsoft® Windows Mobile® Version 6.0 operating system. For other software component(s) contained on the Companion CD, you may install and use such components only in accordance with the terms of the printed or online end user license agreement(s) provided with such component(s). In the absence of an end user license agreement for particular component(s) of the Companion CD, you may install and use only one (1) copy of such component(s) on the DEVICE or a single personal computer with which you use the DEVICE.
Phone Functionality. If the DEVICE Software includes phone functionality, all or certain portions of the DEVICE Software may be inoperable if you do not have and maintain a service account with an appropriate wireless telecommunication carrier to whom Sharp Corporation may distribute its DEVICES ("Mobile Operator"),or if the Mobile Operator's network facilities are not operating or configured to operate with the DEVICE.
Microsoft® Outlook®. If Microsoft Outlook is included with your Device, the following terms apply to your use of Microsoft Outlook: (i) regardless of the information contained in the "Software Installation and Use" section of the online EULA you may install one (1) copy of Microsoft Outlook on one (1) personal computer to use, exchange data, share data, access and interact with the DEVICE, and (ii) the EULA for Microsoft Outlook is between Sharp Corporation and the end user - not between the PC manufacturer and end user.

DESCRIPTION OF OTHER RIGHTS AND LIMITATIONS.

- **Speech/Handwriting Recognition.** If the DEVICE Software includes speech and/or handwriting recognition component(s), you should understand that speech and handwriting recognition are inherently statistical processes and that errors can occur in the component's recognition of your handwriting, and the final conversion into text. Neither Sharp Corporation nor its suppliers shall be liable for any damages arising out of errors in the speech and handwriting recognition process.
- **Limitations on Reverse Engineering, Decompilation and Disassembly.** You may not reverse engineer, decompile, or disassemble the SOFTWARE, except and only to the extent that such activity is expressly permitted by applicable law notwithstanding this limitation.
- **Single EULA.** The package for the DEVICE may contain multiple versions of this EULA, such as multiple translations and/or multiple media versions (e.g., in the user documentation and in the software). Even if you receive multiple versions of the EULA, you are licensed to use only one (1) copy of the DEVICE Software.
- **NOTICE REGARDING THE MPEG-4 VISUAL STANDARD.** The DEVICE Software may include MPEG-4 visual decoding technology. MPEG LA, L.L.C. requires the following notice:
  - USE OF THIS SOFTWARE IN ANY MANNER THAT COMPLIES WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD IS PROHIBITED, EXCEPT FOR USE DIRECTLY RELATED TO (A) DATA OR INFORMATION (i) GENERATED BY AND OBTAINED WITHOUT CHARGE FROM A CONSUMER NOT THEREBY ENGAGED IN A BUSINESS ENTERPRISE, AND (ii) FOR PERSONAL USE ONLY; AND (B) OTHER USES SPECIFICALLY AND SEPARATELY LICENSED BY MPEG LA, L.L.C.
    If you have questions regarding this Notice, please contact MPEG LA, L.L.C., 250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206; Telephone 303 331.1880; FAX 303 331.1879
- **No Rental/Commercial Hosting.** You may not rent, lease, or lend or provide commercial hosting services with the SOFTWARE to others.

- **SOFTWARE as Component of the Device - Software Transfer.** The DEVICE Software is licensed with the DEVICE as a single integrated product. The DEVICE Software installed in read only memory ("ROM") of the DEVICE may only be used as part of the DEVICE. Its component parts may not be separated for use on more than one Device, unless expressly permitted by this EULA. You may permanently transfer all of your rights under this EULA only as part of a sale or transfer of the DEVICE, provided you retain no copies, you transfer all of the SOFTWARE (including all component parts, the media and printed materials, any upgrades, this EULA and, if applicable, the Certificate(s) of Authenticity), and the recipient agrees to the terms of this EULA. If the SOFTWARE is an upgrade, any transfer must include all prior versions of the SOFTWARE.
  If the DEVICE Software includes phone functionality, you may not permanently transfer any of your rights under this EULA with regard to the DEVICE Software or Companion CD, except as permitted by the applicable Mobile Operator. In the event that the Mobile Operator permits such transfer, you may permanently transfer all of your rights under this EULA only as part of a sale or transfer of the DEVICE, provided you retain no copies, you transfer all of the SOFTWARE (including all component parts, the media and printed materials, any upgrades, this EULA and, if applicable, the Certificate(s) of Authenticity), and the recipient agrees to the terms of this EULA. If the SOFTWARE is an upgrade, any transfer must include all prior versions of the SOFTWARE.
- **Termination.** Without prejudice to any other rights, Sharp Corporation or MS may terminate this EULA if you fail to comply with the terms and conditions of this EULA. In such event, you must destroy all copies of the SOFTWARE and all of its component parts.
- **Security Updates/Digital Rights Management.** Content providers are using the digital rights management technology ("DRM") contained in your DEVICE to protect the integrity of their content ("Secure Content") so that their intellectual property, including copyright, in such content is not misappropriated. Portions of the DEVICE Software and third party applications such as media players use DRM to play Secure Content ("DRM Software"). If the DRM Software's security has been compromised, owners of Secure Content ("Secure Content Owners") may request that MS block the ability of DRM license servers and personal computers to deliver new licenses that enable an affected DEVICE to play Secure Content. This action does not alter the DRM Software's ability to play unprotected content. A list of revoked DRM Software is sent to your DEVICE whenever you download a license for Secure Content from the Internet or from your personal computer. You therefore agree that MS may, in conjunction with such license, also download revocation lists onto your DEVICE on behalf of Secure Content Owners. MS will not retrieve any personally identifiable information, or any other information, from your DEVICE by downloading such revocation lists.
- **Consent to Use of Data.** You agree that MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent may collect and use technical information gathered in any manner as part of product support services related to the SOFTWARE. MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent may use this information solely to improve their products or to provide customized services or technologies to you. MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent may disclose this information to others, but not in a form that personally identifies you.
- **Internet Gaming/Update Features.** If the DEVICE Software provides, and you choose to utilize, the Internet gaming or update features within the DEVICE Software, it is necessary to use certain computer system, hardware, and software information to implement the features. By using these features, you explicitly authorize MS, Microsoft Corporation and/or their designated agent to use this information solely to improve their products or to provide customized services or technologies to you. MS or Microsoft Corporation may disclose this information to others, but not in a form that personally identifies you.
- **Internet-Based Services Components.** The DEVICE Software may contain components that enable and facilitate the use of certain Internet-based services. You acknowledge and agree that MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent may automatically check the version of the DEVICE Software and/or its components that you are utilizing and may provide upgrades or supplements to the DEVICE Software that may be automatically downloaded to your DEVICE.
- **Additional Software/Services.** The DEVICE Software may permit Sharp Corporation, MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent to provide or make available to you SOFTWARE updates, supplements, add-on components, or Internet-based services components of the SOFTWARE after the date you obtain your initial copy of the SOFTWARE ("Supplemental Components").
  - If Sharp Corporation provides or makes available to you Supplemental Components and no other EULA terms are provided along with the Supplemental Components, then the terms of this EULA shall apply.

· If MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent make available Supplemental Components, and no other EULA terms are provided, then the terms of this EULA shall apply, except that the MS, Microsoft Corporation or affiliate entity providing the Supplemental Component(s) shall be the licensor of the Supplemental Component(s).

· Sharp Corporation, MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent reserve the right to discontinue any Internet-based services provided to you or made available to you through the use of the DEVICE Software.

- **Links to Third Party Sites.** The DEVICE Software may provide you with the ability to link to third party sites through the use of the DEVICE Software. The third party sites are not under the control of MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent. Neither MS nor Microsoft Corporation nor their affiliates nor their designated agents are responsible for (i) the contents of any third party sites, any links contained in third party sites, or any changes or updates to third party sites, nor (ii) webcasting or any other form of transmission received from any third party sites. If the DEVICE Software provides links to third party sites, those links are provided to you only as a convenience, and the inclusion of any link does not imply an endorsement of the third party site by MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent.

UPGRADES AND RECOVERY MEDIA.

- **DEVICE Software.** If the DEVICE Software is provided by Sharp Corporation separate from the DEVICE on media such as a ROM chip, CD ROM disk(s) or via web download or other means, and is labeled “For Upgrade Purposes Only” you may install one (1) copy of such DEVICE Software onto the DEVICE as a replacement copy for the existing DEVICE Software, and use it in accordance with this EULA, including any additional EULA terms accompanying the upgrade DEVICE Software.
- **COMPANION CD.** If any software component(s) is provided by Sharp Corporation separate from the DEVICE on CD ROM disk(s) or via web download or other means, and labeled “For Upgrade Purposes Only”, you may (i) install and use one (1) copy of such component(s) on the computer(s) you use to exchange data with the DEVICE as a replacement copy for the existing Companion CD component(s).
- **RECOVERY MEDIA.** If SOFTWARE is provided by Sharp Corporation on separate media labeled “Recovery Media” you may use the Recovery Media solely to restore or reinstall the SOFTWARE originally installed on your DEVICE.

INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS. All title and intellectual property rights in and to the SOFTWARE (including but not limited to any images, photographs, animations, video, audio, music, text and “applets,” incorporated into the SOFTWARE), the accompanying printed materials, and any copies of the SOFTWARE, are owned by MS or its suppliers (including Microsoft Corporation). The SOFTWARE is licensed, not sold. You may not copy the printed materials accompanying the SOFTWARE. All title and intellectual property rights in and to the content which may be accessed through use of the SOFTWARE is the property of the respective content owner and may be protected by applicable copyright or other intellectual property laws and treaties. This EULA grants you no rights to use such content. All rights not specifically granted under this EULA are reserved by MS and its suppliers (including Microsoft Corporation). Use of any on-line services which may be accessed through the SOFTWARE may be governed by the respective terms of use relating to such services. If this SOFTWARE contains documentation that is provided only in electronic form, you may print one copy of such electronic documentation.

TRADEMARKS. This EULA does not grant you any rights in connection with any trademarks or service marks of Sharp Corporation, MS, Microsoft Corporation, their affiliates or suppliers.

EXPORT RESTRICTIONS. You acknowledge that the SOFTWARE is subject to U.S. and European Union export jurisdiction. You agree to comply with all applicable international and national laws that apply to the SOFTWARE, including the U.S. Export Administration Regulations, as well as end-user, end-use and destination restrictions issued by U.S. and other governments. For additional information, see http://www.microsoft.com/exporting/.

PRODUCT SUPPORT. Product support for the SOFTWARE is not provided by MS, Microsoft Corporation, or their affiliates. For product support, please refer to Sharp Corporation support number provided in the documentation for the DEVICE. Should you have any questions concerning this EULA, or if you desire to contact Sharp Corporation for any other reason, please refer to the address provided in the documentation for the DEVICE.

RESTRICTED USE. The SOFTWARE is not designed or intended for use or resale in hazardous environments requiring fail-safe performance, such as in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, or other devices or systems in which a malfunction of the SOFTWARE would result in a foreseeable risk of injury or death to the operator of the device or system, or to others.

NO LIABILITY FOR CERTAIN DAMAGES. EXCEPT AS PROHIBITED BY LAW, MS, MICROSOFT CORPORATION AND THEIR AFFILIATES SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL OR INCIDENTAL DAMAGES ARISING FROM OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE SOFTWARE. THIS LIMITATION SHALL APPLY EVEN IF ANY REMEDY FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE. **IN NO EVENT SHALL MS BE LIABLE FOR ANY AMOUNT IN EXCESS OF TWO HUNDRED FIFTY U.S. DOLLARS (U.S. $250).**

FOR APPLICABLE LIMITED WARRANTIES (IF ANY) AND SPECIAL PROVISIONS PERTAINING TO YOUR PARTICULAR JURISDICTION, PLEASE REFER TO YOUR WARRANTY BOOKLET (IF ANY) INCLUDED WITH THIS PACKAGE OR PROVIDED WITH THE SOFTWARE PRINTED MATERIALS OR ELECTRONICALLY.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITH ALL FAULTS. THE ENTIRE RISK AS TO SATISFACTORY QUALITY, PERFORMANCE, ACCURACY, AND EFFORT (INCLUDING LACK OF NEGLIGENCE) IS WITH YOU. THERE ARE NO WARRANTIES OR CONDITIONS, EITHER EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY (IF ANY) IMPLIED WARRANTIES OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, LACK OF VIRUSES OR NON-INFRINGEMENT, OR WARRANTY AGAINST INTERFERENCE WITH YOUR ENJOYMENT OF THE SOFTWARE, ANY AND ALL OF WHICH ARE HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMED. IF YOU HAVE RECEIVED ANY WARRANTIES REGARDING THE DEVICE OR THE SOFTWARE IN A WARRANTY BOOKLET OR OTHERWISE, THOSE WARRANTIES DO NOT ORIGINATE FROM, AND ARE NOT BINDING ON, MS, MICROSOFT CORPORATION OR THEIR AFFILIATES.

以下は、0-20 ～ 0-23 ページの「Windows Mobile 6 End User License Agreement」をシャープ株式会社が日本語に置き換えて、マイクロソフト株式会社の承認を得たものです。

Windows Mobile 6 エンドユーザー使用許諾契約書

- お客様は、Microsoft Corporation またはその関連会社（以下「MS」といいます）からシャープ株式会社（以下「弊社」といいます）がライセンスを受けているソフトウェアを含む製品本体（以下「本製品」といいます）をお買い求めいただいております。本製品にインストールされている MS のこれらのソフトウェア製品、ならびに付随するメディア、印刷物、および「オンライン」もしくは電子文書（以下「本ソフトウェア」といいます）は国際的な知的財産権に関する法律および条約によって保護されています。本ソフトウェアは許諾されるもので、販売されるものではありません。無断複写・転載は禁じられています。
- お客様がこのエンドユーザー使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）に同意されない場合には、本製品の使用および本ソフトウェアをコピーすることはできません。その代わり、弊社にご連絡いただき、未使用の本製品の返却についての指示を受けてください。**本製品の使用も含みますが、それだけには限らず、本ソフトウェアを使用した場合、お客様が本契約書に同意（もしくは以前の同意を承認）頂いたものと見なします。**
- 本ソフトウェアは、本製品に既にインストールされているソフトウェア（以下「デバイスソフトウェア」といいます）および CD-ROM ディスクに搭載された MS のソフトウェア（以下「コンパニオン CD」といいます）を含みます。

本ソフトウェアの使用許諾の許可　本契約書により、お客様には下記のライセンスが許可されます。
デバイスソフトウェア　お客様は本製品にインストールされているデバイスソフトウェアを使用することができます。
コンパニオン CD　コンパニオン CD はお客様がお買い求めの本製品に同梱されており、お客様は Microsoft® ActiveSync® component を 1 台もしくは複数台のパーソナルコンピュータ (PC) にインストールして使用することができます。これにより Microsoft® Windows Mobile® Version 6.0 オペレーティングシステムと互換性のあるバージョンを搭載する 1 台もしくは複数台の演算装置と情報を交換することができます。コンパニオン CD に搭載の他のソフトウェアコンポーネントについては、お客様は、そのコンポーネントに添付の印刷されている、あるいはオンラインのエンドユーザー使用許諾契約書の条件を満たした場合のみ、そのコンポーネントをインストールして使用することができます。コンパニオン CD の特定のコンポーネントについて、エンドユーザー使用許諾契約書がない場合、お客様は、本製品あるいは本製品とともに使用する PC1 台のみにそのコンポーネントのコピーを 1 部に限りインストールして使用することができます。
電話機能　デバイスソフトウェアに電話機能が含まれている場合、弊社が本製品を販売できる適切な無線通信キャリア（以下「携帯電話事業者」といいます）にお客様がサービスアカウントをお持ちでない場合、または、携帯電話事業者のネットワーク設備が本製品で機能しないか、本製品で機能するように設定されていない場合、デバイスソフトウェアの全部または特定部分が動作しないことがあります。
Microsoft® Outlook®
お買い求めの本製品に Microsoft Outlook が同梱されている場合、Microsoft Outlook の使用については、次の条件が適用されます。(i) オンライン本契約書の「ソフトウェアのインストールおよび使用」の条項に記載されている情報に関わらず、お客様は 1 台の PC に Microsoft Outlook のコピーを 1 部インストールして本製品を使用し、本製品とデータを交換または、共有し、本製品にアクセスしまたは本製品と相互に動作させることができます。(ii) Microsoft Outlook の本契約書は弊社とエンドユーザーとの間で締結されるものであり、PC 製造者とエンドユーザーとの間で締結されるものではありません。

その他の権利および制限事項

- **音声／手書き認識**　デバイスソフトウェアに音声および／あるいは手書き認識のコンポーネントが含まれている場合、お客様は、音声および手書き認識は本質的に統計的な処理であり、コンポーネントによる手書き認識や、テキストへの最終的な変換において誤りが発生する場合があることを、予め了解するものとします。弊社およびその供給者はいずれもこの音声および手書き認識処理における誤りから生じる損害については一切責任を負わないものとします。
- **リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの制限**　お客様は本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、あるいは逆アセンブルすることはできません。ただし、この制限事項に関わらず、このような行為が適用される法により明確に許可されている範囲内である場合はこの限りではありません。
- **使用許諾契約書**　本製品のパッケージには、各国言語への翻訳および複数のメディアバージョン（例えば、ユーザードキュメンテーションおよびソフトウェア）等、本契約書の複数のバージョンが含まれている場合があります。お客様が本契約書の複数のバージョンを受け取られた場合でも、お客様はデバイスソフトウェアのコピー 1 部のみを使用することが許諾されています。

- **MPEG-4 Visual Standard に関する注意**　デバイスソフトウェアには、MPEG-4 ビジュアルデコーディング技術が含まれている場合があります。MPEG LA, L.L.C. は、以下の通知を要求しています。
  - ・本ソフトウェアを MPEG-4 Visual Standard に従って使用することはいかなる方法であれ禁じられています。ただし、(A) (i) それによって事業を営んでいない消費者によって生成され、そのような消費者から料金を得ることなく取得されたデータまたは情報に直接関連し、(ii) 個人使用のみを目的とした使用、および (B) MPEG LA, L.L.C. によって明確かつ個別に使用許諾されたその他の使用を除きます。
    この通知に関してご不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C.（250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206; Telephone 303 331.1880; FAX 303 331.1879）にお問い合わせください。
- **レンタル / 商用ホスティングの禁止**　お客様は、本ソフトウェアを他の人にレンタル、リース、または貸し出すことはできず、また、商用ホスティングサービスを提供することはできません。
- **デバイスのコンポーネントとしての本ソフトウェア － ソフトウェアの譲渡**　本製品のソフトウェアは、本製品とともに単一の統合製品として許諾されています。本製品の読み取り専用メモリ（「ROM」）にインストールされている本製品ソフトウェアは、本製品の一部としてのみ使用することができます。本契約書によって明示的に許可されている場合を除き、本製品の構成部品を 2 台以上の本製品で使用するために切り離すことはできません。お客様は、本契約書に基づいたお客様のすべての権利を、本製品を売却または譲渡する場合にのみ恒久的に譲渡することができます。ただし、この場合、お客様が複製物を保有せず、本ソフトウェアの一切（すべてのコンポーネント、メディアおよび印刷物、アップグレード、本契約書、および、該当する場合には実物証明書を含みます）を譲渡し、且つ受取人が本契約書の条項に同意することを条件とします。本ソフトウェアがアップグレードである場合、譲渡は必ず本ソフトウェアの以前のバージョンを含んだものでなければなりません。
  デバイスソフトウェアに電話機能が含まれる場合、適用される携帯電話事業者によって許可された場合を除き、デバイスソフトウェアまたはコンパニオン CD に関して、本契約書に基づくお客様の権利を恒久的に譲渡することはできません。携帯電話事業者がこのような譲渡を許可した場合、お客様は、本契約書に基づいたお客様のすべての権利を、本製品を売却または譲渡する場合にのみ恒久的に譲渡することができます。ただし、この場合、お客様が複製物を保有せず、本ソフトウェアの一切（すべてのコンポーネント、メディアおよび印刷物、アップグレード、本契約書、および、該当する場合には実物証明書を含みます）を譲渡し、且つ受取人が本契約書の条項に同意することを条件とします。本ソフトウェアがアップグレードである場合、譲渡は必ず本ソフトウェアの以前のバージョンを含んだものでなければなりません。
- **契約の解除**　お客様が本契約書の契約条件に違反した場合、弊社あるいは MS は他のすべての権利を侵害することなく、本契約を解除することができます。このような場合、お客様は必ず本ソフトウェアの複製物およびそのコンポーネントをすべて破棄しなければなりません。
- **セキュリティアップデート／デジタル権利管理**　コンテンツプロバイダーは、コンテンツに係る著作権およびその他の知的財産権が不正に使用されることのないよう、コンテンツ（以下「セキュアコンテンツ」といいます）の同一性を保持するために、本製品に含まれるデジタル権利管理技術（以下「DRM」といいます）を使用しています。デバイスソフトウェアおよび第三者のアプリケーションの一部分、例えばメディア・プレイヤー等は、セキュアコンテンツの再生のために DRM を使用しています（以下これらの部分を「DRM ソフトウェア」といいます）。DRM ソフトウェアのセキュリティが侵害された場合、セキュアコンテンツの所有者（以下「セキュアコンテンツ所有者」といいます）の要求により、MS は DRM ライセンスサーバーおよび PC が、影響を受けた本製品でセキュアコンテンツを再生するための新しいライセンスを配信できないようにするものとします。この処置によって、保護されていないコンテンツを再生する DRM ソフトウェアの機能は影響を受けません。取り消された DRM ソフトウェアのリストは、お客様がセキュアコンテンツのためにインターネットあるいはお客様の PC からライセンスをダウンロードする際、常にお客様の本製品に送信されます。この場合、お客様は MS がセキュアコンテンツ所有者に代わって、セキュアコンテンツのためのライセンスとあわせて取り消しリストをお客様の本製品にダウンロードすることに同意するものとします。MS は、取り消しリストのダウンロードに際して、お客様の本製品から個人を特定できる情報およびその他の情報を取り出すことはありません。
- **データ使用の同意**　お客様は、MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人が、ソフトウェアに関する製品サポートサービスの一部として、いかなる方法で収集された技術情報でも、収集および使用することに同意するものとします。MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人は、この情報を製品の改良、またはカスタマイズサービスまたはテクノロジーをお客様に提供することのみを目的として使用することができます。MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人は、この情報を他者に開示できますが、お客様を個人的に特定できるような形では開示しません。
- **インターネットゲーム／更新機能**　デバイスソフトウェアがデバイスソフトウェア内でインターネットゲームまたは更新機能を提供し、お客様がそれらの機能を利用することを選んだ場合、それらの機能を実装するには、特定のコンピュータシステム、ハードウェア、およびソフトウェア情報を使用する必要があります。これらの機能を使用することによって、お客様は、MS、Microsoft Corporation、および／あるいは指定された代理人が、この情報を製品の改良またはカスタマイズサービスまたはテクノロジーをお客様に提供することのみを目的として使用することを明示的に認めるものとします。MS または Microsoft Corporation は、この情報を他者に開示できますが、お客様を個人的に特定できるような形では開示しません。

- **インターネットベースのサービスコンポーネント**　デバイスソフトウェアには、特定のインターネットベースのサービスの使用を可能および容易にするコンポーネントが含まれていることがあります。お客様は、MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人がお客様が利用しているデバイスソフトウェアおよび／あるいはそのコンポーネントのバージョンを自動的にチェックし、お客様の本製品に自動的にダウンロードできるデバイスソフトウェアのアップグレードまたは補遺を提供することを認め、同意するものとします。
- **追加ソフトウェア／サービス**　デバイスソフトウェアは、弊社、MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人が、お客様が本ソフトウェアの最初のコピーを入手した日以後に、本ソフトウェアのソフトウェアアップデート、補遺、アドオンコンポーネント、またはインターネットベースのサービスコンポーネント（以下「補足コンポーネント」といいます）をお客様に提供するか、お客様に対して利用可能にすることを許可することがあります。
  - ・弊社が補足コンポーネントをお客様に提供する場合、またはお客様に対して使用可能にする場合、他の契約条項が補足コンポーネントに同梱されていない場合には、本契約書の条項が適用されるものとします。
  - ・MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人が補足コンポーネントを使用可能にし、他の契約条項が規定されていない場合には、本契約書の条項が適用されるものとします。ただし、補足コンポーネントを提供するMS、Microsoft Corporationまたは関連団体は、補足コンポーネントのライセンサーであるものとします。
  - ・弊社、MS、Microsoft Corporation、その関連会社、または指定された代理人は、デバイスソフトウェアの使用を通じてお客様に提供され、あるいはお客様に対して使用可能にされるインターネットベースサービスを中止する権利を留保します。
- **第三者のサイトへのリンク**　デバイスソフトウェアは、デバイスソフトウェアの使用を通じて、第三者のサイトへリンクする機能をお客様に提供することがあります。第三者のサイトは MS、Microsoft Corporation、その関連会社、または指定された代理人が管理するものではありません。MS、Microsoft Corporation、その関連会社、または指定された代理人のいずれも、(i) 第三者のサイトの内容、第三者のサイトに含まれるリンク、または第三者のサイトの変更あるいは更新についても、(ii) 第三者のサイトから受信される Web キャストまたはその他のいかなる形式の送信についても責任を負いません。デバイスソフトウェアが第三者のサイトへのリンクを提供する場合、それらのリンクはお客様の便宜のために提供されるものであり、リンクの含有は、MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人が第三者のサイトを推奨していることを意味しません。

アップグレードとリカバリメディア

- **デバイスソフトウェア**　デバイスソフトウェアが ROM チップあるいは CD-ROM ディスクなどのメディアで、または Web からのダウンロードあるいはその他の手段により、本製品とは別に弊社によって提供され、かつ、「For Upgrade Purposes Only」と明記されている場合、お客様はこのようなデバイスソフトウェアのコピー 1 部を既存のデバイスソフトウェアの代わりとして本製品にインストールし、アップグレードデバイスソフトウェアに付属の追加の契約書の条項も含め、本契約書に従って使用することができます。
- **コンパニオンCD**　ソフトウェアのコンポーネントが、CD-ROMディスクあるいはWebからのダウンロードやその他の手段により、本製品とは別に、弊社より提供され、且つ「For Upgrade Purposes Only」のラベルが貼られている場合、お客様は、既存のコンパニオン CD の差し替え用コピーとして、本製品とのデータ交換に使用するコンピュータにそのようなコンポーネントを 1 部インストールし使用することができます。
- **リカバリメディア**　本ソフトウェアが弊社から「Recovery Media」と記載された個別のメディアで提供された場合、お客様は本製品に元々インストールされていた本ソフトウェアを復元または再インストールする目的でのみ、リカバリメディアを使用することができます。

知的財産権　本ソフトウェア（本ソフトウェアに組み込まれたイメージ、写真、アニメーション、ビデオ、音声、音楽、テキスト、「アプレット」を含みますが、これに限りません）、付属の印刷物、および本ソフトウェアの複製物についてのすべての権限および知的財産権は、MS もしくはその供給者（Microsoft Corporation を含みます）が所有しています。本ソフトウェアは許諾されるもので、販売されるものではありません。お客様は、本ソフトウェアに付属の印刷物を複製することはできません。本ソフトウェアを使用してアクセスすることのできるコンテンツについては権限および知的財産権は、各コンテンツ所有者の財産であり、著作権法およびその他の知的財産権に関する法律および条約により保護されている場合があります。本契約書は、お客様にそのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。本契約書で明確に許諾されていないすべての権利は MS およびその供給者（Microsoft Corporation を含みます）が留保しています。本ソフトウェアを通じてアクセスできるオンラインサービスの利用は、そのようなサービスに関するそれぞれの使用条件によって規定されることがあります。本ソフトウェアに電子形態でのみ提供される文書が含まれる場合、お客様はそのような電子文書を 1 部のみ印刷することができます。
商標　本契約書は、お客様に弊社、MS、Microsoft Corporation、それらの関連会社または供給者の商標またはサービスマークに関連するいかなる権利も付与しません。
輸出規制事項　お客様は、本ソフトウェアがアメリカ合衆国および欧州連合の輸出関連法規の対象となるものであることを認識しているものとします。お客様は、本ソフトウェアに適用される全ての国際法及び国内法（アメリカ合衆国輸出管理規制および、米国または他の国の政府によって発行された、エンドユーザー、最終用途、および目的地に関する規制を含む）に従うことに同意するものとします。追加情報に関しては、

http://www.microsoft.com/exporting/ をご参照ください。
製品のサポート　本ソフトウェアの製品サポートは、MS、Microsoft Corporation、またはそれらの関連会社が提供するものではありません。製品のサポートについてお問い合わせの際には、本製品の添付文書に記載の弊社のサポート番号をご利用ください。本契約書についてのご質問、またはその他の理由により、弊社にお問い合わせいただく場合には、本製品の添付文書に記載の連絡先までお願いいたします。
使用の制限　本ソフトウェアは、核施設、航空機のナビゲーションもしくは通信システム、航空管制の運用など、絶対確実な性能を必要とする危険な環境、または本ソフトウェアの誤動作がオペレータの負傷または死亡という予見可能なリスクをもたらすその他のデバイスまたはシステムでの使用または再販を目的とするものではありません。
特定の損害に対する免責　法律により禁じられている場合を除き、MS、Microsoft Corporation およびそれらの関連会社は本ソフトウェアの使用もしくは実行の関連から、あるいは関連して生じる間接的、特殊的、結果的、あるいは偶発的な損害についての責任は負わないものとします。本制限事項はその本質的な目的を修復できなかった場合でも適用するものとします。**いかなる場合も、MS は 250 米ドルを超える金額の賠償責任を負わないものとします。**
お客様に個別に適用される国・地域の法律の下での限定保証（ある場合）ならびに特別条項については、本パッケージに添付あるいは本ソフトウェアの印刷物または電子的に記載の保証条項（ある場合）をご参照ください。本ソフトウェアは現状のまま、あらゆる瑕疵を含んだ状態で提供されます。満足の行く品質、性能、正確さ、および努力（怠慢の欠如を含みます）に関する全リスクは、お客様が負うものとします。本ソフトウェアについては、明示的、暗黙的、または法定を問わず、いかなる保証または条件もありません。これには、本ソフトウェアの商品性、特定目的に対する適合性、ウイルスに感染していないこと、または非侵害に関する暗黙的な保証または条件、もしくはお客様が本ソフトウェアを利用できないことに対する保証が含まれますが、これらに限定されず、その一部またはすべてが本契約書によって明示的に否認されます。お客様が保証書またはその他の形で、本製品または本ソフトウェアに関する何らかの保証を受け取った場合、それらの保証は MS、Microsoft Corporation、またはそれらの関連会社によって発行されたものではなく、これらの会社を拘束するものではありません。

取扱説明書の表記

ボタンやキーの表記

・画面上のメニューやボタンなど…………………・ メニュー などと表記します。
・画面（表示部）下のキーやダイヤルキー ….・『ok キー』などと表記します。
・カーソルキーは、『カーソル キー』と表記します。
・キーボードのキー……………………………………・『A キー』などと表記します。

操作手順の表記

この製品を操作するには、次の 3 つの方法があります。
・画面（表示部）下のキーを押して操作する
・キーボードのキーを押して操作する。
・スタイラスで画面をタップして操作する
※主に縦表示の場合を説明しています。

マーク

MEMO ………補足的なことを説明しています。

ご注意 …………注意していただきたいことを説明しています。

☞ ………………参照する取扱説明書のページを指しています。

表示画面

・ 本書に記載されている画面例は、縦表示のものを掲載しています。
・ 本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。
※この取扱説明書に記載しているお問い合せ先の電話番号や時間帯、各種サービスの電話番号などは、2007 年 6 月現在のものです。

他機種のデータをこの製品に移す

「WS003SH、WS004SH、WS007SH などの予定表や連絡先などのデータ」と「パソコンの Microsoft Outlook のデータ」を同期したあと、そのパソコンとこの製品を同期します。

同期によって移行できるデータ

・連絡先　　・予定表　　・仕事
・メモ　　・お気に入り　　・電子メール※

※電子メールでデータを移行（同期）できるのは、Outlook のアカウントのみです。オンラインサインアップで取得した E メール（ウィルコム）や W-ZERO3 メール、ご自分で加入しているプロバイダーメール、ライトメールは同期できません。

ご注意
- Sprite Backup（☞ 8-2 ページ）を使って他の機種からこの製品にデータを移すことはできません。

● WS003SH/WS004SH/WS007SH などで ActiveSync、または Windows Mobile デバイスセンターをインストールしてお使いの方

お使いの ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターとこの製品を同期することで他の機種のデータをこの製品に移すことができます。同期する項目を確認して、同期を行ってください。

● WS003SH/WS004SH/WS007SH などで ActiveSync、または Windows Mobile デバイスセンターをインストールされていない方

ActiveSync、または Windows Mobile デバイスセンターをインストールした後、データを移します。くわしくは、7-4、7-10 ページをご覧ください。

1章　基本操作

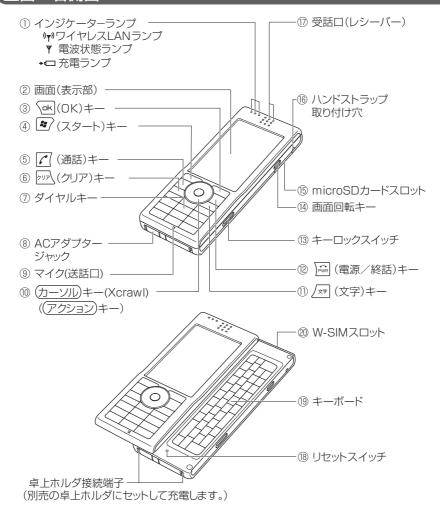
基本的な使いかた

この製品の基本的な使いかたについて説明します。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとそのはたらきを覚えましょう。

正面・右側面

なまえとはたらき	参照ページ

① インジケーターランプ

この製品の状態をランプの光りかたで表します。

ワイヤレス LAN ランプ　2-9

ワイヤレス LAN をオン（有効）にすると黄緑色点灯します。

電波状態ランプ

電話の電波強度や電話着信などを表します。

緑色に点灯※ 1	：
オレンジ色に点灯※ 1	：
赤色に点灯※ 1	：
消灯	：圏外（エリア外であることを示します。）
青色に点滅	：電話着信時、メール／ライトメール受信時であることを示します。※ 2
青色に点灯	：不在着信、未読のメール／ライトメールがあることを示します。※ 2

※ 1：・電波状態アイコンと連動します。
・ホームページ閲覧中やメール送信／受信を行うと、電波強度は電波状態ランプ（緑色、オレンジ色、赤色）で示します。
※ 2：点滅や点灯する／しないを設定できます（☞ 3-28 ページ）。

充電ランプ　1-8

オレンジ色に点灯	：充電中であることを示します。
黄緑色に点灯	：満充電であることを示します。
黄緑色に点滅	：予定表などのアラームを知らせます。※
オレンジ色に点滅	：充電中に異常が発生したことを示します。

※点滅する／しないを設定できます（☞ 9-11 ページ）。

② 画面（表示部）　1-11

各種のデータが表示されます。
また、付属のスタイラスでタップして操作します。

③ ok（OK）キー

okまたは×をタップするのと同じはたらきをします。
ソフト2キーとしても設定できます（☞ 9-7 ページ）。

④ （スタート）キー　1-25

スタートメニューを表示し、プログラムを起動したり、設定画面を表示したりします。
ソフト 1 キーとしても設定できます（☞ 9-7 ページ）。

⑤ （通話）キー　3-2

電話をかけるときや電話を受けるときに使います。

⑥ クリア（クリア）キー　1-48

電話番号や文字を入力中にこのキーを押すと、カーソルの前（左側）の文字を削除します。また漢字変換中は、変換を取り消します。

⑦ ダイヤルキー　1-43、3-2

電話番号や文字を入力できます。

⑧ AC アダプタージャック　1-8

付属の AC アダプター（EA-83）を取り付けます。
他の AC アダプターは取り付けないでください。故障の原因になります。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

⑨ マイク（送話口）

自分の声をここから伝えます。

⑩ (カーソル)キー（(アクション)キー）　1-49

(カーソル)キーには、次のような機能があります。
・カーソルを一つずつ上下左右に動かす（4方向）
・なぞってカーソルを動かす（スクロール機能）
・カーソルを一つずつ 8 方向に動かす
ご購入時は 4 方向とスクロール機能が使え、この設定を変更できます（☞ 9-24 ページ）。

● カーソルを一つずつ上下左右に動かす（4方向）

この部分を押す

● なぞってカーソルを動かす（スクロール機能）

この部分を軽くなぞる

● カーソルを一つずつ 8 方向に動かす

この部分を押す

(アクション)キー

・内蔵カメラ使用時、写真を撮影します。
・中心をまっすぐ押すと、選択しているメニューやプログラムを実行します。キーボードの(Enter)キーに相当する操作を行います（プログラムや設定画面によって、動きが異なることがあります）。
・文字入力時は、未確定文字が決定されます。

⑪ 文字（文字）キー 1-43

ダイヤルキーの文字入力モードを切り替えます。
このキーを押すたびに、文字入力モードが切り替わります

⑫ PWR（電源／終話）キー 1-9、3-2

・通話中の電話を切ったり、インターネット接続を切断します。
・“予定表”や“Windows Media Player”などのプログラムが終了します。ただし、“メール”、“ライトメール”、“Sprite Backup”、“ActiveSync”、“ブンコビューア”、“ファイルエクスプローラ”、“Bubble Breaker”、“Picsel PDF Viewer”などは終了しません。
・キーを長く（約２～３秒）押すと、電源の入／切ができます。
※キーロック中（☞ 1-7 ページ）、画面の電源が切れている状態でPWRキーを押すと画面が表示されます。ただし、キーロックがかかっていますので、他のキーを押しても動作しません（キーロックを解除してください）。

⑬ キーロックスイッチ 1-7

スイッチを下側にするとキーロックがかかります。キーロックの状態になるとキーを押したり、画面をタップしても動作しません（Today 画面（待ち受け画面）下部にアイコンが表示されます。また、タイトルバーにが表示されます）。キーロックを解除するには、スイッチを反対側にします。キーロック中でも、節電状態（画面の電源オフ）では、PWRキーを押すと画面が表示されます。

⑭ 画面回転キー 1-7

画面を縦表示から横表示へ切り替えたり、横表示から縦表示に切り替えます。

⑮ microSD カードスロット 1-65

動作確認済みの microSD カードを装着します。
通常はカバーで覆われています。装着時はカバーを開きます。

⑯ ハンドストラップ取り付け穴

市販のハンドストラップを取り付けます。
くわしくは別冊の「かんたん操作ガイド」（☞スタイラスを取りつける）をご覧ください。

⑰ 受話口（レシーバー）

通話中に相手の声が聞こえます。
※イヤホンマイク接続時はイヤホンから聞こえます。

⑱ リセットスイッチ 10-2

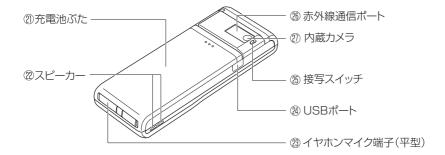
画面タップやキー操作が正しくはたらかないときに付属のスタイラスで押すと、リセット（再起動）をすることができます。
リセットを行っても正常に動作しないときは、フルリセット（☞ 10-3 ページ）を行います。

⑲ キーボード 1-29

キーボードを引き出して、文字を入力できます。

⑳ W-SIM スロット 10-11

W-SIM を装着します。
通常はカバーで覆われています。交換時はカバーを開きます。

背面・左側面

㉑ 充電池ぶた 10-3

このふたを外し、充電池の取り外しやフルリセットをします。

㉒ スピーカー

着信音や"予定表"のアラーム、再生している音楽が鳴ります。
※イヤホンマイクを接続しているときは、イヤホンから聞こえます。
　音量を上げる（最大にする）と音割れする場合があります。

㉓ イヤホンマイク端子（平型）

イヤホンマイクなどを接続します。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉔ USB ポート 7-6

付属の USB ケーブルを接続し、パソコンなどと接続します。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉕ 接写スイッチ 6-15

名刺や QR コードなどを撮影するときに切り替えます。

㉖ 赤外線通信ポート 7-29

赤外線でデータをやり取りするとき、ほかの機器の赤外線通信ポートと向きを合わせます。

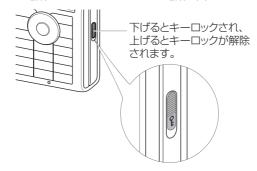
㉗ 内蔵カメラ 6-3

写真を撮影します。

キーロックする

誤って画面をタップしたりキーが押されても動作しないようにできます。

1 **キーロックスイッチを下側にします。**

Today 画面（待ち受け画面）に🔒が表示されます（☞ 1-17 ページ）。
また、タイトルバーに🔒が表示されます。
キーロックの状態になるとキーを押したり、画面をタップしても動作しません。
キーロック中、画面をタップしたりキーを押すとキーロック中であることのメッセージが表示されます。ただし、全画面表示中（たとえば、Opera で全画面表示しているとき）はメッセージが表示されません。
キーロック中でも電話がかかってきたときは、電話に出ることができます。

MEMO **キーロックスイッチをオンにしている状態で、節電状態になり画面が消えたとき、画面を点灯する（オン）方法として、以下の 2 つの方法があります。**

- キーロックを解除する（☞下記）。
- 電源キーを押す。
  ※電源キーを押したときは、画面がオンしますが、キーロックはかかったままです。

キーロックを解除する

1 **キーロックスイッチを反対側（上側）にします。**

タイトルバーの🔒アイコンが文字入力モードのアイコンに戻ります。また、Today 画面（待ち受け画面）の🔒が消えます。
キーロックを解除します。キーを押したり、画面タップが行えます。

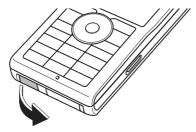
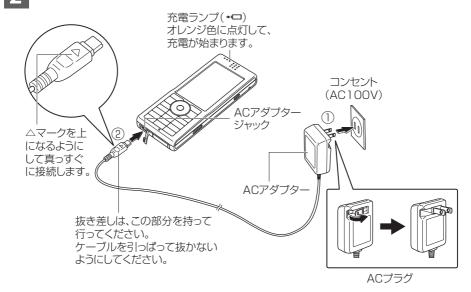
縦表示と横表示を切り替える

この製品では、以下の方法で縦表示から横表示に切り替えたり、横表示から縦表示に切り替えることができます。
表示を切り替えると、レイアウトも自動的に変わります。

- **画面回転キー（☞ 1-2、1-5 ページ）を押します。縦から横、横から縦に切り替わります。**
- **キーボードを開いたり閉じたりすると、縦から横／横から縦に切り替わります。**
  ※ キーボード開閉によって表示を切り替えないようにもできます（☞ 9-25 ページ）。

充電する

この製品を使用中に充電池が消耗したときは、すぐにこの製品の専用充電器である付属の AC アダプター（EA-83）を使って充電池を充電してください（他の AC アダプターは使用しないでください）。

1 AC アダプターのカバーを開きます。

2 下図のように①、②の順で、AC アダプターを接続します。

3 満充電になると、充電ランプが黄緑色になり、充電が完了します。

電源を切った状態や節電状態で満充電になるまでに、通常、常温 25℃で約 3.5 時間かかります（充電池の残量や周囲温度によって変わります）。

また、この製品を使用しながら充電を行うと、満充電になるまでには長い時間がかかります。使用状態（データ通信や通話など）によっては、消費電流が多いため充電されないことがあります。

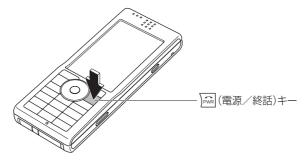
4 AC アダプターをこの製品のジャックから抜き、コンセントから取り外します。

- 必ずこの製品に付属の AC アダプター（EA-83）を使用してください。
- AC アダプターを、市販されている「電子変圧器」などに接続しないでください。AC アダプターが故障することがあります。

- 充電は、周りの温度が 5 ～ 35℃の場所で行ってください。温度が変わると充電時間が長くなることがあります。また、充電は満充電になるまで行ってください。
- 長時間使用しなかった充電池の充電には、通常より多くの時間がかかります。
- 充電池については、10-7 ページをご覧ください。
- 充電中にこの製品や AC アダプターが温かくなることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる／切る

1 PWR キーを長く（約 2 ～ 3 秒）押します。

2 電源が入り、Today 画面（待ち受け画面）が表示されます。

3 電源を切るときは、PWR キーを長く（約 2 ～ 3 秒）押します。

- 充電池が消耗して電源が切れた後に、付属の AC アダプターを接続しても電源が入らないことがあります。このような場合は、しばらく充電してから使用してください。
- （充電池を交換したときなど）電源が入らないときは、フルリセットしてみてください（☞ 10-3 ページ）。

キー操作について

キー操作を行うとき、大きく次の 3 つがあります。
・　キーボード（文字を入力する）
・　画面（表示部）下のキー（画面を切り替えたりする）
・ダイヤルキー（電話番号や文字を入力する）
※キーボードは文字入力のときに使い、隠したり／出したりすることができます。

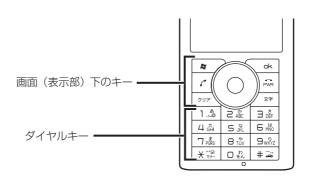
■ キーボード

キーボードは文字を入力するときに使います。操作方法については 1-29 ページをご覧ください。

キー操作をするときの持ちかたについて

この製品を使って文字入力や登録したデータを見るためにキー操作などを行うとき、下図のように両手でこの製品を下から支えるようにして持つことをおすすめします。

■ 画面（表示部）下のキー／ダイヤルキー

- 画面（表示部）下のキーは、電話をかける／切る、ダイヤルキーの入力モードの切り替えなどを行います。操作方法については、1-2 ～ 5 ページをご覧ください。
- ダイヤルキーは、電話番号や文字を入力するときに使います。操作方法については、1-43 や 3-2 ページをご覧ください。

Today 画面（待ち受け画面）を使う

この製品の電源を入れると、Today 画面（待ち受け画面）が表示されます。また、スタート メニューの “Today” をタップしても表示されます。
Today 画面（待ち受け画面）には、電波状態、充電池残量やマナーモードなどの状態、メール／ライトメールの未読件数などが表示されます。

① **スタート**
タップするとスタートメニューが表示され、プログラムを起動したり（☞ 1-25 ページ）、設定画面が表示されます。

② **タイトルバー**（☞ 1-15 ページ）
電波状態、ネットワーク接続中／通話中などを示すアイコンなどが表示されます。

③ **日付表示**（☞ 9-26 ページ）
日付が表示されます。タップすると「時計とアラーム」画面が表示され、日付／時刻を変更できます。

④ **W+Info**（☞ 1-13 ページ）
ウィルコムが提供する配信サービス「W+Info」で配信される記事を見ることができます。
※「W+Info」から情報を受けるには、「W+Info」への登録が必要です。

⑤ **不在着信件数表示**（☞ 3-6 ページ）
不在着信の件数が表示されます。ここをタップすると、着信履歴画面が表示され不在着信を確認できます。

⑥ **メール、ライトメールの未読件数表示**

メール、ライトメールの未読件数が表示されます。メールの場合は、オンラインサインアップを行い取得したウィルコムのメールアドレス（☞ 2-3 ページ）へ送られてきたメールと、ご自分で設定したメールアドレスへ送られてきたメールを別々に表示します。
アイコンに表示されている未読件数はウィルコムのメールアドレスの未読メール件数です。Today 画面（アイテム タブ）（☞ 9-2 ページ）で表示するようにした場合、ご自分で設定したメールアドレスの未読メール件数も表示できます。
ここをタップすると、"W-ZERO3 メール" または "メール（Outlook）" 画面や "ライトメール" 画面が表示されます。

⑦ **クイックメモ**（☞ 1-50 ページ）

通話中に入力したメモやクイックメモから作成した内容をプレビュー表示します。タップすると 1 件表示します。
新規のクイックメモを作成したり、削除します。

⑧ **実行中のプログラム数表示**

現在実行（起動）しているプログラム数が表示されます。使っていないプログラムを終了するときは、ここをタップするか、画面下の アイコンをタップし表示されたメモリ画面（実行中のプログラム タブ）でプログラムを終了します。

⑨ **各種アイコン表示**（☞ 1-17 ページ）

キーロック設定中などを示すアイコンが表示されます。

⑩ **メニューバー**

左端と右端にボタンが表示されます。連絡先では、新規作成、メニュー などが表示されそれぞれをタップすると連絡先の新規作成画面が表示されたり、メニューが表示されます。
プログラムによって、表示されるメニューは異なります。

- Today 画面の背景を、お好みの画像に変更できます（☞ 9-4 ページ）。
- （カーソル）キーの左右を押すと、着信履歴画面／発信履歴画面が表示されます。

■ 文字サイズを調整する

Today 画面（待ち受け画面）やプログラムで表示される文字などのサイズを変更することができます。
スタート メニュー－ "設定" － システム タブ－ "画面" － 文字サイズ タブをタップして変更できます（☞ 9-29 ページ）。

W+Info を使って配信された情報（記事）を見る

ウィルコムが提供する「W+Info」という配信サービスを利用して、この製品で記事を見ることができます。
このサービスを利用するには、オンラインサインアップした後、再起動を行い自動的に表示される登録画面で登録を行ってください。くわしくは、別冊の「かんたん操作ガイド」をご覧ください。
登録を行うと、定期的に配信された情報が自動的に Today 画面に表示されます。

1 Today 画面を表示し、配信された情報（記事）の見出しをタップします。

① 画像、配信情報（記事）の見出しが表示されます。
配信情報（記事）を 1 行表示と 3 行表示の切り替えができます（☞次ページ）。

2 配信情報の 1 件表示画面になります。

①	内容を表示します。	
②	サイトへ	：“Opera Browser”または“Internet Explorer Mobile”を起動し記事の内容を表示します。 ※このメニューは、表示している情報によって変わることがあります。
③	メニュー	：各種メニューを表示します（☞次ページ）。

3 (カーソル)キーの左右を押して、前や次の情報（記事）を表示します。

(カーソル)キーの左：前の記事を表示します。
(カーソル)キーの右：次の記事を表示します。

4 ok をタップすると、Today 画面に戻ります。

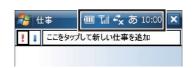
■ メニュー

Today 画面で配信情報（記事）をタップしたままにして表示されるメニュー

更新	最新の情報に更新する。
1件表示画面	配信情報(記事)を1件表示する。
ウィルコム公式サイトへ	“Opera Browser”または“Internet Explorer Mobile”が起動しウィルコム公式サイトへ接続する。
記事の表示切替を停止	配信情報(記事)の表示切替を止める。
記事の表示切替を再開	停止した表示切替を再開する。
設定	Today画面に表示される配信情報(記事)の表示方法や切り替え時間を設定する。
配信設定	サーバーに接続し、情報配信の設定をする。

■ 1 件表示画面のメニュー

サイトへ	“Opera Browser”または“Internet Explorer Mobile”が起動し記事の内容を表示する。
次の記事へ	次の配信情報(記事)を表示する。
前の記事へ	前の配信情報(記事)を表示する。
範囲指定モード	範囲指定する。 範囲指定モード(メニュー－範囲指定モード)で範囲指定を開始する位置をタップして、開始をタップした後、カーソルキーを使って範囲指定します。指定された部分は反転表示になります。範囲を指定した後、終了または、メニュー－範囲指定モード解除をタップする。 そして、メニュー － コピー で、反転した部分をコピーします。
コピー	範囲指定している部分をコピーする。
設定	Today画面に表示される配信情報(記事)の表示方法や切り替え時間を設定する。
配信設定	サーバーに接続し、情報配信の設定をする。

タイトルバーに表示されるアイコンについて

時刻表示 10:00

時刻が表示されます。タップするとウィンドウが表示され、今日の日付と時刻、今日これから一番近い予定が分かります（ウィンドウはしばらくすると自動的に消えます）。

時刻をタップしたままにするとメニューが表示され、アナログ表示に変更できます。

入力モードのアイコン あ

ダイヤルキーの入力モードが表示されます。入力モードは 文字 キーを押すと切り替わります。ただし、Today 画面（待ち受け画面）では切り替わりません。

文字入力については、1-43 ページをご覧ください。

また、キーボードを出しているとき、入力モードのアイコンは ① 固定になり、0 ～ 9、＊、＃のみ入力できます。

※キーロック中は、 に変わります。

インターネット接続のアイコン ／

：　インターネットに接続している状態を示します。

：　インターネットに接続していない状態を示します。

電波状態のアイコン

電波の受信状態をアイコンで表示します。

このアイコンは、電波状態ランプと連動しています（☞ 1-3 ページ）。

※ホームページ閲覧中やメール送信／受信のためにインターネット接続中、このアイコンは消えます。このとき、電波状態は電波状態ランプで示します（☞ 1-3 ページ）。

圏外：エリア外または電波が届いていない場所にいます。

強 ←――――→ 弱

OFF：通信／電話機能（W-SIM（PHS））の停止状態を示します（☞ 3-46 ページ）。

PIN：W-SIM をロックしている状態を示します（☞ 3-34 ページ）。

：W-SIM がこの製品に装着されていません。

：リモートロック中を示します（☞ 3-37 ページ）。

- タイトルバーに表示されるアイコンの数は 4 つです。この数を越えると が表示されます。 をタップすると隠れているアイコンが表示されます。

充電池残量のアイコン

充電池の残量が表示されます。

：ある程度残っています。

：少なくなっています。

：あまり残っていません。充電してください。

：ほとんど残っていません。充電してください。

充電池の残量は、パワーマネージメント画面（バッテリタブ）（☞9-18ページ）でも確認できます。

：充電中を示します。

：USB給電中を示します。USB給電については、9-19ページをご覧ください。

内蔵ワイヤレスLANのアイコン

：内蔵ワイヤレスLANがオン（有効）になっていることを示します（☞2-9ページ）。

：アクセスポイントを介してネットワークに接続しています（☞2-14ページ）。
内蔵ワイヤレスLANを使用しないときは、電池残量の消耗を防ぐためオフ（無効）にすることをおすすめします（☞2-15ページ）。

通話中／通信中のアイコン

：通話中であることを示します。

、、、、：通信中、通信方式が表示されます。

それぞれのアイコンについては、7-27ページをご覧ください。

アラームのアイコン

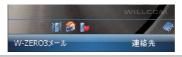
予定にアラームを設定しているとき、アラーム時刻になると表示されます。また画面下部にその予定の内容が表示されます。画面下部に表示された予定の内容を消すには、画面左下のアラームを消すをタップします（☞1-28ページ）。

メールのアイコン

：Eメール（ウィルコム）の自動受信中または自動受信終了時に表示されます。
また画面下部に状態が表示されます。画面下部の表示を消すには、画面左下のOKをタップします。

：この製品で受信していないEメール（ウィルコム）がセンターに有る場合に表示されます。
また画面下部に状態が表示されます。画面下部の表示を消すには、画面左下のOKをタップします。

画面下部のアイコンについて

Today 画面（待ち受け画面）の下部には、以下のアイコンが表示されます。

：キーロックがオン（有効）になっています。 （☞ 1-7 ページ）

：通話／通信機能が制限されています。 （☞ 3-33 ページ）

：バイブレータがオン（有効）になっています。 （☞ 3-24 ページ）

：伝言メモがオン（有効）になっています。 （☞ 3-12 ページ）

：マナーモードがオン（有効）になっています。 （☞ 3-30 ページ）
ダイヤルキーの［＊ マナー］キーを長く押すとマナーモードになります。

：安全運転モードがオン（有効）になっています。 （☞ 3-31 ページ）
ダイヤルキーの［＃］キーを長く押すと安全運転モードになります。

：不在着信があったことを示します。
1-11 ページの⑤で不在着信の件数が表示されると、このアイコンが表示されます。

：伝言メモ（メッセージ）があることを示します。 （☞ 3-12 ～ 13 ページ）

：未読のメールがあることを示します。
1-12 ページの⑥で未読のメールがあると、このアイコンが表示されます。

：未読のライトメールがあることを示します。
1-12 ページの⑥で未読のライトメールがあると、このアイコンが表示されます。

：実行（起動）中のプログラムがあることを示します。

アイコン色	実行中のプログラム
青色	：1 ～ 5
黄色	：6 ～ 10
赤色	：11 以上

実行中のプログラムが多くなるとメモリ不足になり、全体の動作が遅くなります。
メモリ不足を解消するには、このアイコンをタップし表示されたメモリ画面（［実行中のプログラム］タブ）でプログラムを終了します。

：パソコンと接続し同期していることを示します。
ただし、USB 接続画面（［ActiveSync］タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外しているときのみこのアイコンは表示されます。

※安全運転モードをオン（有効）にしていると、バイブレータはオン（有効）になりません。

プログラム画面について

スタート メニューの “プログラム” をタップすると、プログラム画面が表示されます。
プログラム画面のアイコンをタップすると、それぞれのプログラムを起動できます。

ゲーム（☞付属のCD-ROMに収録のアプリケーションマニュアル）

ゲームソフトが 2 つ入っています。

ホームメニュー（☞ 1-52、1-59 ページ）

Standard ホームメニューアイコンと Roller ホームメニューアイコンが入っています。
各アイコンをタップすると各ホームメニューが起動します。

ActiveSync（☞ 7-2 ページ）

ActiveSync を使ってパソコンの Microsoft Outlook の仕事や予定表などと同期します。

DicLand（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

「エクシード英和辞典」や「エクシード和英辞典」、「デイリーコンサイス国語辞典　第 3 版」で、言葉の意味や英単語の意味などを調べます。「英文ビジネスレター事典」で英文ビジネスレターの基礎知識や表現を学習することができます。

Java（TM）アプリ（☞ 8-15 ページ）

Java アプリケーションを実行するための Java 実行環境です。ゲームなどの Java アプリケーションなどを利用できます。

Messenger（☞ 8-17 ページ）

登録しているメンバーとの間で、チャットができます。

NAVITIME（☞ 8-16 ページ）

地図検索や目的地までの乗換検索、時刻表の検索などができます。

Opera Browser（☞ 5-3 ページ）

ホームページの閲覧ができます。

Picsel PDF Viewer（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

PDF ファイルを表示することができます。※ファイルによっては表示できないことがあります。

Sprite Backup（☞ 8-2 ページ）

この製品に保存しているデータなどを microSD カードにバックアップ（保管）したり、保管したデータをこの製品にリストア（復元）します。

Windows Live（☞ 8-17 ページ）

Windows Live メールを確認できます。

Windows Media（☞ 6-21 ページ）

ビデオファイルやオーディオファイルを再生できます。

W-ZERO3 メール（☞ 4-3 ページ）
インターネットを経由して、パソコンやウィルコムの電話機などとメールの送受信ができます。“メール”との違いについては、4-2 ページをご覧ください。

カメラ（☞ 6-2 ページ）
静止画（画像）やビデオ（動画）の撮影ができます。

データ交換（☞ 7-34 ページ）
他の WS011SH と自分の名前や電話番号などを交換できます。

バーコード リーダ（☞ 6-15 ページ）
内蔵カメラを使って QR コードなどを読み取ることができます。

ファイル エクスプローラ（☞ 8-11 ページ）
本体メモリや取り付けたメモリカード内のフォルダやファイルを表示したりすることができます。また、新規のフォルダを作成したり、ファイルの削除やコピーなどができます（ファイルをタップしたままにして表示されるメニューから「コピー」などを選択します）。

ブンコビューア
XMDF 形式の電子書籍を読むためのビューアです。
電子書籍は Space Town ブックス（http://books.spacetown.ne.jp/）などで購入できます。
ブンコビューアについてくわしくは、ブンコビューアのヘルプをご覧ください。
あらかじめ、サンプルの電子書籍が入ってます。

メモ（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
スタイラスを使って画面に手書きしたり、文字を入力することができます。
また、自分の声などを録音しメモに貼り付けることもできます。

リモートデスクトップモバイル（☞ 7-35 ページ）
外出先から、会社などのパソコンに接続して、データを閲覧したり編集したりすることができます。

画像とビデオ（☞ 6-8 ページ）
静止画の表示や編集、動画を表示することができます。

検索（☞ 1-70 ページ）
「My Documents」フォルダとそのサブフォルダ内のファイルなどを検索することができます。

仕事（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
期限を決めて仕事の管理ができます。

電卓（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
10 桁の四則計算ができます。

電話（☞ 3-2 ページ）
電話をかけることができます。

名刺リーダ（☞ 6-18 ページ）
内蔵カメラを使って、名刺を撮影すると名前や住所などの文字を読み取って“連絡先”に登録することができます。

予定表（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
打ち合わせや会議などのスケジュールを入力し管理できます。

設定画面について

着信音や待ち受け画面など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。スタート メニューの "設定"をタップすると、設定画面が表示されます。設定画面には 3 つのタブがあり、以下の項目が設定できます。それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

◇ 個人用 タブ ◇

Today（☞ 9-2 ページ）

待ち受け画面となる Today 画面（☞ 1-11 ページ）を設定します。

デザイン ：Today 画面の背景を変更します。

アイテム ：Today 画面に表示する情報（仕事、予定表など）と表示順などを設定します。

ホームメニュー ：Today 画面で (カーソル) キーや (アクション) キーを押したときの動作を設定します。

ホームメニュー選択 ：(アクション) キーを押したとき表示されるホームメニューを選択します。

オーナー情報（☞ 9-5 ページ）

オーナー情報を入力します。

オーナー情報 ： 名前、住所などを入力します。

メモ ： メモなどを入力します。

オプション ： 電源を入れたときに、オーナー情報やメモを表示する／しないを設定します。

ボタン（☞ 9-6 ページ）

画面回転キーなどに割り当てる機能や (カーソル) キーを押したときの動作開始などの設定をします。

プログラムボタン ：画面回転キーなどに対して、割り当てる操作を設定します。

上／下コントロール ：(カーソル) キーを押したとき、スクロールを開始するまでの時間や移動速度などを変更します。

ソフトキー ：（スタート）キーと ok（OK）キーをソフト 1 キーとソフト2キーに割り当てる設定をします。

メニュー（☞ 9-7 ページ）

スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

ロック（☞ 9-8 ページ）

パスワードを設定して、この製品を他人が使えないようにします。

パスワード ：パスワードなどを設定します。

ヒント ：パスワードを忘れたときに、思い出すヒントになる文章などを入力します。

入力（☞ 9-9 ページ）

よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。

入力方法 ：文字の入力方法の設定や単語の登録をします。

オプション ：録音形式や手書き入力の詳細などを設定します。

電話 ー 基本 タブ

		参照ページ
自番号	： この製品の電話番号やオンラインサインアップで登録されたメールアドレスなどが表示されます。	3-16
発着信／通話	： 発信者番号通知、圏外警告音などの設定ができます。	3-32
データ通信	： 通信中の着信の ON ／ OFF や通話中の着信の ON/OFF、通信方式の設定ができます。	3-26 ～ 27
受話音量	： 受話音量の音量調整ができます。	3-11

電話 ー 呼出 タブ

		参照ページ
着信音量	： 着信音の音量設定ができます。	3-21
メロディ	： 電話着信音／メール受信音を設定できます。	3-23
バイブ	： バイブレータの設定ができます。	3-24
照明	： 電話着信時やメール受信時、バックライトを点灯したりキーのバックライトを点灯するようにできます。	3-27
ランプ	： 電話着信時やメール受信時、電波状態ランプを点滅／点灯する設定ができます。	1-2 3-28
呼出時間	： メールやライトメール受信時、音／メロディ／バイブレータ／照明による呼び出し時間が設定できます。	3-29

電話 ー マナー タブ

		参照ページ
マナーモード	： マナーモードの設定ができます。	3-30
安全運転	： 安全運転モードの設定ができます。	3-31
伝言メモ	： 伝言メモの設定ができます。	3-12

電話 ー セキュリティ タブ

		参照ページ
通話通信制限	： 通話や通信機能を制限（ロック）します。	3-33
W-SIM ロック	： PIN コードを設定して、PHS 電話機能を使えないようにします。	3-34
リモートロック	： 遠隔操作でこの製品にロックをかけ個人情報などの流出を防ぐ設定ができます。	3-37
着信拒否	： 非通知拒否や指定番号拒否の設定ができます	3-40 ～ 42
位置情報	： 位置情報機能の設定ができます。	3-43
暗証番号変更	： W-SIM の暗証番号（4 桁数字）の変更ができます。	3-36

電話 ー その他 タブ

		参照ページ
電話帳転送	： W-SIM に保存されている電話帳データを連絡先に登録したり、連絡先のデータを W-SIM に書き込みます。	3-44
W-SIM 情報	： この製品に装着している W-SIM のバージョン情報を確認できます。	3-46

音と通知（☞ 9-11 ページ）

音や通知の方法を設定します。

サウンド ：アラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

通知 ：ActiveSync 開始など各種イベントの通知方法を設定します。

◇ システム タブ ◇

システム タブをタップして表示します。

ATOK 設定（☞ 9-12 ページ）
日本語入力に ATOK を使用する／しないを設定したり、ATOK を使った変換方法などを設定します。

External GPS
専用のプログラムを使ってこの製品で緯度や経度などの情報を表示するとき、
外部 GPS 端末から緯度や経度などの情報を取得するための通信ポートや、この製品で動作する専用プログラムの通信ポートなどを設定します。

Windows Update
重要なセキュリティの問題が発生したときにのみ使用します。

WS011SH 情報（☞ 9-21 ページ）
ファームウェアのバージョン情報を確認できます。

エラー報告（☞ 9-15 ページ）
エラーが発生したときに、マイクロソフト社に内容を報告する／しないを設定します。

カスタマ フィードバック
ソフトウェアの改善のためにマイクロソフト社に情報を提供する／しないを設定します。

バックライト（☞ 9-16 ページ）
バックライトの明るさや減光するまでの時間などを設定します。
- バッテリ ：充電池を使っている（AC アダプターを接続していない）ときのバックライトを設定します。
- 外部電源 ：AC アダプターを接続しているときのバックライトを設定します。
- 明るさ ：バックライトの明るさを調節できます。

バージョン情報（☞ 9-20 ページ）
- バージョン ：この製品のバージョン情報などを確認できます。
- デバイス ID ：この製品の名前を設定します。
- 著作権 ：この製品の著作権について確認できます。

パワーマネージメント（☞ 9-18 ページ）
- バッテリ ：充電池（バッテリ）の残量を確認できます。
- 詳細設定 ：最後の操作から一定時間が経過すると、この製品を節電状態にする設定をします。
- USB 給電 ：付属の USB ケーブルでパソコンと接続しているとき、パソコン側から給電する／しないを設定します。
- キー点灯 ：キーボードのキーやダイヤルキーのバックライトの設定ができます。
- 電波状態ランプ ：電波状態ランプを点灯する／しないを設定します。

プログラムの削除（☞ 9-21 ページ）

追加したプログラムを削除します。

ボリューム（☞ 9-22 ページ）

基本設定　：システム音量を設定します。

詳細設定　：スピーカー音量、イヤホンマイク音量、録音音量を個別に設定します。

メモリ（☞ 9-23 ページ）

メイン　：この製品のメモリの使用状況が確認できます。

メモリカード　：装着しているメモリカードの使用状況が確認できます。

実行中のプログラム　：実行中のプログラムを確認できます。

ユーティリティ（☞ 9-24 ～ 25 ページ）

Xcrawl 設定　：Xcrawl（エクスクロール）の動作を設定します。

画面回転設定　：キーボードを開いたときに画面の向きを切り替える／切り替えないを設定します。

地域（☞ 9-25 ページ）

地域、数値、通貨、時刻、日付の各タブで、表示される数値の形式を変更できます。

時計とアラーム（☞ 9-26 ～ 27 ページ）

時刻　：現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

アラーム　：毎週決まった時刻に表示するアラームを設定します。

その他　：プログラムのタイトルバーに時計を表示する／しないを設定します。

暗号化（☞ 9-28 ページ）

microSD カードに保存するときにファイルを暗号化して保存します。
暗号化したファイルは、別の WS011SH やパソコンなど別の機器で開いたり編集などはできません。また、同じ WS011SH でも、本体を完全消去（フォーマット）（☞ 10-6 ページ）した場合、開いたり編集などはできなくなります。
この機能をお使いになるときは、十分ご注意ください。

画面（☞ 9-28 ページ）

全般　：表示方向（縦画面／横画面）の設定や、タッチスクリーンの補正をします。

文字サイズ　：文字のサイズを設定します。

証明書（☞ 9-30 ページ）

個人証明、中間証明、ルート証明が表示されます。

◇ 接続 タブ ◇

接続 タブをタップして表示します。

USB 接続（☞ 7-5、7-25 ページ）

USB 接続 ：パソコンと接続して同期するか、モデムとして使用するかを設定します。

ActiveSync ：同期する場合、接続の方式を設定します。

ネットワークカード（☞ 2-10 ページ）

内蔵ワイヤレス LAN の設定を行います。

ビーム（☞ 7-30 ページ）

赤外線通信対応機器からのデータを受信する／しないを設定します。

接続（☞ 2-16 ページ）

設定 や 詳細設定 タブから、インターネットなどのネットワークに接続する設定をします。

無線 ON ／ OFF（☞ 2-9、2-15 ページ）

W-SIM、内蔵ワイヤレス LAN の通信機能を ON（有効）／ OFF（停止）にします。

アプリケーションプログラムを起動／終了する

アプリケーションプログラムの起動は、次のようにします。
・スタートメニューから起動します。
・プログラム画面のアイコンをタップして起動します。
・画面（表示部）下のキーや、ダイヤルキーを押して起動します。

スタートメニューから起動する

1 画面左上の スタート メニューをタップ、または キーを押します。

2 “連絡先”などをタップします。

① 最近使ったプログラムが表示されます。
② 最近使ったプログラムのアイコンが表示されます。タップすると起動します。

● スタートメニューに表示される内容を変更できます。
変更のしかたについて、くわしくは 9-7 ページをご覧ください。

プログラム画面から起動する

1 画面左上の スタート メニューをタップ、または キーを押します。

2 “プログラム”をタップします。

プログラム画面が表示されます（☞ 1-18 ページ）。

3 プログラム画面で起動したいプログラム（ “画像とビデオ”など）をタップします。

1 基本操作

基本的な使いかた

アプリケーションプログラムを終了する

プログラム表示中に ✕ や ok をタップして画面が消えてもそのプログラムは終了していません。プログラムを終了するために、以下のどちらかの操作を行ってください。

■設定（メモリ）画面でプログラムを選択して終了します。

操作方法は、以下をご覧ください。

1 **以下のどちらかの方法でメモリ画面（実行中のプログラムタブ）を表示します。**

・Today 画面（待ち受け画面）で、アイコンをタップします。
・スタートメニューの“設定”－システムタブ－“メモリ”－実行中のプログラムタブをタップします。

2 **実行中のプログラム一覧から終了したいプログラム名を選び、終了をタップします。**

ご注意
● プログラムの状態によっては、「このプログラムはビジー状態にあるか、ユーザーからの応答を待っている…」というメッセージ（画面）が表示されることがあります。このようなとき、終了してもよければ、タスクの終了をタップします。ただし、このプログラムで保存していないデータは削除されますのでご注意ください。

■通話していない状態で PWR キーを押します。

“予定表”や“Windows Media Player”などのプログラムが終了します。ただし、“メール”、“W-ZERO3 メール”、“ライトメール”、“Sprite Backup”、“ActiveSync”、“ブンコビューア”、“ファイルエクスプローラ”、“Bubble Breaker”、“Picsel PDF Viewer”、“ご購入後に追加したプログラム”などは終了しません。
またインターネット接続中は、回線を切断します。
※内蔵ワイヤレス LAN やこの製品をモデムとして使用しているときは切断しません。

メモリ不足を解消する

動作が遅くなったりデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、メモリ不足を解消してください。
データ記憶用メモリ不足とプログラム実行用メモリ不足の場合があります。くわしくは、9-24 ページをご覧ください。

節電状態で着信する

ご購入時の状態では、最後の操作から一定時間が経過すると節電状態になり画面の電源が切れるように設定されています（☞ 9-18 ページ）。

節電状態になっているとき、次の場合は自動的に電源が入ります。

・ 電話がかかってきたとき
・ ライトメールを受信したとき
・ E メール（ウィルコム）を自動受信したとき
・ 予定表などで設定しているアラーム時刻になったとき

また、以下の操作を行うと電源が入ります。

・ PWRキーを含めていずれかのキーを押したとき
・ パソコンに接続している USB ケーブルを接続したとき

- キーロック中は、キーロックスイッチを解除（☞ 1-7 ページ）すると電源が入ります。
  ※電源キーを押したときは、画面がオンしますが、キーロックはかかったままです。
- 節電状態の設定は変更できます（☞ 9-18 ページ）。
- インターネットに接続しているときや付属の USB ケーブルでパソコンと接続しているとき、Windows Media Player10 で再生中などは、節電状態になりません。

本体の電源を切ったときは

PWRキーを長く押して電源を切ったときは、電話着信やメールなどの受信はできません。
予定表などで設定しているアラーム時刻になっても自動的に電源は入りません。本体の電源を切ったときは、PWRキーを長く押して電源を入れてください。パソコンに接続している USB ケーブルを接続しても電源が入ります。

減光したバックライトを点灯する

設定によってバックライトが最小輝度（☞ 9-16 ページ）になったとき、最小輝度になった画面のバックライトを点灯（元の明るさ）します。

画面をタップしたりキーボードのキーを押します。

ライトが点灯します。

- しばらく操作しないと自動的にライトが最小輝度になります。この設定は変えることができます（☞ 9-16 ページ）。
- ライトを点灯して使用すると、使用時間が短くなります。
  必要なとき以外は、ライトを消したり、明るさを調整して使用することをおすすめします（☞ 9-17 ページ）。
- 「ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトを付ける」設定のチェックを外しているときは、点灯しません（☞ 9-16 ページ）。
- ライトの特性上、ライト点灯時には濃淡のラインが見えますが、故障ではありません。

アラーム通知画面を消す／再通知する

アラームは 2 種類あります。
・予定表や仕事で設定したアラーム（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
・時計から設定したアラーム（☞ 9-27 ページ）
それぞれのアラームで音の種類やバイブの設定ができます。
マナーモードや安全運転モードのときは音は鳴りません。
表示されたアラーム画面は、メニューから内容を確認したり再通知したりできます。

アラーム通知画面を確認する

アラームは、設定した時間になると画面下方に表示されます。

① アラーム通知画面が複数あるときは◀▶をタップして確認します。

MEMO
- 予定や仕事のアラーム通知は、画面右下の［メニュー］－［アイテムの表示］をタップすると詳細画面が表示されます。
  アラーム通知画面を再度表示するときは、画面左下の［アラーム］やタイトルバーの🔔をタップします。

アラーム通知画面を消す

1 **アラームの通知画面で、画面左下の［アラームを消す］をタップします。**

MEMO
- アラーム通知画面が複数あるときは、別の通知画面が表示されます。
- 複数のアラーム通知画面をすべて消すときは、画面右下の［メニュー］－［すべてのアラームを消す］をタップします。

アラームを再通知する

1 **再通知したいアラームの通知画面で、画面右下の［メニュー］をタップし、再通知の時間を選択します。**

・5 分前にアラームを表示する：設定している時間の 5 分前に再通知します。
・5 分後に再通知：今から 5 分後に再通知します。
・15 分後に再通知：今から 15 分後に再通知します。
・1 時間後に再通知：今から 1 時間後に再通知します。
・1 日後に再通知：今から 1 日後に再通知します。

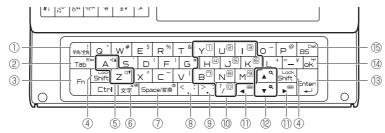
文字入力のしかた

文字を入力するには、次の 3 つの方法があります。
・キーボードを使って入力する（☞下記）
・文字入力パネルを使って入力する（☞ 1-35 ページ）
・ダイヤルキーを使って文字を入力する（☞ 1-43 ページ）

この製品には「ATOK」が搭載されており、推測変換機能（☞ 1-33 ページ）などを使って効率的な文字入力が可能です。
ご購入時は「ATOK」が有効になっていますが、ATOK を使用せずに「Microsoft IME」で文字入力もできます。「ATOK」と「Microsoft IME」の切り替え方法は、9-12 ページをご覧ください。

キーボードの基本操作について

文字入力に必要なキーボードの基本的な役割について説明します。

① (半角/全角 !) キー

・日本語入力システムのオン／オフを切り替えます。
(Fn)キーを押したまま、(半角/全角 !)キーを押すと「！」が入力されます。

② (Tab Esc) キー

・新規作成や編集画面では、次の項目にカーソルやフォーカスが移動します。
・(Fn)キーを押したまま、(Tab Esc)キーを押すと、確定前の文字を削除します。

③ (Fn) キー

・キーの右上側に書かれている記号（！､”､＃など）を入力したり、機能を実行します。
(Fn)キーを押したまま、該当するキーを押します。

④ (Lock Shift) キー

・(Lock Shift)キーを押したまま、(= ー ¥)キーや(? /)キーを押すとキーの左上側の記号（<、>、?、=）が入力されます。
・英字入力時にはたらきます。(Lock Shift)キーを押したまま、文字のキーを押すと、大文字が入力されます（大文字入力状態のときは、小文字が入力されます）。
・(Fn)キーを押したまま、(Lock Shift)キーを押すと、英字を大文字で入力できる状態（Caps Lock）と、小文字で入力できる状態を交互に切り替えます。

⑤ (A) キー、(Z) キー

・(Fn)キーを押したまま、(A)キー、(Z)キーを押すと、この製品のスピーカーの音量を変更できます。
(A)キー：音量が大きくなります。
(Z)キー：音量が小さくなります。

⑥ 文字変換キー（☞次ページ）

- キーボードの文字入力モードが切り替わります。
- Fnキーを押したまま、このキーを押すと、入力中のひらがな／カタカナが漢字に変換されます。もう一度Fnキーを押したまま、このキーを押すと、別の候補が表示されます。

⑦ Space/変換キー

- 入力中のひらがな／カタカナが漢字に変換されます。
- スペースを入力します。
- 漢字変換中にこのキーを押すと、別の候補が表示されます。
- Fnキーを押したままSpace/変換キーを押すと、バックライトの明るさが上がり最大になった後は最小になり、再度明るさが上がります。

⑧ <,;キー

- ひらがな／カタカナ入力時は「、」、英字入力時は「,」が入力されます。
- Fnキーを押したまま、このキーを押すと、「；」が入力されます。
- Shift Lockキーを押したまま、<,;キーを押すと「<」が入力されます。

⑨ >.:キー

- ひらがな／カタカナ入力時は「。」、英字入力時は「.」が入力されます。
- Fnキーを押したまま、このキーを押すと、「：」が入力されます。
- Shift Lockキーを押したまま、>.:キーを押すと「>」が入力されます。

⑩ 数字キー

- Fnキーを押したまま、数字キーを押して数字を入力します。

⑪ ◀キー、▶キー

- カーソルを左右に移動します。
- Fnキーを押したまま◀キーや▶キーを押すと、メニューバーに表示されている機能を実行します。例えば、“連絡先”の一覧画面（メニューバーに 新規作成 、 メニュー が表示）でFnキーを押したまま◀キーを押すと新規作成画面が表示され／▶キーを押すとメニューが表示されます。

⑫ ▼キー、▲キー

- カーソルを上下に移動します。
- Fnキーを押したまま、▼キー、▲キーを押すと、Excel Mobile や Word Mobile などで文字サイズを変更できます。

⑬ Enterキー

- 変換中の文字があるときは、その文字を確定します。
- 変換中の文字がないときは、改行します。

⑭ okキー

- ok または ✕ をタップするのと同じはたらきをします。
- Fnキーを押したままokキーを押すと、ワイヤレス LAN のオン／オフを切り替えることができます。

⑮ BS Delキー

- カーソルの前（左側）の文字が削除されます。
- Fnキーを押したままこのキーを押すと、カーソルの後ろ（右側）の文字が削除されます。
- 漢字変換中は、変換を取り消します。

MEMO

- **アンダーバーを入力するときは**
  Fnキーを押したままO－（アルファベットのオー）キーを押します。

キーボードを使って文字を入力する

ここでは、キーボードを使った文字の入力方法について説明します。
まずは、文字を入力する前に入力モードを確認します。

入力モードの確認と切り替え

キーボードで文字を入力するときの入力モードは、画面下に表示されます。
入力モードの切り替えは、キーボードの(文字 変換)キーを押します。

① 入力モードが表示されます。

- あ：「ひらがな」の入力になります。
- カ：「全角カタカナ」の入力になります。
- ｶ：「半角カタカナ」の入力になります。
- Ａ：「全角英字」の入力になります。
- A：「半角英字」の入力になります。

ローマ字でひらがなや漢字を入力する

1-31 ～ 34 ページの文字入力は、ATOK、Microsoft IME 共通です。ただし、Microsoft IME にした場合、推測変換候補ウィンドウは表示されません。
ローマ字でひらがなを入力し（☞「ローマ字→かな変換表」10-19 ページ）、漢字に変換します。

（例）Word Mobile で「はいしゃ」と入力して、「配車」に変換します。

1 **Word Mobile の新規画面を表示します（☞『アプリケーションマニュアル .pdf』「Word Mobile」）。**

2 **入力モードが あ になっていることを確認します。**
カ などになっているときは、キーボードの(文字 変換)キーを数回押し、あ にします。

3 **キーボードから「はいしゃ」と入力します。**
(H) (A) (I) (S) (Y) (A) キーを順に押します。

① ATOK の推測変換機能を有効にしている場合、文字を入力すると推測変換候補ウィンドウが表示されます。
このウィンドウを使った文字の入力方法については 1-33 ページをご覧ください。

4 **Space/変換キーを押します。**

「歯医者」と変換されます。

5 **続けてSpace/変換キーを押します。**

Space/変換キーを押すたびに、別の変換候補が表示されます。
入力したい語（ここでは「配車」）が表示されるまで、Space/変換キーを数回押します。

MEMO
- Fnキーを押したまま、文字/変換キーを押しても、別の変換候補が表示されます。
- 推測変換候補ウィンドウが表示されていない場合は、▼キーまたは▲キーを押しても、別の変換候補が表示されます。

6 **Enterキーを押します。**

選択した変換候補が確定されます。

MEMO
- 入力したい漢字が表示されないときは、手書き入力で入力してみてください（☞ 1-39ページ）。

変換中の漢字を別の漢字にする

複数の文節の読みを入力して変換します。

（例）「新しい企画を提案する」を「新しい規格を提案する」に変換します。

1 **「あたらしいきかくをていあんする」を入力します。**

2 **Space/変換キーを押します。**

3 **Lock Shiftキーを押したまま、▶キーを押します。**

カーソルが次の文節に移ります。

MEMO
- Lock Shiftキーを押したまま、◀キーを押すと、カーソルが前の文節に移ります。
- ◀キーまたは▶キーで文節の区切りを変更することができます。
- Microsoft IME の場合は
  文節を移る場合は、◀キーまたは▶キーを押します。
  文節の区切りを変更する場合は、Lock Shiftキーを押したまま、◀キーまたは▶キーを押します。

4 **Space/変換キーを押します。**

Space/変換キーを押すたびに、別の変換候補が表示されます。
入力したい語が表示されるまで、Space/変換キーを数回押します。

5 **Lock Shiftキーを押したまま、▶キーを押します。**

手順 **4** で選択した変換候補が入り、カーソルが次の文節に移ります。

MEMO
- 続けて文字を変換する場合は手順 **4** ～ **5** を繰り返します。
- Microsoft IME の場合は、Lock Shiftキーを押さずに▶キーを押します。

6 **Enterキーを押します。**

推測変換機能を使って文字を入力する（ATOK のみ）

推測変換機能を有効にしている場合、文字を入力すると、入力した文字から推測される語句の候補を推測変換候補ウィンドウに表示します。
表示された変換候補から目的の語を選択して漢字やひらがな、数字、英字を入力することができます。キーを押す回数が少なくなるので便利です。
ご購入時は推測変換機能が使える状態になっています。無効にする場合は、9-12 ページをご覧ください。

1 **文字を入力します。**

① 推測変換候補ウィンドウが表示されます。

1 文字ずつ文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。

2 **文字を入力していき、変換したい語が推測変換候補ウィンドウに表示されたら、▼キーを押します。**

推測変換候補ウィンドウの変換候補を選択できるようになります。

3 **▼キーまたは▲キーで入力したい語を選択し、Enterキーを押します。**

選択した変換候補が確定されます。

---

① 入力した文字が確定されると、その後に続く変換候補が表示されます。

「おはよう」と入力して確定すると、推測変換候補ウィンドウに「ござい」などが表示されます。

続けて、推測変換候補ウィンドウに表示されている変換候補から変換を行っていくだけで、「おはようございます。」などの文章を入力することができます。

- 推測変換候補ウィンドウに表示されている変換候補をタップしても、語の入力ができます。
- 推測変換候補ウィンドウの 閉じる または、右上にある ✕ をタップすると、推測変換候補ウィンドウの表示が消え、文字の入力が取り消されます。
- 一度変換すると、変換した語が学習され、推測変換候補ウィンドウに優先して表示されます。

文字入力パネルについて

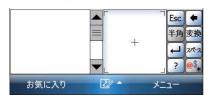
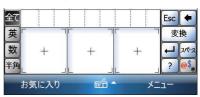
文字入力パネルには、画面に表示されるキーをタップして文字を入力する「キーボード入力パネル」と手書き文字を入力する「手書き入力パネル」があります。

■キーボード入力パネル

「ひらがな／カタカナ」入力パネル

「ローマ字／かな」入力パネル

■手書き入力パネル

「手書き検索」入力パネル

「手書き入力」入力パネル

文字入力パネルを表示する

1 **画面下のあなどをタップします。**

文字入力パネルが表示されます。

① 文字入力パネルの表示／非表示を切り替えます。
表示している文字入力パネルによって、次のアイコンが表示されます。
あ：「ひらがな／カタカナ」入力パネル
A：「ローマ字／かな」入力パネル
：「手書き検索」入力パネル
：「手書き入力」入力パネル

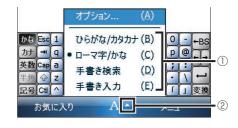
MEMO
- 文字入力パネルは一度表示すると、文字を入力する画面で常に表示されるようになります。

表示している文字入力パネルを消す

1 **画面下の A などをタップするか、キーボードの各キーやダイヤルキーを押します。**

表示している文字入力パネルが消えます。

文字入力パネルを切り替える

1 **画面下の A などの右横の ▲ をタップし、表示されたメニューから使用したい文字入力パネルをタップします。**

① 使用したい文字入力パネルを選びます。

② 使用可能な文字入力パネルのリストが表示されます。

候補の語を表示して文字を入力する（推測変換機能）

文字を入力すると、入力した文字から推測される語句の候補を表示させて、候補の文字をタップして文字入力ができます。
また、文字を確定すると、これまでの文字入力の履歴より次に続く文字を推測して語句の候補を表示し、文字入力を続けることができます（推測変換機能を有効にしている場合☞ 9-12 ページ）。

① 入力した文字より推測される候補が表示されます。
表示された候補をタップすると、文字が確定されます。

キーボード入力パネルを使って文字を入力する

画面に表示されるキーをタップして、文字を入力します。
文字入力は、キーボードを使った文字入力と同じようにできます。
入力のしかたについては、1-31 ページをご覧ください。

ご注意
- スタイラスで画面をタップしたり文字を入力するとき、手が画面に触れないように注意してください。

「ひらがな／カタカナ」入力パネルについて

① **かな**	ひらがなキーボードに切り替わります。
② **カナ**	カタカナキーボードに切り替わります。
③ **小字**	タップし反転させると、「っ」、「ょ」などの小文字を入力できます（反転すると、小文字で入力できる文字のキートップが小さく表示されます）。１文字入力すると解除されます。
④ **半角**	カタカナキーボードと記号入力パネルのとき半角カタカナ、半角記号を入力します。
⑤ **記号**	記号入力パネルに切り替わります（☞次ページ）。
⑥ °	半濁音（半濁点）を入力します。 たとえば、「ぴ」を入力するときは、ひをタップし、°をタップします。
⑦ ﾞ	濁音（濁点）を入力します。 たとえば、「が」を入力するときは、かをタップし、ﾞをタップします。
⑧ ← BS	カーソルの前（左側）の文字を削除します。
⑨ ←　→	カーソルを左右に移動します。
⑩ **空白**	スペースを入力します。
⑪ ↵	Enterキーと同じはたらきをします。 ・ 変換中の文字があるときは、その文字を確定します。 ・ 変換中の文字がないときは、改行します。
⑫ **変換**	入力したひらがななどを漢字に変換します。

「ローマ字／かな」入力パネルについて

① かな	ローマ字でひらがなを入力します。
② カナ	ローマ字でカタカナを入力します。
③ 英数	英数字を入力します。
④ 半角	カタカナ、英数字、記号を半角で入力します。
⑤ 記号	記号入力パネルに切り替わります（☞下記）。
⑥ ⇧	タップして反転させておくと英字の大文字や！、＃、＄などの記号を入力できます。1 文字入力すると元に戻ります。
⑦ Ctl	Ctrl キーとしてはたらきます。英数字と組み合わせて機能を実行します。
⑧ Esc	・ATOK の場合、変換中の文字を削除します。 Microsoft IME の場合は、変換中の文字に対して、変換を取り消します。 ・変換前の文字を削除します。
⑨ ➡I	タブを入力します。
⑩ Cap	英字を入力するとき、タップして反転させておくと大文字を入力できます。
⑪ ← BS	カーソルの前（左側）の文字を削除します。
⑫ ←　→	カーソルを左右に移動します。
⑬ ↵	Enter キーと同じはたらきをします。 ・　変換中の文字があるときは、その文字を確定します。 ・　変換中の文字がないときは、改行します。
⑭ 変換	入力したひらがななどを漢字に変換します。
⑮ スペース	ATOK の場合、入力したひらがななどを漢字に変換します。 Microsoft IME の場合は、スペースを入力します。

● **「記号」入力パネルについて**

「ひらがな／カタカナ」入力パネルや「ローマ字／かな」入力パネルで、記号をタップすると記号入力パネルが表示されます。
全角／半角の記号を入力できます。

手書き入力パネルを使って文字を入力する

付属のスタイラスを使って、手書きでひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力します。

「手書き検索」入力パネルで文字を入力する

「手書き検索」入力パネルで文字を入力します。

（例）「液」と手書きして変換します。

1 **「手書き検索」入力パネルを表示します（☞ 1-36 ページ）。**

2 **手書き入力枠に「液」と手書き入力します。**
手書きした文字の候補が入力パネルの左側に表示されます。

3 **認識候補から「液」をタップすると、「液」が入力されます。**

4 **[↵] をタップすると、「液」の文字が確定されます。**

① **認識候補**	手書き入力枠に手書きした文字の候補が表示されます。入力したい文字をタップします。
② **手書き入力枠**	手書き入力します。
③ ←	手書き中にタップすると、最後の 1 画が消去されます。手書き入力枠に何もないときは、カーソルの前（左側）の文字を削除します。
④ **半角**	タップして反転した状態でカタカナや英数字などを手書きし認識候補から選択すると、半角のカタカナや英数字を入力できます。
⑤ **?**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

1 基本操作

文字入力

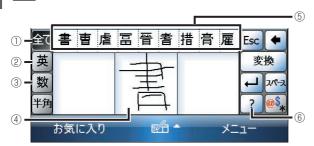
「手書き入力」入力パネルで文字を入力する

1 「手書き入力」入力パネルを表示します（☞ 1-36 ページ）。

2 枠に 1 文字ずつ手書きします。

・枠に文字を手書きすると認識されて、すぐに候補欄に認識候補が表示されます。
・別の枠に次の文字を書き始めると、候補欄の左端の候補が自動的に選択されます。
・別の枠に文字を書かないときは、しばらくしたあと候補欄の左端の候補が自動的に選択されます（選択される前に別の候補をタップすると、その文字が選択されます）。
・どの枠から書いてもかまいません。先に手書きした文字から認識します。

3 ひらがなを手書きし漢字に変換するときは、変換 をタップします。

4 ↵ をタップすると、文字が確定されます。

① **全て**	手書きした文字を認識するとき、ひらがな、漢字などすべての種類を候補にします。
② **英**	手書きした文字を認識するとき、英字および記号を候補にします。
③ **数**	手書きした文字を認識するとき、数字および記号を候補にします。
④ **手書き入力枠**	付属のスタイラスで 1 枠に 1 文字ずつ手書きします。
⑤ **候補欄**	認識された文字の候補が表示されます。入力したい文字を選択します。
⑥ **？**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

■ 認識した文字を別の文字に変える

誤って選択した文字（確定する前の文字）を、別の文字に変えることができます。
この操作は文字入力が Microsoft IME になっているときだけです。

1 手書きで文字を入力します。

2 別の文字に変えたい文字の左側にカーソルを移動します。

候補メニューが表示されます。

3 目的の文字をタップし、（アクション）キーまたは（Enter）キーを押します。

MEMO
- 文字を確定した後、上記の方法で別の文字に変えることはできません。
  確定後に文字を変更するときは、目的の文字を削除してから再度入力します。

■ 選択されるまでの時間を変更する

認識された文字が、認識候補の中から自動的に選択されるまでの時間を変更できます。

1 [スタート] メニューの “設定” をタップします。

2 設定画面で [個人用] タブをタップし、 “入力” をタップします。

3 [入力方法] タブで、「入力方法」の右横の▼をタップして「手書き入力」を選択し、[オプション] をタップします。

「手書き入力のオプション」設定画面が表示されます。

①「手書き入力」を選びます。

1 基本操作

文字入力

4 「タイムアウトを使用」のチェックボックスにチェックが付いていることを確認し、「タイムアウト値」の数値を変えます。

① 数値を変更します。
この数値の単位は、「秒」です。

- 「タイムアウトを使用」のチェックを外すと、自動的に選択されなくなります。
このときは、候補の中から目的の文字をタップします。

5 選択されるまでの時間の変更が終わったら、ok をタップします。

■ 手書き認識の入力枠の数を変更する

1 「手書き入力のオプション」設定画面で、「3 つの入力ボックス」のチェックを外します。

① チェックを外すと、入力枠は 2 つになります。

2 入力枠数の変更が終わったら、ok をタップします。

ダイヤルキーの基本操作について

文字入力に必要なダイヤルキー（画面（表示部）下のキー）の基本的な役割について説明します。

● キーボードを引き出しているとき、ダイヤルキーは数字入力（固定）になります。
このときタイトルバーの文字入力モードのアイコンは ① になります。

● Microsoft IME で文字入力しているときは、ダイヤルキーを使った文字の変換はできません。

ダイヤルキーの入力モードの確認と切り替え

ダイヤルキーで文字を入力するときの入力モードは、画面上に表示されます。
入力モードの切り替えは、画面（表示部）下の 文字 キーを押します。

① 選択中の入力モード

② 文字 キーを押すたびに入力モードが切り替わります。

あ ：「ひらがな」の入力になります。
カ ：「全角カタカナ」の入力になります。
␣カ ：「半角カタカナ」の入力になります。
A ：「全角英字（大文字）」の入力になります。
a ：「全角英字（小文字）」の入力になります。
␣A ：「半角英字（大文字）」の入力になります。
␣a ：「半角英字（小文字）」の入力になります。
␣1 ：「半角数字」の入力になります。

ダイヤルキーの割り当てについて

ダイヤルキーには複数の文字や記号が割り当てられており、押す回数によって表示が切り替わります。

<table>
<tr><th>キー</th><th>かな漢字変換</th><th>カナ
[全角／半角]※1</th><th>英大文字
[全角／半角]※1</th><th>英小文字
[全角／半角]※1</th><th>半角数字※5</th></tr>
<tr><td>1 あ ./@</td><td>あいうえお
ぁぃぅぇぉ</td><td>アイウエオ
ァィゥェォ</td><td>.／_@1</td><td>.／_@1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2 か ABC</td><td>かきくけこ</td><td>カキクケコ</td><td>ABCabc2</td><td>abc2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3 さ DEF</td><td>さしすせそ</td><td>サシスセソ</td><td>DEFdef3</td><td>def3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4 た GHI</td><td>たちつてとっ</td><td>タチツテトッ</td><td>GHIghi4</td><td>ghi4</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5 な JKL</td><td>なにぬねの</td><td>ナニヌネノ</td><td>JKLjkl5</td><td>jkl5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6 は MNO</td><td>はひふへほ</td><td>ハヒフヘホ</td><td>MNOmno6</td><td>mno6</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7 ま PQRS</td><td>まみむめも</td><td>マミムメモ</td><td>PQRSpqrs7</td><td>pqrs7</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8 や TUV</td><td>やゆよゃゅょ</td><td>ヤユヨャュョ</td><td>TUVtuv8</td><td>tuv8</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9 ら WXYZ</td><td>らりるれろ</td><td>ラリルレロ</td><td>WXYZwxyz9</td><td>wxyz9</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0 わ をん</td><td>わをん□(スペース)</td><td>ワヲン□(スペース)</td><td colspan="2">□(スペース)$%+<=>[]^'{|}o</td><td>0</td></tr>
<tr><td>* ゛゜ マナー</td><td colspan="2">゛゜※2 ※3
↵(改行)※4</td><td colspan="2">↵(改行)</td><td>*</td></tr>
<tr><td>#</td><td>ー 、 。 ! ? ・</td><td>[全角]ー、。!?･
[半角]-､｡!?･~()'":;¥&</td><td colspan="2">[全角]ー,.!?･
[半角]-,.!?~()'":;¥&</td><td>#</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">・ 入力中の文字がある場合、文字を変換
・ 変換中以外ではカーソル上へ移動</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">・ 入力中の文字がある場合は、推測変換候補ウィンドウにカーソルが移動
・ 推測変換候補ウィンドウ内では、次の候補へ移動
・ 変換中以外ではカーソル下へ移動</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">カーソル左へ移動</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">カーソル右へ移動</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="5">決定※4</td></tr>
<tr><td>クリア</td><td colspan="5">カーソルの前(左側)の1文字を削除</td></tr>
<tr><td>文字</td><td colspan="5">入力モードの切り替え</td></tr>
</table>

※1: 全角モードの場合は全角、半角モードの場合は半角の文字が入力されます。
全角と半角で入力が違うキーについては、[全角]または[半角]で違いを記載しています。

※2: か／さ／た行の入力中の文字がある場合は、濁音(濁点)の文字が表示されます。また、は行の場合は次にキーを押すと、濁音(濁点)／半濁音(半濁点)の文字が表示されます。
上記以外の文字がある場合や入力中の文字がある場合は、「゛」「゜」が1文字として表示されます。

※3: か／さ／た／は行以外で未確定の文字があるときは、「゛」「゜」を単独文字として入力します。

※4: 未確定文字がない場合に改行します。

※5: キーボードを出しているとき、ダイヤルキーを押すと、0～9、*、#のみ入力できます。
またキーボードを出しているとき、ダイヤルキーの 文字 キーを押しても入力モードは切り替わりません。

ダイヤルキーを使って文字を入力する

ここでは、ダイヤルキーを使った文字の入力方法について説明します。まずは、文字を入力する前にダイヤルキーの入力モードを確認します。

候補の語を表示して文字を入力する

文字を入力すると、入力した文字から推測される語句の候補を、推測変換候補ウィンドウに表示します（推測変換機能を有効にしている場合☞ 9-12 ページ）。
表示された変換候補から目的の語を選択して漢字やひらがな、数字、英字を入力することができます。キーを押す回数が少なくなるので便利です。

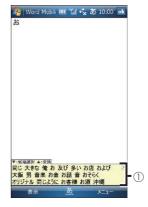
- 日本語入力のしかたを Microsoft IME に設定している場合（☞ 9-14 ページ）、ダイヤルキーを使った文字の変換はできません。

1 Word Mobile の新規画面を表示します（☞『アプリケーションマニュアル .pdf』「Word Mobile」）。

2 入力モードがあになっていることを確認します。
カなどになっているときは、画面（表示部）下の 文字 キーを押しあにします。

3 ダイヤルキーを使って文字を入力します。
ダイヤルキーの文字割り当ては前ページをご覧ください。

① 推測変換候補ウィンドウが表示されます。

1 文字ずつ文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。

- 同じ文字や同じ行の文字などを続けて入力する場合は、（カーソル）キーの右を押してから入力します。

  （例）「あいかぎ」と入力する。
  1 ◎ 1 1 2 ◎ 2 2 ＊ キーを順に押します。

4 文字を入力していき、変換したい語が推測変換候補ウィンドウに表示されたら、(カーソル)キーの下を押します。

推測変換候補ウィンドウの変換候補を選択できるようになります。

MEMO

- ATOK 設定で「推測変換を有効にする」のチェックを外している場合（☞ 9-12 ページ）、文字を入力してから(カーソル)キーの下を押すと文字が変換されます。

5 (カーソル)キーの下または上で入力したい語を選択し、(アクション)キーを押します。

選択した変換候補が確定されます。

① 入力した文字が確定されると、その後に続く変換候補が表示されます。

推測変換候補ウィンドウの候補は(カーソル)キーの上下を使って選択します。
「おはよう」と入力して確定すると、推測変換候補ウィンドウに「ござい」などが表示されます。
続けて、推測変換候補ウィンドウに表示されている変換候補から変換を行っていくだけで、「おはようございます。」などの文章を入力することができます。

MEMO

- 推測変換候補ウィンドウに表示されている変換候補をタップしても、語の入力ができます。
- 推測変換候補ウィンドウの 閉じる または、右上にある ☒ をタップすると、推測変換候補ウィンドウの表示が消え、文字の入力が取り消されます。
- 一度変換すると、変換した語が学習され、推測変換候補ウィンドウに優先して表示されます。

変換中の漢字を別の漢字にする

複数の文節の読みを入力して変換します。

（例）「新しい企画を提案する」を「新しい規格を提案する」に変換します。

1 「あたらしいきかくをていあんする」を入力します。

2 (カーソル)キーの上を押します。

3 (アクション)キーを押します。

最初の文節（ここでは「新しい」）が確定され、カーソルが次の文節に移ります。

4 (カーソル)キーの下または上を押します。

(カーソル)キーの下または上を押すたびに、別の変換候補が表示されます。
入力したい語が表示されるまで、(カーソル)キーの下または上を数回押します。

5 (アクション)キーを押します。

カーソルが次の文節に移ります。

- 続けて文字を変換する場合は手順 **4** ～ **5** を繰り返します。

6 最後の文節で(アクション)キーを押します。

最後の文節が確定されます。

文字を編集する

文字を追加する

1 追加したい場所にカーソルを移動させます。

(▲)(▼)(◀)(▶)キーまたは(カーソル)キーの上下左右でカーソルを移動させるか、文字を追加したい場所をタップします。

2 文字を入力します。

カーソルの位置に文字が追加されます。

文字を削除する

1 削除したい文字の直後にカーソルを移動させます。

複数の文字を削除したい場合は、画面をなぞって文字列を反転させます。キーボードを使っているときは、(Lock Shift)キーを押しながら(▶)キーまたは(◀)キーを押すと複数の文字を選択できます。

2 (BS Del)キーまたは[クリア]キーを押します。

・複数文字削除の場合は、反転していた範囲がすべて削除されます。
・1 文字削除の場合は、カーソルの直前の文字が削除されます。

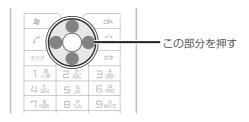
MEMO
● キーボード入力パネルのときは、[← BS]をタップします。
手書き入力パネルでは、[◀]をタップします。

カーソルキーを使う（Xcrawl）

(カーソル)キーには、次のような機能があります。

・カーソルを一つずつ上下左右に動かす（4方向）
・なぞってカーソルを動かす（スクロール機能）
・カーソルを一つずつ8方向に動かす

この製品では、これらの機能を合わせてXcrawl（エクスクロール）と呼びます。
ご購入時は､4方向とスクロール機能が使えます。8方向に動かすには､設定の変更が必要です。(☞9-24ページ)

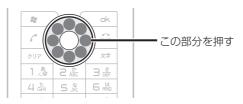
■ カーソルを一つずつ上下左右に動かす（4方向）

■ なぞってカーソルを動かす（スクロール機能）

選択項目やファイルの数が多いときなどに便利です。

連絡先

プログラム画面

■ カーソルを一つずつ8方向に動かす

対応しているアプリケーションのみで動作します。

クイックメモ（メモ）を使う

Today 画面からクイックメモ（メモ）を入力することができます。書いたクイックメモ（メモ）はプレビューとして Today 画面に表示され、詳細の確認（1 件表示）ができます。また、通話中に入力したメモも表示されます。通話中にクイックメモ（メモ）を入力する方法は、3-5 ページをご覧ください。ここでは、Today 画面からクイックメモ（メモ）を入力したり、1 件表示する方法を記載しています。

クイックメモ（メモ）を入力する

1 **Today 画面を表示します。**

① 次のメモ、前のメモを表示します。
　表示されるメモの件数は、最大 20 件です。

② 新規のメモを書きます。
　21 件目を作成すると、一番古いメモから「古いメモ」フォルダに入りプレビュー画面に表示されなくなります（「古いメモ」フォルダは「My Documents」フォルダ内の「クイックメモ」フォルダの中にあります。ファイルエクスプローラを起動してフォルダを見ることができます）。

③ 表示しているメモを削除します。
　※この製品から削除されますので、ご注意ください。

2 **をタップします。**

新規入力画面が表示されます。

3 **メモを入力します。**

・付属のスタイラスを使って画面に文字やイラストを手書きできます。
・キーボードから文字を入力できます。

4 **画面右上の ok をタップします。**

手順 **3** で入力した内容が保存され、Today 画面のプレビューに表示されます。
ファイル名は YYYYMMDD_HHMMSS（たとえば、「20081120_153021」）になり、「My Documents」フォルダ内の「クイックメモ」フォルダの中に保存されます。

- クイックメモ（メモ）を入力した場合、Today 画面のプレビューで見ると改行位置が違います。また、手書きした場合、文字が分かれる（たとえば、漢字がへんとつくりに分かれる）ことがあります。１件表示画面に切り替えると、入力時と同じように表示できます。
- クイックメモ（メモ）は、“メモ”プログラムが起動して新規入力画面や１件表示画面を表示しています。メモの入力方法については、付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル（☞ 42 ページ）をご覧ください。
- プログラム画面から“メモ”を起動しメモを作った場合、ファイル名は「メモ 1」「メモ 2」などになり、保存先は一覧画面で表示しているフォルダに入ります（「すべてのフォルダ」を選択している場合は、「My Documents」フォルダの中に入ります）。また、Today 画面のプレビューには表示されません。

クイックメモ（メモ）を表示する

1 **Today 画面で、 や をタップしてプレビューを選択します。**

2 **プレビューをタップします。**
１件表示されます。

3 **画面右上の ok をタップします。**
Today 画面に戻ります。

ホームメニューを使う

ホームメニューの概要

ホームメニューは、よく使うプログラムや設定のアイコンを集めた画面です。この画面からプログラムや各種設定画面を起動できます。
この製品には、次の２つのホームメニューがあります。
●Standard ホームメニュー　：次ページ
●Roller ホームメニュー　　：1-59 ページ
Standard ホームメニューと Roller ホームメニューとでは、内容に違いがありますが、どちらもホームメニュー画面からプログラムや各種設定画面を起動できます。
尚、Standard ホームメニューは表示するアイコンを変更することができます（☞ 1-56 ページ）。

使用するホームメニューを設定する

ご購入時、Today画面（待ち受け画面）で(アクション)キーを押すとStandardホームメニュー画面が起動するようになっています。起動する画面をRollerホームメニュー画面に変更するには、次のようにします。

1 [スタート]メニューの “設定” をタップして、 “Today” をタップします。

2 [ホームメニュー選択]タブをタップします。

3 Today設定画面（[ホームメニュー選択]タブ）で、[Roller]を選択します（☞9-3ページ）。

4 設定が終わったら、画面右上の[ok]をタップします。

Standardホームメニューの使いかた

1 Today画面（待ち受け画面）で(アクション)キーを押します。

※(アクション)キーは、カーソルキーの中央のキーです。
Standardホームメニューが表示されます。

① ダイヤルキー（0～9, ＊, ＃）を押すと対応するプログラムが起動したり、設定画面が表示されます。
② タップすると、プログラムが起動したり、設定画面が表示されます。
③ や などのアイコンをタップすると、サブメニューのアイコンが表示されます。元の画面に戻るときは画面左下の[戻る]をタップします。

ご購入時は、プログラムや設定のアイコンが12個表示されます。

2 アイコンをタップしてプログラムを起動したり、設定画面を開いたりします。

MEMO

- (アクション)キーの設定が「選択」になっているときは（☞9-3ページ）
  Today画面（待ち受け画面）で[スタート]－[プログラム]－[ホームメニュー]をタップし、表示された画面で[StandardMenu]をタップするとStandardホームメニュー画面が起動します。
- Standardホームメニュー画面の背景画像や文字色などは変更できます。
  変更のしかたについて、くわしくは1-58ページをご覧ください。

ご購入時の Standard ホームメニュー画面について

ご購入時、Standard ホームメニュー画面には 12 個のアイコンが表示されます。ここでは、このアイコンをタップするとどのプログラムや設定画面などが起動するかを説明しています。

1 **Internet**（☞ 5-3 ページ）

Opera Browser でホームページを閲覧できます。

2 **E メール**（☞ 4-3 ページ）

W-ZERO 3 メールでメールを送受信できます。

3 **ライトメール**（☞ 4-76 ページ）

ライトメール対応機種同士でライトメールを送受信できます。

4 **エンターテイメント**

ゲームなどの「エンターテイメント」メニューが表示されます。

5 **電話帳**

連絡先の一覧が表示されます。

6 **Music&Movie**（☞ 6-21 ページ）

Windows Media Player で音楽やビデオ（動画）が楽しめます。

7 **ビジネスアプリ**

文書作成や表計算などの「ビジネスアプリ」メニューが表示されます。

8 **ファイル BOX**（☞ 8-11 ページ）

本体メモリ内のフォルダやファイルが表示されます。

9 **ツール BOX**

「ツール」BOX メニューが表示されます。 ※このメニューの詳細は、次ページをご覧ください。

＊ **設定**

「設定」メニューが表示されます。 ※このメニューの詳細は、1-55 ページをご覧ください。

0 **名刺リーダ**（☞ 6-18 ページ）

名刺リーダの撮影画面が表示されます。

赤外線（☞ 7-34 ページ）

赤外線通信機能を使って自分の名前 / 住所などを他の WS011SH に送信 / 受信する画面が表示されます。

「ツール BOX」メニュー画面

Standard ホームメニュー画面で「ツール BOX」アイコンをタップして表示される「ツール BOX」メニュー画面について説明しています。

1 カメラ（☞ 6-2 ページ）
カメラの撮影画面が表示されます。

2 カレンダー（予定表）（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
予定表でスケジュールが管理できます。

3 仕事（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
期限を決めて仕事の管理ができます。

4 NAVITIME（☞ 8-16 ページ）
地図検索や目的地までの乗換検索、時刻表の検索などができます。

5 電卓（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
10 桁の四則演算ができます。

6 手書きメモ（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
スタイラスを使って画面に手書きしたり、文字入力ができます

7 バーコードリーダ（☞ 6-15 ページ）
QR コードなどを読み取ることができます。

8 ブンコビューア
ブンコビューアで XMDF 形式の電子書籍が読めます。

9 画像とビデオ（☞ 6-8 ページ）
静止画（画像）やビデオ（動画）の一覧が表示されます。

＊ 辞書登録（☞ 9-14 ページ）
ATOK のユーザー辞書画面が表示されます。

0 検索（☞ 1-70 ページ）
My Documents フォルダ内のファイルや予定表、連絡先などに含まれる文字を検索できます。

 # アプリ一覧（☞ 8-11 ページ）
ファイルエクスプローラのプログラム一覧画面が表示されます。

「設定」メニュー画面

Standard ホームメニュー画面で「設定」アイコンをタップして表示される「設定」メニュー画面について説明しています。

1 着信音（☞ 3-22 ページ）
電話設定画面（呼出タブ）が表示されます。

2 操作音（☞ 9-11 ページ）
音と通知設定画面（サウンドタブ）が表示されます。

3 マナー（☞ 3-12、3-30、3-31 ページ）
電話設定画面（マナータブ）が表示されます。

4 壁紙（☞ 9-4 ページ）
静止画（画像）やビデオ（動画）の一覧が表示され、この画面から壁紙（背景）を設定できます。

5 バックライト（☞ 9-17 ページ）
バックライト設定画面（明るさタブ）が表示されます。

6 文字サイズ（☞ 9-29 ページ）
画面設定画面（文字サイズタブ）が表示されます。

7 時計とアラーム（☞ 9-26 ページ）
時計とアラーム画面（時刻タブ）が表示されます。

8 セキュリティ（☞ 9-8 ページ）
パスワード設定画面が表示されます。

9 カスタムキー（☞ 9-6 ページ）
ボタン設定画面（プログラムボタンタブ）が表示されます。

＊ ボリューム（☞ 9-22 ページ）
ボリューム設定画面（基本設定タブ）が表示されます。

0 PHS 番号（☞ 3-16 ページ）
自分の電話番号が表示されます。

 # パワーマネージメント（☞ 9-18 ページ）
パワーマネージメント設定画面（詳細設定タブ）が表示されます。

Standard ホームメニューの内容を変更する

1 **Standard ホームメニュー画面右下の メニュー － カスタマイズ をタップします。**

カスタマイズ画面が表示されます。

① 左端の行の０～９, ＊ , ＃は Standard ホームメニュー画面に対応しています。

② この行の０～９, ＊ , ＃は、１つ中に入ったメニュー画面の０～９, ＊ , ＃に対応しています。この例では、エンターテイメントの中の１～３を示しています。

2 **追加 や 編集 などをタップし、表示された画面で Standard ホームメニューの内容を変更します。**

変更のしかたについて、くわしくはこのページから 1-58 ページをご覧ください。

3 **変更し終わったら、ok をタップします。**

Standard ホームメニュー画面に戻ります。

アイコンを追加する

Standard ホームメニュー画面に表示できるアイコンは 12 個までです。ご購入時は 12 個表示されていますので、不要なアイコンを削除（☞ 1-58 ページ）したのち新しいアイコンを追加します。
また、表示されているアイコンを編集（☞次ページ）しても別のプログラムや設定を表示できます。

1 **カスタマイズ画面の 追加 をタップします。**

追加するアイコンの種類を選ぶ画面が表示されます。

2 **プログラム または フォルダ をタップします。**

編集画面が表示されます。

3 表示名を入力し、キーやプログラム名などを設定します。

① 各アイコンの下に表示される名前を入力します。
手順 **2** でフォルダを選択したときは、フォルダを作ることになり、②〜③の選択はできません。

② ▼をタップして表示されたメニューからプログラムを選択します。

③ アイコンを追加する場合 ：選択できません。
アイコンを編集する場合 ：各アイコンに対応するダイヤルキーを選択します。
0 〜 9, ＊ , ＃を選択できます。

④ 各アイコンの画像を選択します。 選択 をタップしフォルダを切り替えて画像ファイルを選択します。

⑤ アイコンをカーソル枠で選択しているときの画像を選択します。 選択 をタップし、フォルダを切り替えて画像ファイルを選択します。
選択していないときと選択中でアイコンを変えない場合は、選択する必要はありません。

⑥ アイコンとアイコン（選択中）を選択しているプログラムに対応したアイコンに戻します。

MEMO
- Standard ホームメニュー画面にフォルダを作ったとき（手順 **2** で フォルダ を選択）は、そのフォルダの中にプログラムを設定します。カスタマイズ画面で作ったフォルダを選択した後、 追加 をタップし手順 **2** 以降を行います。

4 ok をタップします。

カスタマイズ画面に戻ります。

アイコンを編集する

1 カスタマイズ画面で、編集する項目をタップします。

2 編集 をタップします。

編集画面が表示されます。

3 表示名を入力し、キーやプログラム名などを設定します。

設定の方法は、「アイコンを追加する」の手順 **3** と同様です。
そちらをご覧になり設定してください。

4 ok をタップします。

カスタマイズ画面に戻ります。

アイコンを並べ替える

1 **カスタマイズ画面で、移動する項目をタップします。**

2 **上に または 下に をタップして並べ替えます。**

アイコンを削除する

1 **カスタマイズ画面で、削除する項目をタップします。**

2 **削除 をタップします。**

確認画面が表示されます。

3 **はい をタップします。**

ご購入時の状態に戻す

1 **カスタマイズ画面の 初期化 をタップします。**

確認画面が表示されます。

2 **はい をタップします。**

Standard ホーム画面に戻ります。

背景画像や文字色などを変更する

1 **カスタマイズ画面の オプション をタップします。**

背景画像や文字色などを選ぶ画面が表示されます。

2 **背景にしたい画像ファイル、文字色、選択枠色を選びます。**

① 選択 をタップし背景にする画像ファイルを選びます。

3 **ok をタップします。**

カスタマイズ画面に戻ります。

Standard ホームメニューを終了する

1 **Standard ホームメニュー画面で画面右下の メニュー をタップし、表示されたメニューから 終了 をタップします。**

MEMO
- Standard ホームメニュー画面右上の ✕ をタップしても、Standard ホームメニューは終了しません。
  メモリ画面（ 実行中のプログラム タブ）（☞ 1-26 ページ）を表示しても Standard ホームメニューは表示されませんが、メモリを使用しているため、上記の操作を行って終了します。

Roller ホームメニューの使いかた

1 **スタート － プログラム － ホームメニュー をタップし、表示された画面で RollerMenu をタップして Roller ホームメニュー画面を表示します。**

Roller ホームメニューが表示されます。

MEMO
- ご購入時、Today 画面（待ち受け画面）で (アクション) キーを押すと、Standard ホームメニュー画面が起動します。
  (アクション) キーを押したときに Roller ホームメニュー画面が起動するように変更したい場合は、1-52 ページをご覧になり設定を変更してください。

2 **アイコンを選択し、プログラムを起動したり、設定画面を開いたりします。**
カーソルキーを使う場合と画面をタップする場合それぞれを説明しています。

① (カーソル) キーでアイコンを選択し、(アクション) キーを押します。
アイコンをタップしてプログラムを起動させたり、設定画面を表示させたりもできます。

② 上下のカーソルキーで Roller を回します。
Roller を上下になぞっても回すことができます。

③ 選択されたアイコンが表示されます。
アイコンをタップしてプログラムを起動させたり、設定画面を表示させたりできます。

アイコンによってはサブメニューが表示されます。
例えば アイコンや アイコンをタップすると、サブメニューが表示されます。
元の画面に戻るときは 戻る アイコンをタップします。

1 基本操作

ホームメニュー

カーソルキーでアイコンを選択し、アクションキーを押す場合

1 カーソルキーの左右を押して、「ビジネス」、「エンターテイメント」、「セッティング」の３つのRollerから選択したいアイコンがあるRollerを選択します。
選択されたRollerは他のRollerと比べて中央のアイコンが明るく見えます。

2 カーソルキーの上下を押してRollerを回し、アイコンを選択します。
選択されたアイコンが画面下部に表示されます。

3 選択されたアイコンを確認して、アクションキーを押します。

画面のアイコンを直接タップする場合

1 「ビジネス」、「エンターテイメント」、「セッティング」の３つのRollerのいずれか１つをタップしたままにして、上方向または下方向になぞってRollerを回します。
選択されたアイコンが画面下部に表示されます。

2 選択されたアイコンを確認してタップします。

Roller ホームメニュー画面について

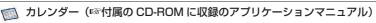
Roller ホームメニュー画面には、18個のアイコンが表示されます。ここでは、このアイコンをタップするとどのプログラムや設定画面などが起動するかを説明しています。

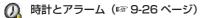
ライトメール（☞4-76ページ）
ライトメール対応機種同士でライトメールを送受信できます。

メール（☞4-3ページ）
W-ZERO 3メールでメールを送受信できます。

ビジネスアプリ
文書作成や表計算などの「ビジネスアプリ」メニューが表示されます。

名刺リーダ（☞6-18ページ）
名刺リーダの撮影画面が表示されます。

カレンダー（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

予定表でスケジュールが管理できます。

時計とアラーム（☞ 9-26 ページ）

時計とアラーム画面（時刻タブ）が表示されます。

公式サイト

ウィルコム W-ZERO3 公式サイトへ接続します。

Internet（☞ 5-3 ページ）

Opera Browser でホームページを閲覧できます。

カメラ起動（☞ 6-2 ページ）

カメラの撮影画面が表示されます。

写真（☞ 6-8 ページ）

静止画（画像）やビデオ（動画）の一覧が表示されます。

エンターテイメント

ゲームやブンコビューアなどの「エンターテイメント」メニューが表示されます。

Music&Movie（☞ 6-21 ページ）

Windows Media Player で音楽やビデオ（動画）が楽しめます。

ツール BOX

ツール BOX メニューが表示されます。　※このメニューの詳細は、次ページをご覧ください。

電話帳

連絡先の一覧が表示されます。

設定

「設定」メニューが表示されます。　※このメニューの詳細は、1-63 ページをご覧ください。

ファイル BOX（☞ 8-11 ページ）

本体メモリ内のフォルダやファイルが表示されます。

PHS 番号（☞ 3-16 ページ）

自分の電話番号やメールアドレスが表示されます。

My data

「My Data」メニューが表示されます。　※このメニューの詳細は、1-64 ページをご覧ください。

「ツールBOX」メニュー画面

Rollerホームメニュー画面で「ツールBOX」アイコンをタップして表示される「ツールBOX」メニュー画面について説明しています。

バーコードリーダ（☞6-15ページ）

QRコードなどを読み取ることができます。

手書きメモ（☞付属のCD-ROMに収録のアプリケーションマニュアル）

スタイラスを使って画面に手書きしたり、文字入力ができます。

戻る

Rollerホームメニュー画面に戻ります。

アプリ一覧（☞8-11ページ）

ファイルエクスプローラのプログラム一覧画面が表示されます。

赤外線（☞7-34ページ）

赤外線通信機能を使って自分の名前/住所などを他のWS011SHに送信/受信する画面が表示されます。

辞書登録（☞9-14ページ）

ATOKのユーザー辞書画面が表示されます。

検索（☞1-70ページ）

My Documentsフォルダ内のファイルや予定表、連絡先などに含まれる文字を検索できます。

電卓（☞付属のCD-ROMに収録のアプリケーションマニュアル）

10桁の四則演算ができます。

時計とアラーム（☞9-26ページ）

時計とアラーム画面（時刻タブ）が表示されます。

「設定」メニュー画面

Rollerホームメニュー画面で「設定」アイコンをタップして表示される「設定」メニュー画面について説明しています。

マナー（☞3-12、3-30、3-31ページ）

電話設定画面（マナータブ）が表示されます。

操作音（☞9-11ページ）

音と通知設定画面（サウンドタブ）が表示されます。

着信音（☞3-22ページ）

電話設定画面（呼出タブ）が表示されます。

戻る

Rollerホームメニュー画面に戻ります

カスタムキー（☞9-6ページ）

ボタン設定画面（プログラムボタンタブ）が表示されます。

ボリューム（☞9-22ページ）

ボリューム設定画面（基本設定タブ）が表示されます。

文字サイズ（☞9-29ページ）

画面設定画面（文字サイズタブ）が表示されます。

パワーマネージメント（☞9-18ページ）

パワーマネージメント設定画面（詳細設定タブ）が表示されます。

バックライト（☞9-17ページ）

バックライト設定画面（明るさタブ）が表示されます。

壁紙（☞9-4ページ）

静止画（画像）やビデオ（動画）の一覧が表示され、この画面から壁紙（背景）を設定できます

「My Data」メニュー画面

Roller ホームメニュー画面で「My Data」アイコンをタップして表示される「My Data」メニュー画面について説明しています。

セキュリティ（☞ 9-8 ページ）
パスワード設定画面が表示されます。

PHS 番号（☞ 3-16 ページ）
自分の電話番号が表示されます。

戻る
Roller ホームメニュー画面に戻ります。

仕事（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
期限を決めて仕事の管理ができます。

カレンダー（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
予定表でスケジュールが管理できます。

ファイル BOX（☞ 8-11 ページ）
本体メモリ内のフォルダやファイルが表示されます。

写真（☞ 6-8 ページ）
静止画（画像）やビデオ（動画）の一覧が表示されます。

赤外線（☞ 7-34 ページ）
赤外線通信機能を使って自分の名前／住所などを他の WS011SH に送信／受信する画面が表示されます。

電話帳
連絡先の一覧が表示されます。

Roller ホームメニューを終了する

1 Roller ホームメニュー画面で画面右上の ✕ をタップします。

2 メモリ画面（実行中のプログラム タブ）（☞ 1-26 ページ）を表示し、RollerMenu を選択して 終了 をタップします。

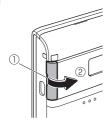
メモリカードを使ったり USB ホストとして使う

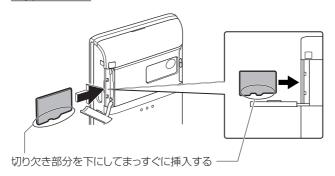
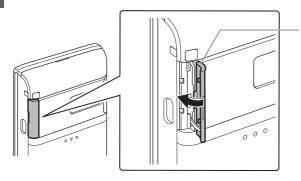
この製品には、市販の microSD カードを取り付けることができます。

- 動作確認済みの microSD カードについては、ホームページ（URL http://www.sharp.co.jp/ws/）をご覧ください。
- この製品ではメモリカードをフォーマットできません。
  パソコンを使い、FAT でフォーマットしてください（FAT32、NTFS ではフォーマットしないでください）。
- メモリカードにファイルとして以下のものが保存できます。
  - ・画像／音楽ファイル　・Word Mobile ／ Excel Mobile で作成したファイル
  - ・ボイスメモ　・メールに添付されているファイル
  - ・メモ　・バックアップファイル（☞ 8-2 ページ）　など
- “予定表”、“連絡先”、メール本文、ライトメールは、メモリカードに保存できません。
- microSD カードに保存するときに暗号化(☞ 9-28 ページ) したファイルは、他の機器（別の WS011SH やパソコンなど）では表示されません。
- メモリカードや USB ホスト機能を使用する機器を使用中は消費電力が大きくなります。内蔵ワイヤレス LAN を使用可能な状態にしていたり、赤外線通信と同時に使用すると、充電池残量の警告メッセージが表示されずに電源オフになることがあります。

カードを取り付ける

1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。

2 microSD カードスロットのカバーを開きます。

- カバーは、①側からのみ開きます。②側からは開きませんので、ご注意ください。また、カバーは開いたら水平方向に保ち、ひねったりしないようにしてください。

3 カードの切り欠き部分が下を向くようにして、端子側から奥まで確実に挿入します。

4 下図のようにカバーを閉じます。

5 PWR キーを長く（約２～３秒）押し、電源を入れます。

ご注意
- カードの端子部を指などで触れないでください。
- 表裏をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。
- カードに強い力を加えないでください。
- カードは、スロットに確実に挿入してください。
- カードは必ず上図のようにして、まっすぐ挿入してください。斜めに傾けたまま無理やり挿入すると、破損の原因になります。
- 動作確認済みのカード以外は、使用しないでください。
- この製品を落とさないでください。破損したり故障の原因となります。

MEMO
- カードを取り付けているときは、取り付けていないときと比べて起動時間が長くなります。これは、起動時に、システムがカードをチェックするためです。

microSD カードのファイルを確認する

1 ファイルエクスプローラ画面（☞ 8-11 ページ）を表示し、画面左上の「My Documents ▼」などをタップします。

2 表示されたメニューから「 microSDカード」をタップします。

microSD カード内のフォルダやファイルが表示されます。

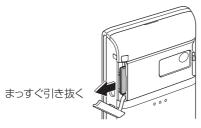
ファイル エクス 10:00		
microSDカード ▼		名前 ▼
音楽		
会議資料	07/05/3...	19.0KB
見積書	07/05/3...	19.0KB
出張清算書	07/05/3...	19.0KB
新製品「○×□...	05/09/2...	16.0KB

カードを取り外す

1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。

2 microSD カードスロットのカバーを開きます（☞ 1-65 ページ）。

3 カードの端を指で押し込みます。

4 スロットから外れたカードを抜き取り、カバーを閉じます。

5 PWR キーを長く（約２～３秒）押し、電源を入れます。

ご注意 ● カードスロットからカードを取り外すときは、カードが飛び出さないように、指で軽く押さえながら出してください。

ファイルやフォルダをコピーする

1 **microSD カードを取り付け、ファイル エクスプローラ画面（☞8-11 ページ）を表示して、「My Documents ▼」などをタップし「 microSD カード」をタップします。**

microSD カード内のフォルダやファイルが表示されます。

2 **目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューをタップします。**

・コピーするときは コピー をタップします。
・移動するときは 切り取り をタップします。

3 **画面左上の「 microSD カード▼」をタップし、マイデバイス をタップします。**

本体側のファイルやフォルダなどが表示されます。

4 **貼り付け先または移動先のフォルダを開いた後、画面右下の メニュー － 編集 － 貼り付け をタップします。**

手順 **2** でコピー／切り取りしたファイルが貼り付け／移動されます。

MEMO

- 手順 **2** で、目的のファイルを選択して画面右下の メニュー － 編集 － コピー ／ 切り取り をタップしてもコピー／移動できます。
- 手順 **4** で、画面をタップしたままにして表示されたメニューから 貼り付け をタップしても貼り付け／移動ができます。ただし、ファイルやフォルダが表示されている場所で画面をタップしたままにするとそのファイルやフォルダが対象となりますので、ご注意ください。
- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- 「切り取り」したフォルダやファイルを貼り付けず、別のフォルダやファイルを「切り取り」すると、前の「切り取り」は解除されます。
- 本体に保存しているファイルやフォルダを別の階層にコピー／移動するときなどは、「My Documents ▼」をタップして、フォルダを選んでください。
- コピー元と同じ階層に「貼り付け」するとファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されます。
- コピーをやめるときは、画面右下の メニュー － 編集 － 元に戻す コピー をタップして、元に戻します。

本体のファイルやフォルダを microSD カードにコピー／移動する

1 前ページと同様にファイル エクスプローラ画面（☞ 8-11 ページ）で本体メモリーを開きます。

2 目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューの コピー または 切り取り をタップします。

3 microSD カード側に切り替え、画面右下の メニュー ー 編集 ー 貼り付け をタップします。

手順 **2** でコピー／移動したファイルが貼り付け／移動されます。

この製品を USB ホストとして使う

この製品は、USB ホスト機能を持っています。
USB メモリやキーボードなどと接続し、利用することができます。
この製品に接続可能な機器については、ホームページ（URL http://www.sharp.co.jp/ws/）をご覧ください。
また、USB 周辺機器を接続する場合は、別途 USB ホストケーブルが必要です。

保存しているファイルや情報を検索する

目的の情報をすばやく見付け出せます。
My Documents フォルダや microSD カード内のファイルや予定表、連絡先、仕事、メモに含まれている文字を検索します。

1 **スタート メニューの "プログラム" をタップします。**

2 **プログラム画面で "検索" をタップします。**

検索画面が表示されます。

3 **「検索」欄に検索したい語句を入力します。**

① ファイル名や連絡先などのデータ内に含まれる文字列を入力します。
▼をタップすると、以前に検索した文字列が表示されます。再度同じ文字列で検索する場合に利用します。

② データの種類を選択して検索するときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

4 **画面左下の 検索 をタップします。**

検索が開始され検索結果が表示されます。

5 **見たいファイルやデータをタップします。**

ファイルやデータが表示されます。

MEMO

- microSD カードに保存されたファイルには、microSD カードの記号 " " が表示されます。

6 **検索をやめるときは、 をタップします。**

ご注意

- ファイルやデータによっては、その内に含まれる文字列が検索されないものもあります。

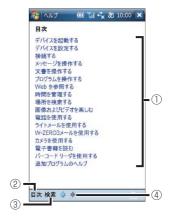
この製品の使いかたを調べる（ヘルプ）

この製品に内蔵されているプログラムの操作方法はヘルプで確認できます。

1 **スタートメニューの"ヘルプ"をタップします。**

そのときに表示されているプログラムのヘルプ画面が表示されます。

2 **見たい項目をタップします。**

① タップするとその項目のヘルプが表示されます。
② タップするとヘルプの全目次が表示されます。
③ タップすると検索画面が表示され、検索したい語句を入力して検索できます（☞前ページ）。
④ をタップすると、これまで表示したヘルプ画面をさかのぼって表示します。 をタップすると、さかのぼったヘルプ画面を元の画面に戻します。

アプリケーションマニュアルの見かた

アプリケーションマニュアルは、パソコンで見る PDF 形式の電子マニュアルです。
以下のマニュアルは、アプリケーションマニュアルとして付属の CD-ROM に収録されています。

アプリケーション

- DicLand 辞書
- 連絡先
- メモ
- Word Mobile
- 電卓
- 予定表
- 仕事
- Excel Mobile
- PowerPoint Mobile
- ゲーム

Picsel PDF Viewer

アプリケーションマニュアルをお読みになるには、パソコンに Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader がインストールされている必要があります（Adobe Acrobat Reader5.0 以上を推奨）。
Adobe Reader は付属の CD-ROM からインストールできます。以下手順の **1** と **2** を行い、表示された画面で「Adobe Reader」をクリックします。

1 **パソコンに付属の CD-ROM をセットします。**

画面にメニューが表示されます。

2 **画面内の「Windows Mobile デバイスハンドブック」をクリックし、さらに、「ユーザーマニュアル」をクリックして、画面左側の「オンラインマニュアル」をクリックします。**

3 **ご覧になるマニュアルをクリックします。**

アプリケーションマニュアルが表示されます。

4 **次のような方法などで、見たいページを表示します。**

プログラムなどの説明全体を見るとき　：しおりを使うと便利です。
調べたい言葉があるとき　：検索を使うと便利です。
ページを順番に見るとき　：ページ移動のアイコンを使うと便利です。

検索
クリックして検索したい言葉を入力します。検索した言葉が含まれるページ（またはその一覧）が表示されます。

手のひらツール（移動）
クリックしてページをドラッグするとスクロールバーを使わずにページの移動ができます。斜め方向の移動に便利です。

拡大縮小
特定の部分を拡大するときは、をクリックしてから拡大したい部分をドラッグして囲みます。

しおり
見出しをクリックすると、そのページへジャンプします。
⊞をクリックするとしおりに詳細な見出しが表示されます。

ページ移動
ページ番号を入力しパソコンの「Enter」キーを押すとそのページへジャンプします。
・ :最初のページへ
・ :最後のページへ
・ :前のページへ
・ :次のページへ

表示レイアウト
単一ページ表示、連続表示、見開き表示など、ページの表示レイアウトを変更できます。

● お使いのAdobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerのバージョンによって、アイコンの形状や表示位置が異なります。アイコンにカーソルを合わせると、そのアイコンの機能が表示されます。
● くわしい使いかたは、Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

2章　インターネットやメールの準備

オンラインサインアップを行って接続の設定を行う

この製品では、以下の方法でインターネットに接続してメールの送受信（☞ 4-9、4-56 ページ）やホームページの閲覧（☞ 5-3、5-14 ページ）ができます。

- オンラインサインアップをしてウィルコムのサーバーから取得した情報を使って接続する（☞下記）
- 加入しているプロバイダーの情報を使って接続する（☞ 2-16 ページ）

オンラインサインアップについて

オンラインサインアップを行うと自動的に接続する設定が保存され、簡単にメールの送受信やホームページの閲覧を行うことができます。まだオンラインサインアップをされていないときは、以下の内容をご覧になりオンラインサインアップを行ってください。

加入しているプロバイダーについて

加入しているプロバイダーの情報を使う場合は、インターネットやメールサーバーに接続する設定が必要になります。2-16 ページや 4-4、4-50 ページをご覧になり設定を行ってください。

オンラインサインアップする

オンラインサインアップを完了すると、すぐにホームページを閲覧したり、メールを送受信することができます。オンラインサインアップでは、次のようなことができます。

- E メール（ウィルコム）のメールアドレスを取得します。
- インターネットに接続する設定やメールを送受信する設定（メールサーバーの設定）が自動的にこの製品に保存されます。

オンラインサインアップをする場合、あらかじめワイヤレス LAN をオフ（無効）にしておいてください。

1 **スタート メニューの “オンライン サインアップ” をタップします。**

「接続中」のメッセージが表示され、センターに接続します。

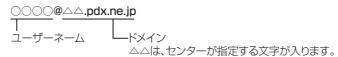
ご注意

- **再度オンラインサインアップを行うときは**

  一度オンラインサインアップを行うと、スタートメニューにオンラインサインアップが表示されなくなります。再度オンラインサインアップを行うときは、スタート メニュー－ “プログラム” － “オンラインサインアップ” をタップし、オンラインサインアップを行ってください。

2 表示された画面の指示にしたがって設定を行います。

メールアドレスについて

お好みのメールアドレスを入力して取得できます。
ここではユーザーネームのみを入力します。ドメインは自動的に設定されます。

ユーザーネームは、以下の制限の中でお客様がご自由に設定できます。

- 文字数：4 文字以上 20 文字以下
- 文字種：半角英数字、「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）
- 1 文字目は英字のみ使用できます。
- 英字は、すべて小文字として扱われます。

3 オンラインサインアップを完了します。

4 再起動の確認画面で OK をタップします。

再起動後、W+Info の登録画面が表示されます。

MEMO

- **同じユーザーネームが既に登録されている場合**
  設定したユーザーネームはご利用いただけません。別のユーザーネームを指定してください。
- **ライト E メールの設定は利用しないでください。**
  この製品はライト E メールに対応していないため、ライト E メールを着信すると「未対応着信あり」と表示されたり、E メール（ウィルコム）の自動受信ができなくなります。オンラインサインアップの「詳細設定」-「9. その他の設定」で「◆ライト E メール」の項目はかならず「利用しない」にチェックを付けてください。
- **お知らせメール受付の選択について**
  受信したメールの最後にウィルコムからのお知らせを付けるか、付けないかを選択することができます。
- **メールの自動受信をしないようにするには**
  オンラインサインアップで「自動受信しない」または「新着メール通知」に設定します（「新着メール通知」に設定すると E メールが届いたことを通知するライトメールを受信します）。
  この製品の設定で「自動受信する」（☞ 4-7 ページ）のチェックを付けていても、オンラインサインアップで「自動受信しない」や「新着メール通知」にすると自動受信はしません。
- **W+Info とは**
  ウィルコムから配信される最新のニュースなどを自動的に受信し、Today 画面（待ち受け画面）に表示します。

5 登録する場合は、 OK をタップし、利用規約をよくお読みの上、登録してください。

登録が終わったら、画面左下の 切 をタップします。登録しないときは、 キャンセル をタップします。

オンラインサインアップを完了すると設定される内容

オンラインサインアップを完了すると自動的に以下の情報が設定されます。

●インターネットに接続するための情報

「センタ名称設定」（☞ 2-17 ページ）という名称とその中に接続設定「CLUB AIR-EDGE」（☞ 2-22 ページ）が保存されます。
「センタ名称設定」は「CLUB AIR-EDGE」などの接続設定を管理するための名称です。
「CLUB AIR-EDGE」にはアクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワードが保存されます。

●メールを送受信するための情報

“W-ZERO3 メール”に情報が設定されます。
メールアカウントが保存されます（メールアカウント内には次の情報が保存されます）。メールアカウントは、お客様の電話番号（070XX……）になります。
・メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
・サーバー情報（受信メールサーバー、送信メールサーバー）

ご注意
- オンラインサインアップを完了して設定された「センタ名称設定」の名称や「CLUB AIR-EDGE」の内容、メールアカウントの内容は変更／削除しないでください。
「センタ名称設定」の名称や「CLUB AIR-EDGE」の内容、メールアカウントの内容を変更／削除すると、インターネットへの接続やメールの送受信ができなくなります。

MEMO
- **インターネットへの接続方法の設定を確認するときは**
ネットワーク管理画面（☞ 2-23 ページ）を表示して、「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」を確認してください。オンラインサインアップを行ったあとは、「センタ名称設定」が選択されています。
- **ウィルコムサーバーに接続するための設定を確認するときは**
「インターネット接続設定を変更する／削除する」（☞ 2-22 ページ）をご覧になり各項目を表示して確認してください。

オンラインサインアップで設定した内容を確認／変更する

・オンラインサインアップで設定した内容を変更するときはオンラインサインアップを起動し、確認画面で [詳細設定] をタップしてセンターに接続します。センターに接続して表示された画面で確認や変更したい項目をタップします。設定を変更したあとは、画面下方にある [この内容で登録する] をタップしてください。
・メールアドレスを変更する場合はセンターに接続して表示された画面から「6. メールアドレス変更」をタップしてメールアドレスを変更してください。メールアドレスを変更した場合、変更前のアドレス宛のメールは届かなくなります。

ネットワークに接続する方法

この製品では、以下の方法でインターネットに接続してメールの送受信やホームページの閲覧ができます。
まだオンラインサインアップを行っていない方は、2-2 ページをご覧になりオンラインサインアップを行ってください。オンラインサインアップを行うと、インターネットに接続する設定が保存され、メールの送受信やホームページの閲覧ができます。

■ PHS 電話機能を使って接続する

・ オンラインサインアップをしてウィルコムのサーバーから取得した情報を使う (☞ 2-2 ページ)。
・ 加入しているプロバイダーの情報を使う（☞ 2-16 ページ)。

■ワイヤレス LAN を使って接続する

アクセスポイントに接続する設定が必要になります。
次ページをご覧になり、ワイヤレス LAN の設定を行ってください。
ワイヤレスLANの設定を行ったのち、ホームページの閲覧(☞5-3ページ、5-14ページ)やメールの送受信（☞ 4-9 ページ、4-56 ページ）を行ってください。
ワイヤレス LAN を使用しないときは、電池残量の消耗を防ぐためオフ（無効）にすることをおすすめします（☞ 2-15 ページ)。

● ネットワークに接続できないときは、2-24 ページや困ったときは（☞ 10-31 ページ）をご覧ください。

ワイヤレス LAN の接続設定をする

内蔵のワイヤレス LAN を利用する場合はお使いの環境により設定する内容が異なります。
お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。

①自宅のワイヤレス LAN アクセスポイントに接続するときは

以下の設定をしてください。
・「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」（☞ 2-9 ページ）
・「アクセスポイントの設定をする」（☞ 2-10 ページ）
・「ネットワークに接続する」（☞ 2-14 ページ）

● IP アドレスやネームサーバーを設定するときは
上記の設定の他に「IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う」（☞次ページ）をご覧になり設定してください。

②公衆ワイヤレス LAN に接続するときは

ワイヤレス LAN サービスを提供している店舗などから、インターネットに接続することができます。
公衆ワイヤレス LAN を利用するための申し込みが必要な場合があります。
申し込みや接続に必要な情報など、お使いの公衆ワイヤレス LAN サービスについてあらかじめ確認したあと、以下の設定をしてください。
・「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」（☞ 2-9 ページ）
・「アクセスポイントの設定をする」（☞ 2-10 ページ）
・「ネットワークに接続する」（☞ 2-14 ページ）

③社内のワイヤレス LAN に接続する

社内のワイヤレス LAN に接続するときは、IP アドレスが決められていたり、ネームサーバーやプロキシサーバーが設定されている場合がほとんどです。これらの情報をネットワーク管理者に確認したあと、以下の設定をしてください。
・「IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う」（☞次ページ）
・「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」（☞ 2-9 ページ）
・「アクセスポイントの設定をする」（☞ 2-10 ページ）
・「ネットワークに接続する」（☞ 2-14 ページ）

IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う

社内のネットワークに接続する場合などでは、IP アドレス、ネームサーバー、プロキシサーバーの設定が必要になることが多くあります。
ここでは、IP アドレス、ネームサーバー、プロキシサーバーの設定を行います。

1 設定画面（接続タブ）で、“ネットワークカード”をタップします。

2 ネットワークアダプタの構成画面で、次の操作を行います。

1 「ネットワークカードの接続先」を選択します。

社内のネットワークに接続する場合は、「社内ネットワーク設定」を選択し、自宅などからプロバイダーに接続する場合は、「インターネット設定」を選択します。

2 「内蔵ワイヤレス LAN」をタップします。

3 表示された画面で、IP アドレスの設定を行います。

・DHCP サーバーを使用する場合は、「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」にチェックを付けます。

・固定の IP アドレスを使用する場合は、「指定した IP アドレスを使用する」にチェックを付け、IP アドレスやサブネットマスクなどを入力します。
IP アドレスなどを入力するときは、社内のネットワーク管理者におたずねください。

4 **ネームサーバー タブをタップし、DNS サーバーアドレスおよび WINS サーバーアドレスの情報を入力します。**

サーバーアドレスについても、社内のネットワーク管理者におたずねください。

5 **ok をタップします。**

「ネットワークアダプタの構成」画面に戻ります。

6 **ok をタップします。**

設定画面（接続 タブ）に戻ります。

社内のネットワークに接続するとき、プロキシの設定が必要な場合があります。
手順 **7** 以降をご覧になりプロキシの設定を行ってください。
プロキシの設定が不要な場合は「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」（☞次ページ）に進みます。

7 **設定画面（接続 タブ）で、“接続”をタップします。**

8 **接続画面（設定 タブ）で、既定の社内ネットワーク設定の「プロキシサーバーの設定」をタップします。**

9 **表示された画面で、「このネットワークをインターネットに接続する」にチェックを付けます。**

10 **さらに「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」にチェックを付け、プロキシサーバーを入力します。**
必要に応じて、詳細設定 をタップし、HTTP プロキシサーバーのポートやユーザー名、パスワードを入力します。

プロキシサーバーなどについては、社内のネットワーク管理者におたずねください。

11 **ok を数回タップし、設定画面（接続 タブ）に戻ります。**

「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」（☞次ページ）に進みます。

内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする

1 スタート メニューの “設定” をタップします。

設定画面が表示されます。

2 設定画面で 接続 タブをタップし、 “無線 ON ／ OFF” をタップします。

3 無線 ON ／ OFF 画面で、内蔵ワイヤレス LAN の ON にチェックを付けます。

① しばらくすると MAC アドレスが表示されます。

MEMO

- MAC アドレスについて
  「内蔵ワイヤレス LAN」の ON にチェックを付けてしばらくすると、MAC アドレスが表示されます。
  ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定で、MAC アドレスを登録している機器のみ接続できるように設定しているときは、上記画面の MAC アドレスをワイヤレス LAN アクセスポイントに設定してください。
- キーボードの Fn キーを押しながら、ok キーを押しても ON/OFF を切り替えることができます。
- 内蔵ワイヤレス LAN 使用中は消費電力が大きくなります。赤外線通信を使用したり、USB、microSD などの接続機器によっては、充電池残量の警告メッセージが表示されずに電源オフになることがあります。

4 ok をタップします。

ワイヤレス LAN ランプが点灯します。また、タイトルバーに が表示され、近くのアクセスポイントを自動的に検出します。

接続したいアクセスポイントを自動的に検出した場合

「ネットワークに接続する」（☞ 2-14 ページ）に進んでください。

接続したいアクセスポイントを自動的に検出しなかった場合

「アクセスポイントの設定をする」（☞次ページ）に進んでください。

アクセスポイントの設定をする

ワイヤレス LAN アクセスポイントに接続するための情報を設定します。

ご注意
- この製品は、一部のワイヤレス LAN アクセスポイントが持つ自動設定機能には対応していません。お使いのワイヤレス LAN アクセスポイントがワイヤレス LAN の設定を自動で行うように設定している場合、この設定を無効にして、手動で設定しておいてください。

MEMO
- **アクセスポイントの情報を確認しておく**
  「ネットワーク名（SSID）」、「データ暗号化」、「ネットワークキー（WEP キー）」など、ワイヤレス LAN アクセスポイントの情報が必要になることがあります。お使いのワイヤレス LAN アクセスポイントの説明書も併せてお読みください。パソコンからアクセスポイントの設定ページなどを表示して調べることもできます。

1 **設定画面（接続タブ）で、"ネットワークカード"をタップします。**

2 **ワイヤレスタブが選択されていることを確認して、「新しい設定の追加」をタップします。**

近くにワイヤレス LAN アクセスポイントを検出した場合は、ネットワーク名（SSID）が表示されます。

① 検出されたネットワーク名や設定を追加したネットワーク名が表示されます。

MEMO
- ワイヤレスタブは、内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）（☞前ページ）にしていないと表示されません。
- 内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にしている状態で電源を切った場合は、電源を入れて約 5 秒以内には電源を切らないようにしてください。

3 ネットワーク名を入力し、接続先を選択し、次へ をタップします。

・「インターネット設定」　：自宅などからプロバイダーに接続するときに選びます。
・「社内ネットワーク設定」：社内のネットワークに接続するときに選びます。

---

① アクセスポイントに設定されているネットワーク名を入力します。

② 自宅などからプロバイダーに接続する場合は、「インターネット設定」を選択します。社内のネットワークに接続する場合は、「社内ネットワーク設定」を選択します。

③ ネットワーク名（SSID）を表示しないようにしているアクセスポイントに接続する場合、チェックを付けます。

④ チェックがないことを確認します（インフラストラクチャ通信）。
アクセスポイントを使用しないアドホック通信を利用する場合は、チェックを付けます。

● **ワイヤレス LAN の通信形態について**
ワイヤレス LAN の通信形態には、次の 2 つがあります。

・**インフラストラクチャ通信**
ワイヤレス LAN アクセスポイントを介して通信します。

・**アドホック通信**
ワイヤレス LAN アクセスポイントを介さず、ワイヤレスで接続できる機器同士で直接通信を行います。

● ワイヤレスネットワークの構成画面（☞上記）では、「これはデバイスとデバイス（ad-hoc）の接続です」にチェックを付けないようにしてください。
チェックを付けるとアドホック通信になります。この製品ではアクセスポイントを介して（インフラストラクチャ通信）、インターネットに接続します。

セキュリティ関連の設定を行い、[次へ]をタップします。

① ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて認証方式を選択します。

② ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて暗号化方式を選択します。暗号化方式が異なると接続できません。
ワイヤレス LAN アクセスポイント側でネットワークキー（WEP キー）が設定されている場合は、「WEP」を選択します。また、ネットワークキーが設定されていない場合は、「無効」を選択します。
※ ①認証で「WPA」または「WPA-PSK」、「WPA2」、「WPA2-PSK」を選択している場合は、「TKIP」または、「AES」を選択します。

③ ネットワークキーを入力するときなどは、チェックを外し④のネットワークキーを入力します。

④ ワイヤレス LAN アクセスポイントと同じネットワークキーを設定してください。
暗号化キーに使用可能な文字種および文字数は、以下のとおりです。
- **暗号化方式で「WEP」を選んだ場合**
  ASCII 文字 ：5 文字または 13 文字
  16 進数 ：10 桁または 26 桁
- **認証方式で「WPA-PSK」／「WPA2-PSK」を選び、データ暗号化方式で「TKIP」／「AES」を選んだ場合**
  ASCII 文字 ：8 文字～ 63 文字
  16 進数 ：64 桁（ワイヤレス LAN アクセスポイントによっては対応していません。）

※ ASCII 文字で入力できる文字種は 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z の英数字です。（大文字と小文字は別の文字として区別されます。）
※ 16 進数で入力できる文字種は 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F の英数字です。（大文字と小文字は同一文字として認識されます。）

⑤ ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて「キーインデックス」を選択します。必要に応じてキーのインデックスを変更します。
この製品は、1 ～ 4 までの間でキーのインデックスを設定します。

- 通信データを暗号化することを強く推奨します。
  データ通信の暗号化を設定していない場合、ワイヤレス LAN 機能を搭載した装置からこの製品を検索できるため、データを盗まれたり、データを破壊されたりする危険性があります。

5 アクセスポイントの設定に合わせて、IEEE802.1X 認証を使用する場合は、暗号化の方法などを設定します。

① IEEE802.1X 認証を使用しない場合は、チェックが付いていないことを確認してください。

② 暗号化の方法を選択します。

6 完了 をタップします。

「ワイヤレスネットワークの構成」画面に戻ります。
アクセスポイントを自動的に検出し、接続されます。
自動的に接続されない場合は「アクセスポイントを指定して接続する」(☞ 2-15 ページ)をご覧になり接続してください。

内蔵ワイヤレス LAN の接続設定を変更する

1 ワイヤレスネットワークの構成画面(ワイヤレス タブ)で変更するネットワーク名をタップしたままにして、表示されたメニューから 編集 をタップします。

2 設定内容を変更します。

画面の内容についてくわしくは 2-11 ～このページの手順 **3** ～ **5** をご覧ください。

内蔵ワイヤレス LAN の接続設定を削除する

1 ワイヤレスネットワークの構成画面(ワイヤレス タブ)で削除するネットワーク名をタップしたままにし、表示されたメニューから 設定の削除 をタップします。

ご注意
● 接続設定を削除すると、取り消しはできません。よく確認してから削除してください。

ネットワークに接続する

内蔵ワイヤレス LAN を有効にしてアクセスポイントを検出したときや、アクセスポイントの設定をしたあと手動でネットワークに接続する方法を説明します。
公衆ワイヤレス LAN のアクセスポイントに接続するときは以下の方法で接続を行ったあと Internet Explorer Mobile を起動して認証操作を行う必要がある場合があります。くわしくはお使いのワイヤレス LAN サービスを提供している会社におたずねください。

アクセスポイントを自動的に検出したとき

近くにアクセスポイントがあるときは、タイトルバーに が表示され、画面下部に「ネットワークが検出されました」のメッセージが表示されます。

①「XXXX」はネットワーク名が表示されます。

表示が消えた場合は、タイトルバーの をタップし、さらに をタップすると再度表示されます。以下の手順でネットワークに接続してください。

MEMO
- **複数のアクセスポイントを検出したときは**
  アクセスポイントを選択して、画面左下の OK をタップします。

1 ネットワークの接続先を選択する画面で接続先を選択します。

①「インターネット設定」:
自宅などからプロバイダーに接続するときや、公衆ワイヤレス LAN に接続するときに選びます。

②「社内ネットワーク設定」:
社内のネットワークに接続するときに選びます。

2 画面左下の 接続 をタップします。

ネットワークキーが必要な場合は、ネットワークキーの入力画面が表示されますので、アクセスポイントに設定されているネットワークキーを入力してください。
タイトルバーのアイコンが になり、ネットワークに接続されます。

アクセスポイントを指定して接続する

目的のアクセスポイントに接続できないときなど、アクセスポイントを指定してネットワークに接続します。

1 **設定画面（接続タブ）で、“ネットワークカード”をタップします。**

① 検出されたネットワーク名や設定を追加したネットワーク名が表示されます。

② 接続状態が表示されます。

MEMO

- **接続状態の表示について**
  - ・利用可能　：接続して利用できるネットワークがあるとき表示されます。
  - ・利用不可　：設定したネットワークに接続を試みたが接続できなかったときに表示されます。
  - ・接続中　　：利用可能なネットワークに接続を試みているときに表示されます。
  - ・接続済み　：利用可能なネットワークへの接続が確立されているときに表示されます。

2 **ネットワーク名をタップしたままにして表示されたメニューから接続をタップします。**

タイトルバーのアイコンがになり、ネットワークに接続されます。

内蔵ワイヤレス LAN の接続を切る

ワイヤレス LAN を使用しない場合は、内蔵ワイヤレス LAN 機能をオフ（無効）にすることをおすすめします。

内蔵ワイヤレス LAN 機能がオン（有効）の場合は、通常より充電池を消耗し、この製品の使用時間が非常に短くなります。

1 **スタート－設定－接続タブをタップし、“無線 ON ／ OFF”をタップます。**

2 **「内蔵ワイヤレス LAN」の OFF にチェックを付け、ok をタップします。**

ワイヤレス LAN ランプが消灯し、タイトルバーのが消えます。

MEMO

- Fnキーを押しながらokキーを押しても ON ／ OFF を切り替えることができます。

加入しているプロバイダーの接続設定をする

既に加入しているインターネットプロバイダーを使用して、インターネットに接続するための設定について説明します。
ここでは、基本的な設定のしかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

- 各項目に入力するときは、大文字・小文字・全角・半角は区別されますので、英数字や記号を入力する際は注意してください。
  また、数字の「0」（ゼロ）と英語の「O」（オー）、数字の「1」と英字の「l」などの区別も確認してください。

この製品に設定するプロバイダー情報を確認する

以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。

- 接続先アクセスポイントの電話番号
- ユーザー名
- パスワード
- プライマリ DNS
- セカンダリ DNS

※ 項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。

インターネットプロバイダーへの接続設定をする

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

設定画面が表示されます。

2 **設定画面で 接続 タブの “接続” をタップし、詳細設定 タブをタップします。**

接続画面が表示されます。

3 「ネットワークの選択」をタップします。

4 インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法の 追加 をタップします。

5 表示された画面で接続方法の名前を入力し ok をタップします。

MEMO
- すでに作っている接続方法の中に複数の接続設定を作る場合は、「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」の▼をタップして「既定のインターネット設定」などを選びます。
- オンラインサインアップ（☞ 2-2 ページ）を行った後、ご自分でご入会しているプロバイダーの情報を設定するときは、「既定のインターネット設定」ではなく「センタ名称設定」になっています。

6 ok をタップします。

接続画面に戻ります。

7 設定 タブをタップし「新しいモデム接続の追加」をタップします。

新しい接続画面が表示されます。

① 手順 **5** で入力した名称が表示されます。

2 インターネットやメールの準備

プロバイダー

8 接続名を入力し、さらに「モデムの選択」欄を「W-SIM」にして、次へ をタップします。

① タップするとヘルプが表示されます。

② この接続設定の内容がわかるような名前（プロバイダー名など）を入力します。

③「W-SIM」を選択します。

ご注意
- 「モデムの選択」欄は「W-SIM」を選択してください。これ以外のものを選択しても接続できません。

9 接続先のアクセスポイントの電話番号を入力し、次へ をタップします。

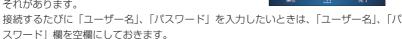
① 接続先プロバイダーのアクセスポイントの電話番号を入力します。

ご注意
- 右の画面で「ダイヤルルールを使用します」をタップして「ダイヤルルールを使用する」にチェックを付けて設定しないでください。
  この製品ではダイヤルルールは使用しません。設定を行うと通信ができなくなります。

MEMO
- ご利用の通信速度、通信手段により、アクセスポイントの電話番号の後に記号（##64 や ##7 など）の入力が必要となります。
  詳しくは、ご利用のプロバイダーにご確認ください。
- インターネット接続時に分計発信を行う場合は、アクセスポイントの電話番号＋記号（##64 や ##7 など）の後に追加します。
  例）通常発信の場合：03-5204-XXXX##64
  　　分計発信の場合：03-5204-XXXX##64,01

10 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、詳細設定 をタップします。

①「ユーザー名」、「パスワード」を入力しておくと、接続のたびに「ユーザー名」、「パスワード」を入力する手間が省けます。

- 「ユーザー名」、「パスワード」を入力しておくと便利ですが、この製品を紛失した場合、他人にメールを読まれたり、通信料金を請求されたりするおそれがあります。

  接続するたびに「ユーザー名」、「パスワード」を入力したいときは、「ユーザー名」、「パスワード」欄を空欄にしておきます。
- 「ユーザー名」や「パスワード」をまちがえて入力すると、プロバイダーに接続できません。よく確かめて入力してください。
- 「ユーザー名」、「パスワード」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	PPP ログイン名、ログイン名、ユーザー名、アカウント、アカウント ID、接続 ID、ID 番号、接続アカウント、ユーザー ID、ダイヤルアップログイン名、認証 ID、
パスワード	PPP パスワード、パスワード、接続パスワード、認証パスワード、ダイヤルアップパスワード、初期パスワード、ID パスワード

11 TCP ／ IP タブをタップします。

「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」にチェックが付いていることを確認します。

①「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」が選択されていることを確認します。

12 サーバー タブをタップし、サーバーの設定を行います。

・DNS サーバーを自動的に取得する場合は「サーバー割り当てのネームサーバーアドレス」を選択します。
・DNS サーバーを入力する場合は「指定されたサーバーアドレス」を選択し、プライマリ DNS、セカンダリ DNS を入力します。

① 半角の数字で入力します。

- セカンダリ DNS サーバーがないプロバイダーの場合は、「セカンダリ DNS」の欄は空欄にします。
- 「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
プライマリ DNS	ネームサーバー 1、Domain Name Server（1）、ドメインネームサーバー、DNS サーバー、DNS、プライマリ DNS サーバー
セカンダリ DNS	ネームサーバー 2、Domain Name Server（2）、セカンダリ DNS サーバー

13 ok をタップします。

手順 **10** の「ユーザー名／パスワードの入力」画面に戻ります。

14 画面右下の 完了 をタップします。

- **2-17 ページの手順 4 で 追加 をタップし、ご自分で接続方法を作りその中に 1 つの接続設定を作った場合**
  この手順で終了です。
- **2-17 ページの手順 4 で複数の接続設定を作った場合**
  次ページの手順 **15** ～ **17** を行ってください（接続設定の選択を行ってください）。

15 「既存の接続を管理」をタップします。

作成した設定が表示されます。

16 作成した設定のラジオボタンにチェックを付けます。

チェックが付いている設定に接続します。

① 手順 **4** で選択したインターネットへの接続方法の名称が表示されます。
② チェックが付いている設定に接続します。

- 加入しているプロバイダーの設定をしたあとＥメール（ウィルコム）を受信するときは、接続（設定タブ）画面で表示される名称を「センタ名称設定」に変更する必要があります。変更方法は、2-17 ページの手順 **4** で「センタ名称設定」を選択します。

17 ok をタップします。

インターネット接続設定を変更する／削除する

インターネット接続設定を変更する

1 **設定画面で 接続 タブの “接続” をタップします。**

2 **「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」をタップします。**

「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」をタップしたときは、「センタ名称設定」画面内に「CLUB AIR-EDGE」が表示されます。

3 **変更する接続名を選択し、 編集 をタップします。**

接続名やモデムを選択する画面（☞ 2-18 ページの手順 **8**）が表示されます。

4 **次へ をタップして画面を切り替えて設定内容を変更します。**

2-18 ページ以降の画面が表示されますので、くわしくは 2-18 ～ 20 ページの手順 **8** ～ **14** をご覧になり内容を変更します。

MEMO
- 「パスワード」の項目は「＊」が表示されており、実際に設定したパスワードとは違う文字数になっています。

インターネット接続設定を削除する

1 **設定画面で 接続 タブの “接続” をタップします。**

2 **「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」をタップします。**

「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」画面が表示されます。

3 **削除する接続名をタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップします。**

ご注意
- 接続設定を削除すると、取り消しはできません。よく確認してから削除してください。

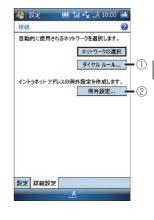
インターネットへの接続方法を切り替える

新しいネットワークを作成したり、イントラネットアドレスの例外設定ができます。

1 設定画面で 接続 タブの "接続" をタップし、 詳細設定 タブをタップします。

詳細設定画面が表示されます。

① この製品ではダイヤルルールは使用しません。ダイヤルルール画面に移り設定をしないでください。
※このダイヤルルール画面は、新規の接続作成画面（☞2-18 ページ）で「ダイヤルルールを使用します」をタップしたときと同じ画面です。

② イントラネットアドレスでピリオド（.）が使用されている例外アドレスを設定します。

2 ネットワークの選択 をタップします。

ネットワーク管理画面が表示されます。
オンラインサインアップを行うと「センタ名称設定」が自動的に作成されて表示されます。
オンラインサインアップで取得した情報を使ってインターネットに接続する場合、この設定は変更しないでください。変更するとインターネットに接続できなくなり、ホームページの閲覧やメールの送受信ができなくなります。この設定を削除した場合などは、もう一度オンラインサインアップをしてください。

① 表示されている接続名称の中に作成した接続設定の編集ができます。

② 新しい接続設定を作成します。

3 ok をタップします。

2 インターネットやメールの準備

プロバイダー

メールの送受信やインターネットへの接続がうまくいかないときは

メールの送受信やインターネットに接続できない場合、インターネットに接続する方法が正しく設定されていないことが考えられます。
以下の画面で、設定されている接続方法を確認してください。

- ウィルコムのメールを自動受信するときは、インターネットに接続する方法を「センタ名称設定」に設定する必要があります。

■ネットワーク設定

◇ ネットワーク管理画面 ◇

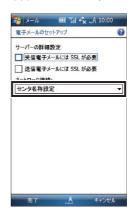
「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」欄に表示されている設定を確認してください（☞ 2-17 ページ）。

■メールソフトの設定

◇ W-ZERO3 メール ◇

「次の接続を使用する」欄に表示されている設定を確認してください（☞ 4-7 ページ）。

◇ メール（Outlook）◇

サーバーの詳細設定画面「ネットワーク接続」欄に表示されている設定を確認してください(☞ 4-52 ページ)。

■タップして表示されるメニューについて

・「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了したときの設定でメールを送受信するときに選択します。

・「インターネット設定」や「社内ネットワーク設定」の中に設定を作成した場合は、これらを選択します。

・ご自分で新規に接続／接続設定を作成した場合は、新規に作成した接続を選択します。

※ この取扱説明書では、「インターネット設定」の中に自宅などからプロバイダーに接続する設定を作成し、「社内ネットワーク設定」の中に社内のネットワークに接続する設定を作成するように説明していますので、自宅などからプロバイダーに接続しメールを送受信するときは「インターネット設定」を選択し、社内のネットワークに接続してメールを送受信するときは「社内ネットワーク設定」を選択してください。

内蔵ワイヤレス LAN をお使いの場合は

以下の画面も確認してください。

◇ ネットワークアダプタの構成画面 ◇

「ネットワークカードの接続先」欄に表示されている設定を確認してください。(☞ 2-7 ページ)。

タップして接続を切り替えます。
表示されたメニューから選択します。メニューについては下記をご覧ください。

◇ ワイヤレスネットワークの構成画面 ◇

「接続先」欄に表示されている設定を確認してください。(☞ 2-11 ページ)。

タップして接続を切り替えます。
表示されたメニューから選択します。メニューについては下記をご覧ください。

■表示されるメニューについて

・「インターネット設定」　：自宅などからプロバイダーに接続するときや、公衆ワイヤレス LAN に接続するときに選びます。
・「社内ネットワーク設定」：社内のネットワークに接続するときに選びます。

3章　電話

電話　3-2

電話／メールの着信音やマナーモードなどの設定をする　3-21

ウィルコムのサービスを利用する　3-47

電話

電話のかけかた、受けかたなどについて説明します。

電話をかける

ダイヤルキーを押して電話番号を入力し、電話をかけます。

1 **この製品の電源を入れます。**

2 **キーを押します。**

"電話"が起動し、ダイヤル画面が表示されます。

3 **ダイヤルキーを押して、電話番号を入力します。**

押した電話番号が画面上に表示されます。

- ポーズの使いかたについてくわしくは、3-10 ページをご覧ください。

4 **キーを押します。または画面左下の 発信 をタップします。**

電話番号が点滅して相手に電話がかかります。相手がでたら、話しをします。

5 **通話を終えるときは、PWR キーを押します。**

電話が切れます。

しばらくすると、Today 画面（待ち受け画面）に移ります。再度、電話をかけるときはキーを押します。

ご注意

- 電話を切るときは PWR キーを押してください。✕ をタップしても（画面を閉じても）電話は切れません。

MEMO

- 入力できる番号の桁数は 32 桁までです。
- 一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番から入力してください。市外局番を入力せずに電話をかけても、電話はかかりません。

- PHS ／携帯電話に電話をかけるときは、「0」から始まる 11 桁の電話番号を入力してください。
- ご購入時、自分の電話番号は相手に通知するように設定されています。
  この設定を変えたり（通知しないようにしたり）、その通話だけ通知しないようにできます。設定の変更については 3-32 ページ、ある相手だけ通知しないようにする方法は 3-14 ページをご覧ください。
- 通話中、バックライトはあらかじめ設定している時間（☞ 9-16 ページ）で最小輝度になり、そのあと約 10 秒後に液晶表示とバックライトが消灯します（通話は継続します）。
- 入力途中で番号を間違えたときは、クリア キーを押すか、クリア をタップすると、最後の番号（右端の番号）を削除します。
- 入力途中の番号を最初から入力したいときは、PWR キーを押し、一度、Today 画面（待ち受け画面）に戻った後、ダイヤルキーを押します。
- Today 画面（待ち受け画面）でダイヤルキーを押しても番号の入力はできます。

電話を受ける

かかってきた電話に出ます。

1 電話がかかってきたら、着信音が鳴り、青色の着信ランプが点滅します。

① “連絡先”（☞付属のアプリケーションマニュアル）に登録しているときは、名前／顔写真も表示されます。

② 相手が発信者番号を通知しているときは電話番号が表示されます。

・設定によっては音は鳴らず、バイブレータによって電話がかかってきたことを知らせます。
　また、青色のランプを点滅する／しないを設定できます（☞ 3-28 ページ）。

・着信中に着信音の音量を変えられます。音量の変更は、3-21 ページをご覧ください。

・着信中、＊マナー キーを長く押すとマナーモードのオン／オフを切り替えることができます。

・発信者番号を通知していないときは、以下の左側の文字が表示されます。

「ユーザ非通知」　：相手が電話番号を通知していません。
「通知不可能」　：相手が通知できないエリアや電話機からの電話です。
「公衆電話発信」　：公衆電話からの電話です。

2 キーを押し、相手と話しをします。

・エニーキーアンサー（☞ 3-32 ページ）の設定をオンにしていると、キー以外のキーを押しても電話を取ることができ、相手と話しができます。画面をタップしても電話を取ることができます（ただし、タイトルバーとメニューバーをタップしても電話は取れません）。

・通話中に相手の声の大きさを変えるには、カーソル キーの上、または下を押します。カーソル キー（上）で大きくなり、カーソル キー（下）で小さくなります。くわしくは、3-11 ページをご覧ください。

3 相手と話しが終わったら、[PWR]キーを押します。

MEMO

- かかってきた電話にすぐに出られないときは、[PWR]キーを押すと保留応答の状態にできます。この場合、「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」の応答メッセージが流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
  保留応答中に電話に出るときは[通話]キーを押します。また、電話を切るときは[PWR]キーを押します。
- 電話がかかってきたときに画面回転キーを押すと、伝言メモ機能がはたらきメッセージが流れます（相手のメッセージを録音する／しないは、伝言メモの設定（☞ 3-12 ページ）にしたがいます）。
- **電話に出ることができなかったときは**
  Today 画面（待ち受け画面）に「不在着信：X件」と表示されます。この文字をタップすると、着信履歴画面が表示されます。また、ダイヤル画面で（カーソル）キーの左を押すと着信履歴画面が表示されます。
- この製品では、電話を切ったときに自動的にウィルコムの留守番電話サービスにメッセージがあるか確認をします。メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます（☞ 3-47 ～ 48 ページ）。
  ウィルコムの留守番電話サービスを利用するときは、あらかじめウィルコムサービスセンターへの申し込みが必要です。

ご注意

- **パスワードによるロック（☞ 9-8 ページ）をしているときに電話がかかってきた場合**
  電話に出るためにパスワードを入力しロックを解除しても、画面には相手の名前／顔写真や電話番号は表示されません。

通話中に保留する

通話中、話しを保留できます。保留中は、お互いの声は聞こえません。
保留中はメロディが流れます。

1 画面左下の[キー表示]をタップし、[保留]をタップします。

保留中はメロディが流れます。

① 保留中は、[保留解除]に変わります。

2 保留を解除するときは、[保留解除]をタップします。

相手と通話できます。

通話中にメモする

通話中にメモに文字やイラストを手書きしたり、キーボードから文字を入力することができます。

1 **通話中、画面右下の メモ をタップします。**

メモの新規入力画面が表示されます。

2 **メモ（文字やイラスト）を入力します。**

メモを入力中でも相手と通話できます。

- 付属のスタイラスを使って画面に文字やイラストを手書きできます。
- キーボードから文字を入力できます。

3 **メモの入力が終わったら、画面右上の ok をタップします。**

通話中画面に戻ります。

入力したメモは、Today 画面（待ち受け画面）に表示されます（☞ 1-11 ページ）。

4 **通話を終えるときは、 PWR キーを押します。**

電話が切れます。

しばらくすると、Today 画面（待ち受け画面）に移ります。入力したメモが表示されます。

- メモの入力途中に上記手順 **3** を行い通話中画面に戻った場合は、入力途中のメモは保存されます。
  再度　通話中に画面右下の メモ をタップするとメモの新規入力画面が表示されます。
- 手順 **1** で表示されるメモの新規入力画面は、“メモ”プログラムの新規入力画面と同じです。メモの新規入力画面についてくわしくは、付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアルをご覧ください（アプリケーションマニュアルの見かたについては、1-72 ページをご覧ください）。

入力したメモを確認する

入力したメモのプレビューは、Today 画面（待ち受け画面）のクイックメモ（メモ）に表示されます。入力したメモの確認方法については、1-51 ページをご覧ください。

一度かけた番号に電話をかける（リダイヤル・発信履歴を利用する）

一度かけた電話番号に再度、電話をかけます。

1 **“電話”のダイヤル画面で、(カーソル)キーの右を押します。**

発信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後にかけた番号から表示されます。
(カーソル)キーの上下を使って、発信履歴を選択します。

2 **履歴画面で相手を選択し、[📞]キーを押します。または画面左下の[発信]をタップします。**

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。
履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るには[ok]をタップします。

MEMO

- 発信履歴は最大 20 件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます（同一の相手（電話番号）への発信の場合は、20 件以下のときでも一番新しい履歴だけが表示されます）。
- 発信履歴画面では、履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[1 件削除]をタップします。
  [全件削除]をタップすると、発信履歴すべてを削除します。
- 発信履歴を利用して電話をかけるときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞ 3-32 ページ）の設定にしたがいます。
- Today 画面（待ち受け画面）で、(カーソル)キーの右を押しても発信履歴画面が表示されます。(設定によっては表示されないことがあります（☞ 9-3 ページ))。

かかってきた番号に電話をかける（着信履歴を利用する）

かかってきた電話番号に電話をかけます。

1 **“電話”のダイヤル画面で、(カーソル)キーの左を押します。**

着信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後にかかってきた番号から表示されます。

2 **履歴画面で相手を選択し、[📞]キーを押します。または画面左下の[発信]をタップします。**

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。
履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るには[ok]をタップします。

- 着信履歴は最大 20 件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます。
- 着信履歴画面では、履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の メニュー − 1 件削除 をタップします。
  全件削除 をタップすると、着信履歴すべてを削除します。
- 着信履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞ 3-32 ページ）の設定にしたがいます。
- Today 画面（待ち受け画面）で、(カーソル)キーの左を押しても着信履歴画面が表示されます（設定によっては表示されないことがあります（☞ 9-3 ページ））。

“連絡先”の電話番号を使って電話をかける

“連絡先”に登録している電話番号を利用して電話をかけます。

1 “電話”のダイヤル画面で、画面左下の 連絡先参照 をタップします。

連絡先に登録している名前がリスト表示されます。

① 50 音タブをタップ、または名前の読みを入力して相手を探します。

MEMO

- リスト表示には、電話番号は表示されません。
- 連絡先に多くの人を登録しているときは、50 音タブをタップ、または名前の読みを入力して目的の相手を探します。

2 連絡先の選択画面で、電話をかける相手をタップします。

3 電話番号選択画面が表示されます。

4 電話番号をタップします。または、(カーソル)キーの上下を使って電話番号を選択（反転）し、[電話]キーを押します。

電話番号をタップしたときは、確認画面が表示されますので、 はい をタップします。
相手に電話がかかります。

MEMO

- “連絡先”を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞ 3-32 ページ）の設定にしたがいます。

ライトメールの送信履歴／受信履歴から電話をかける

ライトメールを使って送信した宛先（電話番号）や受信したライトメールの送信者に電話をかけます。

1 **“電話”のダイヤル画面で、(カーソル)キーの上、または下を押します。**

(カーソル)キーの上：送信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後に送信した番号から表示されます。

(カーソル)キーの下：受信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後に受信した番号から表示されます。

送信履歴画面

受信履歴画面

2 **履歴画面で電話番号を選択し、[発信キー]キーを押します。または画面左下の[発信]をタップします。**

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

MEMO

- 送信履歴、受信履歴共に最大 20 件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます（同一の相手（電話番号）への送信の場合は、20 件以下のときでも一番新しい履歴だけが表示されます）。
- 送信履歴、受信履歴共に履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[1 件削除]をタップします。
  [全件削除]をタップすると、履歴すべてを削除します。
- この履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞ 3-32 ページ）の設定にしたがいます。

発信／着信履歴画面、送信／受信履歴画面について

ここでは、発信履歴／着信履歴画面、送信履歴／受信履歴画面について説明します。

発信／着信履歴画面について

① 発信履歴画面では発信した日時、着信履歴画面では着信した日時が表示されます。

② 発信履歴画面では発信した相手（電話番号）、着信履歴画面では着信した相手（電話番号）が表示されます。
“連絡先”に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。
着信時、3-3 ページの手順 **1** に記載しているように、相手によって「ユーザ非通知」、「通知不可能」、「公衆電話発信」が表示されることがあります。

③ “連絡先”にその電話番号を登録しているときは、その番号に対応したアイコンが表示されます。

：携帯電話　　：勤務先電話
：自宅電話　　：PHS
：連絡先に登録していない相手と非通知の相手

④ 発信履歴画面では、非通知発信／通知発信をしたことを示すアイコン（184／186）が表示されます。
着信履歴画面では、不在着信の相手であることを示すアイコン（ ）が表示されます。

⑤ 発信履歴画面では、分計発信したことを示すアイコン（ ）が表示されます。
着信履歴画面では、伝言メモで対応した相手であることを示すアイコン（ ）が表示されます。

※ 発信／着信履歴画面で メニュー － 電話番号のコピー をタップすると、選択している電話番号をコピーできます。
コピーした電話番号は着信拒否設定画面（ 拒否番号 タブ）（☞ 3-41 ～ 42 ページ）で、 メニュー － 貼り付け をタップして利用できます。

ライトメール送信／受信履歴画面について

①	送信履歴画面では送信した日時、受信履歴画面では受信した日時が表示されます。
②	送信履歴画面では送信した相手（電話番号）、受信履歴画面では受信した相手（電話番号）が表示されます。 “連絡先”に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。 受信時、相手によって「ユーザ非通知」、「通知不可能」、「公衆電話発信」が表示されることがあります。
③	184 ：非通知発信したことを示すアイコンです。 186 ：通知発信したことを示すアイコンです。
④	アイコンあり：未読メールを示します。 アイコンなし：既読メールを示します。

メニューは、発信履歴画面や着信履歴画面と同様です。3-20 ページをご覧ください。

発信中、ポーズを使う

各種プッシュホンサービスを利用するときなど、かける電話番号の後ろに「P」（ポーズ）とサービスで利用する番号を入力して利用できます。
また、“連絡先”の電話番号に「電話番号」＋「P」（ポーズ）＋「サービス番号など」（例えば、03XXXXXXXXP12XX）と登録して、利用できます（☞付属のアプリケーションマニュアル）。
「P」は、全角半角、大文字小文字いずれもポーズとしてはたらきます。

ダイヤル画面で利用する

1 **ダイヤル画面で「電話番号」、ポーズ、「サービス番号」などを入力します。**

ポーズをタップすると、画面上には「P」が表示されます。

2 **キーを押します。**

「P」の前の番号までが発信され、電話がかかります。

3 **相手先とつながった後、再度キーを押します。**

「P」より右の番号がトーン信号で発信されます。

MEMO
- ポーズ（「P」）は複数入力できます。複数のポーズ（「P」）が入っているとき、最初のポーズまでを発信して止まります。キーを押すと次のポーズまでを発信し 2 つ目のポーズで止まります。再度、キーを押すと次のポーズまでを発信します。以降同様に動作します。

相手の声の大きさ（受話音量）を変える

●通話中に、カーソルキーの上、または下を押す。

通話中、相手の声の大きさを 5 段階に調節できます。

・カーソルキーの上：音が大きくなります。

・カーソルキーの下：音が小さくなります。

ご注意
- 音量を上げるときは、1 段階ずつ上げてください。
- 相手に話す自分の声の大きさは変えられません。

●電話画面（基本タブ）の受話音量で変える。

電話画面（基本タブ）の受話音量で、受話音量を調節します。

電話画面（基本タブ）の受話音量は、スタートメニューの "設定" をタップし、個人用タブの "電話" をタップして基本タブの "受話音量" をタップすると表示されます。

① 音量のレベルに直接タップして調節します。

② ①で設定した音量を最大音量として、個別に音量を設定します。

3 電話

伝言メモ

電話に出られないときなどに相手からのメッセージをこの製品に録音してあとで聞けるように設定できます。

伝言メモを設定する

1 **スタート メニューの "設定" をタップし、個人用 タブの "電話" の マナー タブをタップします。**

2 **"伝言メモ" をタップします。**

伝言メモ画面が表示されます。

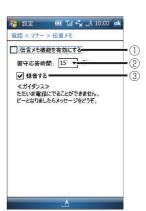
① チェックを付けると、伝言メモ機能が有効になります。

② 電話がかかってきて呼び出しが始まり伝言メモ機能に切り替わるまでの時間を設定します。

③ チェックを付けると「ただいま電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。

チェックを外すと、「ただいま電話にでることができません。しばらくたってからおかけ直し下さい。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません）。

3 **ok をタップします。**

MEMO

- 伝言メモの録音件数、録音時間
  - ・録音件数：5 件
  - ・録音時間：1 件につき最大約 15 秒

  録音件数が 5 件のとき伝言メモ機能がはたらくと、相手にはアナウンスのみ流れます。録音はできません。
- この伝言メモは、ウィルコムが提供している留守番電話サービスとは異なります。この製品の伝言メモとウィルコムの留守番電話サービスの両方を利用しているときは、呼び出し時間が短い方が優先されます。伝言メモの呼び出し時間の設定は上記手順 **2** の画面を、ウィルコムの留守番電話サービスの呼び出しの設定は 3-47 ～ 48 ページをご覧ください。
- **伝言メモを解除するには**

  伝言メモ画面で、「伝言メモ機能を有効にする」のチェックを外します。

伝言メモを聞く

伝言メモで録音メッセージを受けたときは、Today 画面（待ち受け画面）の下に アイコンが表示されます（ アイコンは、伝言メモ画面に録音メッセージがあるときに表示されます）。

1 キーを押し電話のダイヤル画面を表示します。

2 画面右下の メニュー － 伝言メモ をタップします。

伝言メモ画面が表示されます。

① 録音メッセージがあることを示します。

MEMO
- Today 画面（待ち受け画面）で、画面下部に アイコンが表示されているときは、アイコンをタップしても伝言メモ画面が表示されます。

3 再生したいメッセージがあるものを選択し、画面左下の 再生 または画面右下の メニュー － 再生 をタップします。

録音されたメッセージが受話口から流れます。

MEMO
- 録音されたメッセージを消去するときは、消去するメッセージを選択して メニュー － 消去 をタップします。表示された確認画面で はい をタップします。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

電話をかけるとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、3-2 ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、3-32 ページをご覧ください。

1 **ダイヤルキーを押して電話番号を入力します。**

2 **画面右下の メニュー － 通話 － 184 発信 をタップします。**
この場合、自分の電話番号を通知せずに電話をかけます。
分計発信するときは、 184 分計発信 をタップします。

3 **通話を終えるときは、 PWR キーを押します。**
電話が切れます。

MEMO
- 通常、自分の電話番号を通知しない状態のときに一度だけ通知するときは、上記の手順で メニュー － 通話 － 186 発信 をタップすると、自分の電話番号を通知します。
また、分計発信するときは、 186 分計発信 をタップします。

パワーサーチを行う

待ち受け中や通話中、一番電波の強い基地局を選択できます。

1 **ダイヤル画面で、画面右下の メニュー － パワーサーチ をタップします。**

2 **パワーサーチが始まります。**
パワーサーチ終了後、元の画面に戻ります。

MEMO
- パワーサーチを行っても、場所によっては電波状態が変わらないことがあります。
- 通話中のパワーサーチの回数は、一度の通話で 3 回までです（通話中のパワーサーチの操作は、画面左下の キー表示 をタップしてから、画面右下の メニュー － パワーサーチ をタップします）。

ご注意
- パワーサーチ実行中は、キーを押したりしないでください。

通話中にトーン信号（プッシュ信号）を送る

ダイヤルキーを使って、トーン信号（プッシュ信号）を送ることができます。
銀行の残高照会などのプッシュホンサービスを利用できます。

1 **相手先に電話をかけます。**

2 **通話中に、画面左下の［キー表示］をタップします。**

3 **ダイヤルを押すと、数字が画面上に表示され同時にその数字のトーン信号（プッシュ信号）が送られます。**

国際電話をかける

ウィルコムの国際電話サービスをご利用いただくことにより、国際電話をかけられます（事前のお申し込みは不要です）。

この製品から海外へかける

例）アメリカの「212-XXX-XXXX」へかける場合

1 **［0］［1］［0］と国番号に続いて相手の電話番号を押します。**

［0］［1］［0］ － ［1］ － ［2］［1］［2］ － ［X］［X］［X］－［X］［X］［X］［X］

アメリカの国番号　ニューヨークの地域番号　相手の電話番号

- 通話料については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
- 申込手数料、月額料金は不要です。

海外からこの製品へかける

例）アメリカからこの製品（070-XXXX-XXXX）へかける場合

1 **以下の電話番号を押します。**

※アクセス番号は、国によって違います。

自分の電話番号を見る

この製品に設定されている電話番号を表示します。

1 ダイヤル画面で、画面右下の メニュー － 自局番号表示 をタップします。

MEMO
- 通話中は、画面左下の キー表示 をタップし、画面右下の メニュー － 自局番号表示 をタップしても表示されます。
- 画面右下の メニュー － 設定 － “自番号”をタップしても表示されます。
- ダイヤル画面または通話中の画面で、（アクション）キー（（カーソル）キーの中央のキー ☞ 1-2 ページ）を押しても表示されます。

2 画面に自分の電話番号とオンラインサインアップで登録したメールアドレスが表示されます。

① 国・地域／事業者が表示されます。
② **この製品の電話番号**
③ **オンラインサインアップで登録したメールアドレス** オンラインサインアップをしていないときは、表示されません。

MEMO
- 画面右下の メニュー をタップし、 電話番号をコピー を選択すると自分の電話番号をコピーし、 メールアドレスをコピー を選択するとメールアドレスをコピーします。
  コピーした内容は別のプログラムで貼り付けることができます。

3 ok をタップすると、元の画面に戻ります。

かかってきた番号／かけた番号を“連絡先”に登録する

かかってきた電話番号やかけた電話番号は、着信履歴や発信履歴として新しいものからそれぞれ 20 件ずつ残っています。この着信履歴や発信履歴の電話番号を“連絡先”に登録し活用できます。

1 **ダイヤル画面で、(カーソル)キーの左、または右を押します。**
着信履歴画面または発信履歴画面が表示されます。

MEMO
- Today 画面（待ち受け画面）で、(カーソル)キーの左右を押しても着信履歴画面／発信履歴画面が表示されます。

2 **着信履歴画面または発信履歴画面で、登録する電話番号を(カーソル)キーの上下を使って選択（反転）します。**

3 **画面右下の [メニュー] − [連絡先に登録] をタップし、[新規登録] または [追加登録] をタップします。**
※ [追加登録] をタップした場合は、電話番号を追加したい“連絡先”をタップし、手順 **4** に移ります。

4 **電話番号の種別（PHS や携帯電話、勤務先電話など）を選択し、[ok] または画面右下の [決定] をタップします。**
選択した種別に電話番号が登録されます。たとえば、PHS を選択すると、PHS の項目に電話番号が入ります。

ご注意
- 手順 **3** で [追加登録] をタップした場合、すでに電話番号が入っている「電話番号の種別」を選択すると、手順 **2** で選択した電話番号に置き換わります。追加登録するときは「電話番号の種別」の選択に注意してください。

5 **“連絡先”の新規入力画面または編集画面になりますので、各項目をタップして、情報を入力（☞付属のアプリケーションマニュアル）します。**

6 **入力が終わったら、[ok] をタップします。**
手順 **2** で選択した電話番号が入った連絡先のデータが保存されます。

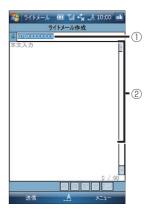
発信履歴や着信履歴を使ってライトメールを作る

電話をかけた相手や電話をうけた相手の電話番号を使って、ライトメールを作成できます。
ここでは、発信履歴画面を使って、ライトメールを作成する方法を説明します。
着信履歴画面を使った場合も同じようにできます。

1 **3-6 ページと同様にして、発信履歴画面を表示します。**

2 **送信する相手を選択（反転）し、画面右下の メニュー － ライトメール作成 をタップします。**

選択した相手の電話番号が入った“ライトメール”の新規作成画面が表示されます。

① 選択した相手の電話番号
② 本文入力欄

3 **本文入力欄をタップし、本文を入力します。**

4 **画面左下の 送信 をタップまたは [通話キー] を押します。**

ライトメールが送信されます。

MEMO

- ライトメール送信履歴画面や受信履歴画面からもライトメールを作成できます。ライトメール送信履歴画面／受信履歴画面で、画面右下の メニュー － ライトメール作成 をタップします。以降、上記の手順 **3** ～ **4** を行いライトメールを送信します。
- “ライトメール”を起動し、ライトメールの作成もできます。くわしくは、4-76 ページをご覧ください。
- “連絡先”からもライトメールを作成できます。くわしくは、付属のアプリケーションマニュアルをご覧ください。

電話のメニュー

ダイヤル画面のメニュー

ライトメール作成	新規ライトメールを作成する(☞4-76ページ)。
パワーサーチ	一番電波の強い基地局を選択する(☞3-14ページ)。
自局番号表示	この製品に設定されている電話番号を表示する(☞3-16ページ)。
伝言メモ	録音している伝言メモをリスト表示する(☞3-12ページ)。
設定	電話設定画面を表示する(☞3-21ページ)。

ダイヤル画面（ダイヤル入力時）のメニュー

連絡先に登録	新規登録	表示している番号を新たに“連絡先”に登録する。
	追加登録	表示している番号を登録している“連絡先”のデータに追加で登録する。
ライトメール作成		入力された電話番号を宛先としてライトメールを作成する(☞4-76ページ)。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-50ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける(☞3-50ページ)。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける(☞3-50ページ)。
クリア		最後に入力した番号(右端の番号)を削除する。

通話画面のメニュー（キー表示中）

保留	通話を保留する(☞3-4ページ)。保留中は、保留解除になる。
パワーサーチ	一番電波の強い基地局を選択する(☞3-14ページ)。
自局番号表示	この製品に設定されている電話番号を表示する(☞3-16ページ)。

発信／着信履歴画面、送信／受信履歴画面のメニュー

ライトメール作成		選択している電話番号を宛先としてライトメールを作成する（☞4-76ページ）。
通話	**発信**	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-50ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービス（☞3-50ページ）を利用して電話をかける。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービス（☞3-50ページ）を利用して電話をかける。
連絡先に登録	**新規登録**	選択している電話番号を新たに“連絡先”に登録する（☞3-17ページ）。
	追加登録	選択している電話番号を登録している“連絡先”のデータに追加で登録する（☞3-17ページ）。
伝言メモ再生		着信履歴画面で選択している電話番号に伝言メモが録音されている場合に、その伝言メモを聞ける。
1件削除		選択している履歴を削除する。
全件削除		各履歴画面で表示されている履歴をすべて削除する。
電話番号のコピー		選択している履歴の電話番号をコピーする。

電話／メールの着信音やマナーモードなどの設定をする

着信音の音量を調節する

電話／ライトメール／メールを着信したとき着信音の音量を変えるには、以下のような方法があります。

●着信音が鳴っているときは、(カーソル)キーの上、または下を押す。

・(カーソル)キーの上：音が大きくなります。

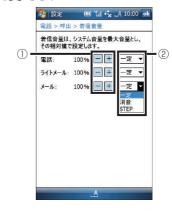
・(カーソル)キーの下：音が小さくなります。

音量の調節は、5 段階です。

● 通話中に(カーソル)キーの上、または下を押すと、相手の声の大きさが変わります。

●着信音が鳴っていないときは、着信音量画面で変える。

着信音量画面の表示方法は、次ページのメモをご覧ください。

① ＋ または － をタップしてレベルを調節します。
② 音量を一定にしたり、時間経過とともに音量を大きくできます。音を鳴らさないときは「消音」を選択します。少しずつ音を大きくして一定の音量にしたいときは「STEP」を選択します。

● 呼出やバイブ設定画面の表示方法について

1 スタート メニューの “設定” をタップし、設定画面で 個人用 タブをタップします。

2 “電話” をタップし、呼出 タブをタップします。

① 着信音量画面を表示するときにタップします。

3 各アイコンをタップすると、画面が表示されます。

4 設定が終われば、ok をタップします。

着信音のメロディを変える

着信音のメロディを変更できます。また、この製品に保存している音楽ファイル（WAVE ファイル、MIDI ファイル）を着信音にできます（☞次ページ）。

メロディを変える

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **呼出 タブをタップし、 “メロディ” をタップします。**

電話、ライトメール、メールそれぞれに着信音のメロディを設定します。

① タップすると個別着信音の設定に関するヘルプが表示されます。

② 着信音のメロディを選択します。
「黒電話」、「着信音 1」などは、この製品に入っているメロディです。♪ をタップするとメロディを再生します。途中で止めるには ■ をタップします。
「《ファイル参照》」を選択すると音楽ファイル選択画面が表示されますので、この製品に保存している音楽ファイル（WAVE ファイル、MIDI ファイル）を選択できます（☞次ページ）。

③ メロディを再生します。再生中は ■ になりますので、 ■ をタップすると停止します。

3 **設定が終われば、 ok をタップします。**

MEMO
- “連絡先” に登録しているデータを使って個別の着信音を設定できます。くわしくは3-25 ページをご覧ください。

音楽ファイルを選択する

前ページで、「《ファイル参照》」を選択すると、この製品に保存している音楽ファイル（WAVE ファイル、MIDI ファイル）を着信音として選択できます。

ご注意
- 着信音として選択できるのは WAVE ファイル、MIDI ファイルです。
  MP3 や WMA は選択できません。
  また、MIDI ファイルによっては、再生できないものもあります。

---

① フォルダを指定します。
保存しているファイルが表示されないときは、そのファイルが入っているフォルダを確認してください。

② ①で指定されたフォルダ内の音楽ファイルがリスト表示されます。
このリストから、着信音にしたいファイルをタップします。
タップすると自動的に前ページの画面に戻ります。
再生するときは、前ページの ♪ をタップし、停止するときは ■ をタップします。
※ microSD カードに保存している音楽ファイルを選択した場合、確認画面が表示され、 はい をタップします。選択した音楽ファイルが本体メモリにコピーされ、その音楽ファイルが選択されます。

バイブレータの設定をする

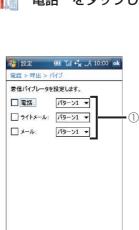
バイブレータの設定ができます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **呼出 タブをタップし、 “バイブ” をタップします。**

① 電話着信時、ライトメール受信時、メール受信時それぞれに、バイブレータのオン／オフを設定します。
チェックを付けるとバイブレータはオンになり、チェックを外すとオフになります。▼をタップしてバイブレータのパターンを設定します。

3 **設定が終われば、 ok をタップします。**

個別着信音を設定する

連絡先に登録しているデータに個別の着信音を設定できます。

個別着信音を設定する

1 **“連絡先”を起動し、着信音を設定したい相手のデータを表示（詳細表示）します。**

2 **メニュー ー 個別着信音の設定 をタップします。**

個別着信音の設定画面が表示されます。

3 **リストから着信音を選択します。**

MEMO
- リストに表示されている以外の着信音を選択するときは、ファイル選択 をタップしフォルダを切り替えて選択します。microSD カードの音楽ファイルを選択すると、その音楽ファイルが本体メモリにコピーされ、選択されます。
- 1 件のデータに複数の電話番号を登録していても、各電話番号に個別着信音を設定することはできません。着信音は 1 件のデータに対して設定されます。
手順 **1** で複数の電話番号が表示されているとき、電話番号を選択し手順 **2** ～ **3** を行っても電話番号に対して着信音が設定されるのではなく、1 件のデータに着信音が設定されます。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

設定している個別着信音を解除する

1 **“連絡先”を起動し、着信音を設定しているデータを表示（詳細表示）します。**

2 **メニュー ー 個別着信音の設定 をタップします。**

個別着信音の設定画面が表示されます。

3 **リストから 個別着信音設定なし を選択し、ok をタップします。**

詳細画面に戻り、個別着信音が解除されます。
この場合、着信時には、“メロディ”（☞ 3-23 ページ）で設定している着信音が鳴ります。

通話中の着信を通知する

通話中に、着信があったときやEメール（ウィルコム）のアカウントにメールを受信したことを音とメッセージの表示で通知することができます。
ただし、通話中に着信があっても、通話を切り替えることはできません。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **基本 タブで “データ通信” をタップします。**

通話中着信のON／OFFを設定します。

① ONにすると、通話中に電話などがかかってきたとき通知音が鳴りメッセージが画面に表示されます。

※通信中に着信したときの設定は、下記をご覧ください。

3 **設定が終われば、 ok をタップします。**

インターネット接続中などデータ通信中に着信する

パケット方式でデータ通信中（ホームページ閲覧中やメール送受信中、またはパソコンに接続してこの製品をモデムとして使用中）、着信したときに自動的に回線を切断して呼び出しするようにできます。
ただし、この設定はパケット方式でデータ通信中のみ有効です。
パケット方式は、4X／2X／1Xパケット方式またはフレックスチェンジ方式でパケット方式になっているときです。
64kPIAFS（ベストエフォート／ギャランティ）方式や32kPIAFS方式でデータ通信中は、着信しません。
ご加入のサービスをご確認いただき、この設定が利用できるかどうか確認ください。
なお、この設定をすると、ファイルのダウンロード中など通信途中でも着信すると自動的に回線を切断しますので、ご利用の際には注意してください。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 基本 タブで “データ通信” をタップします。

通信中着信の ON ／ OFF を設定します。

① パケット方式でデータ通信中に着信があったとき、データ通信を切断し着信するかどうかを設定します。ON にすると自動的に回線を切断して着信します。OFF にすると着信しません（回線はつながったままです）。

② 64kPIAFS で接続するとき、ベストエフォート方式で通信するのかギャランティ方式で通信するのかを設定します。

3 設定が終われば、ok をタップします。

着信時、照明（バックライト、キーボード）を点灯する

電話着信時やメール／ライトメール受信時、画面のバックライトを点灯したりキーボードやダイヤルキーなどのバックライトを点灯するようにします。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。

電話設定画面が表示されます。

2 呼出 タブをタップし、 “照明” をタップします。

① 電話着信時、バックライトを点灯する／しないを設定します。バックライトが点灯したとき、キーボードやダイヤルキーなどのバックライトも点灯します。

② メール／ライトメール受信時、バックライトを点灯する／しないを設定します。バックライトが点灯したとき、キーボードやダイヤルキーなどのバックライトも点灯します。

3 設定が終われば、ok をタップします。

電話着信／メール受信時、ランプを点灯する

電話着信時やメール／ライトメール受信時、不在着信／未読メールがあったときに電波状態ランプ（☞ 1-2 ページ）を青色に点滅または点灯します。

この設定をすると、電波強度の状態を示しているランプが一時的に電話着信／メール受信や不在着信／未読メールありを示すランプになります。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。

電話設定画面が表示されます。

2 呼出 タブをタップし、 “ランプ” をタップします。

① 電話着信時やメール／ライトメール受信時、電波状態ランプを青色に点滅する／しないを設定します。

② 不在着信があったときや未読のメール／ライトメールがあるとき、電波状態ランプを青色に点灯する／しないを設定します。

3 設定が終われば、 ok をタップします。

メール受信時、着信音などによる呼び出し時間を設定する

メールやライトメール受信時に、受信したことを知らせる着信音やバイブレータなどの時間を設定します。
設定した時間を越えると、着信音やバイブレータなどは停止します。

1 **スタート メニューの "設定" をタップし、"電話" をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **呼出 タブをタップし、"呼出時間" をタップします。**

① ライトメール受信時、呼び出し時間を設定するのか、"メロディ"（☞3-23ページ）で設定した音を何回再生するのかを設定します。
設定した時間または回数だけ呼び出しを行います。

② ①と同様にメール受信時の呼び出し時間または再生回数を設定します。

3 **設定が終われば、ok をタップします。**

マナーモードを設定する

マナーモードの設定を行います。

1 **スタートメニューの "設定" をタップし、"電話" をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **マナータブをタップし、"マナーモード" をタップします。**

① マナーモードにする／しないを設定します。

② マナーモードにしたときのモードの種類を選択します。

・標準
　システム音※1：OFF、着信音：OFF、
　バイブレータ：ON、伝言メモ：ON※3

・サイレント
　システム音※1：OFF、着信音：OFF、
　バイブレータ：OFF、伝言メモ：ON※3

・おやすみ
　システム音※1：ON、着信音：OFF、バイブレータ：OFF、伝言メモ：ON※3

・オリジナル
　システム音、着信音※2、バイブレータ、伝言メモ※3の設定ができます。

※1 システム音とは、画面タップやアラーム、音楽などスピーカーから出力する再生音です。

※2 システム音が ON のときのみ、着信音の設定（ON/OFF）ができます。

※3 伝言メモが ON のときは、伝言メモの設定（☞ 3-12 ページ）にしたがいます。

3 **設定が終われば、ok をタップします。**

安全運転モードの設定をする

車を運転中などで電話にでることができない場合、安全運転モードにできます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **マナー タブをタップし、 “安全運転” をタップします。**

① 安全運転モードにする／しないを設定します。

② 電話機応答、ネットワーク応答のどちらかを選択します（安全運転モードを有効にして（①にチェックを付けて）設定します）。

・電話機応答：この製品が応答します。
  ・「伝言メモに録音する」にチェックを付けると
  この製品の伝言メモが応答し、「ただいま運転中のため、電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます（伝言メモが５件以内の場合）。
  ・ チェックを付けないと
  「ただいま運転中のため、電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません。）
・ネットワーク応答：ウィルコムのネットワークが応答します。
  ・「留守番電話サービスを利用する」にチェックを付けていた場合
  ウィルコムのネットワーク応答留守番電話サービスが応答し、相手のメッセージを録音します。
  ・ チェックを付けないと
  ネットワークが応答しアナウンスが流れます。
  メッセージの録音はありません。

※ ネットワーク応答を利用するときはウィルコムの留守番電話サービスに申し込む必要があります。

3 **設定が終われば、 ok をタップします。**

発信者番号通知などを設定する

発信者番号の通知、圏外警告音、エニーキーアンサーの設定をします。

発信者番号通知を設定する

電話をかけたとき発信者番号（自分の電話番号）を通知する／通知しないを設定します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **基本 タブをタップし、 “発着信／通話” をタップします。**

① 発信者番号（自分の電話番号）を通知する／通知しない（非通知）の設定をします。
「ON」　：発信者番号を通知します。
「OFF」：発信者番号を通知しません（非通知）。

3 **設定が終われば、 ok をタップします。**

圏外警告音、エニーキーアンサーを設定する

圏外警告音、エニーキーアンサーの設定をします。

1 **電話設定画面で 基本 タブをタップし、 “発着信／通話” をタップします。**

① 圏外警告音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

② エニーキーアンサーの設定をします。
エニーキーアンサーを「ON」にすると、着信時、 PWR キー以外のキーやキーボードのキーを押しても電話が取れます。
たとえば、着信時、 ok キーを押したりキーボードの A キーを押すと、電話が取れます（相手と話しができます）。

2 **設定が終われば、 ok をタップします。**

セキュリティをかける

通話／通信機能制限、PIN ロック、リモートロック、着信拒否、位置情報通知を行うためには（各設定画面を表示するためには）、暗証番号を入力しロックを解除する必要があります。
ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）になっています。この暗証番号は変更することができます（☞ 3-36 ページ）。

ご注意

- この暗証番号は絶対に忘れないようにしてください。この暗証番号を忘れると、W-SIM を使った機能（電話、メール、ライトメール、インターネット、データ通信など）ができなくなります。
  万一のために、暗証番号は控えておいてください。

通話／通信機能を制限する

通話や通信機能を制限します。この機能を設定すると、以下のことができなくなります。

- 電話をかける
- ライトメールの送信
- メールの送受信
- インターネット接続
- USB 接続（パソコンとの同期、この製品をモデムとして使用）
- 内蔵ワイヤレス LAN を使った通信

■通話／通信機能を制限（ロック）する

1 **[スタート] メニューの “設定” をタップし、“電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **[セキュリティ] タブをタップし、“通話通信制限” をタップします。**

3 **暗証番号入力画面が表示されますので、暗証番号を入力します。**

ご購入時、この暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）です。「0000」を入力します。
入力した暗証番号が正しいと次の手順の画面が表示されます。

- 暗証番号を一定回数以上間違えると、次に正しい暗証番号を入力しても「暗証番号が違います。」と表示されます。
  このようなときは、いったん電源を切った後、再度電源を入れて、暗証番号を入力してください。

4 **表示された画面で、「制限する」にチェックを付け、[ok] をタップします。**

これでロックがかかり、Today 画面（待ち受け画面）に が表示されます（☞ 1-17 ページ）。

■制限（ロック）を解除する

1 前ページの手順 1 ～ 3 を行い表示された画面で「制限しない」にチェックを付けます。

2 ok をタップします。
ロックが解除されます。

W-SIM をロックする

■ W-SIM をロックする

PIN コードを設定すると W-SIM をロックして、PIN コードを入力しないと通話、ライトメールの送信／受信、インターネット接続ができなくなります（PHS 電話機能が使えなくなります）。
※ PIN コードは、ご自分で設定できます。
通話／通信機能の制限では電話着信やライトメールの受信はできますが、W-SIM をロックすると電話を受けたりライトメールの受信もできなくなります。
PIN コードや PUK コードについては、次ページのメモをご覧ください。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、“電話” をタップして、セキュリティ タブをタップします。

2 “W-SIM ロック” をタップし、表示された暗証番号画面で暗証番号を入力します。
ご購入時、この暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）です。
入力した暗証番号が正しいと、W-SIM ロック設定画面が表示されます。

3 W-SIM ロック設定画面で、PIN コードを入力します。入力できる PIN コードは 4 桁～ 16 桁の数字です。確認のために、「確認」欄に同じ PIN コードを入力します。

4 設定 をタップし、表示された画面で ok をタップします。

5 表示された W-SIM ロック設定画面で、ok をタップします。さらに、セキュリティ設定画面で ok をタップします。

6 PWR キーを長く押し電源を切ります。
W-SIM がロックされ、次回、電源を入れたときから通信／電話機能が使えなくなります。
次から PWR キーを長く押し電源を入れると、PIN コード入力画面が表示されるようになります。

7 **電源を入れると PIN コード入力画面が表示され、（手順 3 で入力した）PIN コードを入力し、画面右下の[入力完了]をタップします。**

W-SIM のロックが一時的に解除され（一時解除）、通信／電話機能を使えるようになります。[PWR]キーを長く押し電源を切ると、再度、W-SIM がロックされます。

PIN コードを入力せずに、画面左下の[キャンセル]をタップするとこの製品の“予定表”などの PIM 機能のみ使うことができます。このようなときに電話やライトメールなどを行うには、[通話]キーを押して表示された PIN コード入力画面で、PIN コードを入力して W-SIM のロックを一時解除してください。PIN コードの入力を 10 回間違ったときについては、次ページのご注意をご覧ください。

MEMO

- **PIN コード／ PUK コードとは**

  PIN コードは、盗難などによって他人にこの製品の電話／ライトメールなどを使われないようにするために、W-SIM をロックする暗証番号です。

  PIN コードを忘れると通信／電話機能が使えなくなりますので、絶対に忘れないようにしてください。

  PIN コードを忘れたときは、次ページのご注意に記載しているように PUK コードを入力します。この PUK コードはロックした W-SIM を解除するためのコードです。PUK コードの入手方法は、W-SIM の箱に付属の取扱説明書をご覧ください。

■ロックを解除する（完全解除）

電源を切っても、W-SIM がロックされないようにします。

1 **前ページの「W-SIM をロックする」の手順 1 〜 2 と同様にして、W-SIM ロック設定画面を表示します。**

2 **表示された画面で、PIN コードを入力し[解除]をタップします。**

ロックが解除され、通信／電話機能を使えます。

電源を切り、次に電源を入れても PIN コード入力画面は表示されず W-SIM の機能を使えます。

■ PINコードを変更する

W-SIM 一時解除中（☞ 3-35 ページ）など PIN コードが設定されているときに、PIN コードを変更できます。

1 3-34 ページの「W-SIM をロックする」の手順 **1** ～ **2** と同様にして、W-SIM ロック設定画面を表示します。

2 PIN コード変更 をタップします。

3 「現在の PIN コード」欄に現在の PIN コードを入力します。そして、「新しい PIN コード」欄に新しい PIN コードを入力し、さらに「確認」欄に新しい PIN コードを再度入力します。

4 変更 をタップします。

PIN コードが変更されます。

ご注意 ● ロックを解除するときなど、間違った PIN コードを 10 回入力すると PUK コードの入力が必要となりますので、PIN コードを忘れないようにしてください。この PUK コードの入手方法は、W-SIM の箱に付属の取扱説明書に記載していますので、そちらをご覧になり PUK コードを入手し入力してください。

W-SIM の暗証番号を変更する

ご購入時に設定されている暗証番号（「0000」（半角数字 0（ゼロ）4 つ））を別の暗証番号に変更できます。

1 電話設定画面（ セキュリティ タブ）を表示し、 暗証番号変更 をタップします。

2 「W-SIM の暗証番号変更」画面で「現在の暗証番号」に現在の暗証番号を入力します。

ご購入時、この暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）4 つ）です。

3 「新しい暗証番号」の欄に新しい暗証番号を入力し、さらに確認欄に同じ暗証番号を入力します。

4 確認メッセージが表示され、 OK をタップすると暗証番号が変わります。

リモートロックを利用する

この製品を紛失した場合に個人情報の漏洩や悪用を防ぐため、他の機器（サブアドレス通知可能なPHS端末など）から遠隔操作してこの製品を使用できないようにロックすることができます。遠隔操作でリモートロックを起動するには、この製品に電話をかける方法と、ライトメールを送信する方法、ウィルコムのホームページから行う方法の3通りがあります。
ウィルコムのホームページからリモートロックを行う方法やサブアドレス通知可能なPHS端末について、詳しくはウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

- **リモートロック中の操作について**
  リモートロック中は以下の操作のみ行えます。
  - ・かかってきた電話を受ける
  - ・電話を切る
  - ・電源を入れる／切る

  ※リセットや完全消去（フォーマット）を行ってもリモートロックは解除されません。

リモートロックを設定する

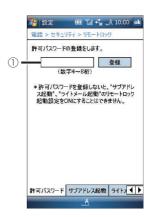
リモートロックを起動するには、準備として次の3つの設定が必要です。
- ・許可パスワード（4～8桁の数字）を登録する。
- ・リモートロック起動設定を「ON」に設定する。
- ・この製品を遠隔操作する機器の電話番号を登録する。

1 **スタートメニューの“設定”をタップし、“電話”をタップします。**
電話設定画面が表示されます。

2 **セキュリティタブをタップし、“リモートロック”をタップします。**

3 **表示された画面でW-SIMの暗証番号を入力します。**
ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字0（ゼロ）が4つです。）
「0000」を入力します。

4 **許可パスワードを入力し、登録をタップします。**

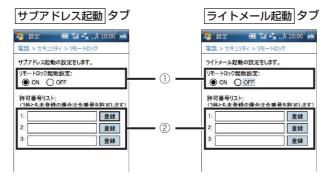
①4～8桁の半角数字を入力します。

5 リモートロック起動設定をします。

・ **電話（※）をかけてリモートロックを起動するときは**

※ サブアドレス通知可能な PHS 電話機

[サブアドレス起動] タブをタップし、リモートロック起動設定を「ON」にし、リモートロック許可番号（電話番号）を入力します。

・ **ライトメールを送信してリモートロックを起動するときは**

[ライトメール起動] タブをタップし、リモートロック起動設定を「ON」にし、リモートロック許可番号（電話番号）を入力します。

① リモートロック起動設定の ON ／ OFF を設定します。

② この製品のリモートロックを起動することを許可する電話番号を設定します。
3 つの入力欄すべてに何も入っていないときは、どの電話番号からでもリモートロックを起動できます。

6 [登録] をタップします。

7 設定が終われば、[ok] をタップします。

MEMO
● 許可番号を削除するときは、保存している許可番号の右横の [クリア] をタップします。変更するときも、いったん [クリア] をタップし削除したのち、新しい番号を入力します。

リモートロックを起動する

リモートロック許可番号に登録した機器から、この製品に電話をかける、またはライトメールを送信してリモートロックを起動します。

■電話をかけてリモートロックを起動する

1 他の電話機からこの製品に電話をかけます。

この製品の電話番号→「＊ 01」→許可パスワードの順にダイヤルキーを押して発信します。

070−XXXX−XXXX−＊01−XXXXXXXX

この製品の電話番号　　許可パスワード

■ライトメールを送信してリモートロックを起動する

1 **他の電話機からこの製品にライトメールを送信します。**

ライトメール本文に「ソウサ 1XXXXXXXX」(「XXXXXXXX」は許可パスワード)と入力し、この製品に送信します。
「ソウサ」はカタカナ、「1」は数字、「XXXXXXXX」は半角数字を入力します。

リモートロックを解除する

リモートロック起動許可番号に登録した機器からこの製品に電話をかける、またはライトメールを送信してリモートロックを解除します。

MEMO ● リモートロック解除後、自動的に再起動が行われます。

■電話をかけてリモートロックを解除する

1 **他の電話機からこの製品に電話をかけます。**

この製品の電話番号→「＊ 00」→許可パスワードの順にダイヤルキーを押して発信します。

070－XXXX－XXXX－＊00－XXXXXXXX

この製品の電話番号　　許可パスワード

■ライトメールを送信してリモートロックを解除する

1 **他の電話機からこの製品にライトメールを送信します。**

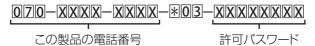
ライトメール本文に「ソウサ 0XXXXXXXX」(「XXXXXXXX」は許可パスワード)と入力し、この製品に送信します。
「ソウサ」はカタカナ、「0」は数字、「XXXXXXXX」は半角数字を入力します。

リモートロックを起動し完全消去(フォーマット)を行う

ご注意 ● この操作を行うとこの製品に保存しているデータはすべて消去されます。この操作を行うときは、押したダイヤルキーが間違っていないか必ず確認してください。

■電話をかけてリモートロック起動と完全消去(フォーマット)を行う

1 **他の電話機からこの製品に電話をかけます。**

この製品の電話番号→「＊ 03」→許可パスワードの順にダイヤルキーを押して発信します。

■ライトメールを送信してリモートロック起動と完全消去（フォーマット）を行う

1 **他の電話機からこの製品にライトメールを送信します。**

ライトメール本文に「ソウサ 3XXXXXXXX」（「XXXXXXXX」は許可パスワード）と入力し、この製品に送信します。
「ソウサ」はカタカナ、「3」は数字、「XXXXXXXX」は半角数字を入力します。

着信制限をする

非通知の番号や指定した電話番号からの着信を拒否する設定をします。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップして、セキュリティ タブをタップします。**

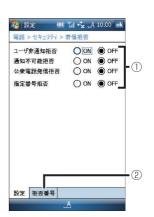
2 **“着信拒否” をタップします。**

3 **表示された画面で W-SIM の暗証番号を入力します。**

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が４つ）です。「0000」を入力します。
入力した暗証番号が正しいと、着信拒否設定画面（設定 タブ）が表示されます。

① 着信拒否を設定します。それぞれの項目を「ON」にすると着信拒否します。
- ・ユーザ非通知拒否：電話番号を非通知にしている電話
- ・通知不可能拒否　：相手が通知できないエリアや電話機
- ・公衆電話発信拒否：公衆電話からの電話
- ・指定番号拒否　　：②で指定した電話番号からの電話

② ①の指定番号拒否を「ON」にしたときに、着信拒否する電話番号を設定します（☞次ページ）。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

着信拒否をする／着信拒否を解除する

特定の電話番号に対して、着信拒否を設定できます。
着信拒否する電話番号を設定すると、その相手（電話番号）が電話をかけると、相手には話し中になります。
登録できる電話番号は 10 件です。

着信拒否をする

1 前ページと同様にして、着信拒否設定画面（設定タブ）を表示します。

2 指定番号拒否の「ON」にチェックを付けます。

3 拒否番号タブをタップします。

着信拒否設定画面（拒否番号タブ）が表示されます。

4 いずれかの方法で着信拒否したい電話番号を入力します。

・直接、入力項目に電話番号を入力します。
・着信／発信履歴画面で電話番号をコピーしているときは、画面右下の メニュー ー 貼り付け をタップし、電話番号を入力します。

5 登録をタップします。

手順 **4** で入力した電話番号が着信拒否電話番号として登録されます。

6 設定が終われば、 ok をタップします。

着信拒否を解除する

■一時的に着信拒否を解除する

一時的に着信拒否を解除するときは、着信拒否設定画面（設定タブ）で「指定番号拒否」を「OFF」にします。

■設定している着信拒否の電話番号を削除し、着信拒否を解除する

1 着信拒否設定画面（拒否番号タブ）を表示します。

2 着信拒否を解除する電話番号の欄にカーソルを移します。

3 画面左下の登録解除をタップします。

4 表示された画面でOKをタップします。

5 カーソル位置の電話番号が消え、着信拒否を解除します。

● 別の方法で着信拒否を解除する

1 解除する電話番号を削除します。

2 電話番号欄の右に解除ボタンが表示されますので、解除ボタンをタップします。

3 表示された画面でOKをタップします。
削除した電話番号の着信拒否が解除されます。

位置情報を通知する

位置情報通知機能とは、この製品が受信している複数の基地局の基地局情報をセンターに通知する機能です。
ウィルコム位置検索サービスなどの位置情報通知サービスへ申し込む（有料）と、この機能を利用して位置情報サービスなどを受けることができます。

1 **スタートメニューの “設定”をタップし、 “電話”をタップして、セキュリティタブをタップします。**

2 **“位置情報”をタップし、表示された暗証番号画面で W-SIM の暗証番号を入力します。**

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）です。「0000」を入力します。

3 **位置情報設定画面（設定タブ）で、位置情報の通知などを設定します。**

① LI（位置情報通知）機能のオン／オフを設定します。
チェックを付けると、LI 機能がオンになります。

② 登録した通知許可番号（☞下記）から位置情報送出の要求があったときに、位置情報を通知する／しないを設定します。
チェックを付けると位置情報を通知します。

③ 位置情報を通知したときに、確認音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
チェックを付けると確認音が鳴ります。

通知許可番号とパスワードを登録する

上記の手順 **3** の画面で通知許可番号タブをタップし、この製品から送出した位置情報を受け取る番号（通知許可番号）とパスワードを設定します（5 つまで設定できます）。
それぞれの入力欄に通知許可番号と通知許可パスワードを入力し登録をタップします。
※通知許可パスワードは 8 桁までです。

- **登録した通知許可番号を削除するときは、以下のどちらかの方法で削除します。**
  - ・削除する通知許可番号の欄にカーソルを移し、画面左下の登録解除をタップして、表示された確認画面でOKをタップします。
  - ・通知許可番号を消去し、解除をタップして、表示された確認画面でOKをタップします。

電話帳のデータを読み込む／書き込む

他の商品で W-SIM に保存した電話帳のデータをこの製品に読み込みます。
また、この製品の“連絡先”に保存しているデータを W-SIM に書き込みます。

1 電話帳のデータが入った W-SIM を取り付けます（☞ 10-11 ページ）。

2 スタート メニューの “設定”をタップし、 “電話”をタップして、 その他 タブをタップします。

3 “電話帳転送”をタップし、 転送ツールを起動 をタップします。

■読み込む

1 読み込み開始 をタップします。

W-SIM の電話帳のデータが、この製品の“連絡先”に読み込まれます。

■書き込む

1 書き込み開始 をタップします。

W-SIM に書き込むときは、W-SIM に保存していた電話帳のデータをすべて消去してから“連絡先”のデータを書き込みます。

書き込めるデータ件数は最大 700 件です。ただし、1 件のデータ内容が多い場合は 700 件を書き込めないこともあります。

700 件以上ある場合は、“連絡先”のリストでフリガナに入力している文字の順（※）で先頭から 700 件までを書き込みます。

※数字→アルファベット→カナ（50 音）の順

4 確認画面で OK をタップします。

データの読み込みまたは書き込みが行われます。

5 表示された画面で ok をタップします。

- W-SIM に書き込める“連絡先”の項目
  W-SIM にデータを書き込むとき、書き込める“連絡先”の項目は以下の項目です。
  ※ 1 フリガナの項目は必要です。フリガナがないデータは W-SIM に書き込むことができません。
  ※ 2 書き込める電話番号の項目（PHS、携帯電話、自宅電話など）は、最大 3 項目です。下記の 1 つ目のご注意もご覧ください。

・名前	・フリガナ	・自宅住所	・Web ページ
・電子メール	・電子メール 2	・電子メール 3	・誕生日
・PHS	・携帯電話	・自宅電話	・勤務先電話
・自宅 FAX	・自宅電話 2	・メモ	

  また、PHS や携帯電話などの電話番号の項目は、“連絡先”と W-SIM との間で以下の関係になっています（最大 3 項目まで書き込み／読み込みができます）。

“連絡先”		W-SIM の種別
① PHS	←→	PHS
② 携帯電話	←→	携帯
③ 自宅電話	←→	自宅
④ 勤務先電話	←→	会社
⑤ 自宅 FAX	←→	FAX
⑥ 自宅電話 2	←→	種別無し

ご注意

- PHS ／携帯電話／自宅電話／勤務先電話／自宅 FAX ／自宅電話 2 の項目に番号を入力していても、W-SIM に書き込める項目は最大 3 項目です（優先順位は上記の①②③・・・の順になります）。
  4 つ目以降は W-SIM に書き込むことはできませんので、ご注意ください。
- （W-SIM を装着できる）他の電話機からこの製品に電話番号を読み込む場合、他の電話機で電話番号 1 ～ 3 を同じ種別にして電話番号を登録していると、最初の 1 つ目しか読み込めません。
  例えば、電話番号 1/2/3 の種別を「PHS」にして電話番号を登録していると、1 つ目の PHS 番号しか“連絡先”の PHS に読み込めません。

W-SIM のバージョン情報を表示する

この製品に挿入されている W-SIM のバージョン情報を確認できます。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップして、 その他 タブをタップします。

2 “W-SIM 情報” をタップします。

W-SIM バージョン情報確認画面が表示されます。

3 確認が終われば、 ok をタップします。

無線機能（W-SIM）をオン／オフする

この製品に装着されている W-SIM 機能のオン／オフを設定します。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、 接続 タブをタップして、 “無線 ON/OFF” をタップします。

無線 ON/OFF 画面が表示されます。

2 W-SIM（PHS）の項目で、「OFF」または「ON」にチェックを付けます。

OFF にチェックを付けると W-SIM 機能がオフになり、電話やメール送受信などができなくなります。

3 設定が終われば、 ok をタップします。

ウィルコムのサービスを利用する

次のウィルコムのサービスを利用できます。

留守番電話サービス

・ メッセージを確認する
・ メッセージを聞く
・ 留守番電話サービスの設定を変更する

着信転送サービス

料金分計サービス

・ 料金分計で電話をかける

留守番電話サービスを使う

この製品の電源をオフにしているときやすぐに電話に出られないとき、エリア外にいるときなどにウィルコムの「留守番電話センター」がメッセージを預かります。
このサービスをご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です。

留守番電話サービスについて

・ メッセージの最大録音時間 ：1 件につき約 60 秒
・ メッセージの最大保存件数 ：20 件
・ メッセージの保存期間 ：約 73 時間

このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・ 登録手数料 ：無料
・ 月額料 ：有料

メッセージを確認する

留守番電話サービスにメッセージがあるか確認します。
この製品では、電話を切ったときに自動的に留守番電話サービスにメッセージがあるか確認します。メッセージがあるときは、「センター留守電あり」と表示されます。

● 以下の方法でも確認できます。
1 “電話”を起動します。
2 [1] [4] [1] [通話] をタップします。
3 数秒後、「ツー」という音を確認し、[PWR] キーを押します。
メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます。

メッセージを聞く

メッセージを聞きます。

1 **[＊] [9] [3] [1] [通話] をタップします。**
留守番電話サービスにつながります。ガイダンスにしたがって操作します。

MEMO
- **プッシュ信号が出せる一般電話や公衆電話からメッセージを聞くとき**
  0077-780-931 に電話をかけ、ガイダンスにしたがって操作します。このときお使いのこの製品の電話番号と留守番電話サービスの暗証番号が必要です。
- 手順 **1** で [＊] [9] [3] [1] の代わりに [＊] [9] [3] [1] [1] をタップしてもメッセージを聞くことができます。このときは、録音されたメッセージを聞く前に、発信者の電話番号をガイダンスで聞くことができます。ただし、発信者の電話機によっては電話番号を聞くことができない場合もあります。

ご注意
- 留守番電話サービスでは、ライトメールを受け取ることはできません。

留守番電話サービスの設定を変更する

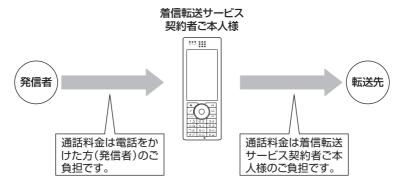
留守番電話サービスの設定を変更できます。
・　受付時間 ： 5:00 ～ 24:00（年中無休）

1 **[1] [4] [3] [通話] をタップします。**
留守番電話サービスにつながります。ガイダンスにしたがって操作します。

MEMO
- 一般電話や公衆電話からも「0077-776」に電話をかけ、設定の変更ができます。

着信転送サービスを使う

着信転送サービスは、この製品の電源をオフにしているときやエリア外にいるときなどに、かかってきた電話を指定した他の電話に転送するサービスです。
転送先は他のウィルコムの電話や一般電話、携帯電話などから選択できます。
このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・ 申込　：不要
・ 月額料　：無料

MEMO

- このサービスは、留守番電話サービスと同時に利用できません。
- 海外への転送は対応していません。
- 一部、転送先に指定できない電話機があります。
- 「留守番電話サービスの設定を変更する」（☞前ページ）と同じ番号に電話をかけ、設定を変更できます。

料金分計サービスを使う

料金分計サービスは、通話料金の請求先を 2 箇所に分けるサービスです。ビジネス関係とプライベート関係などの使い分けができます。
料金分計サービスを使わないときはご契約者（主計先）へ通話料金の請求、料金分計サービスを使うときはあらかじめ登録した分計先へ通話料金の請求となります。
このサービスは有料です。また、このサービスを使うにはあらかじめ契約が必要です。くわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・ 月額手数料 ：有料

料金分計で電話をかける

1 **“電話”を起動します。**

2 **電話番号を入力します。**

3 **画面右下の メニュー － 通話 － 分計発信 をタップします。**
電話がかかります。

4 **通話を終えるときは、 PWR キーを押します。**
電話が切れます。
この通話にかかった料金は登録した分計先へ請求されます。

MEMO
- 料金分計は、上記の手順を毎回行います（連絡先に分計発信を登録することはできません）。
- 手順 **3** で、電話番号の通知／非通知の設定によって、184 分計発信または 186 分計発信を選択できます。
たとえば、自分の電話番号を通知する設定にしている場合、手順 **3** での メニュー － 通話 － 184 分計発信 をタップすると、自分の電話番号を通知せず、さらに料金分計されます。

4章　メール

メールの概要

この製品には、いくつかのメールソフトがあります。メールの種類やそれぞれのメールの違いなどは、『かんたん操作ガイド』をご覧ください。

2 種類のメールの違いについて

W-ZERO3 メールとメール（Outlook）は、以下の仕様が異なります。

		W-ZERO3 メール	メール (Outlook)
オンラインサインアップで取得したメールアカウントの自動設定		○	×※1
送信	すぐに送信する	○	○※2
	送信後､自動切断する	○※3	×
受信	定期的に受信する	○	○※4
	自動的に受信する	○※5	×
	サーバーからメールを削除する設定	○	○※6
その他	ゴミ箱（「削除済みアイテム」フォルダ）へ移動する	×	○
	メールの保護	○	×
	フォルダの構造(多階層)	×	○
	自動振り分け設定	○	×
	ActiveSyncでのパソコンのOutlookと同期する	×	○
絵文字		○	×
HTMLメールの送受信		△※7	○

※1 ご自分で情報を入力すると設定できます。
※2 設定によりすぐに送信できます(☞4-54ページ)。
※3 PHS電話機能で接続している場合。
※4 一度サーバーのチェックを行うと､チェックのあと回線は自動的に切断されずインターネットに接続したままになり､回線を切断しないと電話の発信ができなくなります｡回線切断忘れを防止するためにも､この設定は手動設定にすることをおすすめします(☞4-53ページ)。
※5 オンラインサインアップで取得したアカウント(Eメール（ウィルコム）)のみ。
※6 メールをサーバーに残しておくこともできます(☞4-54ページ)。
※7 装飾メールで使用できるタグに対応しています｡また､受信したHTMLメールをブラウザで表示する機能があります。

ご注意

- 絵文字が含まれるメールを受信したときは絵文字が他の記号などに置き換わる場合があります。また、受信したメールの種類によっては、本文ではなく添付ファイルとして受信します（添付ファイルの内容は表示できません）。
- 通話中に PHS 電話機能を使ってメールの送受信をすることはできません。
- メール（Outlook）の場合、PHS 電話機能を使ってメール送受信したあと回線を切断しないと、インターネットに接続した状態になっているため電話の発信はできません。メール送受信の操作を行ったあとは、回線を切断してください。
- 内蔵ワイヤレス LAN 機能を使ってメールの送受信を行う場合は、アクセスポイントに接続できる設定／環境が必要です。

W-ZERO3 メール

Eメール（ウィルコム）とプロバイダーのメールアカウントの違いについて

この製品では、複数のアカウントを保持（設定）して、どのアカウントでメールの送受信をするか選択することができます。使用するアカウントにより設定や仕様が異なりますので、アカウントを使い分けるときなどの参考にしてください。
使用されるメールアカウントによって、以下の設定や仕様が異なります。

アカウント	Eメール(ウィルコム)アカウント	プロバイダーのメールアカウント
接続先	ウィルコム	ウィルコム プロバイダー(☞2-16ページ)
サーバー	ウィルコム	加入のプロバイダー (☞2-16ページ)
接続の設定	オンラインサインアップ (☞2-2ページ)	ワイヤレスLANや プロバイダーの設定 (☞2-16ページ)
メールの自動受信	サーバーにメールが届くと、 自動的に受信される※1 (☞4-22ページ)	無
サーバーから削除する／しないの設定	有 (☞4-7ページ)	有
ワイヤレスLAN接続での送受信	×	○
送受信の容量制限	1MBまで(添付ファイル含む)	3MBまで(添付ファイル含む)※3
アカウントの表示	電話番号※2	任意で設定可能 (☞4-5ページ)

※１：以下の状態では、自動受信されない場合があります。
- ・インターネットに接続中
- ・ActiveSync による同期中
- ・通話中や、電波状態が弱い場合またはエリア外など

※２：オンラインサインアップを行うとアカウント名には電話番号が設定されますが、変更することができます。
アカウントを削除してしまったときなどは、再度オンラインサインアップを行うと同じメールアドレスなどの情報を再設定することができます。

※３：加入しているプロバイダーのメールサーバーの設定が 3MB 未満のときは、プロバイダーの設定に準じます。

送受信するためのアカウントを設定する

オンラインサインアップを行いウィルコムのアカウントを使ってメールの送信や受信をする場合は、ここを読みとばし 4-9 ページをご覧ください。
すでにご入会されているインターネットプロバイダーのメールに関する情報を設定する方法を説明します。この設定を行うと、すでにご入会されているメールアドレスへ送られてきたメールを受信できます。
アカウントは 10 個まで設定できます。

● プロバイダーによっては、プロバイダーへの接続情報の設定が必要です（☞ 2-16 ページ）。設定が必要かどうかは、プロバイダーにお問合せください。

以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。
・電子メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
・受信メールサーバー　・送信メールサーバー
※項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。
・“メール（Outlook）”の設定を行うときは、4-50 ページをご覧になり設定してください。

1 スタート メニューの “W-ZERO3 メール”をタップします。

「受信トレイ」一覧画面などが表示されます。
オンラインサインアップを行う前に、“W-ZERO3 メール”を起動するとお知らせ画面が表示されますので、ok をタップします。

2 画面右下の メニュー － その他 － アカウント設定 をタップします。

アカウント設定（アカウント一覧）画面が表示されます。

① オンラインサインアップを行って自動的に設定されたアカウント

3 追加をタップします。

アカウント入力画面が表示されます。

4 設定するアカウントの名前を入力し、次へまたはokをタップします。

① 加入しているプロバイダー名などを入力します（半角文字、全角文字いずれの場合でも、最大10文字）。

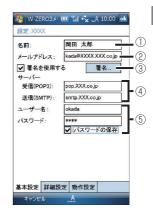
5 基本設定を入力し、詳細設定タブをタップします。

① メールの送信者として相手に表示する名前を入力します。

② メールアドレスを入力します。

③ 自分の名前やメールアドレスなどを登録しておくと、送信メールの本文に追加できます。くわしくは、4-8ページをご覧ください。

④ メールを受信したり送信するためのサーバー情報を入力します。

⑤ メールサーバーに接続するための情報を入力します。定期受信するときなどパスワードを保存しておくときは、「パスワードの保存」にチェックを付けます。

※受信（POP3）、送信（SMTP）、ユーザー名、パスワードについて、代表的な用語例を記載していますので、参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	Mail アカウント名、メールアカウント、メールボックス名、メールボックスアカウント名、Mail アカウント
パスワード	Mail パスワード、メールパスワード、初期パスワード
受信（POP3）	POP サーバー、受信メールサーバー、メールサーバー
送信（SMTP）	SMTP サーバー、送信メールサーバー

ご注意 ● 定期受信でメールを受信するときは、手順 **5** の画面でパスワードを入力し、「パスワードの保存」にチェックを付けておいてください。

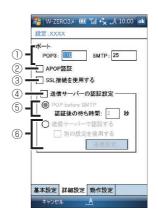
受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーについて

入会しているプロバイダーによっては、受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーがそれぞれ別になっているプロバイダーと、同じになっているプロバイダーがあります。

- 別々になっているプロバイダーは、受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーの両方を入力します。
- メールサーバーが同じになっている（1 つになっている）ときは、両方に同じものを入力します。

6 詳細設定を入力し、動作設定タブをタップします。

設定画面の動作設定タブが表示されます。

① メールサーバーのポート番号を入力します。通常は変更する必要はありません。
② APOP 認証を行うときは、チェックを付けます。
③ メール送受信時、プロバイダーによって SSL 認証が必要な場合にチェックを付けます。 この設定が必要かどうかは、加入しているプロバイダーにお尋ねください。
④ ⑤または⑥の設定を行う場合、チェックを付けます。
⑤ POP before SMTP を行うときは、チェックを付け、認証後の待ち時間を入力します。
⑥ 加入しているプロバイダーによってはメール送信時にユーザー名（ユーザー ID）とパスワードが必要な場合があります。このような場合にチェックを付けます。 ユーザー名とパスワードが前ページ手順 **5** の⑤と同じ場合は、「送信サーバーで認証する」にだけチェックを付けます。ユーザー名とパスワードが違う場合は、「別の設定を使用する」にもチェックを付け、送信設定をタップしてユーザー名とパスワードを入力します。 この設定が必要かどうかは、加入しているプロバイダーにお尋ねください。

7 動作設定を入力し、ok をタップします。

メールの送受信は、「次の接続を使用する」欄（⑦）に表示されている名称に保存されている接続先の設定を使ってインターネットに接続します。この接続先の設定が異なっているとメールの送受信はできませんのでご注意ください。下記のメモをご覧になり、接続先の選択を行ってください。

① この製品で受信したメールをサーバーから削除するときは、チェックを付けます。
②を指定するときは、チェックを外してください。

② 受信するメールを、本文の指定した行数のみ受信（部分受信）するときはチェックを付け、行数を入力します（☞ 4-28 ページ）。

※ 送信側のメールソフトによっては、指定した行数どおり受信できないことがあります。

③ E メール（ウィルコム）アカウントの場合に有効になります。
E メール（ウィルコム）を自動受信するときはチェックを付け、自動受信できなかったときに再度自動受信を行う回数を指定します。

④ メールを作成し、送信 をタップしてすぐに送信するときはチェックを付けます。
チェックを外した状態で、送信 をタップすると送信待ちトレイに入ります。送信待ちトレイに入ったメールはまだ送信されていません。送信待ちトレイに入ったメールは、送信待ちトレイ一覧画面などで、メニュー － 送受信 － 送信 または 送受信 をタップします。

⑤ メールの保存件数が指定した件数を超えたときに、古いメールから自動的に削除するにはチェックを付けます。

⑥ メール返信時に、本文を引用するときはチェックを付けます。

⑦ 接続を切り替えます。下記のメモをご覧になり、選択します。

ご注意

● ②にチェックを付けたときは、①のチェックを外すようにしてください。
②で指定した行数を受信したあと、サーバから削除されて全文が受信できなくなります。

MEMO

● **接続を選択する**

お使いの状態にあわせて接続を選択してください。

・「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了したときの設定でメールを送受信するときに選択します。
・「インターネット設定」や「社内ネットワーク設定」の中に設定を作成した場合は、これらを選択します。
・ご自分で新規に接続／接続設定を作成した場合は、新規に作成した接続を選択します。
※この取扱説明書では、「インターネット設定」の中に自宅などからプロバイダーに接続する設定を作成し、「社内ネットワーク設定」の中に社内のネットワークに接続する設定を作成するように説明していますので、自宅などからプロバイダーに接続しメールを送受信するときは「インターネット設定」を選択し、社内のネットワークに接続してメールを送受信するときは「社内ネットワーク設定」を選択してください。

■ 署名を作成する

メール作成時、メール本文に自分の名前やメールアドレスなどの文章（署名）を自動的に入れることができます。

1 **4-5 ページの手順 5 で③の「署名を使用する」にチェックを付け、署名 をタップします。**

署名の設定画面が表示されます。

2 **署名 1 または署名 2 を選択します。**

選択した署名の内容が、メール本文に入ります。

3 **署名を入力し、ok をタップします。**

設定画面のタブが表示されます。

アカウントを修正／削除する

アカウントを修正する

1 **スタート メニューの “W-ZERO3 メール” をタップします。**

「受信トレイ」一覧画面などが表示されます。

2 **画面右下の メニュー － その他 － アカウント設定 をタップします。**

アカウント設定画面が表示されます。

① オンラインサインアップを行って自動的に設定されたアカウント
② 現在選択されているアカウントには「●」が付きます。「●」が付いているアカウントは削除できません。
③ ご自分で設定したアカウント

3 修正するアカウントを選択し、編集をタップします。

4 4-5 ～ 7 ページの各タブで修正します。

5 修正を終えた後、ok をタップします。

MEMO ● **アカウント名を変更するときは**

1 変更するアカウント名を選択し、名前変更をタップします。

2 アカウント名を入力し、ok をタップします。

3 表示された確認画面ではいをタップします。アカウント名が変更されます。

いいえをタップすると、変更されず元の画面に戻ります。

アカウントを削除する

作成したアカウントを削除するときは、前ページ「アカウントを修正する」の手順 **2** の画面でアカウントを選択し、削除をタップし、確認画面ではいをタップします。

ご注意 ● アカウントを削除すると、そのアカウント内のメールはすべて削除されます。

メールを作って送る（テキストメール）

メールを作って送信します。

■ メールを送るまでの流れ

使用するアカウントを選択　（☞手順 **1** ～ **2**）

↓

「宛先」・「件名」・「本文」を入力　（☞手順 **3** ～ **6**）

↓

画面左下のメッセージ－送信をタップ　（☞手順 **7**）

1 スタートメニューの “W-ZERO3 メール” をタップします。

「受信トレイ」一覧画面が表示されます。

オンラインサインアップを行う前に、W-ZERO3 メールを起動すると、お知らせ画面が表示されますので、ok をタップします。オンラインサインアップを行う場合は、2-2 ページをご覧ください。加入しているプロバイダーのアカウントを設定する場合は、4-4 ページをご覧ください。

2 アカウント名をタップして、メールを送りたいアカウントを選択します。

画面右下の［メニュー］－［アカウント切替］をタップしてもアカウントを切り替えることができます。
アカウントを複数設定している場合にこの操作を行います。

① アカウント名が表示されます。
② メールの内容が表示されます。設定（☞4-26ページ）により表示を消すことができます。

3 画面左下の［メッセージ作成］－［テキストメール］をタップします。

新規メールの作成画面が表示されます。

4 宛先を入力します。

宛先欄にカーソルがあることを確認し、以下のいずれかの方法で宛先を入力します。

・宛先に直接、ダイヤルキーやキーボードを使って入力します。
・この製品の“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用して、宛先を入力します（あらかじめ“連絡先”に相手の名前やメールアドレスを登録しておきます）。くわしくは、次ページの「宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する」をご覧ください。
※メールアドレスを複数入力するときは、半角のセミコロン（；）または半角のコンマ（,）で区切って入力します。

● 「CC：」や「BCC：」には、参考に送信したい人の電子メールアドレスを入力します。「BCC:」に入れたアドレスは、BCC:で受信した人以外から見えないように配信されます。

5 「件名」欄をタップし、件名を入力します。

6 「本文」欄をタップし、本文を入力します。

MEMO

● アカウント設定時、設定画面（［基本設定］タブ）で署名を作成し、「署名を使用する」にチェックを付けていると、新規作成画面で自動的に署名が入力されます。チェックを付けていないときは、画面右下の［メニュー］－［その他］－［署名挿入］をタップすると署名を入力することができます。
署名についてくわしくは、4-8ページをご覧ください。

7 **画面左下の メッセージ － 送信 をタップします。**

インターネットに接続し、メールを送信します。
正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

MEMO
- 送信したメールは、「送信済みトレイ」に保存されます。
- サーバーへの接続中や送信中に 中止 をタップするとメールの送信が中止されます。送信を中止したメールは、「送信待ちトレイ」に保存されます。
- メールの作成中に、画面左下の メッセージ － 手書きメールへ をタップし、確認画面で はい をタップすると、手書きメールの作成画面に切り替わります。

宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する

1 **新規メールの作成画面で宛先にカーソルがあることを確認します。**

2 **画面右下の メニュー － 連絡先参照 をタップします。または、「宛先」をタップます。**

3 **メールアドレスを入力している“連絡先”が一覧表示されますので、宛先にしたい連絡先をタップします。**

MEMO
- 連絡先に登録しているメールアドレスの利用をやめてメールの作成画面に戻るときは、画面右下の メニュー － キャンセル をタップします。

メール本文の最後に「sent from W-ZERO3」を追加せずに送信する

メール送信時、メール本文の最後に文章 ("sent from W-ZERO3") が自動的に追加されます（ご購入時の設定）。
※テキストのみを送信するとき追加されます（ファイルを添付したときは追加されません）。
この文章を外してメールを送信するには次のようにします。

1 **ファイルエクスプローラを起動し、Windows フォルダの中を表示します（☞ 8-11 ページ）。**

2 **画面を下方に送っていき、「STMailToggleMsg」を表示し、この「STMailToggleMsg」をタップします。**

3 **画面が表示されますので ok をタップします。**

次に送信するメールから "sent from W-ZERO3" が追加されなくなります。

MEMO
- "sent from W-ZERO3" をメール本文に追加するには、再度、上記手順 **2** の「STMailToggleMsg」をタップします。

画像ファイルなどを添付してメールを送る

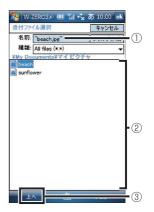
メールに画像ファイルなどを添付して送信できます。

1 **4-9 ～ 10 ページの手順 1 ～ 6 の方法で、メールを作成します。**

2 **画面右下の メニュー － その他 － 添付ファイル挿入 をタップし、表示された画面でフォルダを切り替え、添付するファイルをタップします。**

① リストから選択したファイルが表示されます。

②ファイルがリスト表示されます。

③ 現在表示中のフォルダ階層より 1 つ上のフォルダ階層へ移動します。

3 **ok をタップします。**

メールの新規作成画面に戻り、添付欄に XXXX.jpg など添付したファイルが表示されます。

続けて添付ファイルを追加するときは、手順 **2** ～ **3** を繰り返します。

4 **画面左下の メッセージ － 送信 をタップします。**

インターネットに接続し、メールを送信します。

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。

送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

MEMO

- 添付ファイルをやめるときは、添付をやめるファイルをタップし、 添付ファイル削除 をタップします。
- microSD カードに保存されているファイルを添付して送信するときは、microSD カードを取り付けたまま送信してください。
- 送信したメールは、「送信済みトレイ」に保存されます。

Web 用絵文字や絵文字を入力する

この製品に入っている Web 用絵文字や絵文字を入力できます。

1 新規作成画面で本文にカーソルがあることを確認し、画面右下の［メニュー］－［Web 用絵文字］または［絵文字］をタップします。

2 表示された入力パッドから入力したい文字を２回タップします。続けてタップすると連続して入力できます。

MEMO
- 絵文字を携帯電話に送ると他の記号などに置き換わります。携帯電話に送るときは、web 用絵文字を使うことをおすすめします（ただし、携帯電話に Web 用絵文字を送ったときも他の記号などに置き換わることがあります）。

顔文字を入力する

この製品に入っている顔文字を入力できます。

1 新規作成画面で本文にカーソルがあることを確認し、画面右下の［メニュー］－［顔文字］をタップします。

2 表示された顔文字入力パッドから入力したい文字を２回タップします。続けてタップすると連続して入力できます。

装飾メールを送る

メール本文の文字色や大きさを変更したり背景の色を変更したり、装飾をして送ることができます。

※装飾メール（デコラティブメール for W-ZERO3）とは、ウィルコムのサービス「デコラティブメール」に準拠したメールです。

装飾メールを作成する

他の携帯電話などに装飾メールを送る場合、本文サイズは 10KB（※）までです。本文とは別に、挿入できる画像は最大 20 個、合計 100KB までです。

※本文を装飾すると、装飾情報も本文に含まれます。

1 **受信トレイ一覧画面で、画面左下の メッセージ作成 − 装飾メール をタップします。**

2 **宛先を入力します。**

宛先の入力方法は、4-10 ページをご覧ください。

3 **「件名」欄をタップし、件名を入力します。**

4 **「本文」欄をタップします。**

5 **画面下部より、装飾するアイコンをタップします。**

装飾するアイコンについては、次ページ「装飾パレットについて」をご覧ください。

MEMO

- 画面をタップせず、（カーソル）キーを使って装飾パレットを使う場合は、メール本文にカーソルがあることを確認して、メニュー − 装飾パレット をタップします。カーソルが装飾パレット側に移りますので、パレットのアイコンを選択できます。メール本文にカーソルを戻す場合は、 本文へ を選択します。

6 **文字を入力します。**

7 **（拡大鏡アイコン）をタップすると、いままで入力した装飾を見ることができます。**

8 **本文を入力した後、画面左下の メッセージ − 送信 をタップします。**

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。

送信が終わると自動的に回線を切断します。

装飾パレットについて

① 文字色を選択します。

タップすると文字色を選択する画面が表示されますので、色を選択します。選択した色の文字を入力できます。

文字列を選択（反転）したのち文字色を選択すると、選択した文字列の色が変わります。

② 文字サイズ（大、中、小）を選択します。

文字列を選択（反転）したのち文字サイズを変更すると、選択した文字列の文字サイズが変わります。

③ 文字を点滅させます。

タップしたあとに入力する文字が点滅します。

文字列を選択（反転）したのち点滅の設定をすると、選択した文字列が点滅します。

この装飾を解除するときは、付属のスタイラスを使って解除する文字（文字列）を選択（反転）してから 解除 をタップし 部分解除 をタップします。

④ 画像を挿入します。

タップすると、挿入する画像を選択する画面が表示されます。画像を選択して ok をタップします。

入れた画像を消すときは、画像の右側にカーソルを移し、BS Del キーや クリア キーを押します。

⑤ 行間にライン（罫線）を入れます。

入れたラインを消すときは、次の行にカーソルを移し、BS Del キーや クリア キーを押します。

⑥ プレビューを表示します。

タップすると、設定している装飾を見ることができます。画面左下の 戻る をタップすると元の画面に戻ります。

⑦ 文字を右から左に流して表示（テロップ）します。

A をタップし 設定 をタップします。カーソルがある行の左端に アイコンが表示されます。 アイコンの右側に文字を入力すると、その文字が流れて表示されます。

この装飾を解除するときは、カーソルを解除したい行に移して A をタップし 解除 をタップします。複数行まとめて解除するときは、付属のスタイラスを使って複数行を選択（反転）してから A をタップし 解除 をタップします。

⑧ 文字を左右にスウィングさせます。

A をタップし 設定 をタップします。カーソルがある行の左端に アイコンが表示されます。 アイコンの右側に文字を入力すると、その文字がスウィングされます。

この装飾を解除するときは、カーソルを解除したい行に移して A をタップし 解除 をタップします。複数行まとめて解除するときは、付属のスタイラスを使って複数行を選択（反転）してから A をタップし 解除 をタップします。

⑨ 文字の配置（左揃え、中央揃え、右揃え）を決めます。

⑩ 背景に色を付けます。
⑪ 設定した装飾（文字色、文字サイズ、点滅）を部分解除したり、すべての装飾を解除します。 ・部分解除：付属のスタイラスを使って複数行を選択（反転）してから 解除 をタップし 部分解除 をタップします。この操作を行っても、テロップ、スウィング、配置は解除されません。 ・全解除　：設定しているすべての装飾を解除します。 解除 をタップし 全解除 をタップします。表示された確認画面で はい をタップします。 ただし、全解除を行っても挿入した画像やラインはそのまま残ります。
⑫ 装飾パレットにカーソルがある場合、選択できます。 タップすると、メール本文にカーソルが移ります。メール本文にあるカーソルを装飾パレットに移す場合は、 メニュー － 装飾パレット をタップします。
⑬ カーソルがある位置の装飾設定を表示します。

テンプレートとして保存する

装飾したメール本文をひな形として保存しておき、別のときに使うことができます。

1 **装飾したメール本文を作ります。**

2 **メニュー － テンプレート をタップし、 保存 をタップします。**

テンプレート保存画面が表示されます。

3 **名前欄にテンプレートの名前を入力し、画面右上の ok をタップします。**

テンプレートが保存されます。

MEMO

- **保存できるテンプレートのサイズ**

  本文サイズは 10KB までです。本文とは別に、挿入できる画像は最大 20 個、合計 90KB までです。ただし、前述の条件に合っていても、テンプレートに付属情報などが付いていてテンプレートの合計サイズが 150KB を超える場合は保存できません。

保存したテンプレートを呼び出す

1 受信トレイ一覧画面で、画面左下の[メッセージ作成]－[装飾メール]をタップします。

2 [メニュー]－[テンプレート]をタップし、[呼出]をタップします。

テンプレート選択画面が表示されます。

3 一覧から呼び出したいテンプレートを選択し、画面右上の[ok]をタップします。

4 テンプレートが表示されます。

- このテンプレートを使う場合は、画面右下の[決定]をタップします。
- 別のテンプレートを使う場合は、画面左下の[戻る]をタップし、再度、手順**3**を行います。

5 選択したテンプレートが本文に入ります。

6 本文の追加や修正などを行います。

MEMO

- **装飾を行ったのちにテンプレートを呼び出す**

  本文の装飾を行ったのち上記手順**2**を行うと、確認画面が表示されます。テンプレートを呼び出すときは、確認画面の[はい]をタップします。テンプレートを呼び出すと、呼び出す前の本文はテンプレートに置き換わります。
- **呼び出すことができるテンプレートのサイズ**

  本文サイズは10KBまでです。本文とは別に、挿入画像は最大20個、合計90KBまでです。ただし、前述の条件に合っていても、テンプレートに付属情報などが付いていてテンプレートの合計サイズが150KBを超える場合は呼び出すことができません。

手書きのメールを送る

スタイラスで手書きしたメールを送ったり、写真にスタイラスで手書きのコメントなどをつけたメールを送ることができます。

手書きのメールを作成する

1 受信トレイ一覧画面で、画面左下の[メッセージ作成]－[手書きメール]をタップします。

2 宛先を入力します。

宛先の入力方法は、4-10 ページをご覧ください。

3 「件名」欄をタップし、件名を入力します。

4 をタップします。

付属のスタイラスを使って「画像編集」エリアに手書きします。

①「画像編集」エリア
② ペンを選択します。
③ 消しゴムを選択します。
④ ペンや消しゴムの太さを選択します。
⑤ ペンの色を選択します。
⑥ この製品に保存している画像ファイルを貼り込みます。貼り込み時、画像回転が可能です。

MEMO

- 画面右下の メニュー － ツール － 画像読み込み をタップしても、画像ファイルを貼り込むことができます。
- 画像ファイルを貼り込んだ場合、次のようになります。
  - ・「画像編集」エリアより大きいサイズの画像ファイルは、エリア内に収まるように縮小されます。
  - ・すでに画面に手書きした内容があるときは内容が消去され、貼り込んだ画像ファイルに置き換わります。

5 テキスト（文章）も入力するときは、本文 タブをタップし本文を入力します。

あらかじめ、既定のテキスト（文章）が入力されています。

6 画面左下の メッセージ － 送信 をタップします。

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

MEMO

- メールの作成中に、画面左下の メッセージ － テキストメールへ をタップし、確認画面で はい をタップすると、テキストメールの作成画面に切り替わります。ただし、「画像編集」エリアの内容はすべて消えます。

画像にコメントなどを付けたメールを送る

この製品に保存している画像に手書きのコメントなどをつけてメールを送信することができます。

1 **プログラム画面で “画像とビデオ” をタップします。**

2 **手書きのコメントなどを付けて送信したい画像を選択し、メニュー－送信をタップします。**

フォルダを切り替えるときは、「マイピクチャ」をタップし、表示されたメニューから別のフォルダをタップします。

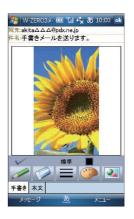
3 **アカウントの選択画面で、「手書きメールを送信（XXXXXXXXXXX)」をタップします。**

必ず、「手書きメールを送信（XXXXXXXXXXX)」をタップしてください。「W-ZERO3 メールで送信（XXXXXXXXX)」をタップすると、テキストメールの送信画面になります。

※（XXXXXXXXX）にはアカウントが表示されます。

4 **表示された画面で、「宛先」欄に宛先を入力し、「件名」欄に件名を入力します。**

5 **画像にコメントなどを手書きします。**

手書きのパレットについては、前ページをご覧ください。

4 メール

W-ZERO3 メール

6 **テキスト（文章）も入力するときは、本文タブをタップし本文を入力します。**

あらかじめ既定のテキスト（文章）が入力されています。

7 **画面左下のメッセージー送信をタップします。**

正しく送信されるとメッセージが表示されますのでokをタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合
2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

まとめてメールを送る

送信待ちトレイに未送信メールを保存しておき、あとでまとめて送信できます。
※あらかじめ、アカウントの設定で「すぐに送信する」のチェックを外しておいてください。
　アカウントの設定についてくわしくは4-4 ～ 8 ページをご覧ください。

1 **4-9 ～ 10 ページの手順 1 ～ 6 の方法または 4-17 ～ 18 ページの手順 1 ～ 5 の方法でメールを作成し、画面左下のメッセージー送信をタップします。**

アカウント設定画面の「すぐに送信する」のチェックを外しているので、送信されずに「送信待ちトレイ」フォルダに保存されます。

2 **引き続き別のメールを作成し、画面左下のメッセージー送信をタップします。**

作成したメールは、「送信待ちトレイ」フォルダに保存されていきます。

3 **画面右下のメニューー送受信ー送信、または送受信をタップします。**

インターネットに接続し、「送信待ちトレイ」フォルダに入っているメールをすべて送信します。
送受信をタップしたときは、引き続いて、自動的にサーバーにある未読メールを受信します。
正しく送信されるとメッセージが表示されますのでokをタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合
2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

メールを「下書きトレイ」に保存する

メールを途中まで作成してあとで追加／修正したいときなどは、いったん「下書きトレイ」に保存してあとで追加／修正し送信することができます。

1 **4-9 ～ 10 ページの手順 1 ～ 6 の方法または 4-17 ～ 18 ページの手順 1 ～ 5 の方法で、メールを作成します。**

2 **ok をタップし、確認画面で はい をタップします。**

作成したメールは、「下書きトレイ」フォルダに保存されます。
あとで追加／修正するときは、このメールを表示し内容を変更します。そして、送信操作（☞ 4-20 ページ）を行うと送信できます。
画面左下の メッセージ － 下書き保存 をタップしても「下書きトレイ」フォルダに保存できます。

メールを受信する

自分宛のメールを受信します。
メール受信には、自動受信と手動受信があります。設定しているアカウントによって受信方法が異なりますので、以下をご覧になりメールを受信してください。

E メール（ウィルコム）アカウント

- 自動受信　☞次ページ（「自動受信【E メール（ウィルコム）アカウントのみ】」）
- 手動受信　☞次ページ（「手動受信【プロバイダー／ E メール（ウィルコム）アカウント】」）

プロバイダーのアカウント

- 手動受信　☞次ページ（「手動受信【プロバイダー／ E メール（ウィルコム）アカウント】」）

- メールを受信時、メールの一部を受信／全部（全体）を受信する 2 つの設定があります(☞ 4-28 ページ)。
  ご購入時の設定は、メール全部(全体)を受信するようになっています。一部を受信した後、メール全体を受信するときは 4-28 ページをご覧ください。

自動受信【E メール（ウィルコム）アカウントのみ】

E メール（ウィルコム）アカウントは、メールがサーバーに届くと自動的にインターネットに接続してメールを受信し、受信が終わると自動的に切断します。メールを受信すると着信音が鳴り、Today 画面（待ち受け画面）に「未読メッセージ：○件」と表示されます。
受信したメールは、「受信トレイ」の中に入ります。

MEMO
- **自動的にメールを受信しないようにするには**
  E メール（ウィルコム）アカウント設定画面（動作設定タブ）（☞ 4-7 ページ）で「自動受信する」のチェックを外します。
  「自動受信する」にチェックを付けていても、オンラインサインアップで「E メール自動受信／新着メール通知」を「しない」または「新着メール通知」に設定（「新着メール通知」に設定すると E メールが届いたことを通知するライトメールを受信します）すると自動受信はしません。
- 受信したメールは、サーバーから削除されます（ご購入時の設定）。
  受信後にサーバーからメールを削除しない設定（☞ 4-7 ページ）へ変更できますが、サーバーから削除する設定にすることをおすすめします。

ご注意 以下の状態では、自動受信されない場合があります。
- インターネットに接続中
- ActiveSync による同期中
- 通話中や、電波状態が弱い場合またはエリア外など

※上記のような場合でも、Today 画面（待ち受け画面）に、「センターに E メールが有ります」というメッセージが表示される場合があります。この場合、手動で受信してください（☞下記）。

手動受信【プロバイダー／ E メール（ウィルコム）アカウント】

手動でインターネットに接続して、受信後に自動で回線を切断します。
プロバイダーのメールアカウントと E メール（ウィルコム）アカウントのどちらもこの方法で受信できます。
受信したメールは「受信トレイ」に入ります。

1 **受信メール一覧画面などを表示します。**

2 **画面右下の メニュー － アカウント切替 をタップし、メールを受信したいアカウントを選択します。**

3 **画面右下の メニュー － 送受信 － 受信 、または 送受信 をタップします。**
ネットワークに接続し、サーバーにある未受信のメールを受信します。受信が終わると自動的に回線を切断します。
受信したメールは「受信トレイ」に入ります。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合
2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

- 複数のアカウントを設定しているとき、一度のメール受信で複数のアカウントのメールを受信することができます（☞下記）。
- 受信後にサーバーからメールを削除する設定（☞4-7ページ）にされることをおすすめします。
- 受信中に 中止 をタップするとメールの受信が中止されます。

複数のアカウントのメールを一度に手動受信する

複数のアカウントを設定しているとき、一度にそれらのアカウントのメールを受信（手動）することができます。

1 **受信メール一覧画面などで、画面右下の メニュー － その他 － オプション － その他 タブをタップします。**

メールを受信するアカウントの選択設定画面が表示されます。

2 **メールを受信するアカウントにチェックを付け、ok をタップします。**

3 **画面右下の メニュー － 送受信 － まとめて受信 をタップします。**

インターネットに接続し、手順 **2** でチェックを付けたアカウントのメールを受信します。
受信したメールは各アカウントの「受信トレイ」に入ります。
受信が終わると自動的に回線を切断し、まとめて受信結果画面が表示されます。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

4 **ok をタップします。**

4 メール

W-ZERO3 メール

定期受信する

一定間隔で自動的に“W-ZERO3 メール”が起動してネットワークに接続し、未受信のメールを受信します。受信が終わると自動的に回線を切断します（PHS 電話機能でインターネットに接続している場合）。

ご注意
- 定期受信でメールを受信するときは、パスワードを入力し、「パスワードの保存」にチェックを付けておいてください（☞ 4-5 ページ）。チェックを外していると、定期受信できません。

定期受信するアカウントを設定する

1 受信メール一覧画面などを表示します。

2 画面右下の メニュー － その他 － オプション － 定期受信 タブをタップします。

定期受信の設定画面が表示されます。

3 「定期受信する」と「定期受信するアカウント」にチェックを付けます。

① 10 ～ 99 の数字を入力できます。

4 ok をタップします。

受信メールを見る

受信したメールは「受信トレイ」に入ります。

1 「受信トレイ」をタップします。

① 選択したフォルダの中のメール件数が表示されます。

② 選択したフォルダのメールが表示されます。

■「受信トレイ」／「部分受信トレイ」一覧画面で表示されるアイコンについて

	未読メール	既読メール
全文取得されている場合		
全文取得され、添付ファイルがある場合		
全文または添付ファイルが取得されていない場合	（ ）※1	（ ）※1
添付ファイルが削除されている場合		

※1　部分受信トレイで表示されるアイコン

2 見たいメールをタップします。

別のアカウントの受信メールを見るときは、画面右下の［メニュー］－［アカウント切替］をタップし、アカウントを切り替えます。

① 並べ替え順（差出人 / 件名 / 日時）をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

- 連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前で表示されます。ただし、連絡先の名前を変更された場合は、自動的に更新されませんので、W-ZERO3 メールを一度終了させてから再度、起動させてください。
- **メール本文の URL/E メールアドレス / 電話番号を利用する**
  メール本文中の文字列を以下のように認識し、直接電話をかけたり、E メールの作成や連絡先への登録ができます。

  1 URL/E メールアドレス / 電話番号をタップします。

  2 表示されたメニューから実行したい項目をタップします。

URLと認識する文字列	http://www.xxxx.co.jp など 「http://」や「https://」で始まる半角英数字の文字
Eメールアドレスと認識する文字列	○○○○@△△.pdx.ne.jp など 「@」があり、その前後に1文字以上の半角英数字がある場合
電話番号として認識する文字列	070XXXXXXXX など 0で始まる10～32桁の数字、#、*などの記号 「tel:」または、「TEL:」に続く32桁までの数字、#･*などの記号

メールの内容を表示する（プレビューを表示する）

受信メール一覧画面などで、選択したメールの内容を表示（プレビューを表示）することができます。

1 受信メール一覧画面などを表示します。

2 画面右下の［メニュー］－［その他］－［オプション］－［その他］タブをタップします。

3 「プレビュー表示を有効にする」にチェックを付けます。

4 ［ok］をタップします。

アカウントを切り替える

複数のアカウントを作成しているとき、受信メールなどは各アカウントの受信トレイに入ります。
たとえば、E メール（ウィルコム）アカウントとプロバイダーメールのアカウントの両方を設定している場合、それぞれのアカウントに届いたメールはそれぞれの受信トレイに入ります。
これらのメールを見るときは、アカウントを切り替えて表示します。

1 「受信トレイ」一覧画面などを表示します。

2 アカウント名をタップして、アカウントを選択します。

画面右下の［メニュー］－［アカウント切替］をタップしてもアカウントを切り替えることができます。

① アカウント名が表示されます。

宛先（メールアドレス）を“連絡先”に登録する

受信メールや送信メールのメールアドレス（差出人：/ 宛先：/Cc：）を“連絡先”に登録し活用できます。

受信メールの送信者（メールアドレス）を“連絡先”に登録する

1 受信トレイ画面で、連絡先に登録したい宛先のメールをタップします。

2 連絡先に登録したいメールアドレスをタップし、表示されたメニューから 連絡先に登録 − 新規登録 をタップします。

MEMO
- メールアドレスが選択されているとき、画面右下の メニュー − 連絡先に登録 − 新規登録 をタップしても登録画面が表示されます。

3 メールアドレスを登録する項目として電子メール（電子メール 2/ 電子メール 3）を選択して、ok または画面右下の 決定 をタップします。

4 名前の項目に姓名などを入力します。
電子メール（電子メール 2/ 電子メール 3）の項目には、手順 **2** で選択したメールアドレスが入っています。

5 ok をタップします。
確認メッセージが表示されますので ok をタップします。
手順 **4** で入力した姓や名前で“連絡先”に登録されます。

送信メールの宛先（メールアドレス）を“連絡先”に登録する

1 送信済みトレイ画面などで、連絡先に登録したい宛先のメールをタップします。

2 連絡先に登録したいメールアドレスをタップし、表示されたメニューから 連絡先に登録 − 新規登録 をタップします。

3 これ以降、前記と同様の操作を行い“連絡先”に登録します。

MEMO
- 手順 **2** で 連絡先に登録 − 追加登録 をタップすると追加したい連絡先を選択して登録することができます。
- 受信トレイ画面で選んだメールの本文の URL や電話番号をタップしても連絡先の Web ページや電話番号の項目に登録することができます。また URL はホームページに接続したあと、ブックマークに登録できます。

メールの一部／全部を受信する

メールを受信時、メールの一部を受信して、あとで全体を受信することができます。ご購入時の設定は、メール全部（全体）を受信するようになっています。

アカウント設定画面（動作設定タブ）（☞ 4-7 ページ）で「受信メッセージをサーバーから削除」にチェックを付けている場合、部分受信をするとサーバーからメールが削除され全部受信ができません。部分受信を行う前に必ず「受信メッセージをサーバーから削除」のチェックを外しておいてください。

メールの一部を受信するように設定する

1 アカウント設定画面（動作設定タブ）（☞ 4-7 ページ）を表示します。

2 「受信行数制限設定」にチェックを付け、受信する本文の行数を設定します。

メールの全部を受信するときは、「受信行数制限設定」のチェックを外します（☞ 4-7 ページ）。次のメール受信から、メールの全部を受信します。

MEMO

- 一部を受信したときと全部を受信したときの違いは、受信トレイなどのリストに表示されるアイコンで区別できます（☞ 4-25 ページ）。
- 一部受信したメール、全部受信したメール共に「受信トレイ」に入ります。さらに「部分受信トレイ」では一部受信したメールだけを参照することができ、一部受信メールが何件あるか分かります。
- 一部受信にしている場合は、設定している受信行数によって、メール全体を受信することがあります。全体を受信したメールは「受信トレイ」にのみ表示されますが、加入しているプロバイダーのメールサーバーなどによっては、「部分受信トレイ」にも表示されます。

メールの全部（全体）を受信する

1 「部分受信」トレイ一覧画面で、全部を受信するメールを選択します。

2 画面右下の メニュー － メッセージ － ダウンロード をタップします。

3 自動的に回線に接続しメール全体を受信します。

受信した後、自動的に回線を切断します。

メール全体を受信したメールは、「部分受信トレイ」から消え参照されなくなります。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

● 部分受信メールが複数件あるとき、 アイコンをタップすると に変わり、[メニュー]－[メッセージ]－[チェックをダウンロード]をタップすると アイコンのメールのみ全体を受信できます。

添付ファイルを見る／保存する／削除する

メールに添付されたファイルを見たり、保存したりすることができます。

添付ファイルを見る

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、添付ファイルを取得したメールをタップします。**

2 **添付ファイルをタップし、表示されたメニューから[開く]をタップします。**

確認メッセージが表示されます。

画面右下の[メニュー]－[添付ファイル]－[開く]をタップしても確認画面が表示されます。

3 **確認画面で[はい]をタップします。**

MEMO

● 添付ファイルが正しく表示されない場合があります。
このようなときは一旦保存（☞下記）してから見るか、1-26 ページをご覧になり、使用していないプログラムを終了してください。
※ファイルによってはすべてのプログラムを終了しても、正しく表示されない場合があります。

添付ファイルを保存する

1 **添付ファイルをタップし、表示されたメニューから[保存]をタップします。**

添付ファイル保存先選択画面が表示されます。

画面右下の[メニュー]－[添付ファイル]－[保存]をタップしても添付ファイル保存先選択画面が表示されます。

4 メール

W-ZERO3 メール

2 **ファイルの名前を入力し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**

① ファイルの名前を入力します。
② 新規フォルダを作成します。 タップするとフォルダ名を入力する画面が表示されますのでフォルダ名を入力し ok をタップします。
③ ファイルを保存するフォルダをタップします。
④ 現在表示中のフォルダ階層より 1 つ上のフォルダ階層へ移動します。

3 **ok をタップします。**

ファイルが保存されます。

MEMO

- 保存した添付ファイルは、“ファイルエクスプローラ”から開くことができます。くわしくは 8-11 ページをご覧ください。

4 **表示された画面で ok をタップします。**

添付ファイルを削除する

1 **添付ファイルをタップし、表示されたメニューから すべて削除 をタップします。**

確認画面が表示されます。

画面右下の メニュー － 添付ファイル － すべて削除 をタップしても確認画面が表示されます。

2 **確認画面で はい をタップします。**

メールを返信する／転送する

受信したメールを返信したり、別のメールアドレスに転送したりできます。

メールを返信する

1 **返信するメールを 1 件表示します。**

2 **画面左下の メッセージ － 返信 をタップします。**

メールを送信してきた人のみに返信します。
全員へ返信するときは、1 件表示で画面左下の メッセージ － 全員へ返信 をタップします。送信者を含めて全員に返信します。

3 **返信内容を入力します。**

4 **画面左下の メッセージ － 送信 をタップします。**

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

■ 返信時の引用設定について

メールを返信するとき、受信したメール本文を引用するか／引用しないかの選択ができます。
アカウント設定画面の 動作設定 タブで選択します。くわしくは 4-7 ページをご覧ください。

①「返信時にメッセージを引用する」のチェックを外していると、返信時に受信メールの本文を引用しません（受信メールの本文は入りません）。
チェックを付けると、本文を引用します。
手書きメールの場合、受信メールの画像を引用します。

MEMO

- 返信時にメッセージを引用しないに設定（チェックを付けていない）していても返信画面右下の メニュー － その他 － 返信元メッセージ挿入 をタップするとメール本文の最後に返信元メッセージが挿入されます。
また、送信済みのメールを返信するときは、設定に関係なくメッセージが挿入されます。

メールを転送する

1 **転送するメールを 1 件表示します。**

2 **画面左下の メッセージ － 転送 をタップします。**

3 **宛先を入力します。**

4 **画面左下の メッセージ － 送信 をタップします。**

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

メールを未読／既読にする

未読メールを既読メールに、既読メールを未読メールに変更できます。

メールを 1 件だけ未読／既読に変更する

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、未読／既読を変更するメールを選択します。**

2 **画面右下の メニュー － メッセージ状態 － 未読にする または 既読にする をタップします。**

メールを複数件選択して未読／既読に変更する

1 **「受信トレイ」一覧画面などで、未読／既読を変更するメールのアイコンをタップして、チェックを付けます。**

チェックマーク ✔ が付きます。
複数のメールを選択することができます。

MEMO

- メールを選択して、画面左下の「チェック」をタップしてもチェックマーク ✔ が付きます。この手順を繰り返すと複数のメールを選択することができます。チェックを外すときは、✔ をタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の「チェック」をタップします。

2 **画面右下の メニュー － メッセージ状態 － チェックを未読にする または チェックを既読にする をタップします。**

フォルダの中のメールをすべて既読にする

1 「受信トレイ」など、フォルダ内のメールをすべて既読メールにしたいフォルダを選択します。

2 画面右下の メニュー － フォルダ － すべて既読にする をタップします。

MEMO
- フォルダの中のメールをすべて未読にするときは、未読にしたいメールをすべて選択して未読メールにしてください。（「メールを複数件選択して未読／既読に変更する」（☞前ページ）

メールを削除する

メールを削除すると、この製品から完全に削除されます。
メールの削除は詳細表示画面で行えるほか、1 件ずつ削除する方法とチェックを付け複数のメールをまとめて削除する方法、ご自分で作ったフォルダのメールをフォルダごと削除する方法などがあります。

ご注意
- 以下の方法でメールを削除するとこの製品から削除され、見ることができなくなります。削除するときは、ご注意ください。

メールを詳細表示画面で削除する

1 詳細表示画面右下の メニュー － その他 － メッセージ削除 をタップします。

2 表示された確認画面で はい をタップします。

メールを 1 件だけ削除する

1 「受信トレイ」一覧画面などで、削除するメールを選択します。

2 画面右下の メニュー － 削除 をタップします。

3 表示された確認画面で はい をタップします。
手順 **1** で選択したメールのみが削除されます。

MEMO
- 削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 を選択しても削除できます。

メールを複数件選択して削除する

1 削除するメールのアイコンをタップして、チェックを付けます。

チェックマーク ☑ が付きます。
複数のメールを選択することができます。

MEMO
- 削除するメールを選択して、画面左下の［チェック］をタップしてもチェックマーク ☑ が付きます。
  この手順を繰り返し、削除するメールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。
- チェックを外すときは、☑ をタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の［チェック］をタップします。

2 画面右下の［メニュー］－［チェックを削除］をタップします。

3 表示された確認画面で［はい］をタップします。

手順 **1** で選択した（チェックを付けた）メールが削除されます。

フォルダの中のメールをすべて削除する

1 すべてのメールを削除するフォルダを選択します。

2 画面右下の［メニュー］－［フォルダ］－［全件削除］をタップします。

3 表示された確認画面で［はい］をタップします。

自分で作ったフォルダとその中のメールをすべて削除する

1 削除するフォルダ（ご自分で作ったフォルダ）を表示し、さらにそのフォルダを選択します。

新規フォルダの作成は 4-39 ページをご覧ください。

2 画面右下の［メニュー］－［削除］をタップします。

3 表示された確認画面で［はい］をタップします。

手順 **1** で選択したフォルダとその中に入っているメールがすべて削除されます。

MEMO
- この方法で削除できるのはご自分で作ったフォルダだけです。「受信トレイ」や「送信済みトレイ」などは、削除できません。

保護されたメールの削除について

フォルダの中のメールをすべて削除するときに、保護されたメールだけ残せます。削除の操作をすると、以下の確認画面が表示されます。
メールの保護設定については、4-41 ページをご覧ください。

保護されたメールもすべて削除するとき	：はい をタップする
保護されたメール以外すべて削除するとき	：いいえ をタップする
メールの削除を中止するとき	：× をタップする

MEMO
- 1 件表示画面でメールを削除するときは、削除の操作をした後の確認画面で はい をタップするとそのメールを削除し、いいえ をタップするとそのメールの削除を中止します。

サーバーに残っている受信済みメールを削除する

アカウント設定画面（動作設定 タブ）（☞ 4-7 ページ）で「受信メッセージをサーバーから削除」のチェックを外しておくと、メールを受信後もサーバーにメールが溜まっていきます。
このようなときは、この製品からサーバーに接続しサーバーに残っている受信済みのメールを削除します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで、メニュー － 送受信 － サーバーから削除 をタップします。

インターネットに接続し、サーバーに残っている既読メールを削除します。

2 表示された画面で ok をタップします。

自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

MEMO
- この操作でサーバーから削除されるメールは、受信済みのメールのみです。
まだ、受信していないメールは削除されません。

振り分け条件を設定しメールを振り分ける

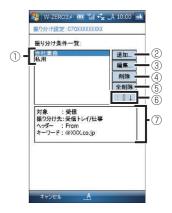
振り分け条件を設定し、受信したメールおよび送信済みメールを自動的に指定したフォルダに入れる（振り分ける）ことができます。

メールを自動で振り分ける

送受信したメールを設定した振り分け条件に従って、自動で指定したフォルダに入れる（振り分ける）ことができます。

1 **受信トレイなどをタップし、画面右下の メニュー － その他 － 振り分け設定一覧 をタップします。**

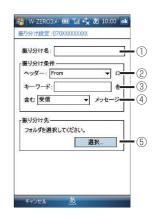
振り分け条件一覧画面が表示されます。

① 振り分け条件を設定した、振り分け名が表示されます。リストの上部に表示されている振り分け名が優先されます。
② 振り分けの条件を追加します（☞下記）。
③ 選択している振り分け条件を編集します。
④ 選択している振り分け条件を削除します。
⑤ 振り分け条件をすべて削除します。
⑥ ①のリストで表示されている順番を変更します。振り分け名を選択し、↑や↓をタップし順番を変更します。
⑦ ①で選択している振り分け条件の内容が表示されます。

2 **追加 をタップします。**

振り分け条件設定画面が表示されます。

3 **振り分け名や振り分け条件を設定します。**

① 振り分け条件の名前を入力します。
②「キーワード」欄で入力した文字列を条件とするヘッダーを選択します。
③「ヘッダー」欄で選択した項目に対して、条件として指定する文字列を入力します。
④ 振り分けるメールの対象を選択します。
⑤ 振り分け先を設定します。

4 **選択 をタップします。**

5 **「フォルダを新規作成して振り分ける」にチェックを付けて、フォルダを作成する場所を選択し、フォルダ名を入力します。**

既にあるフォルダに振り分ける時は、「既存のフォルダに振り分ける」にチェックを付けて、受信トレイ などをタップしてフォルダを選択します。

MEMO

- 複数のフォルダを選択することはできません。
- 振り分け先として指定するフォルダは、別の振り分け条件でも選択できます。
  たとえば、willcom@xxx.pdx.co.jp の振り分け先に「フォルダ 1」を選択し、sharp@xxx.pdx.co.jp の振り分け先にも「フォルダ 1」を選択できます。
  「フォルダ 1」には、両方から送信されたメールが振り分けられます。

6 **ok をタップします。**

7 **ok をタップします。**

振り分け条件一覧画面に戻ります。

8 **ok をタップします。**

メールを送受信すると、設定した振り分け条件にしたがって振り分けられます。

メールを手動で振り分ける

振り分けしたいメールが保存されているフォルダを選択して、手動で振り分けすることができます。

1 **「受信トレイ」など振り分けしたいメールが保存されているフォルダを選択し、画面右下の メニュー － フォルダ － 振り分け実行 をタップします。**

振り分け条件を設定したフォルダにメールが振り分けられます。

- 振り分け条件を設定したフォルダの条件を変更して、再度振り分けすることもできます。

設定した振り分け条件を修正する

設定した振り分け条件を編集します。

1 **4-36 ページの手順 1 を行い振り分け条件一覧画面を表示し、修正したい振り分け名をタップします。**

2 **編集 をタップし、修正したい振り分け条件（キーワードなど）を変更します。**

3 **ok をタップします。**
変更した内容を保存し、振り分け条件一覧画面に戻ります。

設定した振り分け条件を削除する

設定した振り分け条件を削除します。

■ 1 つの設定を削除します（1 件削除）

1 **4-36 ページの手順 1 を行い振り分け条件一覧画面を表示し、削除したい振り分け名をタップします。**

2 **削除 をタップします。**

3 **確認画面で はい をタップします。**
手順 **1** で選択した振り分け設定が削除されます。
削除されるのは、振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

■ すべての設定を削除します（全削除）

1 **4-36 ページの手順 1 を行い振り分け条件一覧画面を表示し、全削除 をタップします。**

2 **確認画面で はい をタップします。**
すべての振り分け設定が削除されます。
削除されるのは、振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

メールを整理する

新規にフォルダを作って、メールを関連した仕事ごとなどに整理できます。
新規にフォルダを作成できるのは、「受信トレイ」フォルダと「送信済みトレイ」フォルダ内のみです。

新規フォルダを作成する

まず、移動するためのフォルダを作成します。

1 受信トレイなどを選択し、画面右下の［メニュー］－［フォルダ］－［新規作成］をタップします。

ここでは「受信トレイ」フォルダの下に新規フォルダを作ります。

- 「受信トレイ」フォルダなどをタップしたままにして、表示されたメニューから［フォルダの新規作成］をタップしても新規フォルダを作ります。

2 フォルダ名を入力し、［ok］をタップします。

入力した名前のフォルダが、手順 **1** で選択したフォルダの下に表示されます。

メールを別のフォルダに移動する

受信したメールなどを新しく作ったフォルダに移動します。
メールを移動するには、フォルダ内のメールをまとめて（チェックを付けて）移動する方法と1 件ずつ移動する方法があります。

■ メールをまとめて別のフォルダに移動する

1 別のフォルダに移動させるメールのアイコンをタップして、チェックを付けます。

複数のメールを選択することができます。

- 移動させるメールを選択して、画面左下の［チェック］をタップしてもチェックマークが付きます。
  この手順を繰り返し、移動させるメールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。
- チェックを外すときは、☑をタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の［チェック］をタップします。

2 画面右下の［メニュー］－［メッセージ］－［チェックを移動］をタップします。

3 メールを移動するフォルダを選択します。

・既存のフォルダに移動するときは、「既存のフォルダに移動する」を選択しフォルダを選択します。
・新規フォルダに移動するときは、「フォルダを新規作成して移動する」を選択し、作成する場所を選択してフォルダ名を入力します。

4 ok をタップします。

手順 **3** で選択または新規に作成したフォルダに移動します。

■ メールを 1 件だけ別のフォルダに移動する

1 別のフォルダに移動させるメールを選択します。

2 画面右下の メニュー － メッセージ － 移動 をタップします。

3 メールを移動するフォルダを選択します。

・既存のフォルダに移動するときは、「既存のフォルダに移動する」を選択しフォルダを選択します。
・新規フォルダに移動するときは、「フォルダを新規作成して移動する」を選択し、作成する場所を選択してフォルダ名を入力します。

4 ok をタップします。

手順 **3** で選択または新規に作成したフォルダに移動します。

MEMO
- 移動先のフォルダとして、別のアカウント内のフォルダを選択することはできません。
- 移動するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 移動 をタップしても移動できます。

フォルダの名前を変更する

1 名前を変更したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前の変更 をタップします。

フォルダ名の変更画面が表示されます。

MEMO
- 名前を変更したいフォルダをタップし、画面右下の メニュー － フォルダ － 名前の変更 をタップしても名前を変更できます。

2 名前を変更して ok をタップします。

「受信トレイ」や「送信済みトレイ」などのフォルダ名は変更できません。
名前を変更できるのは、新規に作成したフォルダのみです。

フォルダを削除する

フォルダを削除すると、そのフォルダ内のメールも削除されますのでご注意ください。

1 **削除したいフォルダをタップし、画面右下の メニュー － 削除 をタップします。**

確認画面が表示されます。

2 **はい をタップします。**

「受信トレイ」や「送信済みトレイ」などのフォルダは削除できません。削除できるのは、新規に作成したフォルダのみです。

メールを保護する／保護を解除する

受信したメールや送信したメールは受信トレイや送信済みトレイなどに入り、この製品に保存されます。
アカウントの設定（動作設定 タブ）で保存するメールの件数に制限を設定（☞4-7 ページ）した場合、この制限を超えてメールを受信したり送信すると古いメールから削除されます。
この保存メールの件数に制限を設定しているとき、削除したくないメールを保護設定することにより、制限を超えても削除されずに残すことができます。
また、未読のメールも削除されずに残ります。

ご注意
- 保護メールと未読メールの件数が保存するメールの制限値（☞4-7 ページ）を超えた場合は、メール受信ができなくなりますのでご注意ください。このようなときは、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。

メールを保護する

メールを保護するには、フォルダ内のメールをまとめて（チェックを付けて）保護する方法と 1 件ずつ保護する方法の 2 つがあります。

■ メールをまとめて保護する

1 **「受信トレイ」一覧画面または「送信済みトレイ」一覧画面を表示し、保護するメールのアイコンをタップして、チェックを付けます。**

複数のメールを選択することができます。

MEMO
- 保護するメールを選択して、画面左下の チェック をタップしてもチェックマークが付きます。
  この手順を繰り返し、保護するメールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。
- チェックを外すときは、☑ をタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の チェック をタップします。

2 画面右下の メニュー － メッセージ状態 － チェックを保護 をタップします。

をタップしてチェックを外すと、保護されたメールのアイコンが になり、 が表示されます。

■ メールを 1 件ずつ保護する

1 受信トレイ一覧画面または送信済みトレイ一覧画面を表示します。

2 保護するメールを選択し、画面右下の メニュー － メッセージ状態 － 保護 をタップします。

保護されたメールのアイコンが になり、 が表示されます。

MEMO
- 1 件表示しているときは、手順 **2** で画面右下の メニュー － その他 － 保護 をタップします。

保護を解除する

■ 保護しているメールをまとめて解除する

1 保護しているメールのアイコンをタップしてチェックを付けます。

複数のメールを選択することができます。

2 画面右下の メニュー － メッセージ状態 － チェックを保護解除 をタップします。

保護が解除され、 をタップしてチェックを外すと、メールのアイコンに表示されていた が消えます。

■ 保護しているメールを 1 件ずつ解除する

1 保護しているメールを選択します。

2 画面右下の メニュー － メッセージ状態 － 保護解除 をタップします。

保護が解除され、メールのアイコンに表示されていた が消えます。

MEMO
- 1 件表示しているときは、手順 **2** で画面右下の メニュー － その他 － 保護解除 をタップします。

保存メールの制限について

保存メールの制限は「受信トレイ」／「送信済みトレイ」／「部分受信トレイ」※が対象となり、「受信トレイ」と「送信済みトレイ」のメールの合計が制限値を超えると、送信した日時が一番古いメールから削除されます。

なお、「送信待ちトレイ」、「下書きトレイ」は対象外です。

※部分受信メールは「受信トレイ」に入りますが、「部分受信トレイ」でも参照できるようになっています。すなわち、「受信トレイ」と「部分受信トレイ」の両方で同じ部分受信メールが表示されます。

■ 制限値を超えて受信したり送信した場合

制限値を超えてメール受信または送信すると、保護メールと未読メールを除いて送信した日時が一番古いメールから削除されます。

最近受信して「受信トレイ」に入ったメールでも、送られた日時が古いと、そのメールは最近のメールではなく、古いメールとして扱われます。

たとえば、1 週間程度メール受信を行わず今日になって受信したメールでも、送信されたのが 1 週間以上前のメールはその日時（送信された日時）のメールとして扱われます。受信した日時ではなく送信された日時に注意してください。

エクスポート（書き出し）／インポート（読み込み）する

メール本文や添付ファイルを書き出したり（エクスポート）、読み込んだり（インポート）できます。エクスポートやインポートをすると EML 形式をサポートしているパソコンのアプリケーションなどとファイルのやり取りができます。

■ エクスポートする

メールの本文（添付ファイルを含む）を書き出します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで、エクスポートするメールを選択します。

● メールのアイコンをタップして（チェックを付けて）、複数選択することもできます。

2 画面右下の メニュー － その他 － エクスポート をタップします。

エクスポート画面が表示されます。

3 出力先を指定して ok をタップします。

エクスポートが終わるとメッセージが表示されますので ok をタップします。

MEMO

● 出力先の初期設定は¥My Documents に設定されています。

● 出力先に microSD カードを指定することもできます。

■ インポートする

メールの本文（添付ファイルを含む）を読み込みます。

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の[メニュー]－[その他]－[インポート]をタップします。

2 インポート先を選択します。

・既存のフォルダにインポートするときは、「既存のフォルダにインポートする」を選択しフォルダを選択します。

・新規フォルダにインポートするときは、「フォルダを新規作成してインポートする」を選択し、作成する場所を選択してフォルダ名を入力します。

3 [ok]をタップします。

4 インポートするデータを選択し、[ok]をタップします。

インポートが終わるとメッセージが表示されますので[ok]をタップします。

5 インポートしたメールをタップします。

メールの内容を予定表、仕事に登録する

メールの本文を予定表のメモ、または仕事のメモとして登録することができます。

1 予定表または仕事に登録したいメールをタップします。

2 画面右下の[メニュー]－[登録]－[予定表]（または[仕事]）をタップします。

予定表または仕事の新規入力画面が表示されます。

件名には、選択したメールの件名が入ります。

3 各項目を設定して[ok]をタップします。

4 表示された画面で[ok]をタップします。

MEMO

- 登録するメール本文の中に、「題名」「テーマ」などのタイトルを表す文字があると、「題名」などに続く文字が件名に入力されます。
- メール本文を範囲指定して、選択した部分だけを登録することもできます。
- 手書きメールの手書き画像は登録できません。

W-ZERO3 メールのメニュー

一覧画面のメニュー

送受信	受信	メールを受信する(☞4-21ページ)。
	送信	メールを送信する(☞4-9、4-17ページ)。
	送受信	メールの送信と受信を一度に行う(☞4-20、4-22ページ)。
	まとめて受信	複数のアカウントのメールを一度に受信する。受信するアカウントの選択は、まとめて受信設定で行う(☞4-23ページ)。
	サーバーから削除	サーバーに残っている受信済みのメールを削除する(☞4-35ページ)。
メッセージ作成	テキストメール	テキストメールを作成する(☞4-9ページ)。
	装飾メール	デコラティブメール準拠のメールを作成する(☞4-14ページ)。
	手書きメール	手書きメールを作成する(☞4-17ページ)。
返信※1		メールを返信する(☞4-31ページ)。
削除※1		メールを削除する(☞4-33ページ)。
フォルダ	新規作成	新規のフォルダを作成する(☞4-39ページ)。
	名前の変更	フォルダ名を変更する(☞4-40ページ)。
	振り分け実行	設定している条件にしたがって、振り分けを行う(☞4-37ページ)。
	すべて既読にする	フォルダの中にあるメールをすべて既読にする。
	全件削除	フォルダの中にあるメールをすべて削除する(☞4-34ページ)。
メッセージ	全員へ返信※1	全員へ返信する。
	転送※1	メールを転送する(☞4-32ページ)。
	ダウンロード※1	一部を受信したメールの全部(全体)を受信する。
	移動※1	メールを別のフォルダに移動する。
	並び替え	差出人順、件名順、日時順で並び替える。
	全チェック	フォルダの中にあるメールの全件にチェックを付ける。
	全チェック解除	チェックが付いているメールすべてのチェックを外す。
	添付ファイル削除※1	添付ファイルを削除する。
メッセージ状態	保護※1	削除しないように、メールを保護する。
	保護解除※1	保護しているメールを保護解除する。
	未読にする※1	メールを未読にする。
	既読にする※1	メールを既読にする。
アカウント切替		アカウントを複数設定している場合、アカウントを切り替える。
その他	振り分け設定一覧	表示しているアカウントの振り分け設定画面を表示する(☞4-36ページ)。
	アカウント設定	新規のアカウントを作成したり、作成しているアカウントの内容を確認／変更する(☞4-4ページ)。
	オプション	まとめて受信するときや定期受信するとき、対象にするアカウントを選択する(☞4-23、4-24ページ)。また、その他 タブでプレビュー表示を画面に出す／出さないを設定します(☞4-26ページ)。
	インポート	メール本文を読み込みする(☞前ページ)。
	エクスポート※1	メール本文を書き出しする(☞4-43ページ)。
	バージョン表示	W-ZERO3メールのバージョンを表示する。

※1 アイコンをタップしチェックを付けた場合(✔アイコンが表示されている場合)、返信や転送などは チェックを返信、チェックを転送などになります。

詳細表示画面のメニュー

連絡先に登録	新規登録	選択しているメールアドレスを連絡先に新規データとして登録する。
	追加登録	選択しているメールアドレスを連絡先にすでに登録しているデータに追加する。
範囲指定モード 範囲指定モード解除		範囲指定する。 範囲指定モード（メニュー－範囲指定モード）で範囲指定を開始する位置をタップして、開始 をタップした後、カーソルキーを使って範囲指定する。指定された部分は反転表示になる。範囲を指定した後、終了 または、メニュー－範囲指定モード解除 をタップする。 そして、メニュー－コピー で、反転した部分をコピーする。
コピー		範囲指定している部分をコピーする。
添付ファイル	開く	選択している添付ファイルを開く（☞4-29ページ）。
	保存	選択している添付ファイルを保存する（☞4-29ページ）。
	すべて削除	選択している添付ファイルを削除する（☞4-30ページ）。
振り分け設定		振り分け設定画面を表示する（☞4-36ページ）。
登録	予定表	メールの本文を予定表のメモに登録する（☞4-44ページ）。
	仕事	メールの本文を仕事のメモに登録する（☞4-44ページ）。
その他	NAVITIMEで検索	NAVITIMEを起動します。
	メッセージ削除	メールを削除する。
	ダウンロード	一部を受信したメールの全部（全体）を受信する。
	保護／保護解除	選択しているメールを保護する／保護しているメールを保護解除する（☞4-41ページ）。
	簡略表示	「宛先」、「Cc」、「件名」の各項目4行以上になっている場合（画面上の行数が4行以上になっている場合）、各項目を3行まで表示する。 簡略表示 にしている場合、このメニューは すべて表示 になる。 すべて表示 をタップすると、各項目がすべて表示される。
	ヘッダ情報表示	ヘッダ情報を表示する。
装飾メール※1	ブラウザで表示	ブラウザでメールを表示する。
	テンプレート保存	受信、送信済みメールをテンプレートとして保存する（☞4-16ページ）。
手書き画像保存※2		手書きの画像をファイルとして保存します。

※1 装飾メールのときに表示されます。
※2 手書きメールの 手書き タブのときに表示されます。

新規作成画面のメニュー

連絡先参照		連絡先に登録しているメールアドレスを参照する。
連絡先に登録	新規登録	選択しているメールアドレスを連絡先に新規データとして登録する。
	追加登録	選択しているメールアドレスを連絡先にすでに登録しているデータに追加する。
範囲指定モード 範囲指定モード解除		範囲指定する。 範囲指定モード（メニュー－範囲指定モード）で範囲指定を開始する位置をタップして、開始 をタップした後、 カーソル ボタンを使って範囲指定する。指定された部分は反転表示になる。範囲を指定した後、終了または、 メニュー－範囲指定モード解除 をタップする。 そして、メニュー－コピーで、反転した部分をコピーする。
編集	コピー	範囲指定している部分をコピーする。
	切り取り	範囲指定している部分を切り取る。
	貼り付け	コピーおよび切り取った部分を貼り付ける。
	クリア	選択している部分を削除する。
絵文字※1		絵文字入力パッドを表示する（☞4-13ページ）。
Web用絵文字※1※2		Web用絵文字入力パッドを表示する（☞4-13ページ）。
顔文字※1※2		顔文字入力パッドを表示する（☞4-13ページ）。
その他※1※2	返信元メッセージ挿入	メール本文の最後に返信元メッセージを挿入する。
	添付ファイル挿入	ファイルを添付する。
	添付ファイル削除	添付しているファイルを削除する。
	署名挿入	本文に署名を挿入する。
テンプレート※2	呼出	保存したテンプレートを呼び出します（☞4-17ページ）。
	保存	受信、送信済みメールをテンプレートとして保存する（☞4-16ページ）。
装飾パレット※2		カーソルを装飾パレット側に移す（☞4-14ページ）。
ツール※3	ペン	手書き状態にする。
	消しゴム	画面をなぞって描画している内容を消す。
	太さ	ペンや消しゴムの太さを選択する。
	色	ペンの色を選択する。
	画像読み込み	この製品に保存している画像ファイルを貼り込む。
全消去※3		画像編集エリアの内容をすべて消去する。
元に戻す※3		ひとつ前の状態に戻す。
やり直し※3		直前の操作を繰り返す。

※1 テキストメール、手書きメールのときに表示されます。

※2 装飾メールのときに表示されます。

※3 手書きメールの手書きタブのみ表示されます。

メール（Outlook）

メール（Outlook）の基本動作について

メール（Outlook）はメールの送受信を行うと、サーバーとの間で同期（※ 1）を行うように設計されています。
つまり、メール送受信時、この製品の“メール”内の「受信トレイ」（※ 2）／「削除済みアイテム」とサーバーを同じ状態に保つようになっています。
同じ状態に保たず、サーバーに残しておく設定もできます（☞ 4-54 ページ）。

※ 1 この同期は ActiveSync（☞ 7-2 ページ）を使った同期とは異なります。

※ 2「受信トレイ」のみ同期の対象になります。「受信トレイ」内に新規フォルダを作るとそのフォルダは同期の対象にはなりません。

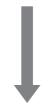
サーバーとの同期によって、次のようなことが起こります。

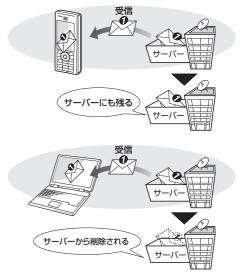
- この製品の「受信トレイ」のメールが削除される
  （「この製品とパソコンなどで同じメールを受信したとき」（☞下記））
- サーバーからメールが削除される
  （「この製品の「削除済みアイテム」からメールを削除したとき」（☞次ページ））

これらについて、以下から次ページに詳細を説明していますのでご覧ください。

この製品とパソコンなどで同じメールを受信したとき

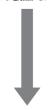
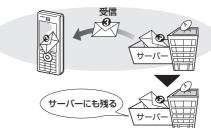
この製品の「受信トレイ」のメールが自動的に削除されますのでご注意ください。

① この製品でプロバイダーのメールを受信します。

② パソコンで同じプロバイダーのメールを受信（パソコンの設定は、「メール受信時、サーバーからメールを削除する」）サーバーからメールが削除されます。

（次ページへ）

③ この製品でプロバイダーのメールを送受信します。
サーバーとこの製品の間で同期が行われます。この製品には残っているがサーバーからは削除されているメールは同期がとられ、この製品の「受信トレイ」から削除されます。

この製品の「削除済みアイテム」からメールを削除したとき

サーバーのメールが自動的に削除されますのでご注意ください。

① この製品でメールを受信します。

② この製品で受信メールを「削除済みアイテム」フォルダから削除します（☞ 4-67 ページ）。

③ この製品でメールを送受信します。
サーバーとこの製品の間で同期が行われます。サーバーには残っているが、この製品の「削除済みアイテム」フォルダから削除されたメールは同期がとられ、サーバーから削除されます。

- メールをサーバーに残しておくこともできます（☞ 4-54 ページ）。

送受信するためのアカウントを設定する

すでにご入会されているインターネットプロバイダーのメールに関する情報を設定する方法を説明します。この設定を行うと、すでにご入会されているメールアドレスへ送られてきたメールを受信できます。
アカウントは 7 つまで設定できます。

- オンラインサインアップで設定された接続情報を使ってメールの送受信ができます。プロバイダーによっては、プロバイダーへの接続情報の設定が必要です（☞ 2-16 ページ）。設定が必要かどうかは、プロバイダーにお問合せください。

この製品に設定するメールの情報を確認する

以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。
・電子メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
・受信メールサーバー　・送信メールサーバー
※ 項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。
・“W-ZERO3 メール”の設定を行うときは、4-4 ページをご覧になり設定してください。

1 スタート メニューの “プログラム”をタップします。

2 プログラム画面で “メール”をタップします。
アカウントの選択画面が表示されます。

3 新しい電子メールアカウント をタップします。
電子メールのセットアップ画面が表示されます。

4 お使いのメールアドレスを入力し、次へ をタップします。

① タップするとヘルプが表示されます。
② メールアドレスを入力します。
③ ここでは、チェックを外します。

5 「インターネット電子メール」を選択し、次へ をタップします。

①「インターネット電子メール」または「Exchange サーバー」を選択します。

・インターネット電子メール：プロバイダーのアカウントを作成するときに選択します。

・Exchange サーバー：Microsoft Exchange サーバーを使用するアカウントを作成するときに選択します。
詳細についてくわしくは、ネットワーク管理者におたずねください。

6 名前、アカウントの表示名を入力し、次へ をタップします。

① メールの送信者として相手に表示される名前を入力します。

② この製品に表示されるアカウント名を入力します。

7 受信メールのサーバー情報を入力し、次へ をタップします。

アカウントの種類が分からないときは、プロバイダにお問い合わせください。

① メールを受信するための受信メールサーバーの情報を入力します。

②「POP3」または「IMAP4」を選択します。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
受信メールサーバー	POP サーバー、受信メールサーバー、メールサーバー
送信メール	SMTP サーバー、送信メールサーバー

8 ユーザー名、パスワードを入力し、次へをタップします。

---

① メールサーバーに接続するためのユーザー名を入力します。

② メールサーバーに接続するためのパスワードを入力します。

③ 入力したパスワードを保存するときは、チェックを付けます。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	Mail アカウント名、メールアカウント、メールボックス名、メールボックスアカウント名、Mail アカウント
パスワード	Mail パスワード、メールパスワード、初期パスワード

9 送信メールのサーバー情報を入力し、「サーバーの詳細設定」をタップします。

① メールを送信するためのサーバー情報を入力します。

② 送信メールに認証が必要なときにタップしてチェックを付けます。

③ ②にチェックを付けたときに設定できます。

10 サーバーの詳細設定を行います。

オンラインサインアップで設定された接続情報を使う場合は、ネットワーク接続欄で、必ず「センタ名称設定」にします。設定が終われば、完了をタップして次へをタップします。

① 受信メールにSSL認証を使用するときにチェックを付けます。

② 送信メールにSSL認証を使用するときにチェックを付けます。

③ タップして接続を切り替えます。

- **接続を選択する**

  お使いの状態にあわせて接続を選択してください。
  - ・「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了して設定された接続情報を使ってメールを送受信するときに選択します。
  - ・「インターネット設定」や「社内ネットワーク設定」の中に設定を作成した場合は、これらを選択します。
  - ・ご自分で新規に接続／接続設定を作成した場合は、新規に作成した接続を選択します。

  ※この取扱説明書では、「インターネット設定」の中に自宅などからプロバイダーに接続する設定を作成し、「社内ネットワーク設定」の中に社内のネットワークに接続する設定を作成するように説明していますので、自宅などからプロバイダーに接続しメールを送受信するときは「インターネット設定」を選択し、社内のネットワークに接続してメールを送受信するときは「社内ネットワーク設定」を選択してください。

11 自動送受信の設定を行い、「すべてのダウンロードの設定を確認する」をタップします。

① 自動接続し、メールを定期的にチェックする間隔を設定したり、手動で実行する設定をします。

ご注意
- 自動接続し、メールを定期的にチェックする場合、一度メールチェックを行った後は回線を切断せずにインターネットに接続した状態のままになります。「手動実行」にすることをおすすめします。

12 受信するメッセージの設定を行い、「詳細設定」をタップします。

① 手順 **11** で設定した内容が表示されます。

② タップして過去何日分のメッセージを受信するかを設定します。

13 送信をタップしたときの動作やサーバーから削除するかの設定を行い、完了をタップして次へをタップします。

① チェックを外すと、送信をタップしたときに送受信を行いません。

② この製品からメールを削除したとき、サーバーから削除しないときは、「サーバーに残しておく」を選択します。

14 メールの形式や受信メールの容量の制限を設定して完了をタップします。

①「HTML」または「テキスト形式」を選択できますが、「テキスト形式」を選択することをおすすめします。

② タップして受信メールの容量の制限を選択します。

設定が完了し、メッセージのダウンロードのためにインターネットへ接続が開始されます。

15 表示された画面でキャンセルをタップします。

アカウントを修正する／削除する

■ アカウントを修正する

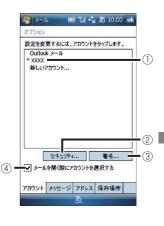
1 スタート メニューの “プログラムをタップします。

2 プログラム画面で “メール” をタップします。

3 画面右下の メニュー － オプション をタップします。

MEMO ●「受信トレイ」の一覧画面が表示されたときは、画面右下の メニュー － ツール － オプション をタップします。

4 修正するアカウントをタップします。

① ご自分で設定したアカウント
② タップすると、インターネットに接続してホームページなどに接続する前に警告画面を表示することができます（☞ 4-70 ページ）。
③ 署名を作成することができます（☞ 4-70 ページ）。
④ チェックを外すと、“メール”を起動したときに、アカウントの選択画面を表示しないようにできます。

MEMO ● **アカウントの設定を確認するときは**

1 オプション画面で、設定を確認するアカウントをタップします。
電子メールのセットアップ画面が表示されます。次へ をタップし、画面を切り替えて確認してください。

5 次へ をタップし、画面を切り替えて修正します。
4-50 ～ 54 ページをご覧になり、修正してください。

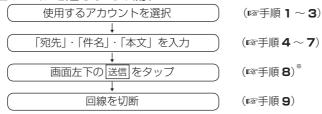
6 修正を終えた後、完了 をタップします。

■ アカウントを削除する

作成したアカウントを削除するときは、前ページ「アカウントを修正する」の手順 **4** の画面でアカウントをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップします。

メールを作って送る

メールを作って送信します。

■ メールを送るまでの流れ

※ 送受信を行い、正常に送信されたことを確認してください。
設定によっては（☞ 4-54 ページ）、メールが「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません）。

1 スタート メニューの “プログラムをタップします。

2 プログラム画面で “メール” をタップします。

3 メールを送りたいアカウントを選択します。

4 画面右下の メニュー － 新規 をタップします。

新規メールの作成画面が表示されます。

① 手順 **3** で選択したアカウント名が表示されます。

5 宛先を入力します。

宛先の項目にカーソルがあることを確認し、以下のいずれかの方法で宛先を入力します。

①「CC：」や「BCC：」には、参考に送信したい人の電子メールアドレスを入力します。「BCC:」に入れたアドレスは、BCC：で受信した人以外から見えないように送信されます。「CC：」や「BCC：」の宛先を入力するときは、スクロールバーを上に移動します。

②**「差出人」欄**

③宛先に直接、ダイヤルキーやキーボードを使って入力します。
メールアドレスを複数入力するときは、半角のセミコロン（；）で区切って入力します。
この製品の“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用して、宛先を入力することができます。くわしくは、次ページの「宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する」をご覧ください。

④**「件名」欄**

⑤**「本文」欄**

BCC:
CC:
差出人: 岡田 太郎 <okada@XXXX.XXX.co.jp> (XXXX)
宛先:
件名:
送信 あ メニュー

6 「件名」欄をタップし、件名を入力します。

ご注意
- 送受信するメールの件名が全角で 19 文字以上になると件名が文字化けする場合があります。件名は、全角 18 文字 (半角 36 文字) までにしてお使いください。

7 「本文」欄をタップし、本文を入力します。

MEMO
- よく使う文章をマイ テキストから選択して、入力できます。画面右下の メニュー － マイ テキスト をタップするとマイ テキストに登録されている文章一覧が表示されます。
文章をタップすると、その文章が入力されます。
また、 マイ テキスト メッセージの編集 をタップし、メッセージを編集したり、新しいテキストを作成することができます（☞ 4-73 ページ）。

8 画面左下の 送信 をタップします。

設定によって（☞ 4-54 ページの手順 **13**）、以下のいずれかが行われます。
- 自動的にネットワークに接続しメールを送信します。
- 「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません）。「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、以下のメモをご覧ください。

9 ネットワークを切断します。

タイトルバーの ⇄ をタップし、 切断 をタップします。または、 PWR キーを押します。
タイトルバーの ⇄ が ⇄x になります。
PWR キーを押した場合は、Today 画面（待ち受け画面）に戻ります。

- 「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、「受信トレイ」などで、[メニュー]－[送受信]をタップします。インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未読メールを受信します。
- 「下書き」フォルダに保存するときは、[ok]をタップし確認画面で[はい]をタップするか、画面右下の[メニュー]－[下書きに保存]をタップします。

宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する

1 **新規メールの作成画面で宛先にカーソルがあることを確認します。**

2 **以下のどちらの方法で宛先を選択します。**

- **画面右下の[メニュー]－[受信者の追加]をタップします。**

  メールアドレスを入力している“連絡先”が一覧表示されますので、宛先にしたい連絡先をタップします。

- **宛先の項目に名前やメールアドレスの先頭の数文字を入力（1 文字だけでも可能です）し、[メニュー]－[宛先の確認]をタップします。**

  “連絡先”に登録している名前やメールアドレスを検索した結果が表示されますので、目的の宛先をタップします。

  ※ この方法を使うときは、あらかじめオプション画面（[アドレス]タブ）で、「送信先に設定する連絡先のフィールド」が「すべての電子メールのフィールド」になっていることを確認してください（☞ 4-72 ページ）。

画像ファイルなどを添付してメールを送る

メールに画像ファイルなどを添付して送信できます。

1 4-56 ～ 57 ページの手順 1 ～ 7 の方法で、メールを作成します。

2 画面右下の［メニュー］－［挿入］をタップし、表示されたメニューから［画像］、［ボイスメモ］、［ファイル］のいずれかをタップします。

■画像を添付する場合

1 マイ ピクチャフォルダ内の画像ファイルが表示されます。

フォルダを切り替えるときは、「マイ ピクチャ」をタップし、表示されたメニューから別のフォルダをタップします。

① タップして、表示されたメニューから別のフォルダに切り替えることができます。

② タップして、並び順を変えることができます。

2 画像をタップします。

3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル： xxxxx.jpg(xxKB)」などが表示されます。

■ボイスメモを添付する場合

1 メール新規作成画面の下部に録音ツールバーが表示されます。

① 録音ツールバー

2 ［●］ボタンをタップすると録音が始まります。

3 この製品のマイク（送話口）に自分の声などを録音します。

4 ［■］ボタンをタップすると録音が終了し、録音したファイルが自動的に添付されます（「添付ファイル： xxxxx.wav(xxKB)」など）。

■ファイルを添付する場合

1 ファイル選択画面が表示されます。

① タップすると別のフォルダに切り替えることができます。

2 リストから目的のファイルをタップします。

3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル：xxxxx.xlsx(xxKB)」などが表示されます。

3 画面左下の 送信 をタップします。

設定によって（☞4-54 ページの手順 **13**）、以下のいずれかが行われます。

・自動的にネットワークに接続しメールを送信します。
・「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません）。「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、以下のメモをご覧ください。

4 ネットワークを切断します。

タイトルバーの をタップし、 切断 をタップします。または、 PWR キーを押します。
タイトルバーの が になります。
PWR キーを押した場合は、Today 画面（待ち受け画面）に戻ります。

MEMO

- 「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、「受信トレイ」などで、 メニュー － 送受信 をタップします。インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未受信メールを受信します。
- 「下書き」フォルダに保存するときは、 ok をタップし確認画面で はい をタップするか、画面右下の メニュー － 下書きに保存 をタップします。

送信トレイに保存しているメールをまとめて送る

「送信トレイ」フォルダに保存しているメールを、あとでまとめて送信できます。

1 送信トレイを表示します。

①「送信トレイ」フォルダに保存されているメール。

2 画面右下の メニュー － 送受信 をタップします。

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールをすべて送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未受信メールを受信します。

3 ネットワークを切断します。

タイトルバーの をタップし、 切断 をタップします。または、 PWR キーを押します。
タイトルバーの が になります。
PWR キーを押した場合は、Today 画面（待ち受け画面）に戻ります。

メールを受信する

- PHS 電話機能を使ってメール送受信したあと回線を切断しないと、インターネットに接続した状態になっているため電話の発信はできません。メール送受信の操作を行ったあとは、回線を切断してください。

1 スタート メニューの “プログラムをタップします。

2 プログラム画面で “メール” をタップします。

3 メールを受信したいアカウントをタップします。

4 画面右下の メニュー － 送受信 をタップします。

ネットワークに接続され、センター（サーバー）にある未受信のメールが受信されます。

5 ネットワークを切断します。

タイトルバーの ⇄ をタップし、切断 をタップします。または、PWR キーを押します。
タイトルバーの ⇄ が ⇄x になります。
PWR キーを押した場合は、Today 画面（待ち受け画面）に戻ります。

MEMO
- **一定間隔で送受信を行ってメールを受信することもできます。**
  「送受信するためのアカウントを設定する」の手順 **11** の画面（☞ 4-53 ページ）で何分間隔で行うかを選択して設定すると、一定間隔で“メール”を起動して自動的にネットワークに接続し、センター（サーバー）にある未受信のメールを受信します。
  ※この方法は一定間隔でメールが受信されますが、一度、ネットワークに接続した後はネットワークから切断されないため、充電池が消耗したり、電話などの発信ができない状態になりますので、この設定は手動設定にすることをおすすめします。

ご注意
- **「受信トレイ」に入ったメールが消えるときは、以下のことが考えられます。**
  ・サーバーとこの製品の間で同期が行われ、削除されている可能性があります（☞ 4-48 ページ）。
  「受信トレイ」に入っているメールを消したくないときは、「受信トレイ」から別のフォルダに移してください（☞4-69 ページ）。
  ・「送受信するためのアカウントを設定する」の手順 **12** の画面（☞ 4-53 ページ）でメッセージのダウンロードを「すべてのメッセージ」以外に設定している場合、設定した日数分のメッセージしか表示されません。「すべてのメッセージ」に変更してください。

受信メールを見る

受信したメールは「受信トレイ」に入ります。

■「受信トレイ」一覧画面などで表示されるアイコンについて

	未読メール	既読メール
全文取得されている場合		
全文取得され、添付ファイルがある場合		
全文または添付ファイルが取得されていない場合		
次に送受信を行って全文または添付ファイルを取得する場合		

1 画面左上の「送信トレイ」などをタップし、「受信トレイ」を選択します。

① タップすると、メッセージの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

② 受信したメールが表示されます。

2 見たいメールをタップします。

メールの詳細が表示されます。

- メールの詳細画面最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、受信したメッセージが途中で切れているか、添付ファイルがあることを知らせています。
- **続きのメッセージや添付ファイルを取得したいときは**

  1「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」をタップします。
  「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」になります。

  2 ok をタップします。
  「受信トレイ」一覧画面で選択したメッセージのアイコンがになります。

  3「メール（メッセージ）の全文／添付ファイルを取得する」（☞下記）の手順 **2** 以降をご覧になりメールを送受信します。
  メール（メッセージ）と添付ファイルがダウンロードされます。

メール（メッセージ）の全文／添付ファイルを取得する

1 「受信トレイ」一覧画面で、続きのメッセージや添付ファイルを取得したいメール（メッセージ）をタップしたままにし、表示されたメニューから メッセージのダウンロード をタップします。

アイコンがになります。

2 画面右下の メニュー － 送受信 をタップします。

手順 **1** でが表示されたメッセージの全文と添付ファイルがダウンロードされます。

① 添付ファイルがダウンロードされると、が表示され添付ファイルがダウンロードされたことを知らせます。

3 ネットワークを切断します。

タイトルバーの をタップし、切断 をタップします。または、PWR キーを押します。
タイトルバーの が になります。
PWR キーを押した場合は、Today 画面（待ち受け画面）に戻ります。

添付ファイルを見る／保存する

メールに添付されたファイルを見たり、保存したりすることができます。

添付ファイルを見る

1 「受信トレイ」一覧画面などで、添付ファイルを取得したメールをタップします。

2 添付ファイルをタップします。

- 手順 **2** で添付ファイルをタップしても、正しく表示されない場合があります。
  このようなときは一旦保存（☞下記）してから見るか、1-26 ページをご覧になり、使用していないプログラムを終了してください。
  ※ファイルによってはすべてのプログラムを終了しても、正しく表示されない場合があります。

添付ファイルを保存する

1 添付ファイルをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前を付けて保存 をタップします。

2 ファイルの名前を入力し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

格納場所として「メインメモリ」を選択された場合は、「My Documents」フォルダの選択されたフォルダに保存されます。

3 保存 をタップします。

指定したフォルダ、場所に保存されます。

- 保存した添付ファイルは、“ファイルエクスプローラ”から開くことができます。
  くわしくは、8-11 ページをご覧ください。

メールを返信する／転送する

受信したメールを返信したり、別のメールアドレスに転送したりできます。

1 「受信トレイ」一覧画面などで、返信または転送するメールをタップします。

2 画面右下の メニュー － 返信 － 返信 、 全員へ返信 または 転送 をタップします。

・ 返信 を選択した場合　：メールを送信してきた人のみに返信します。
・ 全員へ返信 を選択した場合　：送信者も含めて全員に返信します。
・ 転送 を選択した場合　：元のメッセージを含めて、指定した宛先へ送信します。

MEMO
● **返信または全員へ返信する場合**
「受信トレイ」一覧画面などで、返信するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 返信 または 全員へ返信 をタップしても返信できます。
● **転送する場合**
「受信トレイ」一覧画面などで、転送するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 転送 をタップしても転送できます。

3 返信内容の入力または転送先（宛先）／転送内容を入力します。

4 画面左下の 送信 をタップします。

設定によって（☞ 4-54 ページの手順 **13**）、以下のいずれかが行われます。
・自動的にネットワークに接続しメールを送信します。
・「送信トレイ」フォルダに保存されます（メールは送信されません）。「送信トレイ」フォルダに保存したメールを送信するときは、「受信トレイ」などで、 メニュー － 送受信 をタップします。インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。そのあと、自動的にサーバーにある未受信メールを受信します。

5 ネットワークを切断します。

タイトルバーの をタップし、 切断 をタップします。または、 PWR キーを押します。
タイトルバーの が になります。
PWR キーを押した場合は、Today 画面（待ち受け画面）に戻ります。

メールを削除する

「受信トレイ」などで削除し、「削除済みアイテム」フォルダに移ったメールを削除すると、この製品から完全に削除されます。また、「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを削除するとき、すべて削除する方法と 1 件ずつ削除する方法があります。
「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすぐに空にしたり、接続または切断するときに空にするなどの設定ができます（☞ 4-72 ページ）。

ご注意
- 「削除済みアイテム」フォルダから削除すると、次回のメール送受信によってサーバーと同期が行われサーバーに残っていたメールも削除されます。
  メールをサーバーに残しておくこともできます（☞ 4-54 ページ）。

受信メールを削除する（「削除済みアイテム」フォルダに移す）

1 「受信トレイ」一覧画面などで削除するメールを選択し、画面左下の 削除 をタップします。

2 表示された確認画面で はい をタップします。

削除したメールは、「削除済みアイテム」フォルダに移ります。

この操作では「削除済みアイテム」フォルダに移っただけで、この製品からは削除されていません。この製品から削除するときは、「「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する」（☞次ページ）の操作を行います。

MEMO
- 「受信トレイ」一覧画面で削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップしても削除できます（「削除済みアイテム」フォルダに移ります）。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する

1 **「削除済みアイテム」フォルダを表示します。**

1 **ここをタップします。**

2 **削除するメールのアカウントを⊟にします。**

3 **削除済みアイテムをタップします。**
「削除済みアイテム」フォルダ内が表示されます。

2 **画面右下の メニュー − ツール − [削除済みアイテム] を空にする をタップします。**

3 **表示された確認画面で はい をタップします。**
手順 **1** で選択したアカウント内の「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールが削除されます。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを 1 件だけ削除する

1 **「削除済みアイテム」フォルダを表示し、削除するメールを選択します。**

2 **画面左下の 削除 をタップします。**

3 **表示された確認画面で はい をタップします。**
手順 **1** で選択したメールのみ削除されます。

MEMO

- 削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 を選択し確認画面で はい をタップしても削除できます。

メールを整理する

新規にフォルダを作って、受信メールを関連した仕事ごとなどに振り分けて整理できます。

新規フォルダを作成する

まず、振り分けるためのフォルダを作成します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで画面右下の メニュー － 切り替え をタップし、フォルダを作る「アカウント」を選択します。

① アカウントを選択します。

2 画面右下の メニュー － ツール － フォルダの管理 をタップします。

フォルダの管理画面が表示されます。

3 「フォルダの管理」画面内のフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 新しいフォルダ をタップします。

「受信トレイ」フォルダの下に新規フォルダを作るときは、「受信トレイ」フォルダをタップしたままにします。

MEMO
- 「受信トレイ」フォルダや「送信トレイ」フォルダと同じ階層にフォルダを作るときは、アカウント名をタップしたままにします。

4 「新しいフォルダ」画面でフォルダの名前を入力し、 ok をタップします。

入力した名前のフォルダが、手順 **3** で選択した（タップしたままにした）フォルダの下に表示されます。フォルダの中にフォルダを作成すると、＋が表示されます。
＋をタップすると中のフォルダが見えます。

メールを別のフォルダに移動する

受信したメールなどを新しく作ったフォルダに移動します。

1 **「受信トレイ」一覧画面などで移動するメールを選択し、画面右下の[メニュー]－[移動]をタップします。**

2 **移動画面で、移動先のフォルダを選択（反転）し、画面左下の[選択]をタップします。**

移動先のフォルダに移動します。
移動先のフォルダとして、別のアカウント内のフォルダを選択することはできません。

- 移動するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから[移動]をタップしても移動できます。

フォルダの名前を変更する

1 **画面右下の[メニュー]－[ツール]－[フォルダの管理]をタップし、「フォルダの管理」画面を表示します。**

2 **名前を変更したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから[名前の変更]をタップします。**

フォルダ名の変更画面が表示されます。

3 **名前を変更して[ok]をタップします。**

・既定のフォルダの名前は変更できません。
　名前を変更できるのは、新規に作成したフォルダのみです。

フォルダを削除する

1 画面右下の メニュー － ツール － フォルダの管理 をタップし、「フォルダの管理」画面を表示させます。

2 削除したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップします。

3 表示された確認画面で はい をタップします。

フォルダとフォルダ内のメールはすべて削除されます。
「削除済みアイテム」フォルダには入りませんのでご注意ください。

メッセージのオプション設定について

1 メールの新規作成画面などで、画面右下の メニュー － メッセージのオプション をタップします。

① メッセージの優先度を設定します。

② デジタル署名を登録しているとき、セキュリティやアクセス許可を設定します。

③ 表示言語を設定します。
通常は、日本語（JIS）にしておいてください。

2 設定が終わったら ok をタップします。

警告画面の設定や署名を作成する

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － ツール － オプション － アカウント タブをタップします。

① 警告画面の設定をします。

② 署名を作成します。

■ 警告画面の設定をする

メール本文中の文字列を認識してホームページを表示するときに警告画面を表示する／しないの設定をします。

1 セキュリティ をタップします。

2「デバイス外部の URL またはリンク先に移動する前に警告する」チェックを付けます。

3 ok をタップします。

オプション設定の アカウント タブに戻ります。

■ 署名を作成する

1 署名 をタップします。

署名画面が表示されます。

2 署名に使用するアカウントを選択し、「このアカウントで署名を使用する」にチェックを付けます。

「返信／転送時に使用する」にチェックを付けると返信や転送時に署名が付きます。

3 署名を入力し、ok をタップします。

オプション設定の アカウント タブに戻ります。

2 設定が終わったら ok をタップします。

返信や送信時の動作を設定する

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － ツール － オプション － メッセージ タブをタップします。

① 返信するとき本文を含める場合は、タップしてチェックを付けます。
② [送信済みアイテム] にコピーを保存する場合、タップしてチェックを付けます。
③ メッセージの一覧からメッセージを削除するときに警告画面を表示する／しないの設定をします。
④ メッセージを移動／削除した後の動作を設定します。

2 設定が終わったら ok をタップします。

連絡先のメールアドレスを宛先に使用する設定をする

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － ツール － オプション － アドレス タブをタップします。

① 「すべての電子メールのフィールド」にしておくと、連絡先に登録している名前からその人のメールアドレスを参照します。
新規メール作成時に宛先に名前を入力すると、メールアドレスが入ります（☞4-58 ページ）。

② Exchange Server にあるアドレス帳を参照するときに設定します。

2 設定が終わったら ok をタップします。

添付ファイルの作業先や削除済みアイテムの削除方法を設定する

1 「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － ツール － オプション － 保存場所 タブをタップします。

① メモリカード側に作業用として添付ファイルを保存し、本体メモリの空きを作ります。
チェックを付けているときはメモリカードを取り付けてください。

② ［削除済みアイテム］を空にする方法を設定します。

2 設定が終わったら ok をタップします。

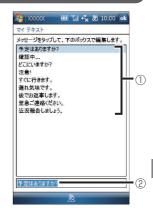
ご注意
- 「使用可能な場合は、このメモリーカードに添付ファイルを保存する」にチェックしても、microSD カードに保存されたファイルは“メール”以外（ファイルエクスプローラなど）から開けません。またこのファイルを削除したり、microSD カードを取り外すと、添付ファイルが開けなくなります。

マイテキストメッセージを編集する

1 新規メール作成画面の「本文」欄の入力で画面右下の メニュー － マイテキスト － マイテキスト メッセージの編集 をタップします。

① 編集したいメッセージをタップします。
② メッセージを編集します。

2 編集が終わったら ok をタップします。

4 メール

メール（Outlook）

メールのメニュー

新規作成／返信／転送画面のメニュー

受信者の追加		連絡先に登録しているメールアドレスを入力する(☞4-58ページ)。
宛先の確認		宛先欄に入力した文字から、連絡先に登録している名前を検索する(☞4-58ページ)。
挿入	**画像**	画像を添付ファイルとして添付する(☞4-59ページ)。
	ボイス メモ	録音したファイルを添付ファイルとして添付する(☞4-59ページ)。
	ファイル	ファイルを添付ファイルとして添付する(☞4-59ページ)。
マイ テキスト		よく使う文書を入力する(☞4-57ページ)。
下書きに保存		下書きに保存する(☞4-58ページ)。
スペルチェック		英単語のスペルをチェックする。
メッセージの取り消し		メールの作成を取り消す。
メッセージのオプション		メッセージのオプションを設定する(☞4-70ページ)。

「受信トレイ」／「送信トレイ」／「下書き」／「送信済みアイテム」／「削除済みアイテム」フォルダのメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">新規</td><td colspan="2">新規メールの作成画面を表示する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">返信</td><td>返信</td><td colspan="2">メールを送信してきた人のみに返信する(☞4-65ページ)。</td></tr>
<tr><td>全員へ返信</td><td colspan="2">メールを全員に返信する(☞4-65ページ)。</td></tr>
<tr><td>転送</td><td colspan="2">メールを転送する(☞4-65ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">開封済みにする／未読にする</td><td colspan="2">未読メールを開封済みに、開封済みメールを未読にする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">フラグ</td><td colspan="2">フラグには、設定／終了／クリアのメニューがあり、フラグの設定や終了、クリアができます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">移動</td><td colspan="2">メールを他のフォルダに移動する(☞4-69ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">切り替え</td><td colspan="2">フォルダやアカウントを切り替える。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">ツール</td><td rowspan="4">並べ替え</td><td>メッセージの種類</td><td>メッセージの種類別で表示する。</td></tr>
<tr><td>差出人</td><td>差出人順で表示する。</td></tr>
<tr><td>受信日時</td><td>受信日時順で表示する。</td></tr>
<tr><td>件名</td><td>件名順で表示する。</td></tr>
<tr><td>フォルダの管理</td><td colspan="2">フォルダを作成／変更する(☞4-68、4-69ページ)。</td></tr>
<tr><td>[削除済みアイテム]を空にする</td><td colspan="2">「削除済みアイテム」フォルダ内のすべてを削除する(☞4-67ページ)。</td></tr>
<tr><td>クリア</td><td colspan="2">選択中のアカウントの「受信トレイ」、「送信済みアイテム」フォルダ内のメッセージをすべて削除する。</td></tr>
<tr><td>新しいアカウント</td><td colspan="2">新しいアカウントを設定する。</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td colspan="2">オプション設定画面を表示する(☞4-70ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージのダウンロード</td><td colspan="2">メッセージの全文／添付ファイルを取得する(☞4-63ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">送受信</td><td colspan="2">メールの送受信をする。</td></tr>
</table>

受信メール詳細画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">削除</td><td>メールを削除する(☞4-66ページ)。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">返信</td><td>返信</td><td>メールを送信してきた人のみに返信する(☞4-65ページ)。</td></tr>
<tr><td>全員へ返信</td><td>メールを全員に返信する(☞4-65ページ)。</td></tr>
<tr><td>転送</td><td>メールを転送する(☞4-65ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">未読にする</td><td>開封済みメールを未読メールにする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">フラグ</td><td>フラグには、設定／終了／クリアのメニューがあり、フラグの設定や終了、クリアができます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">移動</td><td>メールを他のフォルダに移動する(☞4-69ページ)。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">表示</td><td>文字サイズ</td><td>文字サイズを変更する。</td></tr>
<tr><td>言語</td><td>言語を切り替える。</td></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージのダウンロード</td><td>メッセージの全文／添付ファイルを取得する(☞4-63ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">送受信</td><td>メールの送受信をする。</td></tr>
</table>

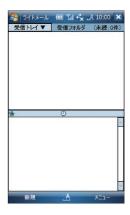
ライトメール

ライトメールを作って送る

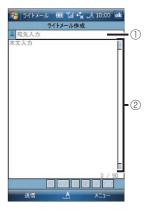
ライトメールを作って送ります。

1 **スタート メニューの“ライトメール”をタップします。**

“ライトメール”が起動します。

MEMO
- ご購入時、ライトメールの画面は2分割されています。これを3分割にして、フォルダを表示することができます（「受信トレイ」／「送信トレイ」のフォルダ部、リスト表示部、ライトメール本文）。表示の切り替えについては、4-82ページをご覧ください。
  ここでは、2分割画面を例に説明します。

2 **画面左下の 新規 をタップします。**

新規作成画面が表示されます。

① 宛先入力欄
② 本文入力欄

3 **宛先入力欄をタップしてカーソルを表示し、ダイヤルキーなどで電話番号（宛先）を入力します。**

“連絡先”に登録している電話番号やライトメール送信履歴／受信履歴などを宛先として利用できます。これらについては、4-87ページをご覧ください。

4 本文入力欄をタップしてカーソルを表示し、本文を入力します。

入力できる文字数は全角 45 文字（半角 90 文字）です。

① 入力した文字数が表示されます。
分母の 90 は、半角 90 文字のことです。全角 1 文字を入力すると、分子が 2 つ増えます。

② タップすると絵文字などを入力するボードが表示されます。

絵	：絵文字が入力できます。
W絵	：Web 用絵文字が入力できます。
顔	：顔文字が入力できます。
記	：記号が入力できます。
定	：定型文が入力できます。
アニメ	：アニメーション絵文字が入力できます。

(☞ 4-89 ページ)

5 本文の入力が終わったら、画面左下の 送信 をタップまたは キーを押します。

メールが送信されます。送信したメールは送信済フォルダに入ります。

- 相手が通話中／電源が入っていない／圏外などのときは、「メール送信に失敗しました 再送信しますか？」と表示されます。この画面で はい をタップすると再送信を行います。再送信を行っても送信されないときは、再度「メール送信に失敗しました 再送信しますか？」と表示されますので、 いいえ をタップし送信待フォルダに入れます。あとでこのメールを再送信する方法については 4-85 ページをご覧ください。
- 通話／通信機能を制限（☞ 3-33 ページ）しているときは、ライトメールの送信はできません。
- メールの作成を途中で止めるときは、画面右下の メニュー － 編集中止 をタップします（ ok をタップしても同様の操作になります）。表示されたメッセージで はい をタップすると下書きフォルダに保存されます。ここで いいえ をタップすると作成中のメールは保存されません。

MEMO

- 入力できる宛先（電話番号）は、1 つだけです。複数の相手を宛先にできません。
- ライトメールでは分計発信はできません。
- ライトメールを送信するとご購入時は相手に自分の電話番号を通知するように設定されています。この設定を変える（常に通知しないようにする）には、3-32 ページをご覧になり設定を変更してください。
  また、1 回だけ電話番号を通知しないようにするときは、画面右下の メニュー － 184 送信 をタップします。
- ライトメール作成中に電話がかかってきたとき、その電話に出て終話のあとは Today 画面（待ち受け画面）に戻りますが、作成中の状態を保持しています。

受信したライトメールを読む

1 **ライトメールを受信すると、着信音が鳴ります。**

また、Today 画面（待ち受け画面）に「未読ライトメール：○件」と表示され未読のライトメールがあることが分かります（☞ 1-12 ページ）。

2 **Today 画面（待ち受け画面）の「未読ライトメール：○件」をタップして、"ライトメール" を起動します。**

3 **読みたいメールを選択します。**

ライトメールの本文が画面下部に表示されます。

① 受信トレイ▼ などをタップして、フォルダを切り替えます。

② 選んだフォルダ（トレイ）内のメールが表示されます。ここで、読みたいメールを選択します。

：未読メール　：既読メール

③ ライトメールの本文が表示されます。

4 **別のライトメールを読むときは、別のメールをタップします。**

MEMO

● **メール本文の URL/E メールアドレス / 電話番号を利用する**

メール本文中の文字列を以下のように認識し、直接電話をかけたり、E メールの作成や連絡先への登録ができます。

1 **URL/E メールアドレス / 電話番号をタップします。**

2 **表示されたメニューから実行したい項目をタップします。**

URLと認識する文字列	http://www.xxxx.co.jp など 「http://」や「https://」で始まる半角英数字の文字
Eメールアドレスと認識する文字列	○○○○@△△.pdx.ne.jp など 「@」があり、その前後に1文字以上の半角英数字がある場合
電話番号として認識する文字列	070XXXXXXXX など 0で始まる10～32桁の数字、#、*などの記号 「tel:」または、「TEL:」に続く32桁までの数字、#·*などの記号

作成中のライトメールを下書きとして保存する

作りかけたメールを送信せずにいったん保存し、あとで追加や修正し送信できます。

メールを下書きとして保存する

1 **4-76 ～ 77 ページの手順 1 ～ 4 と同様にメールを作ります。**

2 **画面右下の メニュー － 編集中止 をタップします。**

MEMO ● ok をタップしても同様の操作になります。

3 **表示された確認画面で、 はい をタップします。**
いいえ をタップすると、保存されません。

作りかけていたメールが下書きフォルダに入ります。このメールは送信されずに、下書きメールとして保存されます。
また、 キャンセル をタップすると、メール作成画面に戻ります。

下書きとして保存しているメールに追加や修正し送信する

1 **下書きフォルダを選択します。**

下書きフォルダに入っているメールが表示されます。

2 **編集するメールをタップし、画面右下の メニュー － 編集 をタップします。**

3 **メール本文の追加や修正をします。**

4 **画面左下の 送信 をタップまたは キーを押します。**

メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

保存できるライトメールの件数

この製品に保存できるライトメールには、次のような制限があります。

保存できる件数

・受信ライトメール：最大 200 件まで保存できます。
・送信ライトメール：最大 100 件まで保存できます。
※送信ライトメールは、送信済みメール、送信待ちメール、下書きメールすべての合計が最大 100 件です。

最大件数を超えて受信したり送信した場合

・最大件数を超えて受信すると、保護ライトメール（※）を除いて一番古い既読ライトメールから削除され、既読ライトメールがなくなると一番古い未読ライトメールから自動的に削除されていきます。
このようなときは、未読メールを読み既読メールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
・送信時も最大件数を超えて送信すると、未送信メールと保護ライトメール（※）を除き、一番古いメールから自動的に削除されます。
ただし、未送信メールが 50 件、保護メールが 50 件など（保存件数が最大で削除されないメールのみの状態）では、新規メールの作成はできません。このようなときは、未送信メールを送信して送信済みのメールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
※削除したくないメールがあるときは保護し、削除されないように設定できます。保護の設定については次ページをご覧ください。

ライトメールを保護する／保護を解除する

保存されるライトメールの件数には制限（☞前ページ）があり、この制限を超えてライトメールを受信したり送信すると古いライトメールから削除されます。
削除したくないライトメールは保護設定することにより、削除されずにフォルダに残ります。

保護できる件数

・送信トレイ：最大 50 件まで保護できます。
・受信トレイ：最大 100 件まで保護できます。

保護する

1 **受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。**

2 **保護するライトメールを選択し、画面右下の メニュー － 保護 をタップします。**

保護されたライトメールには、 が表示されます。

① 受信トレイ▼ などをタップして、フォルダを切り替えます。
② 保護するライトメールを選択します。

● 3 分割画面（次ページ）では、手順 **2** で保護するライトメールを必ず選択してください。手順 **1** の受信トレイや送信トレイなどが選択された状態では、 メニュー － 保護 は表示されません。

保護を解除する

1 **保護しているメール（ が表示されているメール）を選択します。**

2 **画面右下の メニュー － 保護 をタップします。**

保護が解除され、 が消えます。

２分割画面と３分割画面を切り替える

ご購入時、ライトメールの画面は２分割されています。これを３分割にしてフォルダを表示することができます。

1 受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示し、画面右下の メニュー － 設定 をタップします。

2 その他設定 タブをタップし、「表示設定」の項目を ２分割画面 または ３分割画面 に切り替えます。

3 ok をタップします。

画面が切り替わります。

２分割画面

３分割画面

３分割画面でフォルダを切り替える

1 ３分割画面で 送信トレイ などをタップし、 送信済フォルダ などをタップします。

３分割画面のとき

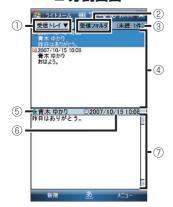
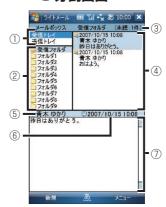
２分割画面のとき

２分割画面では上記のように表示されます。

ライトメールの画面について

ここでは、ライトメールの画面について説明します。

受信トレイ画面

２分割画面

３分割画面

① ２分割画面：「受信トレイ」／「送信トレイ」の切り替えとフォルダを切り替えます。
３分割画面：「受信トレイ」と「送信トレイ」を切り替えます。
切り替え方法は、前ページの「３分割画面でフォルダを切り替える」をご覧ください。

② ２分割画面：前ページの「３分割画面でフォルダを切り替える」で選択したフォルダが表示されます。
３分割画面：受信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。

③ ②で選択しているフォルダ内の未読メール件数が表示されます。

④ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。
リスト表示は、各メールを３行で表示するモードと１行で表示するモードがあります。
④でメールを選択しているとき（フォーカスがある状態）、画面右下の メニュー － 行数切替 － １行表示 または ３行表示 を選択し、切り替えます。
また並び順を受信した順、差出人（電話番号）にできます。メニュー － 並び替え － 受信順 または 差出人順 を選択します。

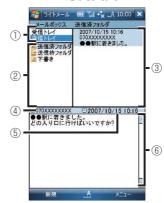
⑤ 送信者の電話番号が表示されます。
- “連絡先”に送信者の電話番号があるときは、その名前が表示されます。
- 相手が電話番号を通知していないときは、「非通知」と表示されます。
- 相手が通知できないエリアや電話機からのときは、「通知不可能」と表示されます。
- 公衆電話からのときは、「公衆電話発信」と表示されます。

⑥ 受信日時が表示されます。

⑦ 受信したライトメールの本文が表示されます。

送信トレイ画面

２分割画面

３分割画面

① ２分割画面：「受信トレイ」／「送信トレイ」の切り替えとフォルダを切り替えます。

３分割画面：「受信トレイ」と「送信トレイ」を切り替えます。

切り替え方法は、4-82 ページの「3 分割画面でフォルダを切り替える」をご覧ください。

② ２分割画面：4-82 ページの「3 分割画面でフォルダを切り替える」で選択したフォルダが表示されます。

３分割画面：送信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。

③ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。

リスト表示は、各メールを３行で表示するモードと１行で表示するモードがあります。③でメールを選択しているとき（フォーカスがある状態）、画面右下の［メニュー］－［行数切替］－［1 行表示］または［3 行表示］を選択し、切り替えます。

また並び順を送信した順、宛先（電話番号）にできます。［メニュー］－［並び替え］－［送信順］または［宛先順］を選択します。

④ ③で選択しているメールの宛先（電話番号）が表示されます。

“連絡先”に宛先の電話番号があるときは、その名前が表示されます。

⑤ 送信した日時が表示されます。

下書きメールの場合は、下書きフォルダに保存した日時が表示されます。

送信待メールの場合は、送信できずに送信待フォルダに保存した日時が表示されます。

⑥ ライトメール本文が表示されます。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

ライトメールを送信したとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にしたりできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、4-76 ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます（この設定は電話と共通です）。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、3-32 ページをご覧ください。

1 **ライトメールを作成します（☞ 4-76 ページ）。**

2 **画面右下の メニュー － 184 送信 をタップします。**
この場合、自分の電話番号を通知せずにライトメールを送信します。

MEMO
- **手順 2 の 184 送信 、 186 送信 について**
  184 送信 ：相手に自分の電話番号を通知しません。
  186 送信 ：非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知します。
- ライトメールでは分計発信はできません。

未送信のメールを再送信する

送信を実行したが、相手が話し中やエリア外などでライトメールを送信できなかったときは、未送信メールとして送信待フォルダに残っています。この送信待フォルダに入っているメールをあとで送ることができます。

メールを選択して送信する

1 **送信トレイ画面を表示します。**

2 **送信待フォルダを選択し、送信待フォルダ内のメールを表示します。**

3 **送信するメールを選択（反転）します。**

4 **画面右下の メニュー － 送信 をタップします。**
メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

MEMO
- 手順 **3** でメールの宛先や本文をタップすると、手順 **4** では画面左下の 送信 をタップしメールを送信します。
- 手順 **3** で送信するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから 送信 を選択してもメールが送信されます。

メールを一括送信する

送信待フォルダに入っているメールを一括して送ることができます。

1 **送信待フォルダを選択します。**

2 **画面右下の メニュー － 一括送信 をタップします。**
メールが順番に送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

メールを返信する／転送する

メールを返信する

受信したライトメールを返信します。

1 **受信トレイ画面を表示し、返信するメールを選択（反転）します。**

2 **画面右下の メニュー － 返信 をタップします。**

MEMO
- 返信するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから 返信 を選択してもメール作成画面が表示されます。

3 **メール作成画面が表示されます。**
宛先には手順 **1** で選択したメールの送信者（電話番号）が表示され、本文には、受信したときの本文が表示されています。

4 **本文を追加／修正して、画面左下の 送信 をタップします。**
メールを送信します。

メールを転送する

受信したライトメールを別の人に転送します。

1 **受信トレイ画面を表示し、転送するメールを選択（反転）します。**

2 **画面右下の メニュー － 転送 をタップします。**

MEMO
- 転送するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから 転送 を選択してもメール作成画面が表示されます。

3 **メール作成画面が表示されます。**
本文には、受信メールの本文が表示されています。

4 **宛先を入力します。**

5 **本文を追加／修正して、画面左下の 送信 をタップします。**
メールを送信します。

送信時、宛先に受信履歴／送信履歴／連絡先を利用する

ライトメールおよびチャットモード時、受信ライトメールの送信者（電話番号）や一度送信した宛先（電話番号）、 “連絡先”に登録している電話番号を宛先に利用できます。

ライトメールの受信履歴を利用する

受信したライトメールの送信者の電話番号を宛先として利用できます。

1 **ライトメール（☞ 4-76 ページ）およびチャットモード（☞ 4-95 ページ）の新規作成画面を表示します。**

2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － ライトメール受信履歴 をタップします。**
履歴画面が表示されます。

3 **目的の宛先をタップします。**
新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降ライトメールは 4-76 ページ、チャットモードは 4-95 ページと同様に本文を入力し送信します。

MEMO
- 手順 **2** で、宛先入力欄をタップしたままにして、ポップアップメニューから 引用 － ライトメール受信履歴 をタップしても履歴画面が表示されます。

ライトメールの送信履歴を利用する

一度送信したライトメールの宛先（電話番号）を再度、宛先として利用できます。

1 **新規作成画面を表示します。**

2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － ライトメール送信履歴 をタップします。**
履歴画面が表示されます。

3 **目的の宛先をタップします。**
新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

“連絡先”に登録している電話番号を利用する

“連絡先”に登録している電話番号を宛先として利用できます。

1 新規作成画面を表示します。

2 宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － 連絡先 をタップします。

連絡先に登録している名前がリスト表示されます。

① 50 音タブをタップ、または名前の読みを入力して相手を探します。

MEMO

- リスト表示には、電話番号は表示されません。
- 連絡先に多くの人を登録しているときは、50 音タブをタップ、または名前の読みを入力して目的の相手を探します。

3 連絡先の選択画面で、メールを送信する相手をタップします。

4 電話番号選択画面が表示されます。

手順 **3** で選択した相手に登録している電話番号が表示されます。

5 目的の電話番号をタップします。

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、本文を作成し送信します。

電話着信履歴／電話発信履歴を利用する

1 新規作成画面で、宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － 電話着信履歴 または 電話発信履歴 をタップします。

2 表示された履歴画面で、目的の宛先をタップします。

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、本文を作成し送信します。

顔文字などの入力や連絡先などから引用する

顔文字などを入力する

この製品に入っている記号、顔文字などを入力できます。

1 本文にカーソルがあることを確認し、画面下部の 顔 などをタップします。

① タップすると顔文字などの入力ボードが表示されます。

2 表示された入力ボードから入力したい文字を 2 回タップします。続けてタップすると連続して入力できます。

入力したい文字にカーソルを合わせ画面右下の 選択 をタップしても顔文字などが入力されます（続けて 選択 をタップしても連続して顔文字などが入力されます）。

MEMO

- 入力を止めるときは、画面左下の 閉じる をタップします。
- 手順 **1** で画面右下の メニュー － 特殊文字入力 － 顔文字 などをタップしても入力ボードが表示されます。
- コード入力をするときは、画面右下の メニュー － 特殊文字入力 － コード入力 をタップし、表示された画面にシフト JIS コード（☞ 10-12 ページ）を入力して 入力 をタップします。
- 定型文の編集はできません。
- アニメーション絵文字は、アニメーション絵文字対応機種どうしでやり取りできます。
- チャットモードではアニメーション絵文字は、使えません。

4 メール

ライトメール

連絡先などから引用する

1 **本文にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － 連絡先 などをタップします。**

2 **表示された連絡先の選択画面からいずれかをタップします。**

3 **引用する項目（名前や電話番号など）をタップすると、この項目が入力されます。**

MEMO
- 手順 **1** で プロフィール を選択すると、自局電話番号または E メールアドレスを引用できます。

ライトメールの電話番号を“連絡先”に登録する

受信メールの送信者（電話番号）や送信したメールの宛先（電話番号）を “連絡先” に登録し活用できます。

受信メールの送信者（電話番号）を“連絡先”に登録する

1 **受信トレイ画面で、送信者（電話番号）をタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **表示されたポップアップメニューの 連絡先に登録 － 新規登録 をタップします。**
受信トレイ画面で送信者（電話番号）をタップし、画面右下の メニュー － 連絡先に登録 － 新規登録 をタップしても電話番号の新規登録画面が表示されます。

3 **電話番号を登録する項目として PHS を選択して ok または画面右下の 決定 をタップします。**

4 **名前の項目に姓や名前などを入力します。**
PHS の項目には、手順 **2** で選択した電話番号が入っています。

5 **ok をタップします。**
手順 **4** で入力した姓や名前で登録されます。
登録が完了すると「連絡先に登録しました」のメッセージが表示されますので ok をタップしてください。

MEMO
- 手順 **2** で 連絡先に登録 － 追加登録 をタップすると、追加したい連絡先を選択して電話番号を登録することができます。

送信メールの宛先（電話番号）を“連絡先”に登録する

1 **送信トレイ画面で、宛先（電話番号）をタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューの 連絡先に登録 － 新規登録 をタップします。**
送信トレイ画面で宛先（電話番号）をタップし、画面右下の メニュー － 連絡先に登録 － 新規登録 をタップしても電話番号の新規登録画面が表示されます。

3 **これ以降、前記と同様の操作を行い “連絡先” に登録します。**

MEMO
- 手順 **2** で 連絡先に登録 － 追加登録 をタップすると、追加したい連絡先を選択して電話番号を登録することができます。

ブックマークを引用する

現在設定している Web ブラウザのブックマークを引用することができます。

1 **ライトメールの本文入力時、画面右下の メニュー － 引用 － ブックマーク をタップします。**

2 **引用するブックマークを選択し、 OK をタップします。**

MEMO
- Opera Browser および Internet Explorer Mobile 以外の Web ブラウザを設定している場合は、「現在、通常使用するソフトウェアとして設定されているブラウザでは、ブックマークを引用できません」のメッセージが表示され引用できません。

ブックマークに登録する

メール本文中のＵＲＬを現在設定している Web ブラウザのブックマーク（お気に入り）に登録することができます。

■ Opera Browser を設定している場合

- Opera Browser が起動していると登録できません。Opera Browser を終了してから操作してください。

1 **受信トレイ一覧画面などでブックマークに登録するURLが入ったメールを選択します。**

2 **メール本文中の URL をタップし、表示されたメニューから ブックマークに登録 をタップします。**

Opera Browser のブックマークに登録されます。
登録が終了すると「ブックマークに登録しました」のメッセージが表示されますので ok をタップしてください。

■ Internet Explorer Mobile を設定している場合

1 **受信トレイ一覧画面などでお気に入りへ登録する URL が入ったメールを選択します。**

2 **メール本文中の URL をタップし、表示されたメニューから ブックマークに登録 をタップします。**

Internet Explorer Mobile のお気に入りに登録されます。
登録が終了すると「お気に入りに登録しました」のメッセージが表示されますので ok をタップしてください。

- 同じ URL を登録しようとすると、「同じブックマークファイルが存在します上書きしてよろしいですか？」のメッセージが表示されます。

ご注意

- Opera Browser および Internet Explorer Mobile 以外の Web ブラウザを設定している場合「現在、通常使用するソフトウェアとして設定されているブラウザでは、ブックマークに登録できません」のメッセージが表示され登録できません。

送信者や宛先の電話番号を使って電話をかける

受信メールの送信者（電話番号）や送信メールの宛先（電話番号）を使って、電話をかけられます。

1 受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。

① 送信者／宛先（電話番号）

2 送信者／宛先（電話番号）をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

3 表示されたメニューから 通話 － 発信 をタップします。

4 確認画面で はい をタップします。

電話がかかります。

確認画面で いいえ をタップすると、ダイヤル画面になり ✕ をタップすると手順 **1** の画面に戻ります。

MEMO

- 通常の電話をかけるときと同様に、手順 **3** で 発信 の代わりに 184 発信 や 184 分計発信 などを選択できます。

5 通話を終えるときは、 PWR キーを押します。

電話が切れます。

ライトメールを削除する

受信メールや送信済みメールなどを削除できます。メールの削除には、1 件削除、選択削除、全件削除があります。

1 件ずつ削除する／全てのメールを削除する

1 1 件ずつ削除　：削除するメールを選択します。
全て削除　：メールを削除するフォルダを選択します。

2 1 件ずつ削除　：画面右下の メニュー － 削除 － 1 件削除 をタップします。
全て削除　：画面右下の メニュー － 削除 － 全件削除 をタップします。

3 確認画面で はい をタップします。
1 件ずつ削除：手順 **1** で選択したメールが削除されます。
全て削除　：フォルダのメールが全て削除されます。

MEMO
- 1 件ずつ削除する場合は、削除するメールを選択してから、手順 **2** に移ってください。3 分割画面では、フォルダを選択している状態で手順 **2** を行うと 1 件削除 は表示されません。

選択したメールを削除する

1 受信トレイ画面などでメールを選択した状態にして、画面右下の メニュー － 削除 － 選択削除 をタップします。

2 確認画面で ok をタップします。

3 リストから削除するメールをタップします。
複数のメールを選択できます。
選択を解除するときは、画面右下の 中止 をタップします。

4 画面左下の 実行 をタップします。

5 確認画面で はい をタップします。
手順 **3** で選択したメールが削除されます。

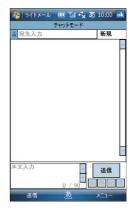
チャットモードでやり取りする

チャットモードでやり取りすると 1 対 1 のチャットをやっているような画面でライトメールができます。

ご注意 ● DX メール（ウィルコムのショートメッセージサービス）のチャット通信とは異なります。

チャットモードでメッセージを作成する

1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面で画面右下の メニュー － チャット開始 － 新規 をタップします。**

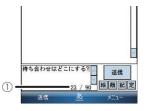
チャットモードの新規画面が表示されます。

2 **チャット相手の宛先（電話番号）を入力します。**

“連絡先”に登録している電話番号やライトメール送信履歴／受信履歴などを宛先として利用できます。これらについては、4-87 ページをご覧ください。

MEMO ● 入力できる宛先（電話番号）は、1 つだけです。複数の相手を宛先にできません。

3 **本文入力欄をタップし、本文を入力します。**

入力できる文字数は全角 45 文字（半角 90 文字）です。

① 入力した文字数が表示されます。分母の 90 は、半角 90 文字のことです。全角 1 文字を入力すると、2 つ数字が増えます。

4 **本文の入力が終わったら、送信ボタンをタップ、または画面左下の送信をタップします。**

宛先（電話番号）の右側に「送信中」と表示され、文字が点滅します。送信が終了すると「送信完了」と表示されます。

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

5 **チャットモードを止めるときは、画面右下のメニュー－中止をタップします（okをタップしても同様の操作になります）。**

・相手が通話中／電源が入っていない／圏外などのときは、「再送信しますか？」と表示されます。この画面ではいをタップすると再送信を行います。再送信を行っても送信されないときは、再度「再送信しますか？」と表示されますので、いいえをタップし送信待フォルダに入れます。あとで再送信する方法については4-85ページをご覧ください。

・通話／通信機能を制限（☞3-33ページ）しているときは、チャットモードでの送信はできません。

■送信済のメールを確認しながらメッセージを作成する

1 **送信トレイ画面の送信済フォルダで、引用するメールを選択し、画面右下のメニュー－チャット開始－引用をタップします。**

チャットモードの引用画面が表示されます。

① 選択したメールの本文がメッセージとして表示され参考にできます。

② やりとり表示欄

2 **チャット相手の宛先（電話番号）を入力します。**

3 **本文を入力します。**

MEMO

- 引用するメールをタップしたままにし、表示されたメニューからチャット開始－引用をタップしてもチャットモードの引用画面が表示されます。
- 入力できる宛先（電話番号）は、1つだけです。複数の相手を宛先にできません。

4 **送信ボタンをタップ、または画面左下の送信をタップします。**

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

チャットモードで返信する

1 **受信トレイ画面で返信するメールを選択し、画面右下の［メニュー］－［チャット開始］－［返信］をタップします。**

チャットモードの返信画面が表示されます。（受信したメールの本文がメッセージとして表示されます。）

MEMO
- 返信するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［チャット開始］－［返信］をタップしてもチャットモードの返信画面が表示されます。
- 宛先（電話番号）は変更できません。

2 **返信（本）文の入力が終わったら、［送信］ボタンをタップ、または画面左下の［送信］をタップします。**

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

チャットモード画面について

① 宛先（電話番号）表示欄

新規画面：相手の宛先（電話番号）を入力します。

引用画面：本文を引用して送信する相手の宛先（電話番号）を入力します。

返信画面：選択したメールの送信者（電話番号）が表示されます。連絡先に登録されている内容によって（「ニックネーム」→「名前」→「電話番号」）の優先順で表示されます。（変更することはできません。）

②現在の状態表示

新規　　：チャットモードの新規画面のとき

引用　　：チャットモードの引用画面のとき

返信　　：チャットモードの返信画面のとき

送信中　：チャットモードで送信中

送信完了：チャットモードで送信したとき

送信失敗：チャットモードで送信に失敗したとき

受信完了：①で表示されている相手から、受信したとき

③ やりとり表示欄

返信／引用画面：選択したメールの本文が表示されます。

以降は以下のように表示されます。

（自分を表すアイコン）：> メッセージ

（相手を表すアイコン）：> メッセージ

④ 本文入力欄

①で表示されている相手に送るメッセージを入力します。

⑤ 送信ボタン

①で表示されている宛先（電話番号）に④で入力したメッセージが送信されます。

⑥ 絵文字などの入力ボタン

絵文字などの入力ボードが表示され、記号、顔文字、絵文字などが入力できます（☞4-89 ページ）。

未送信のメールを再送信する

送信を実行したが、相手が話し中やエリア外などで送信できなかったときは、未送信メールとして送信待フォルダに残っています。
この送信待フォルダに入っているメールをあとで送ることができます。

1 **送信トレイ画面を表示します。**

2 **送信待フォルダを選択（反転）し、送信するメールを選択（反転）します。**

3 **画面右下の[メニュー]－[チャット開始]－[引用]をタップします。**

4 **チャット相手の宛先（電話番号）を入力し、[送信]をタップします。**

MEMO

- チャットモード中に電話がかかってきたとき、その電話に出て終話のあとはToday画面（待ち受け画面）に戻りますが、作成中の状態を保持しています。
- チャットモード中のライトメール受信について
  チャット相手から受信　：やりとり表示欄に表示されます。
  チャット相手以外から受信　：「新着メールが届きました」のメッセージが表示されます。
- アニメーション絵文字は使えません。

受信したライトメールを振り分ける

受信したメールを受信フォルダだけでなく、送信者（電話番号）を指定してその送信者（電話番号）のメールを受信フォルダ、またはフォルダ１～９に入れる（振り分ける）ことができます。

振り分けの設定をする

始めに、受信したメールを振り分けるための振り分け条件を設定します。

1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。**

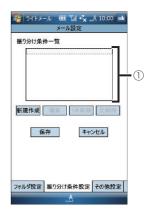
2 **受信トレイ画面では受信フォルダなど、送信トレイ画面では送信済フォルダなどを選択します（フォルダが反転している状態にします）。**

3 **画面右下の［メニュー］－［設定］をタップします。**

メール設定画面が表示されます。

4 **メール設定画面で、［振り分け条件設定］タブをタップします。**

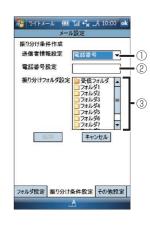
メール設定画面（［振り分け条件設定］タブ）が表示されます。

① すでに設定している条件が表示されます。“連絡先”に電話番号を登録していると、名前が表示されます。

5 新規作成 をタップし、振り分け条件を作成します。

振り分け条件作成画面が表示されます。

①「すべての送信者」または「電話番号」を選択します。

・「電話番号」を選択すると、②に入力した電話番号が対象となり、③で選んだフォルダの中にその電話番号のライトメールが振り分けられます。

・「すべての送信者」を選択すると、すべての送信者が対象となり、③で選んだフォルダの中に送信者すべてのライトメールが入ります。

② 電話番号（送信者）を入力します。この電話番号の人から送信されたメールを振り分けますので、入力する番号を間違えないでください。

③ 振り分け先となるフォルダを選択します（タップして反転します）。選択したフォルダの中に、振り分けられたメールが入ります。

MEMO

- ③で選択できるフォルダは 1 つだけです。複数のフォルダを選択できません。
- ある電話番号の振り分け先に指定したフォルダは、別の電話番号の振り分け先にも選択できます。たとえば、070-XXX-XXXX の振り分け先に「フォルダ 1」を選択し、070-YYY-YYYY の振り分け先にも「フォルダ 1」を選択できます。「フォルダ 1」には、070-XXX-XXXX と 070-YYY-YYYY の両方から送信されたメールが振り分けられます。

6 保存 をタップします。

メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）に戻り、手順 **5** で入力した電話番号などがリストに表示されます。

“連絡先”にその電話番号が登録されているときは、その電話番号の人の名前が表示されます。

7 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）で 保存 をタップします。

8 ライトメールを受信します。

作成した振り分け条件にしたがって、受信メールが振り分けられます。

設定した振り分けを修正する

設定した振り分け条件を編集します。

1 メール設定画面（振り分け条件設定タブ）（☞4-100ページ）で、編集したい条件（電話番号など）を選択し、編集をタップします。

2 表示された画面で、電話番号を編集したり振り分け先を変更するなどして、保存をタップします。

3 メール設定画面（振り分け条件設定タブ）で保存をタップします。

設定した振り分けを削除する

設定した振り分け条件を削除します。

■ 1つの設定を削除します（1件削除）

1 メール設定画面（振り分け条件設定タブ）で、削除したい電話番号などを選択し、1件削除をタップします。

2 確認画面ではいをタップします。

手順 **1** で選択した振り分け設定が削除されます。
削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

■ すべての設定を削除します（全削除）

1 メール設定画面（振り分け条件設定タブ）で、全削除をタップします。

2 確認画面ではいをタップします。

すべての振り分け設定が削除されます。
削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

各種設定を行う

ライトメールの設定を行います。

1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。**

2 **受信トレイ画面では受信フォルダ、送信トレイ画面では送信済フォルダを選択します（フォルダが反転している状態にします）。**

3 **画面右下の メニュー － 設定 をタップします。**

設定画面が表示されます。

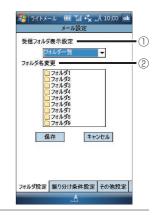
4 **フォルダの設定や振り分けの条件設定などを行います。**

◇ フォルダ設定 タブ◇

フォルダの表示方法や受信トレイのフォルダ１～９の名前を変更します。

① 受信トレイ画面の表示方法を設定します。

・フォルダ一覧：フォルダリストには、受信フォルダやフォルダ１～９が表示され、フォルダ単位でメールが表示されます。

・全受信メール：受信したメールがすべて表示されます。フォルダリストには、「全受信メール」と表示されます。

② フォルダ名を変更します。

※「受信フォルダ」の名前だけは変更できません。

名前を変更するフォルダをタップします。

フォルダ名変更画面が表示されますので、名前を変更し OK をタップします。

キャンセル をタップすると、フォルダ名は変更されません。

このフォルダ名は、4-101 ページの振り分け条件設定に用意されているフォルダ１～９です。このフォルダ名を変更すると、受信トレイ画面で表示されるフォルダ名や 4-101 ページの画面（メール設定画面（ 振り分け条件設定 タブ））に表示されるフォルダ名も変更されます。

4
メール
ライトメール

◇ 振り分け条件設定 タブ◇

受信したメールを振り分けます。設定方法などの操作については、4-100 ページをご覧ください。

① 設定した振り分け条件（電話番号または名前（※）とフォルダ名）がリスト表示されます。 ※ “連絡先”に電話番号が登録されているときは、その電話番号の名前が表示されます。
② 新規に振り分けを設定します。くわしくは、4-100 ページをご覧ください。
③ 設定した振り分けを編集します(☞ 4-102 ページ)。
④ 設定した振り分けを 1 件削除します（☞ 4-102 ページ）。
⑤ 設定した振り分けすべてを削除します（☞ 4-102 ページ）。

◇ その他設定 タブ◇

① 2 分割画面と 3 分割画面を切り替えます（☞ 4-82 ページ）。
② ライトメール送信時に送信済の確認音を鳴らす／鳴らさないを選択します。 ・「ON」 ：確認音を鳴らします。 ・「OFF」：確認音は鳴りません。
③ 受信フォルダや送信済フォルダなどに入っているメールを削除します。 フォルダのリストからいずれかのフォルダを選択（反転）し、実行 をタップします。

5 **設定が終われば、ok をタップします。**

ライトメールのメニュー

受信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

返信		選択しているライトメールを返信する(☞4-86ページ)。
転送		選択しているライトメールを転送する(☞4-86ページ)。
チャット開始	**新規**	チャットモードの新規画面を表示する(☞4-95ページ)。
	返信	チャットモードの返信画面を表示する(☞4-97ページ)。
並び替え		受信順、差出人順に並び替える(☞4-83ページ)。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える(☞4-83ページ)。
削除	**1件削除**	選択しているライトメールを削除する(☞4-94ページ)。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する(☞4-94ページ)。
	全件削除※	選択したフォルダに入っているライトメールをすべて削除する(☞4-94ページ)。
移動		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。 移動 をタップし、確認画面で ok をタップする。 次に、移動したいライトメールを選択して、画面左下の 実行 をタップする。表示された移動画面で移動先のフォルダをタップし、OK をタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護/保護解除する(☞4-81ページ)。
設定※		設定画面を表示する(☞4-103ページ)。

※ 2分割画面時に表示されます。

送信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

編集		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
送信		選択しているライトメールを送信する。
一括送信※		送信トレイ内の送信待フォルダのメールを一括して送信する(☞4-86ページ)。
チャット開始	**新規**	チャットモードの新規画面を表示する(☞4-95ページ)。
	引用	チャットモードの引用画面を表示する(☞4-96ページ)。
並び替え		送信順、宛先順に並び替える(☞4-83ページ)。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える(☞4-83ページ)。
削除	**1件削除**	選択しているライトメールを削除する(☞4-94ページ)。
	選択削除※	複数件のライトメールを選択して削除する(☞4-94ページ)。
	全件削除※	選択したフォルダに入っているライトメールをすべて削除する(☞4-94ページ)。
保護		選択しているライトメールを保護/保護解除する(☞4-81ページ)。
設定※		設定画面を表示する(☞4-103ページ)。

※ 2分割画面時に表示されます。

送信メール／受信メール本文選択時

メール作成		選択している宛先でライトメールを作成する。
通話	**発信**	表示されている電話番号に電話をかける。
	184発信	電話番号を通知せずに選択している番号に電話をかける。
	186発信	電話番号を通知して選択している番号に電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-50ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-50ページ）。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-50ページ）。
チャット開始	**新規**	チャットモードの新規画面を表示する（☞4-95ページ）。
	引用※1	チャットモードの引用画面を表示する（☞4-96ページ）。
	返信※2	チャットモードの返信画面を表示する。
連絡先に登録	**新規登録**	連絡先に電話番号などを新規登録する（☞4-90ページ）。
	追加登録	連絡先に電話番号などを追加登録する（☞4-90ページ）。
転送※2		選択しているライトメールを転送します。
編集※1		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
全文コピー		本文をコピーする。コピー後、ライトメール新規作成画面で貼り付けることができる。“連絡先”など他のプログラムでも貼り付けはできるが絵文字などは□などになり貼り付けられない。
削除		選択しているライトメールを削除する。
移動※2		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。[移動] をタップし、表示された移動画面で移動先のフォルダをタップし、[OK] をタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する（☞4-81ページ）。

※1　送信メール本文選択時に表示されます。

※2　受信メール本文選択時に表示されます。

メール作成／編集時、チャットメール作成／編集時

全文コピー※1、※3		入力している本文すべてをコピーする。
貼り付け※1、※3		コピーしている内容を貼り付ける。
カット※1、※3		選択している内容をカットする。
特殊文字入力※1	**記号**	記号を入力するボードを表示する。
	顔文字	顔文字を入力するボードを表示する。
	絵文字	絵文字を入力するボードを表示する。
	Web用絵文字	Web絵文字入力パッドを表示する（☞4-77ページ）。
	コード入力	コードから文字を入力するボードを表示する（コード表☞10-12ページ）。
	定型文	定型文を入力するボードを表示する（定型文の編集はできません）。
	アニメ絵文字※3	アニメーション絵文字を入力するボードを表示する（☞4-89ページ）。
引用※2※4	**連絡先**	"連絡先"に保存している電話番号を引用する。
	電話着信履歴	かかってきた電話番号（着信履歴）を引用する。
	電話発信履歴	かけた電話番号（発信履歴）を引用する。
	ライトメール受信履歴	受信したライトメールの履歴を引用する。
	ライトメール送信履歴	送信したライトメールの履歴を引用する。
引用※1	**連絡先**	連絡先に保存しているデータ（名前や電話番号など）を利用する。
	プロフィール	自局電話番号またはメールアドレスを利用する。
	ブックマーク	現在設定しているWebブラウザのブックマークを利用する。
中止※4		チャットメールの作成や編集を中止する。
編集中止		ライトメールの作成や編集を中止する。
184送信		電話番号を通知せずにライトメールを送信する。
186送信		電話番号を通知してライトメールを送信する。

※1　カーソルが本文にあるときに表示されるメニューです。
※2　カーソルが宛先欄にあるときに表示されるメニューです。
※3　メール作成／編集時に表示されます。
※4　チャットメール作成／編集時に表示されるメニューです。

「受信トレイ」、「送信トレイ」選択時（3分割画面に設定時のみ）

チャット開始	**新規**	チャットモードの新規画面を表示する。
	返信※1	チャットモードの返信画面を表示する。
	引用※2	チャットモードの引用画面を表示する。
一括送信※2		送信トレイ内の送信待フォルダのメールを一括して送信する(☞4-86ページ)。
メール全削除		受信トレイ内の1つのフォルダまたは送信トレイ内の1つのフォルダに入っているライトメールをすべて削除する(☞4-94ページ)。
フォルダ名変更※1		受信トレイの中にある「フォルダ1」〜「フォルダ9」のフォルダ名を変更する。
表示切替※1		受信トレイの中のフォルダを表示するとき、「全受信メール」表示フォルダを切り替える。
設定		設定画面を表示する(☞4-103ページ)。

※1「受信トレイ」選択時に表示されます。
※2「送信トレイ」選択時に表示されます。

5章　インターネット

Web ブラウザの概要

この製品の Web ブラウザを使って、ホームページの閲覧ができます。
オンラインサインアップを行っている場合、インターネットの接続情報が自動的に設定されていますので、PHS 電話機能を使ってインターネットに接続し、すぐにホームページの閲覧ができます。
ご自分で入会しているプロバイダーの情報を使うときは 2-16 ページを、内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続するときは 2-6 ページをご覧になり設定してください。
この製品で利用できる Web ブラウザには、次の 2 つがあります。

・Opera Browser ☞次ページ
・Internet Explorer Mobile ☞ 5-14 ページ

2 種類の Web ブラウザの違いについて

- Opera Browser の特徴は、複数のホームページをタブ画面で切り替えて表示できることです（タブブラウザ）。
- Internet Explorer Mobile の特徴は、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってパソコンの Internet Explorer と「お気に入り」を同期できることです。

	Opera Browser	Internet Explorer Mobile
複数のホームページをタブ画面で切り替えて表示	○	×
パソコンの Internet Explorer と「お気に入り」を同期	×	○

通常使用する Web ブラウザに設定する

この製品には“Opera Browser”と“Internet Explorer Mobile”の 2 つの Web ブラウザが入っています。どちらかを通常使用する Web ブラウザに設定します（ご購入時は、“Opera Browser”が設定されています）。

1 **“Opera Browser”を起動します。**

スタート メニューを表示し “Opera Browser”を選択、または、プログラム画面を表示し “Opera Browser”を選択します。
Opera Browser が起動します。

2 **画面右下の メニュー － ツール － 設定 － その他 タブをタップします。**

設定画面が表示されます。

3 **「Opera を標準ブラウザに設定」にチェックを付けたり、外したりします。**

チェックを付けると、“Opera Browser”が通常使用する Web ブラウザになります。
チェックを外すと、“Internet Explorer Mobile”が通常使用する Web ブラウザになります。

ホームページを見る
(Opera Browser)

Opera Browser を使って、ホームページの閲覧ができます。
ホームページを見るためには、インターネット接続の設定が必要です。まだ、設定されていない場合は、下記の「接続の準備」をご覧になり設定してください。

接続の準備

ホームページを見る前、インターネットに接続する準備ができているか確認します。

- PHS 電話機能を使ってインターネット接続する場合
  - ・オンラインサインアップ（☞ 2-2 ページ）を行います。（オンラインサインアップを行うことで、接続情報が自動的に設定されています）。
  - ・ご自分で入会しているプロバイダーの情報を使うときは、2-16 ページをご覧になり設定を行ってください。
- 内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネット接続する場合
  - ・2-6 ページをご覧になり設定を行ってください。

- Opera Browser は、パソコンなどで広く使われている Web ブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。
- Opera Browser は Flash コンテンツの再生に対応していますがパソコンで広く使われているブラウザによる再生に比べて、一部異なる部分や制限があります。また、場合によっては、Flash の部分を表示できないこともあります。

ホームページを見る

1 **"Opera Browser" を起動します。**

スタート メニューを表示し "Opera Browser" を選択、または、プログラム画面を表示し "Opera Browser" を選択します。
Opera Browser が起動します。

① アドレスバー

② ウィルコム公式サイトは、PHS 電話機能を使って接続する専用サイトです。内蔵ワイヤレス LAN を使って接続することはできません。

2 アドレスバーに URL を入力し、（移動ボタン）をタップします。

あらかじめ最初に表示するページを設定（☞ 5-11 ページ）しているときは、接続を開始し、設定した URL のホームページに移動します。

接続が完了すると、タイトルバーに または が表示されます。

：PHS 電話機能を使ってインターネットに接続した場合に表示されます。

：内蔵ワイヤレス LAN 機能を使ってインターネットに接続した場合に表示されます。

MEMO

- 「ネットワークへのログオン」画面が表示された場合は、「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、OK をタップしてください。

ご注意

- 通話中は、PHS 電話機能を使ってインターネットに接続してホームページを見ることはできません。電話を切った後、Opera Browser を起動してください。
- ホームページがうまく表示されないときは、Opera Browser のキャッシュを削除してください。
  キャッシュの削除は、画面右下の メニュー － ツール － 設定 － 履歴 タブから キャッシュ削除 をタップし、確認画面で はい をタップします。

3 ネットワークを切断します。

タイトルバーの をタップし、切断 をタップします。または、PWR キーを押します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

Opera Browser の画面について

① 直前に表示していたホームページに戻ります。

② ページを戻したとき戻す直前に表示していたホームページに進みます。

③ セキュリティで保護されているページでは などになります。数字はセキュリティの強さによって変わります。

④ 表示しているホームページを再読み込みします。

⑤ 閲覧しているホームページの URL が表示されます。また、閲覧したいホームページの URL を入力し、をタップすると、入力した URL のホームページが閲覧できます。

⑥ 直前に表示していたホームページに戻したり、ブックマークを表示するメニューが表示されます（☞ 5-13 ページ）。

⑦ 各種メニューが表示されます（☞ 5-13 ページ）。

- 表示しているホームページの文字の最小サイズを設定できます。
  画面右下の メニュー － ツール － 設定 － 一般設定 タブで、「最小フォントサイズ」欄▼をタップし、表示されたメニューからサイズを選択します。
- 画面をタップし、なぞってスクロールすることができます。
  なぞって画面をスクロールするときは、画面右下の メニュー － ツール － 設定 － その他 タブの「グラブ & スクロールを使用」にチェックを付けておいてください。

ネットワークを切断する

1 タイトルバーの をタップし、切断 をタップします。または、PWR キーを押します。

タイトルバーの が になります。
PWR キーを押した場合は、Today 画面（待ち受け画面）に戻ります。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合
2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

ご注意
- **PHS 電話機能を使って通信している場合**
  通信中（パケット方式）に着信があると通信を切断して着信する設定にしているときは（☞ 3-26 ページ）、ファイルのダウンロードなどを行っている途中でも着信（電話がかかってくる）によって通信が切断されます。通信を切断したくないときは 3-26 ページをご覧になり、設定を確認したあとインターネットに接続してください。
- こちらから電話をかけるときは、インターネット（ネットワーク）を切断した後に電話をかけてください。インターネット接続中、こちらから電話をかけることはできません。

ホームページの表示を切り替える

ホームページを拡大／縮小表示したり、画面幅に合わせたり、フルスクリーンで表示する設定をします。

ホームページを拡大／縮小して表示する

表示しているホームページを拡大または、縮小して表示します。

1 ホームページ表示中、画面右下の メニュー － ディスプレイ － 拡大・縮小 を選択し、表示されたメニューから拡大／縮小率を選びます。

選択した比率でホームページが表示されます。

ホームページを画面幅に合わせて表示／画面幅をこえて表示する

表示しているホームページを画面幅に合わせて表示したり、合わせないで表示します。

1 **ホームページ表示中、画面右下の メニュー － ディスプレイ － 画面幅で表示 を選択します。**

この製品の画面幅に収まるようにホームページを表示します。

2 **画面右下の メニュー － ディスプレイ － PC モード を選択します。**

ホームページの設定どおりにページを表示します。

フルスクリーンでホームページを表示する

画面からタイトルバーなどを消して、フルスクリーンでホームページを表示します。

1 **ホームページ表示中、画面右下の メニュー － ディスプレイ － フルスクリーン表示 を選択します。**

ホームページがフルスクリーンで表示されます。

2 **画面をタップしたままにして表示されるメニューから フルスクリーン表示 を選択します。**

元の画面に戻ります。

MEMO

- 手順 **1** で、画面をタップしたままにして表示されるメニューから フルスクリーン表示 を選択してもフルスクリーンに切り替わります。

ホームページの画像を表示する／表示しない

ホームページを表示するとき、そのページ内の画像を表示しないようにできます。画像を表示しないようにするとホームページを表示するまでの時間が短くなります。

1 **ホームページ表示中、画面右下の メニュー － ディスプレイ － 画像を表示 をタップします。**

画像を表示 の左側のチェックが外れ、画像が表示されなくなります。

2 **ホームページを表示すると、画像がないホームページが表示されます。**

MEMO

- **画像を表示するときは**

  再度、画面右下の メニュー － ディスプレイ － 画像を表示 をタップします。

  画像を表示 の左側にチェックが付き、ホームページ内の画像を表示するようになります。

複数のホームページを表示してページを切り替える

表示しているページとは別のページを表示し、複数のホームページを簡単に切り替えることができます。

1 ホームページ表示中、画面右下の メニュー － タブ操作 － 新しいタブ を選択します。

2 アドレスバーにURLを入力し ▶ をタップします。または、画面左下の アクション － ブックマーク／履歴 をタップし、さらに ブックマーク または 履歴 をタップし表示されたリストの名称をタップします。

目的のホームページが表示されます。

① ホームページの名称が表示され、タップするとそのホームページに切り替わります。

3 タブ上のホームページ名称をタップしてホームページを切り替えます。

画面右下の メニュー － タブ操作 － 次のタブ をタップしても次のホームページに切り替えることができます。

MEMO

- **表示しているホームページを閉じるときは**
  画面右下の メニュー － タブ操作 － タブを閉じる を選択します。

ブックマークを使用する

何度も見たいホームページはブックマークとして登録しておくと、次からそのホームページを閲覧するときに便利です。

ブックマークに追加する

1 **ブックマークに追加したいホームページを表示しているときに、画面左下の アクション － ページをブックマークに追加 を選択します。**

2 **表示された画面で、ホームページの名前とアドレスを確認し、 ok または画面左下の Ok をタップします。**

フォルダを指定するときは、フォルダ欄の ▼ をタップしてフォルダを選択します。ブックマークに追加されます。

ブックマークのページを表示する

1 **ホームページ表示中、画面左下の アクション － ブックマーク／履歴 を選択します。**

- ホームページを表示しているときに、画面をタップしたままにして表示されるメニューから ブックマーク／履歴 を選択して表示することもできます。

2 **ブックマーク をタップします。**

ブックマークに登録しているホームページの名前やフォルダがリスト表示されます。

- ブックマーク／履歴画面を消してホームページ表示画面に戻るには、画面右下の キャンセル をタップします。
- 手順 **2** で 履歴 をタップすると履歴のリストが表示されます。
- 1 つ上の状態に戻るとき（1 つ上の階層に戻るとき）は、 をタップします。
- 履歴を削除するときは、5-11 ページをご覧になり削除してください。

3 **フォルダを開くなどしてリストから目的のホームページの名前をタップします。**

目的のホームページが表示されます。

ブックマークを編集する

追加したブックマークを編集したり、関係しているホームページを1つのフォルダにまとめることができます。

■フォルダを作成し、フォルダにブックマークを移動してまとめる

1 **画面右下の メニュー − ツール − ブックマークの編集 を選択します。**
ブックマーク編集画面が表示されます。

2 **ブックマーク編集画面で画面右下の メニュー − フォルダ作成 を選択します。**

3 **表示された画面で、名前の項目にフォルダ名を入力し、 ok をタップします。**
ブックマーク編集画面に戻り、入力した名前のフォルダが表示されます。

4 **フォルダにブックマークを移動してまとめます。**
目的のブックマークを選択して画面右下の メニュー − 編集 をタップします。

5 **フォルダ欄の ▼ をタップして作成したフォルダ名を選択し ok をタップします。**
ブックマークがフォルダに入ります。

MEMO
● ホームページ表示中にそのホームページをフォルダに入れるときは
1 ブックマークに登録したいホームページを表示している時に画面左下の アクション − ページをブックマークに追加 をタップします。
2 フォルダ欄の ▼ をタップしてフォルダ名を選択し ok をタップします。

■ブックマーク編集画面を閉じる

1 **ブックマーク編集画面で画面右下の メニュー − 閉じる を選択します。**
ブックマーク編集画面が閉じ、前の画面に戻ります。

■ブックマークを新規作成する

1 **ブックマーク編集画面で画面右下の メニュー − 新規作成 を選択します。**

2 **表示された画面で名前とホームページアドレス（URL）を入力し、ブックマークを保存するフォルダを選択して、 ok をタップします。**

■ブックマークを編集／削除する

1 ブックマーク編集画面で、編集または削除するブックマークを選択し、画面右下の[メニュー]－[編集]または[削除]を選択します。

2
- 編集を選択したときは、表示された画面で名前、ホームページアドレス（URL）を修正して[ok]をタップします。
  ブックマークが編集されます。
- 削除を選択したときは、表示された確認画面で[はい]を選択します。
  ブックマークが削除されます。

ホームページの画像を保存する

ホームページの画像をこの製品に保存できます。

1 保存したいホームページの画像をタップしたままにし、表示されたメニューから[画像を保存]をタップします。

保存画面が表示されます。

2 保存画面で名前を確認または変更し、保存するフォルダや保存する場所を選択します。

① 画像の名前を確認します。
② 画像を保存するフォルダを選択します。
③ 画像を格納する場所として「メインメモリ」(「My Documents」の下)、または「microSD カード」を選択します。

3 [保存]をタップします。

ファイルをダウンロードして保存する

1 **保存するファイルが組み込まれているホームページから ダウンロード などをタップして、ファイルをダウンロードします。**

画面に表示される内容にしたがって操作します。

2 **表示された保存画面で名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択し、 保存 をタップします。**

ファイルのダウンロード画面が表示されダウンロードが始まります。
この製品で動作するソフトウェアの場合、インストール方法などは、ホームページに掲載されている説明をご覧ください。

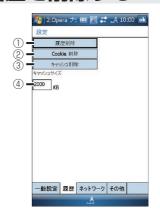
表示しているページをホームページ（起動時のページ）に設定する

“Opera Browser”を起動したときに最初に表示されるページを設定します。起動時に表示するホームページを表示した状態で、画面右下の メニュー － ツール － 設定 － 一般設定 タブで、 現在のページに設定 をタップします。設定が終わったら ok をタップします。

● ご購入時の設定に戻すときは、 デフォルトを使用 をタップします。

キャッシュ／ cookie ／履歴を削除する

画面右下の メニュー － ツール － 設定 － 履歴 タブで、 キャッシュ削除 、 cookie 削除 、 履歴削除 のいずれかをタップします。

① 閲覧してきたホームページの履歴を削除します。履歴を削除すると履歴は表示されません。
② ホームページ閲覧時に保存された cookie を削除します。
③ 一時ファイルとして保存している画像データなどを削除します。
④ キャッシュサイズを変更します。

ポップアップを無効にする

1 ホームページ表示中、画面右下の メニュー － ツール － 設定 － 一般設定 タブで「ポップアップを無効にする」のチェックを付けます。

セキュリティプロトコルを設定する

1 ホームページ表示中、画面右下の メニュー － ツール － 設定 － ネットワーク タブでセキュリティプロトコルの設定を行います。

・セキュリティプロトコルを設定するときは
「SSL2 を有効にする」などにチェックを付けます。

JavaScript/ アニメーション GIF/ プラグインなどを有効にする

1 ホームページ表示中、画面右下の メニュー － ツール － 設定 － その他 タブで、「JavaScript」、「アニメーションの表示」、「プラグインを有効にする」、「Cookie を有効にする」、「グラブ＆スクロールを使用」のチェックを付けます。

・「JavaScript」を有効にすると、ホームページに埋め込まれている JavaScript を認識し表示します。
・「アニメーションの表示」を有効にすると、アニメーション GIF を表示します。
・「プラグイン」を有効にすると、Opera Browser に追加されているプラグインを実行できます。ご購入時に用意されているプラグインは「Flash」です。
・「Cookie」を有効にすると、ホームページ閲覧時に Cookie を保存します。
・「グラブ＆スクロールを使用」を有効にすると、画面をタッチしたまますぐにスライドさせると、画面をスクロールさせることができます。

Opera Browser のメニュー

■アクション

ブックマーク／履歴	直接URLを入力してホームページを表示したり、ブックマークや履歴からホームページを表示する(☞5-8ページ)。
ホームページを開く	起動時に表示するホームページ(☞5-11ページ)を表示する。
ページをブックマークに追加	開いているホームページをブックマークに追加する(☞5-8ページ)。
中止	開いている途中のホームページの読み込みを中止する。
戻る	直前に表示していたホームページに戻る。
進む	次のホームページを表示する。 戻る でページを戻したとき、戻す直前に表示していたホームページに進む。
更新	再読み込みを行う。
最上部に移動	表示しているホームページの先頭を表示する。

■メニュー

タブ操作	新しいタブ	新しい(別の)ホームページを開く(☞5-7ページ)。
	次のタブ	ホームページを複数表示しているとき、次の画面(ホームページ)を表示する(☞5-7ページ)。
	タブを閉じる	表示している画面を閉じる(☞5-7ページ)。
	タブ一覧	開いている画面のホームページ名をリスト表示する。リストから表示したいホームページの名前を選択し画面左下の Ok をタップして、選択したホームページを表示する。
ディスプレイ	拡大･縮小	ホームページを拡大／縮小して表示する(☞5-5ページ)。
	フルスクリーン表示	ホームページをフルスクリーンで表示する。元の画面に戻すには、画面をタップしたままにして表示されたメニューから フルスクリーン表示 をタップする(☞5-6ページ)。
	画像を表示	ホームページにある画像ファイルを表示するかどうかを設定する。チェックが付いているときは、画像を読み込み表示する。チェックを外した(画像を読み込まない設定にした)方が、早くホームページを表示できる(☞5-6ページ)。
	PCモード	ホームページをホームページの設定どおりに表示する(☞5-6ページ)。
	画面幅で表示	ホームページを画面の横幅に合わせて表示する(☞5-6ページ)。
	エンコード	ホームページに合った言語を選択する。
	縦横切り替え	横表示でホームページを表示するかどうかを設定する。チェックが付いているときは、横表示でホームページを表示する。
ツール	ブックマークの編集	登録しているブックマークを編集する(☞5-9ページ)。
	ダウンロード履歴	ファイルなどをダウンロードした場合、その履歴を表示する。
	設定	起動時に表示するホームページの設定やキャッシュ／cookie／履歴の削除、JavaScript／アニメーション表示の設定などを行う(☞5-11～12ページ)。
	現在のウェブアドレスを送信	ホームページのURLをメール本文に入れてメール作成画面を表示する。
	ページ情報を表示	表示しているホームページのURLなどを表示する。
	ヘルプ	ヘルプを表示する。
	Operaについて	Opera Browserの著作権などの情報を表示する。
終了		Opera Browserを終了する。

ホームページを見る
（Internet Explorer Mobile）

Internet Explorer Mobile を使って、ホームページの閲覧ができます。
ホームページを見るためには、インターネット接続の設定が必要です。まだ、設定されていない場合は、下記の「接続の準備」をご覧になり設定してください。

接続の準備

ホームページを見る前、インターネットに接続する準備ができているか確認します。

- PHS 電話機能を使ってインターネット接続する場合
  - ・オンラインサインアップ（☞ 2-2 ページ）を行います。（オンラインサインアップを行うことで、接続情報が自動的に設定されています）。
  - ・ご自分で入会しているプロバイダーの情報を使うときは、2-16 ページをご覧になり設定を行ってください。
- 内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネット接続する場合
  - ・2-6 ページをご覧になり設定を行ってください。

- Internet Explorer Mobile は、パソコンなどで広く使われている Web ブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。
- Internet Explorer Mobile は Flash コンテンツの再生に対応していますがパソコンで広く使われているブラウザによる再生に比べて、一部異なる部分や制限があります。また、場合によっては、Flash の部分を表示できないこともあります。
  また、ホームページにて Internet Explorer Mobile での Flash コンテンツの再生は行わないように設定されている場合があります。

ホームページを見る

1 **“Internet Explorer” を起動します。**

スタート メニューを表示し “Internet Explorer” を選択、または、プログラム画面を表示し “Internet Explorer” を選択します。
Internet Explorer が起動します。

① アドレスバー
② 移動ボタン
③ ウィルコム公式サイトは、PHS 電話機能を使って接続する専用サイトです。内蔵ワイヤレス LAN を使って接続することはできません。

2 アドレスバーに URL を入力し、（移動ボタン）をタップします。

あらかじめ接続設定されている場合は、接続を開始し、入力した URL のホームページに移動します。

接続が完了すると、タイトルバーに または が表示されます。

: PHS 電話機能を使ってインターネットに接続した場合に表示されます。

: 内蔵ワイヤレス LAN 機能を使ってインターネットに接続した場合に表示されます。

MEMO

- 接続途中で接続を切断するときは、画面左下の 中止 をタップしてから切断してください。
- 「ネットワークへのログオン」画面が表示された場合は、「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、 OK をタップしてください。

ご注意

- 通話中は、PHS 電話機能を使ってホームページを見ることはできません。電話を切った後、Internet Explorer Mobile を起動してください。
- ホームページがうまく表示されないときは、インターネットの一時ファイル（キャッシュ）を削除してください。
  キャッシュの削除は、画面右下の メニュー － ツール － オプション － メモリ タブから ファイルを削除 をタップします。

3 ネットワークを切断します。

タイトルバーの をタップし、 切断 をタップします。または、 PWR キーを押します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

Internet Explorer Mobile の画面について

① 閲覧しているホームページの URL が表示されます。
また、閲覧したいホームページの URL を入力し、➡をタップすると、入力した URL のホームページが閲覧できます。

② タップすると、アドレスバーで指定された URL のホームページへ移動します。

③ リンク先をタップすると、そのホームページへ移動します。

④ 戻る をタップすると直前に表示していたホームページに戻ります。
中止 が表示されているときにタップすると開いているページの表示を中止します。
お気に入り が表示されているときにタップするとお気に入りに登録したリンク先一覧が表示されます。

⑤ タップすると、メニューが表示されます（☞ 5-22 ページ）。

MEMO
● ページを画面に表示する方法を変更することができます。
画面右下の メニュー － 表示 をタップして選択します。
全画面表示を元にもどすときは、画面をタップしたままにし「全画面表示」のチェックを外します。

ネットワークを切断する

1 **タイトルバーの ⇄ をタップし、切断 をタップします。または、PWR キーを押します。**

タイトルバーの ⇄ が ⇄x になります。
PWR キーを押した場合は、Today 画面（待ち受け画面）に戻ります。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合
2-15 ページをご覧になり、回線を切断してください。

ご注意
● **PHS 電話機能を使って通信している場合**
通信中（パケット方式）に着信があると通信を切断して着信する設定にしているときは（☞ 3-26 ページ）、通信中（パケット方式）に着信（電話がかかってくる）と通信が切断されます。ファイルのダウンロードなどを行っている途中でも通信が切断されますので、通信を切断したくないときは 3-26 ページをご覧になり、設定を確認したあと、インターネットに接続してください。
● こちらから電話をかけるときは、インターネット（ネットワーク）を切断した後に電話をかけてください。インターネット接続中、こちらから電話をかけることはできません。

お気に入りを使用する

何度も見たいホームページはお気に入りに登録しておくと、次からそのホームページを閲覧するとき便利です。
またそのホームページを、起動時に接続するページとして設定することができます（☞5-21 ページ）。

お気に入りに追加する

1 **お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面をタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **お気に入りに追加 をタップします。**

お気に入りの追加画面が表示されます。

- お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面右下の メニュー － お気に入りに追加 をタップしてもお気に入りの追加画面が表示されます。

3 **名前を確認または変更し、追加 をタップします。**

① タップすると、名前を変更できます。

お気に入りのページを見る

1 **ホームページが表示されている画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから お気に入り をタップします。**

お気に入り画面が表示されます。

- ホームページを表示しているときに、画面左下の お気に入り または画面右下の メニュー － お気に入り をタップしてもお気に入り画面が表示されます。

2 **お気に入り画面の 開く タブをタップし、目的のページをタップします。**

目的のページが表示されます。

お気に入りにフォルダを追加する

1 ホームページ表示中、画面右下の メニュー － お気に入り － 追加／削除 タブをタップし、 新しいフォルダ をタップします。

2 名前を確認または変更し、 追加 をタップします。

お気に入りから削除する

1 ホームページ表示中、画面右下の メニュー － お気に入り － 追加／削除 タブをタップし、削除したいお気に入りのページを選択します。

2 削除 をタップします。

削除の確認画面が表示されます。

3 はい をタップします。

MEMO
- フォルダを削除するときは、削除したいフォルダを選択して、 削除 をタップします。

履歴を使ってホームページを表示する

一度表示したホームページの URL は履歴として残っています。この履歴を利用して、一度開いたホームページをすぐに表示できます。

1 ホームページ表示中、 メニュー － 履歴 をタップします。

履歴画面が表示されます。

2 履歴画面でページタイトルのリストから表示したいタイトルをタップします。

そのページが表示されます。

MEMO
- 履歴画面で画面左上の ページタイトル をタップし表示されたメニューから アドレス をタップすると履歴画面のリストが URL に変わります。
- 履歴を削除する方法は、5-21 ページをご覧ください。

ホームページの画像を保存する／テキストをコピーする

ホームページの画像を保存したり、テキストをコピーしたりできます。

ご注意 ● Web ページの保存はできません。

ホームページの画像を保存する

1 **保存したいホームページの画像をタップしたままにし、ポップアップメニューから イメージの保存 をタップします。**

ダウンロード画面が表示されます。

2 **はい をタップします。**

「My Documents」の下の「My Pictures」フォルダに保存されます。

● **「My Pictures」フォルダ以外に画像を保存したいときは**

1 ダウンロード画面で 名前を付けて保存 をタップします。
ダウンロード先画面が表示されます。

2 名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

① 画像の名前を入力します。

② 画像を保存するフォルダを選択します。

③ 画像を格納する場所として「メインメモリ」（「My Documents」の下）、または「microSD カード」を選択します。

3 保存 をタップします。

ホームページのテキストをコピーする

1 **コピーしたいテキストが表示されているホームページの画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから すべてのテキストを選択 をタップします。**

2 **もう一度ホームページの画面をタップしたままにし、 コピー をタップします。**

● 手順 **1** は、画面右下の メニュー － 編集 － すべてのテキストを選択 をタップしても選択できます。
● 手順 **2** は、画面右下の メニュー － 編集 － コピー でもコピーできます。

ファイルをダウンロードして保存する

1 保存するファイルが組み込まれているホームページから ダウンロード などをタップして、ファイルをダウンロードします。

2 名前を付けて保存 をタップします。

ダウンロード先画面が表示されます。

MEMO ● はい をタップすると「My Documents」フォルダに保存されます。

3 名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

① ファイルの名前を確認します。

② ファイルを保存するフォルダを選択します。

③ ファイルを格納する場所として「メインメモリ」（「My Documents」の下）、または「microSDカード」を選択します。

4 保存 をタップします。

プログラムファイルなどをダウンロードすると、ダウンロード後、インストールが始まることがあります。このようなときは、画面に表示される内容にしたがって操作してください。

MEMO ● Java アプリケーション（ゲームなど）をダウンロードして楽しむこともできます。

表示しているページをホームページ（起動時のページ）に設定する

画面右下の メニュー － ツール － オプション － 全般 タブで表示しているページを "Internet Explorer Mobile" を起動したときに最初に表示されるページに設定できます。設定が終わったら ok をタップしてください。

① 現在表示中のページが「ホームページ」として設定されます。

② ホームページの設定を初期設定に戻します。

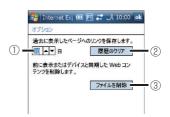
③ 表示言語を設定します。
通常は、日本語（自動選択）にしておいてください。

キャッシュや履歴を削除する

画面右下の メニュー － ツール － オプション － メモリ タブでキャッシュの削除や履歴の削除ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

① 履歴を何日間保存するか設定します。

② 履歴を消去します。

③ インターネット一時ファイル（キャッシュ）を削除します。

Cookie やセキュリティの設定をする

画面右下の メニュー － ツール － オプション － セキュリティ タブで Cookie の設定や消去、セキュリティの設定ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

① Cookie を許可しない場合はチェックを外します。

② Cookie を消去します。

③ セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをお勧めします。

Internet Explorer Mobile のメニュー

ホーム		「ホームページ」として設定されているページに戻る。
アドレスバー		アドレスバーにカーソルを移動します。
お気に入り		お気に入りに登録したリンク先一覧(お気に入り画面)を表示する。 移動したいリンク先をタップすると、そのホームページへ移動する (☞5-17ページ)。
お気に入りに追加		表示中のホームページをお気に入りに追加する(☞5-17ページ)。
次へ		「戻る」でページを戻したとき、戻す直前に表示していたホームページに進む。
最新の情報に更新		再読み込みを行う。
履歴		過去に表示したリンク先の一覧を表示する。
表示	**文字サイズ**	表示している文字サイズを変更する。
	一列に表示する	画面の幅と同じ幅に合わせて、コンテンツを表示する。
	画面に合わせる	各コンテンツを小さくして、できるだけ画面の横幅におさまるように表示する。
	表示調整しない	パソコンと同じようなレイアウトになる。縦方向と横方向へスクロールして、見えていない部分を表示する。
	高解像度を使用	チェックが付いているとき、本体の解像度(WVGA)に合わせて表示する。
	全画面表示	表示範囲を全画面にする。元の画面に戻すには、画面をタップしたままにし、「全画面表示」のチェックを外す。
	画像を表示する	画像を表示する。チェックを外すと画像は表示しない。
編集	**切り取り**	文字を切り取る。
	コピー	文字をコピーする。
	貼り付け	コピーおよび切り取った文字を貼り付ける。
	すべてのテキストを選択	すべての文字を選択する。
ツール	**リンクを送る**	タップすると表示しているホームページのURLを載せた新規メールを作成する。
	プロパティ	表示しているホームページの情報を表示する。
	オプション	オプション設定画面を表示する(☞前ページ)。

6章　映像と音楽

カメラを使用する

静止画（画像）やビデオ（動画）の撮影ができます。
ここでは、カメラの基本的な使いかたについて説明します。

- **バーコードなどの読み取りについては、6-15 ページをご覧ください。**
- **名刺の読み取りについては、6-18 ページをご覧ください。**

カメラをご使用になる前に

この製品は、有効画素数 131 万画素のカメラを搭載し、静止画（画像）や動画（ビデオ）の撮影ができます。

■ 撮影サイズ／保存形式や保存場所について

撮影した静止画（画像）や動画（ビデオ）は、以下の保存形式で保存されます。

<table>
<tr><th>モード</th><th>撮影サイズ</th><th>保存形式</th><th>保存場所</th></tr>
<tr><td>静止画モード
(☞6-3ページ)</td><td>240×320ドット
480×640ドット
1024×1280ドット</td><td>JPEG</td><td rowspan="2">・本体メモリに保存するときは、「My Documents」フォルダ内の「マイ ピクチャ」フォルダ内に保存されます。
・microSDカードに保存するときは、「DCIM」フォルダ内に保存されます。</td></tr>
<tr><td>ビデオモード
(☞6-6ページ)</td><td>120×160ドット
240×320ドット</td><td>Windows Media Video(WMV)</td></tr>
</table>

ご注意 ● microSD カードに保存するときは、DCIM フォルダの中にファイルが保存されます。

■ 撮影可能距離

・このカメラの撮影可能距離は、約 80cm ～無限遠（接写モードでは約 8cm）です。

■ カメラ撮影中の撮影音について

・カメラ撮影時、シャッター音（静止画撮影時）や撮影開始音（動画撮影時）は常に鳴ります。マナーモードや音量をオフにしていても、撮影時のシャッター音、撮影開始音は鳴ります。

■ ビデオ（動画）撮影中にアラーム時間になると

・ビデオ（動画）撮影中にアラーム時間になると、録画終了後に、遅れてアラームが鳴ることがあります。

■ 自動終了について

・静止画やビデオ撮影画面で、約 5 分間何も操作しないでいると“カメラ”は自動的に終了します。

● カメラ起動中は、画面を縦表示から横表示には切り替えられません。
（画面回転キーを押しても切り替わりません）。

■ カメラ利用時のご注意

・撮影前に内蔵カメラのレンズカバーが汚れていないかご確認ください。
　レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
　柔らかい布などでレンズカバーをきれいにしてください。
・手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。
　この製品が動かないようにしっかり持って撮影してください。
・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
・この製品を温かい場所に長時間置いたあとで、撮影したり画像を保存したときは画質が劣化することがあります。
・カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
・カメラで太陽などの光源を直接見ないようにしてください。

静止画（画像）を撮影する

1 スタート メニューの "プログラム" をタップします。

2 プログラム画面で "カメラ" をタップします。

しばらくすると、静止画モードが表示されます。

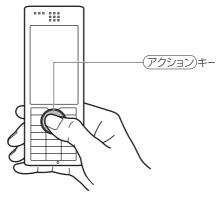
① 保存先、撮影サイズ、画質、タイマー撮影／連写、保存する向き、撮影シーン、明るさ、ズームの状態が表示されます。
保存する向き、撮影シーン、明るさ、ズームのアイコンをタップすると設定を変更することができます。ただし、保存中などは変更できません。

MEMO

- 「明るさ」と「撮影シーン」は(カーソル)キーでも切り替えることができます。
  明るさ　　　：(カーソル)キーの上下を押します。
  撮影シーン：(カーソル)キーの左右を押します。
  また、画面右下の 設定 をタップして変更することもできます（☞次ページ）。
- 接写モードになっていないことを確認してください（☞ 6-15 ページ）。
- ビデオモードになっているときは、画面下の 静止画へ をタップします。

6 映像と音楽

カメラ

3 **画面にレンズからの画像が表示されます。被写体にレンズを向け、(アクション)キーを押します。**

4 **撮影した画像が保存されます。**

しばらくするとメッセージが消え、再度撮影することができます。

5 **カメラを終了するときは、[終了]をタップします。**

静止画モードの設定を変更する

1 **静止画モードで、画面右下の[設定]をタップします。**

静止画モードの設定画面が表示されます。
設定画面で設定された内容は静止画モードの画面上に表示されます。

① 画像を保存する場所として「本体メモリ」、または「microSD カード」を選択します。
② 撮影するシーンを選択します（☞次ページ）。
③ 撮影するサイズを選択します。
④ 明るさを調整します。
⑤ 画像を保存する向きとして「縦長」、または「横長」を選択します。
⑥ タイマー（5 秒）、連写（5 枚）※または OFF を選択します（☞次ページ）。
⑦ 撮影する画質を設定します。
⑧ チェックを付けると、2 倍ズームで撮影できます。※

※撮影サイズが 480 × 640 ドット以下のときに、設定できます。

2 **設定が終われば、ok をタップします。**

シーン別の撮影を行う

1 静止画モードの設定画面で「撮影シーン」の▼をタップして撮影するシーンを選び、ok をタップします。

2 被写体にレンズを向け、(アクション)キーを押します。

タイマーを使う

1 静止画モードの設定画面で「タイマー撮影／連写」の▼をタップして「タイマー（5 秒)」を選び、ok をタップします。

2 被写体にレンズを向け、(アクション)キーを押します。

タイマーが動作し、約 5 秒後に撮影されます。

① 撮影されるまでの時間（秒）が表示されます。

MEMO
- タイマー動作中に(アクション)キーを押すと、その時点で撮影されます。

連写を使う

1 静止画モードの設定画面で「タイマー撮影／連写」の▼をタップして「連写（5 枚)」を選び、ok をタップします。

2 被写体にレンズを向け、(アクション)キーを押します。

連続で 5 枚撮影されます。

ビデオ（動画）を撮影する

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面で “カメラ” をタップします。**

モードを確認し、静止画モードになっているときは、画面下の ビデオへ をタップします。

① 保存先、録画サイズ、オーディオ録音、録画制限時間、保存する向き、撮影シーン、明るさ、ズームの状態が表示されます。

保存する向き、撮影シーン、明るさ、ズームのアイコンをタップすると設定を変更することができます。ただし、ビデオ撮影中や保存中は変更できません。

MEMO

- 「明るさ」と「撮影シーン」は（カーソル）キーでも切り替えることができます。

  明るさ　　：（カーソル）キーの上下を押します。

  撮影シーン：（カーソル）キーの左右を押します。

  また、画面右下の 設定 をタップして変更することもできます（☞次ページ）。

3 **画面にレンズからの画像が表示されます。被写体にレンズを向け、（アクション）キーを押します。**

撮影開始音が鳴り、録画が開始されます。

4 **もう一度、（アクション）キーを押す、または 停止 をタップして、録画を停止します。**

録画した動画を保存するまでにしばらくかかります。

microSD カードに保存するときや他のプログラムが起動しているときなどは、数分かかることがあります。

5 **撮影した動画が保存されます。**

しばらくするとメッセージが消え、再度撮影することができます。

6 **カメラを終了するときは、終了 をタップします。**

ビデオモードの設定を変更する

1 **ビデオモードで、画面右下の 設定 をタップします。**

ビデオモードの設定画面が表示されます。
設定画面で設定された内容はビデオモードの画面上に表示されます。

① 動画を保存する場所として「本体メモリ」、または「microSD カード」を選択します。

② 撮影するシーンを選択します。

③ 撮影するサイズを選択します。

④ 明るさを調整します。

⑤ 動画を保存する向きとして「縦長」、または「横長」を選択します。

⑥ 動画の撮影制限時間を「制限なし」、「15 秒」、「30 秒」から選択します。

⑦ チェックを付けると、音声も録音されます。

⑧ チェックを付けると、2 倍ズームで撮影できます。

2 **設定が終われば、 ok をタップします。**

撮影した静止画や動画を見る

撮影した静止画や動画を表示します。

1 **静止画モード、またはビデオモードを表示します。**

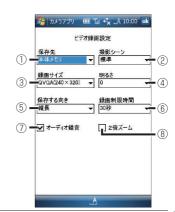
2 **画面左下の 画像一覧 をタップします。**

“画像とビデオ”（☞次ページ）が起動します。

3 **表示する画像をタップします。**

画像が表示されます。
くわしくは次ページをご覧ください。

6 映像と音楽

カメラ

画像とビデオ

静止画（画像）の表示や編集、ビデオ（動画）を表示することができます。
ここでは、画像とビデオの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。
- **“画像とビデオ”では、撮影した画像や動画を一覧で表示することができ、画像の切り抜きや明るさの調整などができます。**
- **“カメラ”で撮影した画像や動画も見ることができます。**

静止画や動画を見る

スタート メニューの “プログラム”をタップし、 “画像とビデオ”をタップします。

画像とビデオ画面（「マイピクチャ」フォルダに保存された静止画（画像）やビデオ（動画）の一覧）が表示されます。

① タップすると、どのフォルダにある静止画を一覧で表示したいか指定できます。

② タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準に画像や動画が並び替わります。

③ “カメラ”（☞ 6-2 ページ）が起動します。

④ フォルダ内の画像や動画がサムネイル表示されます。

撮影した静止画（画像）を確認する

1 確認したい静止画（画像）を選択し、画面左下の 表示 をタップします。

画面全体に拡大され、詳細画面が表示されます。

- 確認したい静止画をタップしても画面全体に拡大表示されます。

2 ok をタップすると一覧に戻ります。

撮影した動画（ビデオ）を確認する

1 確認したい“ ”動画（ビデオ）を選択し、画面左下の 再生 をタップすると Windows Media Player 10 Mobile が起動して再生されます。

Windows Media Player 10 Mobileの操作についてくわしくは、6-21 ページをご覧ください。

画像をスライドショーで表示する

複数の画像を連続して表示するスライドショー表示ができます。

1 **画像とビデオ画面右下の メニュー － スライドショーの再生 をタップします。**

スライドショーを終了するときは、画面をタップし、スライドショーツールバー（　）を表示し、　をタップします。

スライドショーツールバーでスライドショーの終了や一時停止（　）、表示の回転（　）などの操作ができます。

MEMO
- **スライドショーでの表示を最適化できます。**
  1 画像とビデオ画面右下の メニュー － オプションの表示 － スライドショー タブをタップします。
  2「スライドショーで表示を最適化する対象」を設定します（☞6-12 ページ）。

メールに添付して送る

画像やビデオを電子メールの添付ファイルとして送信できます。

1 **画像とビデオ画面で添付ファイルとして送信したい画像またはビデオをタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **送信 をタップします。**

・**画像を選択しているとき**

「手書きメールを送信」や「W-ZERO3 メールで送信」、「メール（Outlook）」などの選択画面が表示されます。

「手書きメールを送信」を選択すると

画像に手書きのコメントなどをつけて送ることができる手書きメールの新規作成画面が表示されます（☞4-19 ページ）。

「W-ZERO3 メールで送信」、「メール（Outlook）」などをタップすると

画像を添付ファイルとしたメールの新規作成画面が表示されます（☞4-12 ページ）。

・**ビデオを選択しているとき**

ビデオを添付ファイルとしたメールの新規作成画面が表示されます（☞4-12 ページ）。

MEMO
- 添付ファイルとして送信したい画像またはビデオを選択し、画面右下の メニュー － 送信 をタップしても選択した画像またはビデオを添付ファイルとしたメールの新規作成画面が表示されます。
- 「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。

3 **宛先、件名、本文などを入力します。**

画像を「Today」画面の背景に設定する

画像を「Today」画面の背景として設定できます。くわしくは 9-4 ページをご覧ください。

撮影した静止画（画像）を編集する

撮影した画像をトリミング（切り抜き）したり、明るさ／コントラストのレベルを調整するなど編集することができます。

1 **画像とビデオ画面で編集したい画像を選択し、画面左下の 表示 をタップします。**

2 **画面右下の メニュー － 編集 をタップして画像を編集します。**

■ 画像をトリミング（切り抜き）する

1 **画面右下の メニュー － トリミング をタップします。**

2 **切り抜きしたい部分にドラッグします。**

3 **切り抜きしたい領域内をタップします。**

トリミングをやめるときは、画面右下の メニュー － 元に戻す をタップします。

4 **編集後の画像を保存するときは、画面右下の メニュー － 名前を付けて保存 をタップし、ファイル名を確認し ok をタップします。**

■ 明るさ／コントラストのレベルを調整する

1 **画面右下の メニュー － 自動修正 をタップします。**

明るさ／コントラストのレベル調整をやめるときは、画面右下の メニュー － 元に戻す をタップします。

2 **編集後の画像を保存するときは、画面右下の メニュー － 名前を付けて保存 をタップし、ファイル名を確認し ok をタップします。**

MEMO

- 画面左下の 回転 をタップすると、90 度ずつ画像を回転します。
- 直前の編集操作を元に戻すには、画面右下の メニュー － 元に戻す をタップします。
- すべての編集操作をやめて元に戻すには、画面右下の メニュー － 前回保存したときの状態に戻す をタップします。

画像やビデオを整理する

新規フォルダを作成する

新しくフォルダを作って画像やビデオを整理できます。

1 **画像とビデオ画面右下の メニュー － 編集 － 新しいフォルダ をタップします。**

新しいフォルダが作成されます。

ファイルやフォルダを移動させる

1 **移動させるファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから 切り取り をタップします。**

MEMO
- 移動させるファイルやフォルダを選択し、画面右下の メニュー － 編集 － 切り取り をタップしても切り取りができます。

3 **移動先のフォルダをタップし、フォルダを開きます。**

4 **メニュー － 編集 － 貼り付け をタップします。**

MEMO
- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- **削除するときは**
  上記の手順 **2** で 削除 をタップし、確認画面で はい をタップします。
  動画（ビデオ）ファイルを削除するときに「ファイルの削除エラー」が表示された場合、そのファイルは Windows Media Player 10 Mobile で使用されているため削除できません。
  Windows Media Player 10 Mobile を終了してから（☞ 1-26 ページ）、再度、動画（ビデオ）ファイルを削除してください。
- **ファイルをコピーするときは**
  上記の手順 **2** で コピー をタップします。
- **ファイルの名前を変更するときは**
  1 名前を変更したいファイルを選択し、画面右下の メニュー － プロパティ をタップします。
  2 プロパティ画面の「名前」欄の名前を変更し ok をタップします。

メールに添付するときのサイズを設定する

画像とビデオ画面右下の メニュー － オプションの表示 － 全般 タブで、メールに添付するときのサイズの設定や編集画面で画像を回転させる方向の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① 電子メールで画像を送信するときの画像のサイズを設定します。

② 画像を 90 度回転（☞ 6-10 ページ）させるときの方向を設定します。

スライドショーの設定をする

画像とビデオ画面右下の メニュー － オプションの表示 － スライドショー タブで、スライドショーの設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① 画像を表示するとき、縦画面にして画像を表示（画像（縦））する、横画面にして画像を表示（画像（横））するを選択します。

② パソコンと接続後、2 分間操作しないと、スライドショーが始まります。

画像とビデオのメニュー

画像とビデオ画面のメニュー

項目		説明
送信		選択した画像またはビデオを添付した新規メールを作成する(☞6-9ページ)。
ビーム		選択した画像またはビデオを別のWS011SHなどに送信する。
連絡先に保存		連絡先の画像情報に選択した画像を設定する。
削除		選択した画像またはビデオを削除する。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから 削除 をタップしても削除ができる。
編集	**切り取り**	画像またはビデオを切り取る。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから 切り取り をタップしても切り取りができる。
	コピー	画像またはビデオをコピーする。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから コピー をタップしてもコピーができる。
	貼り付け	コピーおよび切り取った画像またはビデオを貼り付ける。
	新しいフォルダ	画像やビデオを整理するための新しいフォルダを作成する(☞6-11ページ)。
プロパティ		選択した画像またはビデオの情報を表示する。また、名前の変更ができる。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する(☞6-9ページ)。
[Today]の背景に設定する		選択した画像をToday画面の背景として設定する(☞6-10、9-4ページ)。
オプションの表示		オプション設定画面を表示する(☞前ページ)。
スペースに送信		登録しているWindows Liveスペースに送信する。
Irss		選択した画像を高速赤外線通信でIrss対応機器へ送信する。

詳細画面のメニュー

ズーム		ファイルサイズが大きいとき、タップすると、ナビゲーション用のサブウィンドウを表示して、画像の拡大／縮小、表示領域の移動をする。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する(☞6-9ページ)。
[Today]の背景に設定する		表示している画像をToday画面の背景として設定する(☞6-10、9-4ページ)。
画像のビーム		画像を別のWS011SHなどに送信する。
保存	連絡先に保存	連絡先の画像情報に表示している画像を設定する。
	名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。
編集		編集画面になる(☞6-10ページ)。
プロパティ		選択した画像の情報を表示する。また、名前の変更ができる。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞6-12ページ)。
スペースに送信		登録しているWindows Liveスペースに送信する。
Irss		選択した画像を高速赤外線通信でIrss対応機器へ送信する。

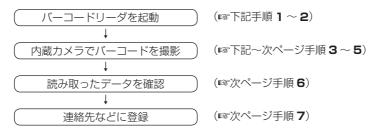
編集画面のメニュー

トリミング	画像を切り抜きする。
自動修正	画像の明るさやコントラストを自動で調整する。
元に戻す	トリミングや自動修正した画像を、元に戻す。
前回保存したときの状態に戻す	トリミングや画像回転などの編集を行った後、変更する前の状態（前回保存したときの状態）に戻す。
名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。

バーコードリーダを利用する

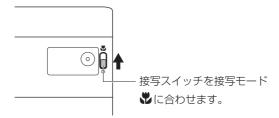
内蔵カメラを使ってバーコード（QR コードや JAN コード）を読み取ることができます。読み取った内容をもとに、連絡先への登録、メール送信、ブックマーク登録などができます。

● バーコードのサイズや種類によっては読み取れないことがあります。

バーコードの撮影から登録までの流れ

バーコードを読み取る

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面で “バーコードリーダ” をタップします。**
画面に「カメラを接写モードにしてください。」としばらく表示されます。

3 **本体裏側の接写スイッチを接写モード（🌷）にします。**

4 **読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取るバーコードを表示します。**
バーコードが正面になるようにして、焦点距離は約 8cm（目安）にします。

5 (アクション)キーまたは、画面左下の[読み取り]をタップします。

- バーコードを読み取るときは、必ず撮影モードを（接写モード）にしてください。にしないとバーコードを読み取れません。
- バーコードを印刷している紙面が光沢のある用紙などでは読み取れないことがあります。また、バーコードの周囲に空白部分がない場合も読み取れないことがあります。
- 読み取るときは、ピントが合っていることを確認してから(アクション)キーまたは、画面左下の[読み取り]をタップしてください。
- 読み取りに失敗すると「バーコードを読み取りできませんでした。」と表示されます。[ok]をタップし、手順 **4** からやり直してください。

6 読み取ったバーコードが認識され、電話番号や URL、メールアドレスなどが表示されます。

①タップすると手順 **4** に戻ります。

7 画面下のボタンをタップします。

- [連絡先に登録]：表示している内容を連絡先に登録します。
- [メール作成]：メールを作成します。
- [テキスト保存]：表示している内容をテキストデータとして保存します。

※ 認識したバーコードによって、[連絡先に登録]は表示されないことがあります。

MEMO

- [連絡先に登録]などのボタンは、画面右下のメニューをタップし表示されたメニューから[連絡先に登録]、[メール作成]、[テキスト保存]を選択しても行えます。
- 画面に表示されたメールアドレス、電話番号などをタップするとメニューが表示されます。
  各メニューを選択したときの動作については、次ページをご覧ください。
  メニューを選択したときと手順 **7** でボタンをタップしたときとでは動作が異なります。
- バーコードによっては、手順 **6** で表示される画面のボタンが[連絡先に登録]、[メール連携]などになることがあります。[メール連携]をタップするとアカウント選択画面が表示されます。アカウントを選択すると、宛先やタイトルなどが入った新規メール作成画面が表示されます。

■ 電話番号をタップしたとき

ライトメール作成		宛先に電話番号が入ったライトメールの新規作成画面が表示されます。
連絡先に登録	新規登録	表示された画面で入力する項目を選択して、決定 をタップすると、電話番号が入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップします。次に表示された画面で入力する項目を選択して 決定 をタップすると、電話番号が入った編集画面が表示されます。
発信、184発信など		電話をかけます。また184発信を選択すると、電話番号を通知せずに電話をかけます。電話をかけることについては、電話の章をご覧ください。

■ メールアドレスをタップしたとき

連絡先に登録	新規登録	表示された画面で入力する項目を選択して、決定 をタップすると、メールアドレスが入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップします。次に表示された画面で入力する項目を選択して 決定 をタップすると、メールアドレスが入った編集画面が表示されます。
Eメール作成		メールを作成します。

■ URLをタップしたとき

ホームページに接続		インターネットに接続し、そのホームページが表示されます。
ブックマークに登録		ブックマークを登録します。
連絡先に登録	新規登録	URLが入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップすると、URLが入った編集画面が表示されます。

名刺リーダを利用する

内蔵カメラを使って、名刺を撮影すると名前や住所などの文字を読み取って“連絡先”に登録することができます。
知らない間に増えてしまう名刺を、手軽に管理できるようになります。

ご注意
- 名刺の読み取りには多くのメモリを使用します。読み取りがうまくできないときは、次の手順で、プログラム実行用メモリの空き領域を増やしてください。
  - ・Today 画面に「実行中のプログラム：X 件」が表示されているときは、「実行中のプログラム：X 件」をタップして、実行中のプログラム一覧から使用していないプログラムを選択して「終了」をタップ、または「すべて終了」をタップします。
  - ・インターネットを閲覧した際のキャッシュ（前に表示した WEB コンテンツなどの記憶）を削除します。

    Opera Browser　：［メニュー］ー［ツール］ー［設定］ー［履歴］タブから、［キャッシュ削除］をタップします。

    Internet Explorer：［メニュー］ー［ツール］ー［オプション］ー［メモリ］タブから、［ファイルを削除］をタップします。

名刺の撮影から登録までの流れ

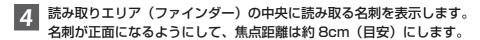
（☞下記手順 **1** ～ **2**）
（☞下記～次ページ手順 **3** ～ **5**）
（☞ 6-20 ページ手順 **6**）
（☞ 6-20 ページ手順 **6** ～ **9**）

名刺を読み取る

1 ［スタート］メニューの “プログラム” をタップします。

2 プログラム画面で “名刺リーダ” をタップします。
画面に「カメラを接写モードにしてください。」としばらく表示されます。

3 本体裏側の接写スイッチを接写モード（🌷）にします。

4 読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取る名刺を表示します。名刺が正面になるようにして、焦点距離は約 8cm（目安）にします。

ご注意 ● 名刺を表示しているとき、この製品が斜めになっていないか傾いていないか確認してください。斜めになっていたりすると、認識精度が悪くなります。

5 （アクション）キーまたは画面左下の［読み取り］をタップします。

「認識中」と表示され、しばらくすると認識結果が表示されます。
姓や名、電話番号などの認識結果は黄色の背景が付きます。

画面左端の「部」や「姓」などは、認識した文字とデータを登録する“連絡先”の項目の関係を示しています。各項目については、以下の表をご覧ください。

表示項目	連絡先の項目	
U※1	Webページ	
E※2	電子メール	
電※3	勤務先電話	
携※1	携帯電話	
P※1	PHS	
F※1	勤務先FAX	
姓	姓(フリガナ)※5	名前
名	名	
〒※1	郵便番号	勤務先住所
県※1	都道府県	
市※1	市町村	
番※1	番地以下	
社※4	勤務先	
部※4	部署	
役※4	役職	
他※4	「メモ」タブ	

※1 この項目が複数ある場合、1つ目だけが“連絡先”の各項目に入り、2つ目以降は「メモ」タブに入ります。
※2 この項目が複数ある場合、最初の3つのメールアドレスが“連絡先”の「電子メール」、「電子メール2」、「電子メール3」に入り、4つ目以降は「メモ」タブに入ります。
※3 この項目が複数ある場合、最初の2つの電話番号が“連絡先”の「勤務先電話」、「勤務先電話2」に入り、3つ目以降は「メモ」タブに入ります。
※4 この項目が複数ある場合、対応する“連絡先”の項目（「部署」など）に半角スペースで区切られて入ります。
※5 姓にあたる文字を認識したとき、認識した文字（姓）のふりがなも表示します。
ただし、ふりがなは推測によるものであり、必ずしも正しいものではありません。

MEMO ● 認識に失敗したときはメッセージが表示されますので、 ok をタップして、もう一度撮影してください。エラーメッセージが表示されたときは ok をタップしてください。名刺リーダが終了しますので、再度、名刺リーダを起動してください。

6 読み取ったデータを確認し、画面左下の 連絡先に登録 をタップします。

読み取ったデータが“連絡先”に自動的に入力されます。

MEMO ● 撮り直したいときは、画面右下の 撮り直し をタップします。

7 “連絡先”の編集画面で内容を確認し、 ok をタップします。

“連絡先”にデータが登録されます。

8 確認画面で ok をタップします。

9 読み取り画面に戻りますので、複数の名刺を読み取るときは同じ操作を繰り返します。

- 名刺を読み取るときは、必ず撮影モードを（接写モード）にしてください。にしないと名刺を読み取れません。
- 名刺の紙質が光沢のある用紙などでは読み取れないことがあります。

ご注意
- **名刺リーダで名刺を読み取るとき、次のような場合には認識ができないまたは認識が悪くなることがあります。**
- 認識できない名刺
  - ・黒地に白文字や濃い色の背景に薄い色の名刺
  - ・手書きや手書き風のフォントを使った名刺
  - ・背景が付いている名刺
  - ・英文名刺
  - ・縦書きと横書きが混在している名刺
- 認識が悪くなる名刺
  - ・名前や住所などの文字が薄くコントラストが低い名刺
  - ・非常に小さい文字や斜体の文字がある名刺
  - ・社名などがロゴやロゴ風フォントなどになっている名刺
  - ・表面に光沢のある名刺
  - ・汚れたり折れている名刺

音楽や映像を楽しむ
（Windows Media Player 10 Mobile）

この製品やネットワーク上にあるビデオファイル、オーディオファイルを再生できます。

次のファイルを再生できます。

・オーディオファイル　：MP3 形式、Windows Media Audio（wma）形式
・ビデオファイル　：Windows Media Video（wmv）形式
・ストリーミング　：Advanced Streaming Format（asf）形式

ご注意

- ファイルの種類やサイズによっては、再生できないことがあります。
- イヤホンマイクなどをご使用になる場合は、音量の設定に十分気をつけて再生してください。
  思わぬ大音量が出て耳を痛める原因となることがあります。
  音量を設定する（☞ 9-22 ページ）をご覧になり、音量を変更してください。
- 音楽 CD やインターネットホームページ上の著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から承諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

ここでは、Windows Media Player 10 Mobile の基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

音楽や映像を楽しむには

この製品で音楽や映像を楽しむには、最初にオーディオファイルやビデオファイルなどをこの製品に保存します。
パソコンの Windows Media Player 10 と同期するとオーディオファイルなどを同期しこの製品に保存できます（Windows Media Player 10 との同期についてくわしくは、6-26 ページをご覧ください）。
また、すでにお持ちのパソコンなどに再生できるファイルを保存されているときは、microSD カードにそのファイルをコピーしてこの製品に取り付けて再生できます。microSD カードに保存しているファイルを再生するときは、カードを取り付け後、ライブラリの更新（次ページのメモ）を行ってください。

音楽や映像を再生する

オーディオファイルやビデオファイルを選んで再生します。
また、ライブラリによってアーティストやジャンルなどの項目別に自動分類されたフォルダ（アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）の中のファイルを順番に再生します。

1 スタート メニューの “プログラム”をタップします。

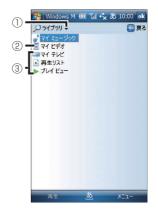
2 プログラム画面で “Windows Media”をタップします。

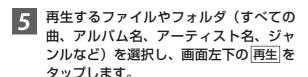
ライブラリ画面が表示されます。
表示されないときは、画面右下の メニュー － ライブラリ をタップしてください。

MEMO

- **ライブラリの更新**
  ファイルが表示されないときはライブラリの更新を行ってください。ライブラリ画面で画面右下の メニュー － ライブラリの更新 をタップします。
  microSD カード内のファイルを再生するときは、下記手順 **3** の①を行ってください。

3 再生したいファイルのカテゴリ（マイミュージック、マイビデオなど）をタップします。

① microSD カード内のファイルを再生するときなど、タップして切り替えます。
② 動画ファイルはこの中に入ります。
③ カテゴリをタップして再生するファイルやフォルダを表示します。

4 カテゴリの中のフォルダ（すべての音楽、アーティスト、アルバム、ジャンルなど）をタップして、再生するファイルやフォルダを表示します。

5 **再生するファイルやフォルダ（すべての曲、アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択し、画面左下の[再生]をタップします。**

① 1 つ前の画面に戻ります。

再生画面が表示され、再生が始まります。
フォルダ（アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択した場合は、フォルダの中のファイルが順番に再生されます。

① プレイビュー画面を表示し、再生順の変更や再生リストからの削除などができます（☞ 6-25 ページ）。

② ランダム再生、連続再生の設定や再生中のファイル情報の表示などができます（☞ 6-30 ページ）。

- 再生するファイルやフォルダをタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから[再生]をタップしても再生できます。
- パソコンなどから転送した新しいファイルがライブラリ画面に表示されない場合は、ライブラリの更新を行ってください。

  1 ライブラリ画面右下の[メニュー]－[ライブラリの更新]をタップします。

  2 ファイルの追加作業を待って画面右下の[終了]をタップします。

再生画面について

① ☆（評価）をタップして評価を設定します。

② 経過時間または残り時間を表示します（☞ 6-27 ページ）。

③ 再生の進行状況を表示します。

④ 音量のオン・オフを切り替えます。

⑤ 音量を表示します。

⑥ ビデオファイルを再生中にタップすると、全画面で表示します。
元に戻すには、画面のどこかをタップします。

⑦ Windows Media.com のホームページを表示します。
前もって、インターネットに接続するための設定を行ってください。

⑧ 再生中にタップするとファイルの先頭まで戻し再生します。
再生停止時にタップすると、1 つ前のファイルへスキップします。

⑨ ファイルを一時停止します。
一時停止時は ▶ が表示され、タップすると再生を再開します。

⑩ 次のファイルへスキップします。

⑪ システム音量で設定した音量（☞ 9-22 ページ）を 100%として、音量を調整します。
＋：音量を上げます。
－：音量を下げます。

ランダム再生／連続再生する

順不同に再生する「ランダム再生」や、プレイビュー画面のファイルを表示順にくり返し再生する「連続再生」が行えます。
再生画面やプレイビュー画面で、画面右下の［メニュー］－［ランダム再生／連続再生］－［ランダム再生］または［連続再生］をタップします。

ネットワーク上のファイルを再生する

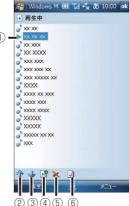
インターネットやネットワーク上のファイルを再生します。

1 **ライブラリ画面で、画面右下の［メニュー］－［URL を開く］をタップします。**

2 **「URL：」欄にネットワークアドレスを入力し、画面左下の［OK］をタップします。**

プレイビュー画面（再生リスト）について

再生画面左下の プレイビュー をタップすると、再生するファイルをリスト表示します。
再生するファイルの順番を変えたり、再生リストからファイルを削除できます。

① 再生するファイルがリスト表示されます。 ▶ が再生中のファイルです。
② 選択したファイルを再生リストの上へ移動します。
③ 選択したファイルを再生リストの下へ移動します。
④ ライブラリ画面に切り替えます。 ファイルやフォルダを追加するときは、ライブラリ画面で追加したいファイルやフォルダなどをタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから 再生待ちに追加 をタップします。ライブラリ画面に切り替える前のプレイビュー画面の一番下に追加されます。
⑤ 選択したファイルを再生リストから削除します。
⑥ 選択したファイルの情報を表示します。

- プレイビュー画面で画面右下の メニュー － プレイビューの消去 をタップすると、再生リストからすべてのファイルを消去します。

再生中に画面を消す

以下の手順でキーボードのキーや（カーソル）キーなどに設定を割り当てると、音楽再生中に画面を消すことができます。

1 オプション画面（ ボタン タブ）を表示し（☞ 6-29 ページ）、画面を一番下までスクロールします。

2 切り替え画面 をタップし、 割り当て をタップします。

3 割り当てるキーボードのキーや（カーソル）キーなどを押し、 ok をタップします。

Windows Media Player 10 を起動中に手順 **3** で割り当てたキーを押すと画面が消えます。画面を表示するときはもう 1 度同じキーを押します。

パソコンで作った再生リストを再生する

ライブラリ画面で「再生リスト」を選択して再生します。
“再生リスト”とは、お気に入りのファイルを集めたリストのことです。
たとえばいろいろなアルバムにあるお気に入りのオーディオファイルを再生リストに登録して、お気に入りの音楽だけを再生できます。
再生リストは、パソコンの Windows Media Player 10 で作成し、同期させてこの製品に取り込みます（☞次ページ）。

Windows Media Player 10と同期する

ActiveSyncをインストールし同期設定（☞7-13ページ）をしていると、パソコンのWindows Media Player 10とこの製品の間で音楽（オーディオ）ファイルを同期できます。まだ、ActiveSyncをインストールしていない場合は、7-4ページをご覧になりインストールしてください。

- ActiveSyncをインストールしていても Mediaを設定していないときは7-7ページのメモをご覧になり、設定を行ってください。

1 パソコンでWindows Media Player 10を起動し、同期する音楽ファイルを取り込みます。

すでに、Windows Media Player 10に音楽ファイルを取り込んでいるときは、この手順は必要ありません。

2 パソコンとこの製品を付属のUSBケーブルで接続します。

しばらくするとActiveSyncが起動し、「連絡先」など設定しているプログラムの同期を行います。

3 パソコンでWindows Media Player 10を起動して「同期」タブをクリックします。

4 パソコンで画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。

同期が始まります。

5 同期完了後、パソコンからこの製品を取り外します。

Windows Media Player 10の操作についてくわしくは、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

- Windows Media Player 10と自動的に同期するように設定した場合（7-8ページの手順**16**で「自動」を選択した場合）は、手順**2**を行った後、自動的に同期されます。ただし、音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが同期されますのでご注意ください。1度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

ご注意

- パソコンのOSがWindows 2000の場合は、Windows Media Player 9シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

時間の表示形式、他のプログラムを使用中の再生方法などを設定する

再生画面右下の メニュー － オプション － 再生 タブで、時間の表示形式を変更したり、他のプログラムを使用中の再生方法の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① 再生画面に表示する時間の設定をします。
経過時間：再生開始からの時間を表示します。
残り時間：終了までの残り時間を表示します。

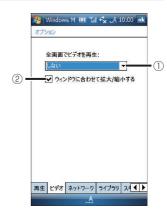
② チェックを付けると、他のプログラムを使用中は再生を一時停止します。

③ ②のチェックを外している状態で、チェックを付けると通話後に再生を再開します。

ビデオ再生時の画面設定をする

再生画面右下の メニュー － オプション － ビデオ タブで、ビデオ再生時の表示画面の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① しない　　　　　：ビデオを全画面で再生しません。
サイズ超過時のみ：サイズが超過したビデオのみ全画面で再生します。
常に　　　　　　：すべてのビデオを全画面で再生します。

② チェックを付けると、縮小表示します。

ネットワークプロトコルとインターネット接続速度を設定する

再生画面右下の メニュー － オプション － ネットワーク タブで、ネットワーク上のファイルを再生する（ストリーミング）ときの設定をします。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① ストリームを受信するときのプロトコルを指定します。
　すべてのプロトコルを選択することをお勧めします。

② インターネット接続速度を変更します。

③ 再生が最適化されるように接続速度を自動的に設定させるときチェックを付けます。

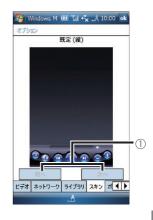
起動時に表示させる画面を設定する

再生画面右下の メニュー － オプション － ライブラリ タブで、Windows Media Player 10 Mobile を起動したときの画面を設定します。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① チェックを付けると、起動したときにライブラリ画面が表示されます。
　再生画面を表示させるときは、チェックを外します。

再生画面の外観（スキン）を変更する

再生画面右下の メニュー － オプション － スキン タブで、再生画面の外観（スキン）を設定します。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① ダウンロードなどにより新しいスキンをこの製品に取り込むと 前へ または 次へ をタップして外観（スキン）の変更ができます。

キーボードのキーなどの割り当てを変更する

1 **再生画面右下の メニュー － オプション － ボタン タブで、変更したいコントロール名（再生／一時停止など）をタップします。**

2 **割り当て をタップし、「ボタンの割り当て」画面が表示中に、新しく割り当てるキーボードのキーや カーソル キーなどを押します。**

押したキーが表示されます。

① コントロール名

② 割り当てたキーを表示します。

- キーやボタンの割り当てを元に戻すときは、再度コントロール名をタップして リセット をタップします。
- キーやボタンの割り当てをしないときは、コントロール名をタップして なし をタップします。
- 一部のボタンやキーには割り当てできないなどの制限があります。

3 **設定が終わったら ok をタップします。**

Windows Media Player 10 Mobile のメニュー

再生画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">ライブラリ</td><td>ライブラリ画面に切り替わる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生／一時停止</td><td>再生を開始または一時停止する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">停止</td><td>再生を停止する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ランダム再生／連続再生</td><td>ランダム再生</td><td>ランダム再生する(☞6-24ページ)。</td></tr>
<tr><td>連続再生</td><td>連続再生する(☞6-24ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">全画面表示</td><td>ビデオファイルの再生中にタップすると、全画面表示になる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td>オプション設定画面を表示する(☞6-27〜29ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロパティ</td><td>現在再生中のファイルの情報を表示する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">バージョン情報</td><td>バージョン番号など、Windows Media Player 10 Mobileに関する情報を表示する。</td></tr>
</table>

プレイビュー画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">ライブラリ</td><td>ライブラリ画面に切り替わる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">上へ</td><td>選択したファイルを再生リストの上へ移動する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">下へ</td><td>選択したファイルを再生リストの下へ移動する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生リストから削除</td><td>選択したファイルを再生リストから削除する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ランダム再生／連続再生</td><td>ランダム再生</td><td>再生リストのファイルをランダム再生する(☞6-24ページ)。</td></tr>
<tr><td>連続再生</td><td>再生リストのファイルを連続再生する(☞6-24ページ)。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生リストの保存</td><td>再生リストを保存する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プレイビューの消去</td><td>すべての再生リスト(ファイル)を削除する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">エラーの詳細</td><td>再生時にエラーメッセージが表示されたときなどにタップでき、そのエラーの詳細を表示する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロパティ</td><td>選択したファイルの情報を表示する。</td></tr>
</table>

ライブラリ画面のメニュー

再生待ちに追加	プレイビュー再生リストの最後に追加する。
ライブラリから削除	選択したファイルをライブラリから削除する。
プレイビュー	プレイビュー画面に切り替わる。
ライブラリ	ライブラリを切り替える。
ライブラリの更新	ライブラリを更新(新しいファイルを追加)する。
ファイルを開く	マイデバイスの中のフォルダを表示する。フォルダを開きファイルを探せる。
URLを開く	Windows Media.comなどのホームページから、ネットワーク上のファイルを再生する。
プロパティ	選択したファイルの情報を表示する。

7章　パソコンとの連携

パソコンとの連携
（ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンター）

ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使うと、同期やファイルのコピーなど以下のことができます。

・パソコンの Microsoft Outlook とこの製品の予定表や連絡先などのデータを同期します。たとえば、この製品の予定表を外出先で変更してもオフィスのパソコンと同期すると、データを比較し古いデータを新しいデータに更新します。
・この製品とパソコン間でファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーできます（☞ 7-15 ページ）。
・Word Mobile や Excel Mobile のデータとパソコンの Word や Excel のデータを同期します（☞ 7-12、7-13 ページ）。
・パソコンで表示したホームページの URL をこの製品に転送することができます。

ここでは、ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンターの基本的な使いかたについて説明します。
設定や使用方法についてくわしくは、ヘルプや、付属の CD-ROM の中にある ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターの Readme.doc をご覧ください。

● パソコンの Word や Excel のデータを Word Mobile や Excel Mobile のデータに変換したとき、Word Mobile や Excel Mobile がサポートしていない書式や機能などは反映されません。

連携ソフトとパソコンの OS

パソコンと連携するためのソフト、および連携するパソコンの OS は次の通りです。

連携ソフト	パソコンの OS ※
Windows Mobile デバイスセンター	Windows Vista
ActiveSync	Windows XP/2000

※詳しくは、次ページの「動作環境」をご覧ください。

パソコンの動作環境について

■ ActiveSyncをインストールするパソコン

OS（ActiveSyncとUSBモデムドライバ共通）
- Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 2）
- Microsoft Windows XP Home（Service Pack 2）
- Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 4）

※これ以外のOSについては、付属のCD-ROMに収録されている「readme.doc」をご覧ください。

アプリケーション
- Microsoft Outlook XP、Microsoft Outlook 2003、
  受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要
- Microsoft Internet Explorer 6.0以降

■ Windows Mobile デバイスセンターをインストールするパソコン（2007年6月現在）

OS
- Windows Vista Ultimate
- Windows Vista Enterprise
- Windows Vista Business
- Windows Vista Home Premium
- Windows Vista Home Basic

アプリケーション
- Microsoft Outlook 2007
- Microsoft Outlook XP
- Microsoft Outlook 2003
  ※受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要。
- Microsoft Internet Explorer

ご注意
- **次のようなパソコンでの動作は保証できません。**
  - 自作パソコン
  - OSをアップグレードしたり入れ替えたパソコン
  - ご自分で追加したUSBポートをお使いのとき
  - USBハブなどを経由した接続のとき
  - パソコンにこの製品以外のUSB機器が接続されているとき

ActiveSync をインストールする

ActiveSync をインストールする前にお読みください

ActiveSync をインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。
確認した後、インストールを行ってください。

① **Outlook をインストールして、使用状態（下記）にしてください。なお、Outlook Express とは同期できません。**
ActiveSync をインストールした後で Outlook をインストール／使用できる状態にしても、すぐには使えません。まず、Outlook をインストールして使用できる状態にしてください。

Outlook を使用状態にする
Outlook インストール後、Outlook の「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付けた後、Outlook に連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。

② **ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止／無効にしてください。**
停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

③ **Intellisync など他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。**

④ **Windows Media Player と同期するときは、ActiveSync をインストールする前に Windows Media Player 10 をインストールしてください。**
古いバージョンの Windows Media Player とは同期できませんので、ご注意ください。
パソコンの OS が Windows 2000 の場合は、Windows Media Player 9 シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

- **ActiveSync をアンインストールするには**
［スタート］メニューから「プログラムのアクセスと既定の設定」を選び、「プログラムの追加と削除」画面で「プログラムの変更と削除」をクリックした後、「Microsoft ActiveSync」を選んで［削除］をクリックします。表示される画面の指示に従ってアンインストールします。

1 この製品の通信モードを ActiveSync ができる設定にします。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、接続 タブをタップします。

2 “USB 接続” の USB 接続 タブで「PC と同期する。(ActiveSync)」にチェックを付けます。

3 ActiveSync タブをタップし、「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックが付いていることを確認し、ok をタップします。

4 この製品の電源が自動的に切れないように設定しておいてください(☞ 9-18 ページ)。

2 付属の CD-ROM をパソコンにセットします。しばらくすると、次の画面が表示されます。

MEMO
- ここでは、Windows XP の画面で説明しています。Windows 2000 Professional では画面の形状が一部異なりますが、基本的な操作のしかたは同じです。

3 「セットアップとインストール」をクリックします。

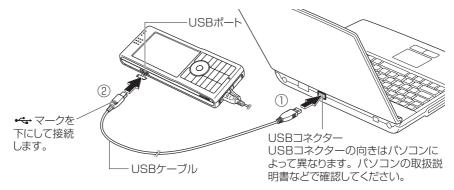
4 表示された画面で、ActiveSync にチェックが付いていることを確認して［インストール］をクリックします。

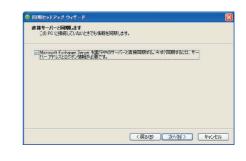
5 **内容をご覧になり［同意する］をクリックします。**

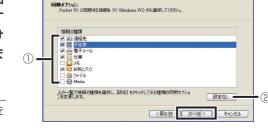
インストールが始まります。

6 **インストール終了後、［終了］をクリックします。**

7 **①、②の順でパソコンとこの製品を付属のUSBケーブルを使って接続します。**

ご注意
- USBケーブルは、パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを使って接続すると正しく動作しないことがあります。
- パソコンと接続するときは、この製品にACアダプターを接続するか充電池の残量が十分であることを確認してください。

8 **「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。**

- **お使いのパソコンが Microsoft Exchange Server に接続しているときは**
  手順 **8** の後、「直接サーバーと同期します」画面（右記の画面）が表示されます。
  ・サーバー情報やログオン情報などをネットワーク管理者にご確認のうえ、画面にしたがって操作してください。

9 **Poket PC の名前を入力する画面が表示されたときは、名前を確認し、[次へ] をクリックします。**

10 **「同期オプション」画面が表示されたら、同期する項目にチェックを付け [次へ] をクリックします。**

① 同期する項目にチェックを付けます。

② クリックすると「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。

- 「ファイル」を選択すると「ファイルの同期」メッセージが表示されます。パソコンと同期する場合は、[OK] をクリックしてください。この「ファイル」は、同期するためのものです。パソコンとこの製品のファイルをコピーするときは、ファイルのコピー（☞ 7-15 ページ）を行います。
- Windows Media Player10 と音楽ファイルを同期するときは、Media の項目にチェックを付けセットアップを完了したあと手動で行います。
  Media を選択すると「メディアの同期」画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。

11 「ワイヤレス接続を許可する」画面で内容を確認し、[次へ] をクリックします。

12 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

しばらくすると自動的に同期が開始されます。同期が終了すると、「ActiveSync」画面内に「接続完了」が表示されます。
手順 **10** で Media の項目にチェックを付けていないときは、手順 **12** で終了です。
Media の項目にチェックを付けているときは、手順 **13** 以降を行います。

13 Windows Media Player 10 と同期する場合（手順 **10** で Media にチェックを付けた場合）は、ActiveSync 画面内の Media の右横の「セットアップを完了する必要があります」をクリックします。

14 表示された確認画面で「はい」をクリックします。

Windows Media Player 10 が起動します。

15 Windows Media Player 10 で「同期」タブをクリックし「同期の設定」をクリックします。

16 表示された画面で、「手動」を選択し [完了] をクリックします。

17 画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。

Windows Media Player と同期が始まります。
ActiveSync をインストールできないときや同期できないときは、7-18 ページをご覧ください。

- 手順 **16** で「自動」を選択すると音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが自動的に Windows Media Player と同期しますので、「手動」を選択することをおすすめします。
  1 度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくは Windows Media Player 10 のヘルプをご覧ください。
- **ActiveSync インストール後に Media など同期する項目を変更するときは**
  パソコンとこの製品を接続した状態で ActiveSync 画面の「ツール」メニューの「オプション」を選択します。
  設定画面が表示されますので項目のチェックを付けたり外したりします。

Windows Mobile デバイスセンターをインストールする

Windows Mobile デバイスセンターをインストールする前にお読みください

デバイスセンターをインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。
確認した後、インストールを行ってください。

① **Outlook をインストールして、使用状態（☞下記）にしてください。なお、Windows メールとは同期できません。**
Windows Mobile デバイスセンターをインストールした後で Outlook をインストール／使用できる状態にしても、すぐには使えません。まず、Outlook をインストールして使用できる状態にしてください。

Outlook を使用状態にする
Outlook をインストールした後、Outlook の「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付けた後、Outlook に連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。

② **ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止／無効にしてください。**
停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

③ **Intellisync など他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。**

1 **この製品に付属の CD-ROM をパソコンにセットします。**
自動再生画面が表示されたときは「Start.exe の実行」をクリックします。

2 **ユーザーアカウント制御画面が表示されるので、[続行] をクリックします。**
「Windows Mobile デバイス－はじめに」画面が表示されます。

3 **「セットアップとインストール」をクリックします。**

4 **「Windows Mobile デバイスセンター」にチェックが付いていることを確認して [インストール] をクリックします。**
インストールが始まります。

5 **インストールが終わったら、[終了] をクリックします。**

6 **再起動する旨の画面が表示されるので、[今すぐ再起動する] をクリックします。**
表示されないときは、次の手順に進みます。

7 **再起動後、パソコンとこの製品を付属の USB ケーブルを使って接続します（☞ 7-6 ページ）。**
自動的にドライバのインストールが始まります。自動再生画面が表示されたときは、 をクリックして画面を閉じます。

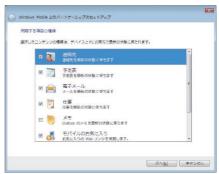
8 ユーザーアカウント画面が表示されたときは、[続行] をクリックします。

9 ソフトウェアのライセンス画面が表示されるので、内容をご覧になり [同意する] をクリックします。

10 次に表示された画面で、[登録しない]、[オンラインで登録する]、[後で登録する] のいずれかをクリックします。

11 「Windows Mobile デバイスセンター」の画面が表示されたら、[デバイスのセットアップ] をクリックします。

12 表示された画面で、「連絡先」などの項目にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

Outlook をインストールしていないと、「連絡先」などにチェックを入れることはできません。

13 パートナーシップの画面が表示されたら、必要に応じてデバイス名を変更し [セットアップ] をクリックします。

14 セットアップが完了すると、Windows Mobile デバイスセンターの画面に戻り、自動的に同期を行います。

ActiveSyncを使って同期する

1 [スタート]メニューの “設定”をタップします。

2 設定画面で[接続]タブをタップし、 “USB接続”をタップし、[USB接続]タブで「PCと同期する。(ActiveSync)」にチェックを付けます。

3 [ActiveSync]タブをタップし、「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付けます。

4 [ok]をタップします。

ご注意
- この製品とパソコンを同期するときは、必ず手順 **1** ～ **4** を行ってください。
  手順 **2** の USB 接続の設定が「モデムとして使用する」にチェックが付いていると、同期できません。

5 この製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

自動的に同期が始まります。
この製品とパソコンを接続した状態では、この製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

- 手動で同期するときは、次の方法で行います。

パソコン側から同期を実行する

1 ActiveSync の［ファイル］メニューの［同期］をクリック、または［ 同期］をクリックします。

この製品側から同期を実行する

1 [スタート]メニューの “プログラム”をタップし、プログラム画面で “ActiveSync”をタップします。

2 画面左下の[同期]をタップします。

- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください。

Windows Mobile デバイスセンターを使って同期する

1 **この製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。**

自動的に同期が始まります。
Windows Mobile デバイスセンターは自動的に起動しませんので、起動しておくことをおすすめします。この製品とパソコンを接続した状態では、この製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

● Windows Mobile デバイスセンターの画面左下に、同期の状況が表示されます。
同期の状況を確認したいときは、Windows Mobile デバイスセンターを起動してから USB ケーブルを接続してください。

同期をするときの設定を行う

同期を行うときにどのアプリケーションと同期を行うのかを設定できます。

■ ActiveSync の場合

1 **パソコンとこの製品を接続します。**

2 **パソコン側の ActiveSync 画面で、[ツール] メニューの [オプション] をクリックします。**

設定画面が表示されます。

3 **同期に関する設定を行います。**

① 同期するパソコン名（フレンドリ名）が表示されます。
「設定」をクリックするとフレンドリ名の変更やパソコンで設定されている日時をこの製品に同期させることができます。
・パソコンで設定されている日時をこの製品に同期させるときは「接続時に Pocket PC の日時を同期する」にチェックをつけて同期操作を行ってください。

② 同期するアプリケーションにチェックを付けます（チェックを外すと同期されません）。

③「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。

- ・予定表：同期する予定の期間を設定します。
- ・電子メール：同期する期間、メッセージ形式、サイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。
- ・お気に入り：同期する URL を選択／削除します。
- ・ファイル：同期するファイルを設定します。同期フォルダに入れたファイルと連動します。

4 ［OK］をクリックします。

設定画面に表示される「ファイル」は、ファイルを同期するためのものです。
パソコンに保存しているファイルをこの製品にコピーしたり、この製品のファイルをパソコンにコピーするときは、次ページの方法（ファイルのコピー（ドラッグ＆ドロップ））で行ってください。

■ Windows Mobile デバイスセンターの場合

1 Windows Mobile デバイスセンターを起動します。

Windows Mobile デバイスセンターを起動せずに次の手順を行っても自動的に同期が始まります（ただし、自動的に Windows Mobile デバイスセンターは起動しません）。

2 パソコンとこの製品を接続します。

3 パソコン側の Windows Mobile デバイスセンター画面で、「モバイルデバイスの設定」にマウスポインタを移動し「コンテンツの同期の設定の変更」をクリックします。

設定画面が表示されます。

4 同期に関する設定を行います。

①同期するアプリケーションにチェックを付けます（チェックを外すと同期されません）。

②「予定表」、「電子メール」、「ファイル」の詳細設定ができます。

- ・予定表：同期する予定の期間を設定します。
- ・電子メール：同期する期間、サイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。
- ・ファイル：同期するファイルを設定します。同期フォルダに入れたファイルと連動します。

5 ［保存］をクリックします。

上記の（ファイル）は、ファイルを同期するためのものです。
パソコンに保存しているファイルをこの製品にコピーしたり、この製品のファイルをパソコンにコピーするときは、次ページの方法（ファイルのコピー（ドラッグ＆ドロップ））で行ってください。

ファイルをコピーする

パソコンとこの製品の間で相互にファイルをドラッグ＆ドロップでコピーできます。

- パソコンからこの製品に Microsoft Excel ファイルや Microsoft Word ファイルをコピーすると外出先等でもファイルの内容を確認できます。

1 パソコンとこの製品を接続します。

2 ActiveSync の場合

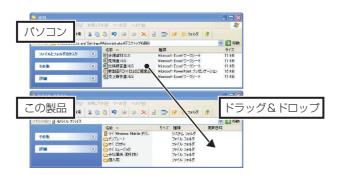
パソコン側の ActiveSync 画面で、[エクスプローラ] をクリックします。
ウィンドウが開き、この製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

Windows Mobile デバイスセンターの場合

パソコン側の Windows Mobile デバイスセンター画面で、「ファイル管理」にマウスポインタを移動し、「デバイスのコンテンツの参照」をクリックします。
表示された画面で をダブルクリックすると、この製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

3 パソコンのウィンドウを表示し、パソコンに保存しているファイルやフォルダを表示します。

4 コピーしたいファイルを一方のウィンドウからもう一方のウィンドウにドラッグ＆ドロップします。

ドラッグ＆ドロップしたファイルがコピーされます。

5 ウィンドウ右上の をクリックしてウィンドウを閉じます。

6 パソコンとこの製品を取り外します。

ご注意

- パソコンからこの製品を取り外すとドラッグ＆ドロップしてもコピーされません。

前に使っていた連絡先などを移す

WS003SH、WS004SH、WS007SH など他機種のデータ（予定表や連絡先など）をこの製品に移すには、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターの同期を使って行います。「他機種の予定表や連絡先などのデータ」を「パソコンの Microsoft Outlook のデータ」に移したあと、そのパソコンのデータをこの製品に移します。ここでは操作の概要を説明します。

同期によって移行できるデータ

・連絡先　・予定表　・仕事
・メモ　・お気に入り　・電子メール※

※電子メールでデータを移行（同期）できるのは、Outlook のアカウントのみです。オンラインサインアップで取得した E メール（ウィルコム）や W-ZERO3 メール、ご自分で加入しているプロバイダーメール、ライトメールは同期できません。

ご注意 ● WS007SH などのバックアップツールを使って作ったバックアップデータをこの製品に移すことはできません。

● **他機種で ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールされていない方**

下記の手順 **1** ～ **3** に従って他機種のデータをこの製品に移します。

● **他機種で ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールしてお使いの方**

次ページの手順 **2** ～ **3** に従って他機種のデータをこの製品に移します。

1. ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールする

☞ 7-4 ～ 11 ページ

①この製品の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。

② ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールします。

・**ActiveSync の場合**
インストール時、「同期オプション」画面で「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「お気に入り」にチェックを付けます。

・**Windows Mobile デバイスセンターの場合**
インストール時、「同期する項目の種類」画面で「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「モバイルのお気に入り」にチェックを付けます。

2. ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使って他機種のデータをパソコンに移す

①他機種の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。

②他機種とパソコンを接続します。

③移したいデータの項目を確認して、他機種のデータをパソコンに移します。
Microsoft Outlook と他機種との間で同期が行われ、Microsoft Outlook と他機種のデータが同じ状態になります。

3. ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってパソコンのデータをこの製品に移す

☞ 7-12 ～ 13 ページ

①この製品の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。

②この製品とパソコンを接続します。

③「同期オプション」画面または「同期する項目の種類」画面で移したいデータの項目を確認して、パソコンのデータをこの製品に移します。
Microsoft Outlook とこの製品との間で同期が行われます。この製品に何もデータが入っていない状態では、Microsoft Outlook に移した他機種のデータがこの製品に移ります。

携帯電話のデータをこの製品に移すときは

赤外線通信を使って、携帯電話の電話帳などに登録されている住所や電話番号などをこの製品に移すことができます（☞ 7-31 ページ）。

同期ができないときは

パソコンと同期できない、エラーメッセージが表示されるときは、以下の内容をご確認ください。

同期できないときは

USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続してみてください（☞下記）。

USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続する

7-4、7-10 ページの方法でインストールしたあと接続できないときは、USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して試してください（☞ 7-12 ページ）。

1. **パソコンからこの製品を取り外します。**
2. **この製品の USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外し、ok をタップします。**
3. **パソコンとこの製品を接続します。**
4. **「Pocket PC 同期セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されますので、7-6 ページの手順 8 以降をご覧になり操作します。**

「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外しても同期できないときは

以下の内容をご確認ください。

こんなときは	ここをお確かめください
● インストール直後、同期できず、エラー（「サポートコード：85010014」）が表示される。	● Microsoft Outlook を起動し、「ヘルプ」メニュー－「アプリケーションの自動修復」をクリックします。 自動修復完了後、Windows のプログラムの追加と削除画面で Microsoft ActiveSync を選択し [変更] をクリックします。表示された画面で [次へ] をクリックし、次の画面で「修復」を選択し [次へ] をクリックします。

こんなときは	ここをお確かめください
●「Outlook を既定の設定にしてください」と表示され同期できない。 ●「デフォルトのメールクライアントを設定されていないか、現在のメールクライアントがメールを受け取れない状態にあります。Microsoft Outlook を起動してデフォルトのメールクライアントに指定してください。」と表示され同期できない。	● パソコンの“Internet Explorer”を起動し、「ツール」メニューー「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」の項目を「Microsoft Office Outlook」にします。
● AvtiveSync インストール後に Outlook をインストールしたり、Windows Media Player10 をインストールまたは Windows Media Player10 にアップグレードしたときは？	● ActiveSyncの修復を行ってください。修復の方法は、前ページの 1 つ目の「ここをお確かめください」をご覧ください。
● エラー（「サポートコード: 8503001f」）が表示され同期できない。 ●「プロファイル保護がかかっています。プロファイルを作成し直してください。」と表示され同期できない。 ●「電子メールは既に Windows PC と同期しているため同期できません。」と表示され電子メールの同期ができない。 ● エラー（「サポートコード: 80072EE2」）が表示され同期できない。	● 現在の同期設定を削除（モバイルデバイスの削除）し、再度、モバイルデバイスを作り直します。 パソコンとこの製品の接続を外して、パソコンとこの製品に設定されているモバイルデバイスを削除してください。削除後、再度同期を行うと新しいモバイルデバイスが設定されます。 以下の方法でモバイルデバイスを削除してください。 パソコン：ActiveSync 画面の「ファイル」メニューの「モバイルデバイスの削除」をクリックして確認画面で [はい] をクリックします。 この製品：プログラム画面で“ActiveSync”をタップし表示された ActiveSync 画面で メニュー － オプション をタップし、オプション画面で 削除 をタップして確認画面で はい をタップします。 パソコンとこの製品の両方のモバイルデバイスを削除した後、USB ケーブルで接続すると「同期セットアップウィザード」画面が表示されますので画面にしたがって操作して同期を行ってください。

どうしても同期ができないときは

Outlook を使える状態にしても同期できないときや前ページの方法でも同期できないときは、Outlook と ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをいったんアンインストールしてください。その後、再度インストールしてみてください。

データ通信

パソコンとこの製品を付属のUSBケーブルで接続すると、この製品をモデム（パソコンと接続してインターネットに接続したり、メール送受信するための機器）として利用できます。

この製品では、次のデータ通信方式が利用できます。

- 64kPIAFS（ベストエフォート）
- 64kPIAFS（ギャランティ）
- 32kPIAFS
- フレックスチェンジ方式
- 1xパケット方式
- 2xパケット方式
- 4xパケット方式

● 64kPIAFS（ベストエフォート）

ウィルコムが提供する最大通信速度64kbpsのデータ通信方式です。基地局の利用状況や電波の状況により64kbpsと32kbpsをフレキシブルに選択し、切れにくい通信環境を実現する方式です。

● 64kPIAFS（ギャランティ）

64kbps固定のデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できないときは回線を切断します。

● 32kPIAFS

PHSの通信標準規格で、最大通信速度32kbpsの通信を行う方式です。

● フレックスチェンジ方式

ウィルコムが提供する1xパケット方式／2xパケット方式と64kbps（ベストエフォート）の通信方式を送受信するデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。スムーズな通信環境を実現できます。

ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

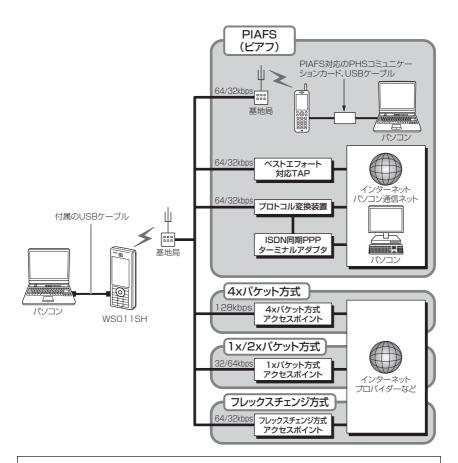
● 1xパケット方式／2xパケット方式

ウィルコムが提供する最大通信速度32kbps/64kbpsのパケット通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。ご利用になるには、ウィルコムの1x／2xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

※2xパケット方式を利用するときも1xパケット方式対応の料金コースに契約します。

● 4xパケット方式

ウィルコムが提供する最大通信速度128kbpsのパケット通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。ご利用になるには、ウィルコムの4xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

※W-OAMに対応しているエリア内では4xパケット方式通信時、最大204kbpsの通信ができます。

ウィルコムのデータ通信に関するお問い合わせ窓口

- この製品から　局番なしの **157**（無料）
- 一般加入電話／公衆電話から　**0120-921-157**（無料）
  （携帯電話・PHS からもかけられます）

受付時間：9:00 ～ 19:00（日・祝日も受付）　(2007 年 6 月現在)

7 パソコンとの連携

データ通信

データ通信の準備

パソコンとこの製品を USB ケーブルで接続する前に次の準備が必要です。

① USB モデムドライバをパソコンへインストールする

パソコンにドライバをインストールする必要があります。

データ通信用のドライバをインストールするパソコンの環境

OS

- Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 2）
- Microsoft Windows XP Home（Service Pack 2）
- Microsoft Windows 2000（Service Pack 4）
- Microsoft Windows Vista

その他

- USB ポート
- CD-ROM ドライブ
- 256 色以上の VGA グラフィックスカード
  または互換性のあるビデオグラフィックスアダプタ
- キーボード
- Microsoft マウスまたは互換性のあるポインティングデバイス

ご注意
- **次のようなパソコンでの動作は保証できません。**
  - ・自作パソコン
  - ・OS をアップグレードしたり入れ替えたパソコン
  - ・ご自分で追加した USB ポートをお使いのとき
  - ・USB ハブなどを経由した接続のとき
  - ・パソコンにこの製品以外の USB 機器が接続されているとき

■ パソコンの OS が Windows XP の場合

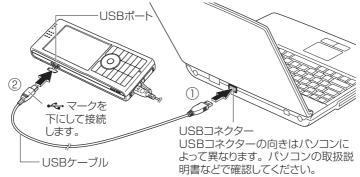
このページから説明している手順にしたがって操作してください。
パソコンの OS が Windows Vista の場合は、7-24 ページをご覧ください。

1 この製品を設定します。

1. スタート メニューの “設定” をタップし、接続 タブをタップします。
2. “USB 接続” をタップし、「モデムとして使用する。」にチェックを付けます。

2 パソコンを設定します。

1. 付属の CD-ROM をパソコンにセットします。
2. しばらくすると、「Windows Mobile デバイスはじめに」画面が表示されますので、［閉じる］をクリックして画面を閉じます。

3 この製品にACアダプターを接続し、①、②の順でパソコンとこの製品を付属のUSBケーブルを使って接続します。

以降は、Microsoft Windows XP Home（Service Pack 2）を例に説明いたします。

4 パソコンの画面に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始」画面が表示されます。

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で、「ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？」と表示されている場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ] をクリックします。

5 表示された画面で、「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックします。

6 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」にチェックを付けます。

7 「次の場所を含める」の入力欄に「D: ¥OEM ¥USB_Modem_Driver」（CD ドライブが D ドライブの場合の例です。ご使用のパソコンに合わせて設定してください。）を入力し、［次へ］をクリックします。

8 右記のような「ハードウェアのインストール」画面で「合格していません」と表示されますが、［続行］をクリックします。

インストールが始まります。

9 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、[完了]をクリックします。

続いて、この製品の通信方法をモデムに設定します。次ページの②に進んでください。

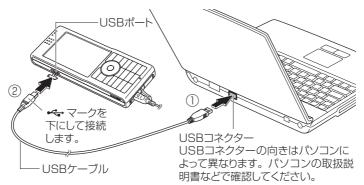
■ パソコンのOSがWindows Vistaの場合

このページから説明している手順にしたがって操作してください。
パソコンのOSがWindows XPの場合は、7-22ページをご覧ください。

1 この製品を設定します。

スタート − 設定 − 接続 タブ− USB接続 をタップし、「モデムとして使用する。」を選択します。

2 付属のCD-ROMをパソコンにセットします。自動的に画面が表示されますので、画面を閉じます。

3 この製品にACアダプターを接続し、下図のように①、②の順でパソコンとこの製品を付属のUSBケーブルで接続します。

4 パソコンに「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示されたら、「ドライバソフトウェアを検索してインストールします」をクリックして選択します。

5 ユーザーアカウント制御画面が表示されたら[続行]をクリックします。

6 「新しいハードウェアの検出」画面が表示されたら「オンラインで検索しません」をクリックします。

表示されないときは、次の手順に進みます。

7 「ディスクを挿入してください」と表示されたら、[次へ]をクリックします。

8 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。

9 「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。

②この製品の通信方式をモデムに設定する

1 スタートメニューの “設定”をタップします。
設定画面が表示されます。

2 設定画面(接続タブ)で “USB 接続”をタップします。
USB 接続画面が表示されます。

3 USB 接続画面で、「モデムとして使用する。」にチェックを付けます。

4 okをタップし、設定を保存します。
この製品をデータ通信機器として使用できます。

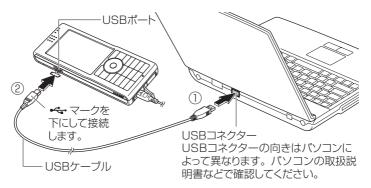
パソコンとこの製品を接続する

ここでは、ドライバをパソコンにインストールしているものとして説明します。

パソコンとこの製品を接続する

付属の USB ケーブルを使ってパソコンとこの製品を接続します。

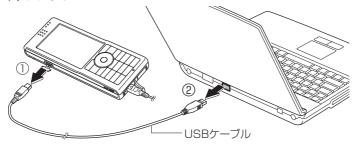
1 **データ通信ができる設定になっていることを確認します（☞前ページ）。**

2 **パソコンを起動し、下図のように①②の順でこの製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。**

ご注意 ● USB ケーブルは、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。USB ハブや USB 延長ケーブルを使って接続すると正しく動作しないことがあります。

MEMO ● この製品の充電池の消耗を少なくするために、この製品に AC アダプターを接続してデータ通信を行うことをおすすめします。

パソコンとこの製品を取り外す

データ通信終了後、以下のようにして取り外します。

1 **パソコンを起動したまま、下図のように①②の順で USB ケーブルを外します。**

データ通信（発信）を行う

この製品に接続しているパソコンからデータの発信などを行います。

ご注意
- この製品では、データ（着信）通信はできません。
- ダイヤルロック（通話／通信機能の制限）や W-SIM ロックを設定（☞ 3-33 ～ 35 ページ）しているときは、データ通信も利用できません。

準備

データ通信を使ってインターネットに接続する前に、インターネットに接続するための設定（接続アカウント、パスワード、アクセスポイントなど）を行ってください。これらの情報を設定していないと、インターネットなどに接続できません。

1 この製品を接続しているパソコンなどからデータ通信の発信操作を行います。

パソコンなどでアクセスポイントの電話番号を設定するときは、電話番号に続けて次の記号と数字を入力します。

通信方式	電話番号に続けて入力
64kPIAFS（ベストエフォート、ギャランティ）	##4
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式	##7
1xパケット方式	##61
2xパケット方式／4xパケット方式	##64

※64kPIAFSと32kPIAFSの通信方式は、分計発信ができます。
分計発信するときは、電話番号+記号（##4や##3など）の後に「,01」を追加します（例:03-XXXX-XXXX##4,01）。

この製品の画面（タイトルバー）上に、通信中であることを示すアイコンが表示されます。

64BE：64kPIAFS（ベストエフォート）　64GR：64kPIAFS（ギャランティ）
32PF：32kPIAFS　FC：フレックスチェンジ方式
PT：1x パケット方式／ 2x パケット方式／ 4x パケット方式

2 パソコンなどからデータ通信を終了する操作を行います。

MEMO
- データ通信を行う前に、この製品に AC アダプターを接続するか、この製品の充電池残量が十分であることを確認してください。
- データ通信を行うためのパソコン側のくわしい設定や操作については、パソコンの説明書などをご覧ください。
- 発信者番号の通知／非通知は、発信者番号通知設定（☞ 3-32 ページ）にしたがいます。
- データ通信をしたときの電話番号は発信履歴に保存されません。

USB ホストとして使う

この製品は、USB ホスト機能を持っています。
USB メモリや USB キーボードなどと接続して利用することができます。
USB 周辺機器を接続する場合は、別途 USB ホストケーブルが必要です。

- インターネットやメールの送受信など、通信しているときに USB 機器を取り外さないでください。通信が切断されることがあります。

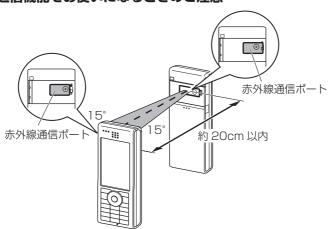
赤外線通信をする

この製品と別のWS011SHや赤外線通信機能を搭載したWindows Mobile端末などとデータの送信や受信ができます。

	プログラム	起動時のメニューの名称（送信方法）	送信相手
① (次ページ)	予定表、連絡先、仕事、メモ、ファイル (※ 1)	ビーム	Windows Mobile搭載機（WS011SHを含む）
② (7-31ページ)	連絡先	赤外線通信	携帯電話
③ (7-33ページ)	画像とビデオ (※ 2)	IrSS(※ 2)	IrSS対応機器
④ (7-34ページ)	データ交換（※ 3）	赤外線送信、赤外線受信	WS011SH

※ 1：Word Mobileファイル、Excel Mobileファイル、動画ファイル、静止画ファイルなど
※ 2："画像とビデオ"で表示するJPEG形式の静止画ファイルが対象となります。
※ 3：この製品に保存している自分の名前や住所などの個人情報を他のWS011SHに送信します。

- この製品の赤外線通信機能は、IrDA® の規格に準拠しています。
- "画像とビデオ"を起動して表示されるマイピクチャフォルダ内の静止画を選択した場合に、高速赤外線通信（IrSS）ができます。
- IrSSとは、IrSimple1.0準拠の片方向の通信機能（Home Application Profile）のことです。

■ 赤外線通信機能をお使いになるときのご注意

・受信側と送信側の機器の赤外線通信ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
・データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線通信ポートを向かい合わせたままにして、動かさないでください。
・直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
・赤外線通信ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で軽く拭きとってください。
・充電池の残量が十分にあることを確認するか、ACアダプターを接続してから赤外線通信を行ってください。

・すべての赤外線通信機器とのデータ通信を保証するものではありません。また、赤外線通信機器によっては、送受信できないデータがあります。
・赤外線通信中は消費電力が大きくなります。内蔵ワイヤレスLANを使用可能な状態にしていたり、USB、microSDなどの接続機器によっては、充電池残量の警告メッセージが表示されずに電源オフになることがあります。

データを受信するための準備（受信側の設定）

赤外線通信を使ってこの製品でデータを受信するとき、受信側の設定が必要になります。以下の方法で受信できる状態にしてください。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、接続 タブをタップして、“ビーム” をタップします。**

2 **「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付け ok をタップします。**
赤外線機能で受信できる状態になります。
データを受信するとき、受信側はToday画面（待ち受け画面）にしておくことをおすすめします。

MEMO
● 赤外線通信を行っていないときも、「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付けたままにしておくと、充電池の消耗が早くなります。赤外線通信を行わないときは、チェックを外すことをおすすめします。

予定表などのデータやファイルを送受信する（①の方法）

予定表／連絡先／仕事／メモのデータやファイル（Word Mobile、Excel Mobile、動画／静止画などのファイル）を別のWS011SHや赤外線通信機能を搭載したWindows Mobile端末などの間で送受信できます。ここでは例として、この製品と他のWS011SHの間でファイルを送受信する方法を説明します。予定表／連絡先／仕事／メモのデータも同じようにして送受信できます。

1 **受信側：上記の「データを受信するための準備（受信側の設定）」にしたがって、データ受信ができる状態にします。**

2 **送信側：スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

3 **送信側：プログラム画面の “ファイルエクスプローラ” をタップして、送信するファイルを選びます。**

4 **送信側：画面右下の メニュー － ファイルをビームする をタップします。**
自動的に送信相手をさがします。

5 受信側：確認メッセージが表示されますので、はい をタップします。
データが受信されます。

6 送信側：送信が終わったら、ok をタップします。
元の画面に戻ります。

携帯電話と“連絡先”のデータを送受信する（②の方法）

“連絡先”のデータと携帯電話の電話帳などに登録している住所や電話番号などのデータを送受信することができます。お使いの携帯電話の説明書もあわせてご覧ください。
※すべての携帯電話とのデータ通信を保証するものではありません。

- 携帯電話と送受信できるデータは“連絡先”のみです。“予定表”、“仕事”、“メモ”などのデータは送受信できません。
- **認証パスワードについて**
  全件データの送受信には、認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは赤外線通信のための専用のパスワードです。送信側・受信側で同じ数字を入力します。送受信を始める前にお好きな 4 桁の数字を決めてください。

携帯電話に“連絡先”のデータを送信する

“連絡先”のデータが携帯電話や PHS 端末の電話帳などに登録されます。
データは 1 件ずつ送信する方法と、全件まとめて送信する方法があります。

■ データを 1 件ずつ送信する

1 送信側：スタート メニューの “連絡先”をタップして、送信する“連絡先”のデータを一覧画面で選びます。

2 送信側：画面右下の メニュー ー 赤外線通信 ー 1 件送信 をタップします。

3 受信側：赤外線通信でデータを受信できる状態にします。

4 送信側：確認画面で はい をタップします。
選択したデータが送信されます。

5 送信側：送信が終わると、「送信が完了しました」と表示されます。

- Windows Mobile端末とのデータ送受信は、前ページの方法（ビーム）を使用します。

7 パソコンとの連携
赤外線通信

■ データを全件送信する

受信側は、赤外線通信でデータを受信できる状態にしておきます。

1 送信側：スタートメニューの "連絡先"をタップします。

2 送信側：画面右下のメニュー－赤外線通信－全件送信をタップします。

3 送信側：確認画面ではいをタップします。

認証パスワードの入力画面が表示されます。

4 送信側：認証パスワードを入力して、OKをタップします。

5 受信側：認証パスワードを入力します。

機種によっては、認証パスワードの前に暗証番号の入力が必要です。
受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。

MEMO
- "連絡先"のデータを全件送信した場合、データ交換（☞ 7-34 ページ）のときに送信する情報（自分の名前／住所／電話番号など）も送信されます。

携帯電話のデータを受信する

携帯電話の電話帳などに登録されている住所や電話番号などのデータを受信します。
受信したデータはこの製品の"連絡先"に登録されます。

1 送信側：携帯電話でデータを送信します。

2 受信側：確認画面ではいをタップします。

データが"連絡先"に登録されます。
「××を連絡先に保存しますか？」と表示された場合は、画面左下のはいをタップします。

JPEG 形式の静止画を高速赤外線通信で送信する（③の方法）

高速赤外線通信を利用して、“画像とビデオ”の画面で表示される JPEG 形式の静止画を IrSS 対応機器に送信できます。

MEMO
- IIrSS とは、IrSimple1.0 準拠の片方向通信機能（Home Application Profile）です。
- IrSS は片方向通信のため、受信側が受信待ち状態になっていなくても送信します。このため、受信側が受け取れない場合でも送信側は正常に終了します。

1 送信側：スタートメニューの“プログラム”をタップします。

2 送信側：プログラム画面の“画像とビデオ”をタップして、送信する静止画を選びます。

3 受信側：高速赤外線通信で受信できる状態にします。

4 送信側：画面右下のメニュー－IrSSをタップします。

5 送信側：確認画面ではいをタップします。

選択したデータが送信されます。

データ交換（④の方法）

この製品に保存している自分の名前／住所／電話番号などの情報を他の WS011SH に送信したり、相手の名前／住所／電話番号などの情報を受信します。

■ 準備

はじめてデータ交換を行うときは、自分の名前／住所／電話番号などの情報を入力する必要があります。

1 プログラム画面を表示し、“データ交換”をタップします。

2 表示された画面で、赤外線 送信 をタップします。

3 個人情報を入力する画面が表示されますので、名前、住所、電話番号などを入力します。

MEMO
- オーナー情報（☞ 9-5 ページ）に名前や住所などを入力しているときは、画面右下の 情報取得 をタップするとオーナー情報が個人情報入力画面に入ります。

4 情報を入力した後、ok をタップします。

データを交換する

1 送信側：送信する自分の情報を保存していることを確認します。保存していないときは、上記の準備をご覧になり保存してください。

2 受信側：プログラム画面を表示して “データ交換”をタップし、表示された画面で、赤外線 受信 をタップします。

3 送信側：プログラム画面を表示して “データ交換”をタップし、表示された画面で、赤外線 送信 をタップします。

相手を見付けて、情報を送信します。

4 受信側：確認画面が表示されますので、はい をタップします。さらに「XX を連絡先に保存しますか？」と表示された場合は、画面左下の はい をタップします。

データが受信されます。

5 送信と受信が終わると、送信側と受信側の両方とも表示された画面で ok をタップします。

送信側の情報がこの製品の連絡先に保存されます。

MEMO
- 保存した情報を修正・変更するときは、プログラム画面で “データ交換”をタップし表示された画面で、画面右下の プロフィールを編集 をタップします。個人情報を入力する画面になりますので、修正・変更します。修正・変更後、ok をタップします。

遠隔的にパソコンの操作を行う（リモートデスクトップモバイル）

リモートデスクトップモバイルは、USB ケーブル（ActiveSync、Windows Mobile デバイスセンター）やワイヤレス LAN を経由してこの製品上でパソコンの画面を表示するものです。

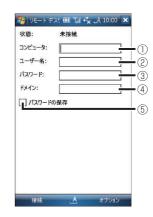
遠隔的にパソコンの操作を行う

1 スタート メニューの “プログラム”をタップします。

2 プログラム画面で “リモートデスクトップモバイル”をタップします。

リモートデスクトップモバイルの状態表示画面が表示されます。

3 接続に必要な情報を入力します。

① IP アドレスまたは接続するパソコンの名前を入力します。
② パソコンに設定しているユーザー名を入力します。
③ パソコンに設定しているパスワードを入力します。
④ 接続するパソコンのドメインを入力します。
⑤ 入力したパスワードを保存するときは、チェックを付けます。

4 画面左下の 接続 をタップします。

MEMO
- 表示や音声の設定を行うときは、リモートデスクトップモバイルの状態表示画面で、画面右下の オプション をタップし設定を行います。

8章　その他の機能

バックアップする（Sprite Backup）

バックアップは、この製品に保存しているデータ（☞下記「バックアップできないデータ」以外のデータ）を１つのファイル（バックアップファイル）として microSD カードまたは本体にバックアップします。
microSD カードを取り付けているときは自動的に microSD カードにバックアップし、microSD カードを取り付けていないときは本体メモリにバックアップします。
また、microSD カードまたは本体にバックアップしたファイルを本体に復元します。

バックアップ／復元には「基本モード」と「拡張モード」の２つのモードがあり、目的によって使い分けができます。
・「基本モード」は、この製品に保存しているデータ（☞下記「バックアップできないデータ」以外のデータ）をバックアップします。また、一番新しいバックアップファイルを復元します。
・「拡張モード」は、指定したフォルダやファイルだけをバックアップします。また、複数のバックアップファイルがあるとき、バックアップファイルを選択して復元できます。

●バックアップできないデータ

以下のデータはバックアップできません。
・PIN コード
・パスワード

● Sprite Backup の動作やバックアップファイルの保存に必要な空き容量

Sprite Backup 動作用
本体メモリに約 10MB の空きが必要です。

microSD カードにバックアップファイルを保存するとき
「データ記憶用の使用領域（使用している容量）」＋「約 5MB」の空き容量が必要です（データ記憶用の使用領域は、 スタート － 設定 － システム タブ－ メモリ をタップして表示されるメモリ画面（ メイン タブ）で確認できます）。

本体メモリにバックアップファイルを保存するとき
Sprite Backup 動作用のメモリ（約 10MB）＋「データ記憶用の使用領域（使用している容量）」＋「約 5MB」の空き容量が必要です。

※設定（☞ 8-9 ページ）によってはデータを圧縮してバックアップファイルを作れますが、保存しているデータによって圧縮率が変わるため上記の空き容量を確保することをおすすめします。

●復元について

復元は、本体メモリにバックアップファイル内のファイルを上書きします。
本体メモリに同じファイル名のファイルがある場合は、バックアップファイル内のファイルに置き換わります。
※バックアップした後に画像ファイルや Word Mobile などのファイルを本体に保存するとバックアップファイル内にないファイルが存在し、復元を行ってもそのファイルは本体メモリに残ります。

- バックアップを行う前に、すべてのプログラム（ホームページ閲覧、連絡先などのデータ入力など）を終了してください。
- バックアップ中や復元中には、次のことを行わないでください。
  - ・プログラムを起動するなどこの製品を動作させないでください。また、アラームなど自動的に起動する設定は、設定を解除した後にバックアップを行ってください。
    バックアップ中にプログラムを起動すると、中途半端な状態のデータをバックアップすることがあります。
  - ・通信（ワイヤレス LAN、PHS 電話機能、赤外線通信）を行わないでください。
- 復元中に、復元を中止（キャンセル）しないでください。中止したときは、システムが不安定な状態になることがありますので、いったん、完全消去（フォーマット）した後、再度、復元してください。
- 本体の動作が不安定な状態でバックアップは行わないでください。壊れたファイルをバックアップすることがあります。このバックアップファイルを復元すると不安定な状態を復元することになります。
- この製品にカードリーダーなどの USB 機器を接続した状態でバックアップや復元を行わないでください。
- プロテクトがかかっているデータやプログラム、著作権情報付きの音楽データなどを含んでいるバックアップファイルを復元した場合、これらのデータは復元できないことがあります。
  プログラムやデータ提供元にご確認の上、パソコン等に保存するようにしてください。
- バックアップや復元を行うときは、AC アダプターを接続してからバックアップや復元を行ってください。
- バックアップや復元後は、無線 ON ／ OFF 画面（☞ 2-9、3-46 ページ）の W-SIM（PHS）は「ON」になり内蔵ワイヤレス LAN は「OFF」になります。バックアップや復元前の状態と異なる場合は、無線 ON ／ OFF 画面を表示して設定を変更してください。

「基本モード」でバックアップする

この製品に保存している全データをバックアップします。

1 本体に microSD カードを取り付けます（☞ 1-65 ページ）。

MEMO
- PIN コードを設定している場合は、PIN ロックの設定を解除してください（☞ 3-35 ページ）。

2 スタート メニューの “プログラム” をタップし、プログラム画面で “Sprite Backup” をタップします。

Sprite Backup が起動し、基本モード画面が表示されます。

拡張モード画面が表示されたときは、オプション － 基本モードへ切り替え をタップします。

3 即時バックアップ をタップします。

MEMO
- microSD カードを取り付けていないときは、即時バックアップ をタップすると手順 **4** の前に確認画面が表示されますので、はい をタップします。

4 表示されたパスワード入力画面で、パスワード（半角英数字 6 文字以上 15 文字以下）を入力します。確認の入力欄にも同じパスワードを入力し、画面左下の OK をタップします。

このパスワードはバックアップファイル用のパスワードで、バックアップファイルごとに設定できます。

MEMO
- パスワードは、バックアップファイルを復元するときに必要になります（☞ 次ページ、8-8 ページ）。入力したパスワードは忘れないようにしてください。

5 表示された確認画面の内容をご覧になり、画面左下の OK をタップします。

6 自動的にリセットが行われ、バックアップが始まります。

7 バックアップ終了後、自動的にリセットが行われます。

8 しばらくすると Today 画面が表示されます。さらにしばらくすると「バックアップが完了しました。」の画面が表示されます。

9 **OK をタップすると、一連の動作が終了します。**

レポート表示 をタップするとバックアップの作業内容が表示されます。
本体のデータは、1つのバックアップファイルとして microSD カードに保存されます。microSD カードを取り付けていないときは、本体メモリに保存されます。
1つ目のバックアップファイル名は、Backup_YYYY-MM-DD となります。
たとえば、2007年10月17日にバックアップを行うと、「Backup_2007-10-17」となります。同じ日にバックアップを行うと、「Backup_2007-10-17_1」となり「_1」が付きます。さらにバックアップを行うと、「Backup_2007-10-17_2」となり最後の数字が増えていきます。

MEMO
- バックアップ時、バックアップファイルを圧縮する／しない、暗号化する／しないなどを設定できます。各種設定については、8-9 ページをご覧ください。

「基本モード」でバックアップしたデータを復元する

「基本モード」でバックアップした一番新しいバックアップファイルを復元します。
すでに複数のバックアップファイルがあり、この中から1つのバックアップファイルを指定して復元する場合は、「「拡張モード」で復元する」(☞ 8-8 ページ)をご覧ください。

1 **バックアップファイルを保存している microSD カードを本体に取り付けます。**

本体に保存しているバックアップファイルを復元するときは、手順 **2** からはじめます。

2 **スタート メニューの “プログラム”をタップし、プログラム画面で “Sprite Backup”をタップします。**

Sprite Backup が起動し、基本モード画面が表示されます。
拡張モード画面が表示されたときは、オプション － 基本モードへ切り替え をタップします。

3 **即時復元 をタップします。**

4 **パスワード入力画面で、バックアップ時に入力したパスワードを入力し、画面左下の OK をタップします。**

5 **表示された確認画面の内容をご覧になり、OK をタップします。**

6 **自動的にリセットが行われ、復元が始まります。**

7 **復元完了後、自動的にリセットが行われます。**

8 **しばらくすると Today 画面が表示されます。さらにしばらくすると「復元が完了しました。」の画面が表示されます。**

9 **OK をタップすると、一連の動作が終了します。**

レポート表示 をタップすると復元の作業内容が表示されます。

- 復元前と復元後のデータについて
  - ・連絡先や予定表、設定（一部除く）などのデータは、バックアップファイルの内容に置き換わります。
  - ・画像ファイルや Word Mobile、Excel Mobile などのファイルは、復元するファイルと同じファイル名があるときは上書きし、同じファイル名がないときは、そのまま残ります。8-2 ページの「復元について」もご覧ください。

「拡張モード」でバックアップする

「拡張モード」は、指定したフォルダやファイルだけをバックアップします。

1 **本体に microSD カードを取り付けます。**

2 **スタート メニューの “プログラム” をタップし、プログラム画面で “Sprite Backup” をタップします。**

Sprite Backup が起動します。

基本モード画面が表示されたときは、オプション － 拡張モードへ切り替え をタップします。

3 **拡張モード画面で、バックアップするフォルダやファイルにチェックを付け ... をタップします。**

＋ をタップするとその下の階層にあるフォルダが表示されます。

① チェックを付けた項目をバックアップします。

② タップすると、バックアップファイルの説明（コメント）を入力できます。

MEMO

- 「E メール」フォルダは、メール（Outlook）のデータです。W-ZERO3 メールのデータは選択できません。

4 「名前」欄に、ファイル名を入力します。
また、必要に応じて場所（My Documents（本体）または microSD カードの選択）、フォルダの選択、バックアップファイルの説明を入力して画面左下の OK をタップします。

5 拡張モード画面が表示されたら、画面左下の バックアップ をタップします。

6 表示されたパスワード入力画面で、パスワード（半角英数字 6 文字以上 15 文字以下）を入力します。確認の入力欄にも同じパスワードを入力し、 OK をタップします。

このパスワードはバックアップファイル用のパスワードで、バックアップファイルごとに設定できます。

- パスワードは、バックアップファイルを復元するときに必要になります。入力したパスワードは忘れないようにしてください。

7 以下、8-4 ページの手順 **5** 以降と同様にしてバックアップを行います。

「拡張モード」で復元する

バックアップファイルが複数ある場合、この方法でバックアップファイルを選択し復元します。

1 **バックアップファイルを保存している microSD カードを本体に取り付けます。**

本体に保存しているバックアップファイルを復元するときは、手順 **2** からはじめます。

2 **Sprite Backup 画面（「拡張」モード）を表示し、画面右下の オプション ー 復元 をタップします。**

3 **… をタップします。**

4 **表示された画面で、バックアップファイルを選択し画面左下の OK をタップします。**

MEMO

- リストには、microSD カードと本体に保存しているバックアップファイルの両方が表示されます。

5 **表示された画面で、パスワードを入力して OK をタップします。入力するパスワードは、バックアップを行ったときに入力したパスワードです。**

6 **Sprite Backup 画面（「拡張」モード）に戻りますので、画面左下の 復元 をタップします。**

7 **以下、8-5 ページの手順 5 以降と同様にして復元を行います。**

復元前と復元後のデータについては、8-6 ページ手順 **9** の下のメモをご覧ください。

バックアップ時の設定を行う

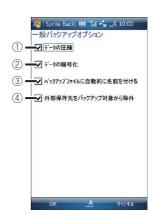
バックアップ時、圧縮や暗号化してバックアップファイルを作ったり、自動的にバックアップファイル名を付ける設定などができます。

■ 一般バックアップオプション

拡張モード画面で、オプション－バックアップ・オプション－一般バックアップオプションをタップします。

① **データの圧縮**
圧縮してバックアップファイルを作ります。

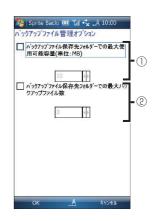
② **データの暗号化**
バックアップファイルを暗号化します。
※このチェックは外さないようにしてください。

③ **バックアップファイルに自動的に名前を付ける**
バックアップ時、自動的にファイル名（「Backup_YYYY-MM-DD）を付けます。（たとえば、2007 年 10 月 17 日にバックアップを行うと、「Backup_2007-10-17」となります。同じ日にバックアップを行うと、「Backup_2007-10-17_1」となり「_1」が付きます。さらにバックアップを行うと、「Backup_2007-10-17_2」となり最後の数字が増えていきます。）

④ **外部保存先をバックアップ対象から除外**
バックアップファイルに外部保存先を除外する／しないを設定します。

■ バックアップファイル管理

オプション－バックアップ・オプション－バックアップファイル管理をタップします。

① 保存先フォルダの容量の上限を設定します。バックアップ実行時、新規ファイル作成のために十分な空きスペースがない場合には、日付が一番古いファイルから削除し、充分な空き容量が確保できてからバックアップを実行します。

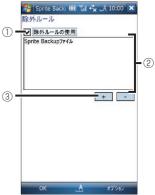
② バックアップファイル数の上限を設定します。フォルダ内のファイル数が最大になっているときは、日付の一番古いファイルを削除し新しいファイルを保存します。

■ 除外ルール

バックアップ時、除外ルールのリストに表示されているファイルをバックアップしないようにします。

[オプション] ー [バックアップ・オプション] ー [除外ルール] をタップします。

① 「除外ルールの使用」にチェックを付けます。

② ③で入力したファイル名などが表示されます。

③ [+] をタップして表示された画面で除外するファイル名などを入力し、画面左下の [OK] をタップします。
ファイル名を入力するとき、「¥temp」など階層（ディレクトリ）も入力します。

MEMO

● 除外ルールのリストにある「Sprite Backup ファイル」は、Sprite Backup でバックアップしたファイルのことです。
● プログラムなど（*.EXE、*.DLL）を除外するときは、除外ルール画面の [オプション] ー [除外プログラム] をタップします。
● 除外ルールのリストにあるファイルなどを外すときは、項目を選択し、[ー] をタップします。
「Sprite Backup ファイル」を外したあと、再度、リストに入れる場合は [オプション] ー [除外 Sprite Backup ファイル] をタップします。

拡張モードのオプションのメニュー

復元	拡張モードで復元を行う。
バックアップオプション	バックアップ時、データの圧縮や暗号化などの設定を行う（☞前ページ）。
バックアップ履歴表示	バックアップを行った履歴を表示する。
登録する	ネットワーク接続中に、[オプション] ー [登録する] をタップし、表示された画面で名前やメールアドレスなどを入力して画面左下の [OK] をタップすると、Sprite Software 社に登録が行なわれます。登録後、Sprite Software 社から各種情報が送られてきます。
バージョン情報	バージョンを表示する。
ヘルプ	ヘルプを表示する。
基本モードへ切り替え	基本モードへ切り替える（☞ 8-4 ページ）。
終了	Sprite Backup を終了する。

ファイルを管理する（ファイルエクスプローラ）

ファイルエクスプローラを使うと新規にフォルダを作成したり、ファイルのコピーやフォルダを移動させるなど、ファイルの管理ができます。
ここでは、ファイルエクスプローラの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。フォルダやファイルをコピー・移動する方法については 1-68 〜 69 ページをご覧ください。

ファイルエクスプローラの使いかた

1 スタート メニューの “プログラム” をタップします。

2 プログラム画面の “ファイルエクスプローラ” をタップします。

ファイルエクスプローラの画面が表示され、「My Documents」などのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

① タップすると現在表示中のフォルダ階層より、上のフォルダ階層へ移動できます。
② タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。 並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。
③ フォルダをタップすると、フォルダ内のファイル一覧が表示されます。ファイルをタップすると、そのプログラムが起動してファイルを開きます。
④ 現在表示中のフォルダ階層より、1 つ上のフォルダ階層へ移動します。

ご注意
- ファイルエクスプローラを使うと Windows のシステムファイルなどが見られますが、誤って削除したりすると正常に動作しなくなる恐れがあります。

- ファイルをタップしてもそのファイルが開かないときは、プログラムを起動して、そのプログラムからファイルを開いてみてください。

ファイルをメールに添付して送る

1 **送信したいファイルをタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **送信 をタップします。**

「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。

ファイルを添付したメールの送信メッセージ作成画面が表示されます。

MEMO
- 送信したいファイルを選択し、画面右下の メニュー － 送信 をタップしても同じ操作が行えます。

3 **宛先、件名、本文などを入力します。**

新規フォルダを作成する

ここでは「My Documents」フォルダの下に新しくフォルダを作ります。
別の階層にフォルダを作成するときは、「My Documents ▼」をタップし、フォルダを選んでください。

1 **ファイルエクスプローラ画面で「My Documents」フォルダを開きます。**

2 **画面右下の メニュー － 新しいフォルダ をタップします。**

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

① 新しくフォルダが作成されます。

- ファイルやフォルダのない空白部分をタップしたままにし、ポップアップメニューから 新しいフォルダ をタップしても新しいフォルダが作成されます。

3 **フォルダ名を入力します。**

フォルダやファイルの名前を変更する

1 名前を変更するファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから 名前の変更 をタップします。

MEMO ● 名前を変更するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー － 名前の変更 をタップしても名前の変更ができます。

3 名前を変更します。

MEMO ● 名前の変更をやめるときは、画面右下の メニュー － 編集 － 元に戻す 名前の変更 をタップして、元に戻します。

フォルダやファイルを削除する

1 削除するファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから 削除 をタップします。

削除の確認画面が表示されます。

MEMO ● 削除するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー － 削除 をタップしても削除の確認画面が表示されます。

3 はい をタップします。

ご注意
- **削除の取り消しはできません。**
  フォルダの削除を実行すると、フォルダ内のファイルやフォルダはすべて削除されます。
- エラーが表示され削除できないときは、そのファイルがプログラムから開かれていることが考えられます。
  関連するプログラムを終了（☞ 1-26 ページ）した後、削除してください。

フォルダやファイルを移動・コピーする

1-68 ページをご覧ください。

ファイルエクスプローラのメニュー

My Documents		「My Documents」のファイルとフォルダの一覧を表示する。
パスを開く		ネットワークに接続しているときパスを指定してネットワーク上の共有フォルダを開く。※指定したパスの履歴が残ります。履歴の編集はできません。
送信		タップすると選択しているファイルを添付したメッセージ作成画面を表示する(☞8-12ページ)。
ファイルをビームする		選択したファイルを赤外線通信で別のWS011SHなどに送信する。
最新の情報に更新		最新の状態に更新する。
すべてのファイルを表示		すべてのファイルを表示する。
新しいフォルダ		新しいフォルダを作成する(☞8-12ページ)。
名前の変更		フォルダやファイルの名前を変更する(☞前ページ)。
削除		フォルダやファイルを削除する(☞前ページ)。
編集	元に戻す	フォルダやファイルのコピー、名前の変更、移動の操作を元に戻す。
	切り取り	フォルダやファイルを切り取る(☞1-68ページ)。
	コピー	フォルダやファイルをコピーする(☞1-68ページ)。
	貼り付け	コピーおよび切り取ったフォルダやファイルを貼り付ける(☞1-68ページ)。
	ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダやファイルのショートカットを貼り付ける。
	すべて選択	すべてのフォルダやファイルを選択する。

Java™ アプリ

この製品には、Java アプリケーションを実行するための Java 実行環境「JBlend™」が搭載されています。
ゲームなどの Java アプリケーションを、インターネットからダウンロードしたり、パソコンや microSD カードからコピーして、この製品で利用できます。ダウンロード後、インストールしてください。インストールの方法はダウンロード先などを確認してください。

Java アプリケーションを起動する

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップし、“Java (TM) アプリ” をタップします。**

Java アプリケーションの一覧画面が表示されます。

2 **起動したい Java アプリケーションにすばやく 2 回タップします。**

Java アプリケーションが起動されます。
使用方法は、Java アプリケーションのヘルプなどをご覧ください。

MEMO

- この実行環境は、「J2ME CLDC-1.1 MIDP-2.0」に準拠しています。
- 画面右下の メニュー － アプリケーション － 削除 などでアプリケーションを削除するとアプリケーションを起動することはできませんが、元のファイル（インターネットなどからダウンロードしたファイル）はメモリに残っています。
- 本体メモリなどの容量を空けるときや不用になったときは、ダウンロードしたファイルもファイルエクスプローラを起動して削除します（ファイルによっては有料のものもありますので、削除にはご注意ください）。ダウンロードしたファイルを削除し再度インストールする場合は、ファイルを再度ダウンロードしてください。

Java™ アプリのメニュー

アプリケーション	削除	選択しているJavaアプリケーションを削除する。
	すべて削除	表示されているJavaアプリケーションを全て削除する。
	パーミッション	ネットワークに接続する前に確認画面を出す／出さないなどを設定する。
	情報	選択しているJavaアプリケーションのファイル情報などを表示する。
Java設定		Javaアプリケーションの使用中、常にバックライトを点灯するか設定する。
Java情報		バージョン情報を表示する。
終了		Java™アプリ（Java実行環境）を終了する。

NAVITIME を使う

NAVITIME を使うと、地図検索や目的地までの乗換検索、時刻表の検索などができます。
NAVITIME の多くのサービスは会員登録し有料のサービスになっています。これらのサービスをご利用になる場合は、NAVITIME のトップ画面（下記の手順 **3**）の 登録／インフォーメーション をタップし「4. 会員登録／解除」をタップして登録を行ってください。
また、各サービスを使うためにインターネットに接続します。オンラインサインアップをするなどして、インターネットに接続できるように設定しておいてください。

1 プログラム画面で、“NAVITIME”をタップします。

2 表示された画面で はい をタップします。

3 NAVITIME のトップ画面が表示されます。

4 乗換／時刻表をタップし、「1. 乗換検索」などをタップして各サービスを表示します。

5 必要な条件を入力して検索すると、検索結果が表示されます。

Windows Live ／ Messenger

Windows Live を使うとチャット（Messenger）やメール（Hotmail）やスペースを使うことができます。
Windows Live を使うには Windows Live ID が必要です。この ID を取得していない場合は、パソコンなどを使って以下の URL から ID を取得してください。
また、Windows Live や Messenger はネットワークに接続しますので、オンラインサインアップをするなどしてネットワークに接続できるようにしておいてください。

URL : http://get.live.com/getlive/overview（2007 年 6 月現在）

- Windows Live Messenger では、メンバーを登録してその相手とチャットができます。
- Windows Live Hotmail を使うと、この製品のメール（Outlook）に Windows Live というアカウントができ、メール（Outlook）と同様にしてメールの送信や受信ができます。また、パソコンなどの Web ブラウザを使って表示する Hotmail（マイクロソフト社のサーバー）とメール（Outlook）の Windows Live アカウントと同期を取ります。
- Windows Live スペースは、画像とビデオに保存しているファイルをマイクロソフト社のサーバーにある自分の領域にアップできます。

サインインをする

1 スタート メニューの “プログラム” をタップし、“Windows Live” をタップします。

2 「ここをクリックしてサインインします」をタップします。

自動的にインターネットに接続します。

3 この製品からはじめてサインインするときは使用条件の画面が表示されますので、承諾 をタップします。

4 表示された画面で、電子メールアドレスとパスワードを入力し、次へ をタップします。

5 表示された画面で、Today 画面に「Windows Live サービス」を表示する／しないを選択し、次へ をタップします。

チェックを付けると表示します。

6 表示された画面で、同期する／しないを選択し、次へ をタップします。「連絡先とMessenger」や「電子メール」などにチェックを付けると（サーバーと）同期します。

7 Windows Live 画面が表示されます。

① ◆◆をタップすると、メール、同期、Messenger が切り替わります。

・ **メール**

メール（Outlook）に「Windows Live」という名称のアカウントが自動的に作成され、サインインしたメールアドレス（XXXXXX@hotmail.co.jp など）を使ってメールの送信／受信を行います。
メールの送信や受信については、メール（Outlook）の章をご覧ください。なお、「Windows Live」という名称のアカウントとご自分で作成したアカウントとでは、機能やメニューなどが異なります。

・ **同期**

マイクロソフト社のサーバーと同期を取ります。パソコンなどで Web ブラウザから Hotmail を使われている場合は、メール（Outlook）の「Windows Live」というアカウントと同期を取ります。

・ **Messenger**

Messenger にサインインしていないときは、「ここをクリックしてサインインします」をタップして、表示された画面で画面左下の サインイン をタップします。
Messenger を終了するときは、画面右下の メニュー － サインアウト をタップしてサインアウトしてください。
Windows Live を終了した後、タイトルバーの ⇄ をタップして 切断 をタップし回線を切断します。Messenger のサインアウトをしていないと、回線を切断しても自動的に再度接続します。

● プログラム画面の “Messenger” をタップして、表示された画面で画面左下の サインイン をタップしてもサインインできます。

9章　設定

使用環境を設定する　9-2

使用環境を設定する

着信音や待ち受け画面（Today 画面）など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。
スタートメニューの "設定" をタップすると、設定画面が表示されます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

待ち受け画面（Today 画面）を設定する

壁紙などを設定して、自分だけの待ち受け画面（Today 画面）を作成できます。

1 スタートメニューの "設定" をタップして "Today" をタップします。

2 Today 画面に関する設定を行います。

◇デザインタブ◇

① Today 画面の背景にするテーマを選択します。
② 写真など、テーマ以外を背景にするときは、チェックを付けてから参照をタップして画像ファイルを選択します。

◇アイテムタブ◇

① Today 画面に表示するアイテムにチェックを付けます。
② Today 画面に表示するアイテムの順番を変更します（「日付」の順番は変更できません）。
③「仕事」または「予定表」にチェックを付けた場合、タップすると表示する内容の詳細を設定できます（☞ 9-4 ページ）。
④この製品ではこの機能に対応しておりません。

◇ホームメニュータブ◇

① Today 画面で（カーソル）キーや（アクション）キーを押したときの動作を設定します。

パターン１

- （アクション）キー　：ホームメニューを起動します。
- 左右（カーソル）キー：着信履歴画面／発信履歴画面を表示します。
- 上下（カーソル）キー：動作しません。

パターン２

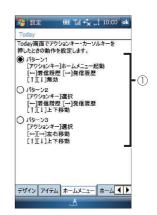
- （アクション）キー　：カーソルで選択しているものを実行します。
  （たとえば、Today 画面で日付表示を選択中に押すと時計とアラーム画面が表示されます。）
- 左右（カーソル）キー　：着信履歴画面／発信履歴画面を表示します。
- 上下（カーソル）キー　：カーソルを上下に移動します。

パターン３

- （アクション）キー：カーソルで選択しているものを実行します。
  （たとえば、Today 画面で日付表示を選択中に押すと時計とアラーム画面が表示されます。）
- 左右（カーソル）キー：カーソルを左右に移動します。
- 上下（カーソル）キー：カーソルを上下に移動します。

◇ホームメニュー選択タブ◇

①（アクション）キーを押したとき表示されるホームメニューを選択します。

3 **設定が終わったら、ok をタップします。**

画像を「Today」画面の背景に設定する

この製品に保存している画像を「Today」画面の背景として設定できます。

1 **画像とビデオ画面で、「Today」画面の背景として設定したい画像をタップしたままにして表示されたメニューから [Today] の背景に設定する をタップします。**

「[Today] の背景に設定する」画面が表示されます。

MEMO
- 「Today」画面の背景として設定したい画像を選択し、画面右下の メニュー － [Today] の背景に設定する をタップしても「[Today] の背景に設定する」画面が表示されます。

2 **背景にするときの透過レベルを設定します。**

透過レベルのパーセントを低くするほど、くっきりした画像になります。

3 **設定が終われば、 ok をタップします。**

MEMO
- 「Today」画面の背景の設定をやめるときは、 キャンセル をタップします。

Today 画面に表示する「仕事」と「予定表」の内容を設定する

アイテム タブ画面で「仕事」または「予定表」をタップしてから、 オプション をタップして設定します。

◇仕事◇

① 仕事を分類しているとき、分類項目を選択します(☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル)。

◇予定表◇

①「次の予定」だけ表示するのか、「近い将来の予定」まで表示するのか、どちらかを選択します。

オーナー情報を設定する

オーナー情報を入力します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

2 **個人用 タブにある “オーナー情報” をタップします。**

オーナー情報の設定画面が表示されます。

3 **オーナー情報に関する設定をします。**

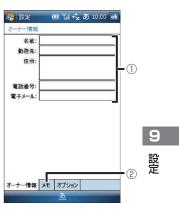
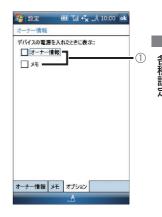
◇ オーナー情報 タブ◇

① 名前、勤務先、住所、電話番号、電子メールなどを入力します。

② タップするとメモを追加できます。

- オーナー情報に入力した内容はデータ交換（☞ 7-34 ページ）に利用できます。

◇ オプション タブ◇

① チェックを付けるとこの製品の電源を入れたときに、オーナー情報やメモの内容が「マイ インフォ」画面として表示されます。
（マイ インフォ画面をタップすると、Today 画面が表示されます。）

4 **設定が終われば、 ok をタップします。**

キーを設定する

この製品のキーに割り当てるプログラムや機能を設定します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

2 **個人用 タブにある “ボタン” をタップします。**

ボタン設定画面が表示されます。

3 **キーに割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。**

◇プログラムボタン タブ◇

「1. ボタンの選択」から設定／変更したいキーを選択し、「2. プログラムの割り当て」で割り当てるプログラムを選択します。

① 各キーと割り当てられているプログラムが表示されます。

② キーに割り当てるプログラムを選びます。

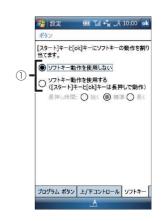
◇上／下コントロール タブ◇

カーソル キーを押したときスクロールを開始するまでの時間や移動速度、ならびに、キー入力時のリピートを開始するまでの時間やリピート速度を変更します。

① つまみをドラッグして調整します。
ただし、「ハイライトの移動速度」を左端の「遅く」に設定すると カーソル キーの上下を押し続けてもハイライトは移動しなくなりますのでご注意ください。

◇ソフトキータブ◇

（スタート）キーと（OK）キーを「ソフト 1」キーと「ソフト 2」キーに割り当てることができます。

① キーと キーを「ソフト 1」キーと「ソフト 2」キーに割り当てるかどうかを設定します。
割り当てると、 キーや キーを押すと、メニューバーのボタンをタップしたときと同じ動きをします（また、キーを押す長さも設定できます）。
たとえば、連絡先の一覧画面のメニューバーには、新規作成 と メニュー が表示されており、 キーを押すとメニューが表示されます。

4 設定が終われば、ok をタップします。

スタートメニューを設定する

スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

1 スタート メニューの “設定” をタップします。

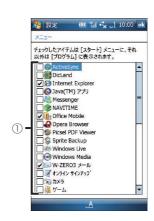
2 個人用 タブにある “メニュー” をタップします。
メニュー設定画面が表示されます。

3 スタートメニューに表示したいプログラムなどにチェックを付けます（7 つまで）。

① チェックを付けたアイテムは、スタートメニュー（☞ 1-25 ページ）に表示されます。
チェックを付けていないアイテムは、プログラム画面（☞ 1-18 ページ）に表示されます。

4 設定が終われば、ok をタップします。

9 設定

各種設定

他人が使えないようにロックする

電源を入れたときにパスワードの入力画面を表示して、この製品を他人が使えないようにロックします。

1 スタート メニューの “設定” をタップします。

2 個人用 タブにある “ロック” をタップします。

パスワード設定画面が表示されます

3 パスワードなどを設定します。

① チェックを付けると、設定した時間が経過すると、パスワードの入力画面が表示されます。

② パスワードの種類を設定します。

- 数字の簡易パスワードの場合、4 桁以上の数字を入力します。
- 強力な英数字のパスワードの場合、英字（大文字および小文字）、数字、区切り記号（/、: など）の 3 種類を含んだ 7 文字以上を入力します。

③ 強力な英数字のパスワードを設定しているとき、パスワードを忘れたときにヒントになる言葉を入力します。パスワードを 5 回間違えると入力したヒントが表示されます。

4 設定が終われば、 ok をタップします。

5 確認画面で、 はい をタップします。

ご注意

- パスワードは忘れないようにしてください。登録したパスワードを忘れると、この製品を使えなくなります。パスワードは控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、完全消去（フォーマット）（☞ 10-6 ページ）が必要になります。完全消去すると、この製品に入っているデータなどはすべて消去されます。
- キーロック（☞ 1-7 ページ）を設定しているときはパスワードの入力もできません。キーロックを解除してからパスワードを入力してください。

MEMO

- パスワードを設定すると、パスワード画面を表示するときもパスワードの入力が必要です。

単語登録（Microsoft IME）や文字入力の設定をする

日本語入力システムとして Microsoft IME を使っている場合に、よく使う単語を登録します。また、入力方法の設定や手書き入力の詳細設定などをします。
ATOK をお使いの場合は、日本語入力システム（ATOK）の設定と単語登録をする（☞ 9-12 ページ）および日本語入力システムを切り替える（☞ 9-14 ページ）をご覧ください。

1 スタート メニューの “設定” をタップします。

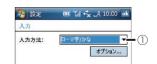
2 個人用 タブにある “入力” をタップします。

入力設定画面が表示されます。

3 よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。

◇ 入力方法 タブ◇

単語の登録と手書き入力パネルの設定をします。

① オプションを設定したい入力パネルを選択し、オプション をタップして設定します。

それぞれの入力方法から、以下のオプションが設定できます。

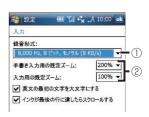
- ・ひらがな／カタカナ　：単語の登録（☞次ページ）
- ・ローマ字／かな　：単語の登録（☞次ページ）
- ・手書き検索　：「左手」（手書き入力枠が左になる）設定
- ・手書き入力　：「左手」（手書き入力枠が左端になる）設定、「3 つの入力ボックス」（手書き入力枠が 3 つになる）設定、「タイムアウトを使用」（手書きした文字が設定した秒数で消える）設定、「タイムアウト値」（手書きした文字が消える秒数を入力）設定

MEMO ● 手書き入力の設定についてくわしくは 1-41 ～ 42 ページをご覧ください。

◇ オプション タブ◇

録音形式や入力の詳細設定をします。これらの設定は、録音やメモなどのプログラムに適用されます。

① 録音形式を選びます。

② 手書き入力と、キー入力のズームを設定します。

MEMO ● 手書き入力のズームを大きくすると、手書きエリアに表示される罫線の幅が変わり、大きい文字が手書きできるようになります。

4 設定が終われば、ok をタップします。

よく使う単語を辞書に登録する

よく使う単語を辞書に登録します。

1 スタートメニューの“設定”をタップします。

2 個人用タブにある“入力”をタップします。

入力設定画面が表示されます。

3 「入力方法」欄で▼をタップして「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」を選択し、オプションをタップします。

辞書登録画面が表示されます。

① 登録している単語の一覧を表示します。

4 読み、変換後の語句を入力し、その品詞を設定して、登録をタップします。

5 登録した単語を変更／削除する場合は、単語の編集タブをタップします。

① 変更／削除する単語を一覧から選び、変更／削除をタップします。

MEMO

- この製品には、変換した語を記憶する学習機能があります。
  学習された語は、次回の変換で優先的に表示されます。
  変換ミスなどで誤った語が学習されてしまったときなどは、「学習単語も表示する」にチェックを付けて一覧に表示し、変更や削除をします。

6 設定が終われば、okをタップします。

音と通知を設定する

アラームや画面のタップ音の設定などをします。

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

2 **個人用 タブにある “音と通知” をタップします。**

音と通知設定画面が表示されます。

3 **音や通知に関する設定をします。**

◇サウンドタブ◇

“予定表” や “仕事” で設定したアラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

① チェックを付けると、その操作（イベント）をしたときに音がでます。

◇通知タブ◇

各種イベントを通知する方法にチェックを付けて設定します。
イベントによっては設定ができない項目があります。

① 設定するイベントを選びます。

② チェックを付けて▼をタップして、鳴らす音を選択します。

③ 通知時に設定した音を繰り返し鳴らします。

④ 選択した音を再生／停止します。

⑤ アラームや接続の確立などの通知時にメッセージを表示します。

⑥ 振動で通知します。

4 **設定が終われば、 ok をタップします。**

MEMO

- サウンド タブで「プログラム」の「通知（アラーム、予定など）」のチェックを外している場合、 通知 タブで「音を鳴らす」にチェックを付けていても音は鳴りません。 サウンド タブでは、「通知（アラーム、予定など）」のチェックは付けておいてください。

日本語入力システム（ATOK）の設定と単語登録をする

日本語入力システムを切り替えたり、日本語入力システム（ATOK）の変換候補に表示される文字種の設定、よく使う単語の登録、バージョン情報の確認などをします。

1 スタート メニューの “設定” をタップします。

2 システム タブをタップします。

3 “ATOK 設定” をタップします。

ATOK 設定画面が表示されます。

4 プロパティ をタップします。

① チェックを外すと、Windows Mobile 標準の日本語入力システム（Microsoft IME）に切り替えることができます。くわしくは 9-9 ページをご覧ください。

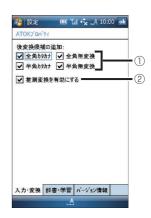
● Microsoft IME を使って文字入力をするときは、ダイヤルキーで文字の変換はできません。

5 変換候補の設定や学習データのリセット、単語の登録、バージョン情報の確認などをします。

◇ 入力・変換 タブ◇

変換候補（☞ 1-32 ページ）に表示される文字の種類を変更したり、推測変換を有効にする／しないを設定します。

① チェックの付いている文字種が変換候補一覧に表示されます。

② チェックを付けると、文字を入力するたびに、入力した文字から推測される変換候補が表示されます（☞ 1-33 ページ）。

◇辞書・学習タブ◇

変換結果を学習する／しないか、学習したデータのリセット、単語登録ができます。単語登録については、「よく使う単語をユーザー辞書に登録する」（☞次ページ）をご覧ください。

①	「する」にチェックを付けると、1 度入力した語は次回の変換で優先的に変換候補ウィンドウに表示されます。
②	変換して学習された語が削除されます。
③	単語をユーザー辞書に登録する画面が表示されます。くわしくは次ページをご覧ください。

◇バージョン情報タブ◇

ATOK のバージョン情報を表示します。

6 **設定／確認が終われば、ok をタップします。**

7 **さらに ok を数回タップし設定画面を閉じます。**

推測変換候補ウィンドウに表示する文字を変更（☞前ページ）したり単語登録（☞次ページ）を行った後、設定画面を閉じてください。設定画面を閉じないと変更や登録が有効になりません。

日本語入力システムを切り替える

Microsoft IME と ATOK を切り替えることができます。

1 **9-12 ページの手順 4 の画面で、「日本語入力に ATOK を使用する」のチェックを外します。**

2 **ok をタップします。**

3 **確認画面で はい をタップします。**
この製品が再起動されます。

- ATOK の使用を再開するときは、手順 **1** で「日本語入力に ATOK を使用する」のチェックを付けてください。

よく使う単語をユーザー辞書に登録する

1 **9-12 ページの手順 5 の画面で 辞書・学習 タブをタップし、辞書ユーティリティ をタップします。**
ユーザー辞書画面が表示されます。

2 **画面左下の 編集 － 登録 をタップします。**

3 **単語、読み、品詞を入力して、OK をタップします。**

4 **✕ をタップし、さらに ok を数回タップして設定画面を閉じます。**
単語が登録されます。

MEMO

- **登録した単語を削除するときは**
  上記の手順 **2** の画面で、削除したい単語を選択し、画面左下の 編集 － 削除 をタップし、確認画面で はい をタップします。

エラー報告をする／しないを設定する

この製品を使っているときに発生したエラー内容を、マイクロソフト株式会社に報告する／しないを設定します。

1 スタート メニューの "設定" をタップして、システム タブをタップします。

2 "エラー報告" をタップします。
エラー報告画面が表示されます。

3 「エラー報告を有効にする」、または「エラー報告を無効にする」をタップします。

4 設定が終われば、ok をタップします。

9 設定

各種設定

バックライトを減光（最小輝度）するまでの時間を設定する

画面のバックライトを減光（最小輝度）するまでの時間を設定します。
バックライトが最小輝度になるとキーボードのバックライトは消灯します。

1 スタート メニューの “設定”をタップして、システム タブをタップします。

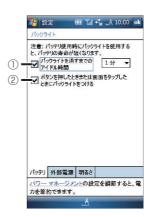
2 “バックライト”をタップします。
バックライト設定画面が表示されます。

3 バックライトに関する設定をします。

◇バッテリ タブ◇

充電池を使っている（AC アダプターを接続していない）ときの設定をします。

① チェックを付けると最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトが最小輝度になります。アイドル時間を変更するときは▼をタップします。

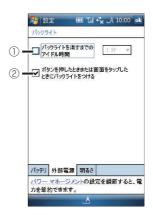
② チェックを付けるとキーを押したり、画面をタップしたらバックライトが最小輝度から設定した輝度に戻ります。
節電状態になっているときは、PWRキーを押します。

MEMO

- **ダイヤルキーやキーボードのバックライトについて**
  最後の操作から数秒後、ダイヤルキーやキーボードのバックライトが消えます。
  消えた状態で画面タップまたはキーを押すとバックライトが点灯します（パワーマネージメント設定画面（キー点灯 タブ）で「バックライト設定と連動」にチェックを付けているとき（☞ 9-19 ページ））。

◇外部電源タブ◇

AC アダプターを接続しているときの設定をします。

① チェックを付けると最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトが最小輝度になります。

② チェックを付けるとキーを押したり、画面をタップしたらバックライトが最小輝度から設定した輝度に戻ります。

◇明るさタブ◇

バックライトの明るさを設定します。
充電池使用時、AC アダプター（外部電源）使用時それぞれの明るさを設定できます。

① スライダーを左端に移動すると、バックライトは消灯します。

MEMO

● バックライトを消灯すると、ダイヤルキーやキーボードのバックライトも消灯します。また、バックライトの明るさを左端以外（消灯以外）にすると、キー操作中はダイヤルキーやキーボードのバックライトも点灯します。キーボードのバックライトの明るさは調節できません。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

パワーマネージメントを設定する

充電池の残量確認や節電状態（画面の電源をオフ）するまでの時間などを設定します。

1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

2 “パワーマネージメント” をタップします。

パワーマネージメント設定画面が表示されます。

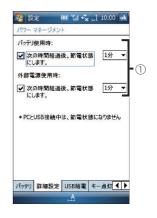
3 充電池の残量の確認や、パワーマネージメントの設定をします。

◇ バッテリ タブ◇

充電池（バッテリ）の残量を確認できます。

◇ 詳細設定 タブ◇

最後の操作から一定時間が経過すると、節電状態（画面の電源をオフ）にするように設定します。
節電状態になっても、電話着信／ライトメール受信時などは自動的に電源が入ります（☞ 1-27 ページ）。
バッテリ（充電池）使用時と外部電源使用時（ACアダプター接続時）を別々に設定します。

① チェックを付けると最後の操作から設定した時間が経過すると節電状態（画面の電源をオフ）になります。経過時間を変更するときは▼をタップします。

ご注意 ● **以下のときは、設定した時間が経過しても節電状態になりません。**

- ・通話中／インターネットなどで通信中
- ・付属の USB ケーブルを使ってパソコンと接続中
- ・Windows Media Player 10 Mobile で再生中
- ・ブンコビューアの自動表示中

など

◇USB 給電 タブ◇

パソコンから電源の供給を受けるように設定できます。

「給電する」にチェックを付け、付属の USB ケーブルを使ってパソコンと接続しているとき、パソコンから電源が供給されます（以下 1 つ目のメモの条件を満たしていることが必要です）。

給電中は、タイトルバーに USB が表示されます。

ただし、この製品の使用状況（Windows Media Player 10 Mobile で動画再生中や内蔵ワイヤレス LAN 使用中など）によっては、充電池が消耗していくこともあります。

MEMO

● USB 給電を受けるためには、以下の条件が必要です。
  - ・パソコンに ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンターまたはモデムドライバをインストールし、付属の USB ケーブルを使ってこの製品とパソコンを接続できる状態にしておきます。
  - ・パソコンの電源が入っている状態（ただし、パソコンがスタンバイ状態になったときやパソコンの電源を切っている状態などでは給電されません）
  - ・この製品の電源が入っている状態（ただし、充電池残量がまったくない状態や USB ケーブルを接続した後、この製品の電源を切った場合は給電されません）

● パソコンから給電中でも充電ランプは点灯しません。

ご注意

● パソコンによっては USB 給電を受けるとこの製品の動作が不安定になることがあります。このようなときは「給電しない」にチェックを付けてください。

◇キー点灯 タブ◇

ダイヤルキーやキーボードのバックライトの設定をします。

①	ダイヤルキーやキーボードのバックライトが消灯しているとき、画面タップやキーを押すとバックライトが点灯します。 ただし、最後の操作から数秒後、ダイヤルキーやキーボードのバックライトは消灯します。
②	ダイヤルキーやキーボードのバックライトが常に消灯します。

● バックライト設定と連動するのは、9-16 ページ、9-17 ページの「ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける」にチェックが付いているときです。このチェックが付いていないときは、連動しません。

◇電波状態ランプタブ◇

電波状態を示すランプを点灯する／しないを設定します。電波状態ランプの色で電波強度がわかります。

① ランプで電波強度を表示する／しないを設定します。ランプの色は電波強度によって変わります。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

バージョン情報などを確認する

CPU やメモリ容量など、この製品に関するバージョン情報を確認できます。

1 **スタートメニューの “設定” をタップして、システムタブをタップします。**

2 **“バージョン情報” をタップします。**

バージョン情報確認画面が表示されます。

3 **バージョン情報やこの製品の名前を確認します。**

◇バージョンタブ◇

この製品のバージョン情報を確認できます。

◇デバイス IDタブ◇

この製品の名前を設定します。
パソコンと同期を行ったときなど、ここで設定したデバイス名がパソコン側の画面に表示されます。

◇著作権タブ◇

この製品の著作権について確認できます。

4 **確認／設定が終われば、ok をタップします。**

ファームウェアのバージョン情報を確認する

1 スタート メニューの "設定" をタップして、システム タブをタップします。

2 "WS011SH 情報" をタップします。

ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

3 確認が終われば、ok をタップします。

プログラムを削除する

追加したプログラムを削除します。

1 すべてのプログラムを終了します。

プログラムの終了については、1-26 ページをご覧ください。

2 スタート メニューの "設定" をタップして、システム タブをタップします。

3 "プログラムの削除" をタップします。

プログラムの削除設定画面が表示されます。

① 削除可能なプログラムが表示されます。

4 削除するプログラムを選択し、削除 をタップします。

5 確認画面で、はい をタップします。

MEMO

- 連絡先や予定表などのプログラムは削除できません（ただし、DicLand 辞書、NAVITIME は削除できます）。

音量を設定する

システムの音量やイヤホンマイク端子に取り付けたイヤホンマイク出力時の音量などを設定します。

1 スタート メニューの "設定" をタップします。

2 システム タブにある "ボリューム" をタップします。

ボリューム設定画面が表示されます。

3 システムの音量やイヤホンマイク出力時の音量などを設定します。

◇基本設定 タブ◇

システムの音量を設定します。

① つまみをドラッグして調節します。

◇詳細設定 タブ◇

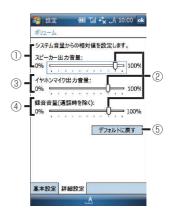
スピーカーやイヤホンマイクの出力時や録音時の音量設定をします。

① 本体左側面のスピーカー（☞ 1-6 ページ）の出力音量を調節します。

② つまみをドラッグして調節します。

③ イヤホンマイク端子に取り付けたイヤホンマイクの出力音量を調節します。

④ 録音音量を調節します。
ただし、伝言メモへの録音音量は調節できません。

⑤ タップすると、各種音量の設定が、初期値に戻ります。

4 設定が終われば、 ok をタップします。

メモリを確認する

メモリの使用状況を確認したり、実行しているプログラムの切り替えや終了をしたりできます。

1 スタート メニューの "設定" をタップして、システム タブをタップします。

2 "メモリ" をタップします。

メモリ設定画面が表示されます。

3 メモリの使用状況を確認したり、プログラムを終了します。

◇ メイン タブ◇

メモリの使用領域や空き領域を確認できます。

① 実行中のプログラムをすべて終了してもシステムが使用領域を使います。

◇ メモリカード タブ◇

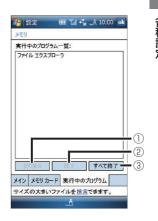
装着しているメモリカードの使用領域／空き領域を確認できます。

◇ 実行中のプログラム タブ◇

実行中のプログラムを確認できます。

① 実行中のプログラムを選択してタップすると、そのプログラムに切り替わります。

② 実行中のプログラムを選択してタップすると、そのプログラムが終了します。

③ 実行中のプログラムがすべて終了します。

4 確認／設定が終われば、ok をタップします。

メモリ不足を解消する

動作が遅くなったりデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、以下の内容をご覧になりデータ記憶用メモリやプログラム実行用メモリの不足を解消してください。

■データ記憶用メモリの不足を解消する

“Opera Browser”や“Internet Explorer Mobile”を使っていろいろなホームページを閲覧していると画像データなどをキャッシュファイルとして一時保存します。キャッシュファイルがデータ記憶用メモリを使っていることが考えられます。プログラムをインストールしたり、大きなファイルを保存していないのにデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、5-11、5-21 ページに記載している方法でキャッシュを削除してください。また、このメモリが不足すると縦表示と横表示の切り替えが遅くなることがあります。

■プログラム実行用メモリの不足を解消する

動作が遅くなったり、“Picsel PDF Viewer”を使って PDF ファイルを正しく開けなかったり、縦表示と横表示の切り替えが遅くなったときなどは「プログラム実行用のメモリ」が不足していることが考えられます。
このようなときは、1-26 ページをご覧になり、終了するプログラム名をタップし、終了をタップします。

Xcrawl を設定する（エクスクロールを設定する）

カーソルキーを使う設定を行います。設定をしたときの動きについては、1-49 ページをご覧ください。

1 スタートメニューの“設定”をタップして、システムタブをタップします。

2 “ユーティリティ”をタップし、Xcrawl 設定タブをタップします。

ユーティリティ設定画面が表示されます。

3 Xcrawl の設定を行います。

① スクロール機能を有効にします。

② ①にチェックを付け、スクロールの回転方向によって、カーソルを移動する方向を設定します。

③ スクロール機能を無効にして、カーソルキーを上下左右と斜め四方向に働くようにします。
※対応アプリケーションのみで動作します。

④ スクロール機能を無効にして、カーソルキーを上下左右に働くようにします。

⑤ 感度を設定します。

4 設定が終われば、okをタップします。

縦横表示切替の設定をする

キーボードを開いたとき、画面を横に切り替える／切り替えないを設定します。

1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

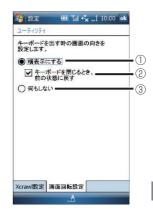
2 “ユーティリティ” をタップし、画面回転設定 タブをタップします。
ユーティリティ設定画面が表示されます。

3 キーボードを開いたとき、画面を横に切り替える／切り替えないを設定します。

① 画面（表示）を横に切り替えます。
② チェックを付けると、キーボードを閉じたとき、画面を元に戻します。
③ 画面を切り替えません。

- キーボードを閉じた状態で表示する画面の向きは “画面” で設定します（☞ 9-28 ページ）。

4 設定が終われば、ok をタップします。

9
設定

地域を設定する

この製品で使う数値の表示形式を変更できます。

1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

2 “地域” をタップします。
地域設定画面が表示されます。

3 各タブで数値の表示形式などを設定します。

- 地域を変更し ok をタップすると、「再起動してください」と表示されます。このときは、リセット（☞ 10-2 ページ）を行ってください。
- 地域を日本に選択したとき、時刻表示は 24 時間制になります。
時刻 タブで時刻の形式を「tt hh:mm:ss」や「tt h:mm:ss」を選択すると 12 時間制になりますが、タイトルバーに表示される時間には AM や PM は表示されません。「H:mm:ss」「HH:mm:ss」を選択して 24 時間制にすることをおすすめします。

4 設定が終われば、ok をタップします。

各種設定

時計を設定する

現在地と訪問先の時刻の設定やタイトルバーに時計を表示するかを設定します。

1 **スタートメニューの “設定” をタップして、システムタブをタップし、 “時計とアラーム” をタップします。**

時計とアラーム設定画面が表示されます。

2 **時刻の設定やタイトルバーに時計を表示するかを設定します。**

◇時刻タブ◇

現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

① ▼をタップして現在地を選択します。
② 変更したい時：分：秒をタップしてから▲や▼で時刻を設定します。
③ ▼をタップして、表示されたカレンダーから設定する日付をタップします。 カレンダーで月を変えるときは◀▶をタップします。

MEMO

- 画面の時分秒のいずれかをタップすると時刻は止まったように見えますが、「訪問先」（灰色になっている時分秒）の時刻で分かるように時刻は進んでいます。このため、変更する時刻の秒を「00」にして、時報に合わせて ok をタップしても実際の時刻と合わなくなります。
  正確に時刻を合わせるためには、時報などに合わせて、変更する秒を「00」にしてください。
  また、ActiveSync と同期するとパソコンと時刻を合わせることができます（☞ 7-13 ページ）。

◇その他タブ◇

時刻タブで設定した時刻をすべてのプログラムで、タイトルバーに表示するかしないかを設定します。

① タイトルバーの時計表示
② チェックを付けるとタイトルバーに時刻が表示されます。

3 **設定が終われば、ok をタップします。**

アラームを設定する

決まった時間に音を鳴らしたり、画面にメッセージを表示できます。

1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

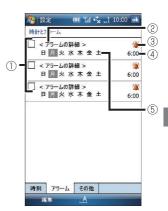
2 “時計とアラーム” をタップします。

時計とアラーム設定画面が表示されます。

3 アラーム タブをタップします。

◇アラーム タブ◇

決まった時刻に通知するアラームを設定します。

① 有効にするアラームにチェックを付けます。
② タップしてアラームに表示されるメッセージを入力します。
③ タップすると、アラーム音の種類などを設定する画面が表示されます。 ok をタップするとこの画面に戻ります。
④ 時刻をタップして、表示された画面でアラーム時刻を設定します。 ok をタップするとこの画面に戻ります。
⑤ アラームを設定する曜日をタップします（設定した曜日は反転します）。

MEMO

- 音と通知設定画面（☞ 9-11 ページ）で、「通知（アラーム、予定など）」にチェックを付けていないと音は鳴りません。
- “予定表” や “仕事” で設定したアラーム音の種類などを設定するときは、9-11 ページをご覧ください。

4 設定が終われば、ok をタップします。

microSD カードに保存するときにファイルを暗号化する

1 スタート メニューの “設定” をタップして、 システム タブをタップします。

2 “暗号化” をタップします。

「メモリカード内のファイルを暗号化する」にチェックを付けると、microSD カードにファイルを保存するときに、ファイルを暗号化して保存します。

ご注意
- 暗号化したファイルは、別の WS011SH やパソコンなど別の機器で開いたり編集などはできません。また、同じ WS011SH でも、本体を完全消去（フォーマット）（☞ 10-6 ページ）した場合、開いたり編集などはできなくなります。
  この機能をお使いになるときは、十分ご注意ください。

画面の設定をする

画面表示の方向や文字のサイズの設定ができます。

1 スタート メニューの “設定” をタップして、 システム タブをタップします。

2 “画面” をタップします。

画面設定画面が表示されます。

3 画面に関する設定をします。

◇ 全般 タブ◇

画面の向きを設定したり、タッチスクリーンの調節をしたりします。

① 画面の向きを設定します。
② 選択した画面の向きが表示されます。
③ 画面をタップした位置と反応する位置がずれているときは、タップしてタッチスクリーンの補正をします。

MEMO
- キーボードの開閉時に画面の向きを切り替える設定もできます（☞ 9-25 ページ）。

◇文字サイズタブ◇

文字サイズの設定をします。

① つまみをドラッグして設定します。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

タッチスクリーンの補正をする

スタイラスでタップした位置が画面の位置とずれているときは、タッチスクリーンの補正をします。

1 **前ページの手順 1 ～ 2 を操作します。**
画面設定画面が表示されます。

2 **タッチスクリーンの補正 をタップします。**
タッチスクリーンの補正画面が表示されます。

3 **画面の十字マークの中心に少し長くタップします。**

① タップすると十字マークが移動します。同様にタップし、以後、同じ操作を繰り返します。

4 **タッチスクリーンの補正が終了すると、画面設定画面に戻ります。**

証明書を確認する

個人の身元を証明する個人証明書や、接続先のサーバーを識別する証明書を確認できます。

1 スタート メニューの “設定” をタップして、 システム タブをタップします。

2 “証明書” をタップします。

証明書の管理画面が表示されます。

3 証明書を確認します。

4 確認が終われば、 ok をタップします。

各タブで証明書の内容を確認します。

MEMO
- 証明書についてくわしくは、ヘルプをご覧ください。

10章　付録

異常が起きたとき

異常が起きたときは、まず「困ったときは」（☞ 10-28 ページ）を参照してください。
「困ったときは」をご覧になっても症状が改善されず、データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しくはたらかない、など異常状態のときは、AC アダプターを接続し、10 分～ 20 分程度充電したあと、次の対処方法を順に試してみてください。

① **リセット（再起動）**	データが正常に表示されないときや、画面タップやキー操作が正しく動作しないときなどに試してみてください。	☞下記
② **フルリセット**	リセット（①）をしても正常に動作しないときなどに、試してみてください。	☞次ページ
③ **完全消去（フォーマット）**	リセット（①）やフルリセット（②）をしても動作しないときや、全データを消去するときなどに行います。	☞ 10-6 ページ

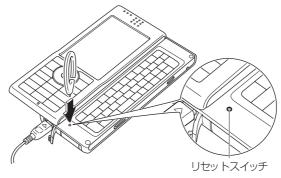
①リセット（再起動）する

データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しくはたらかない、などのときにリセット操作を試してみてください。リセット操作を行うと編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

ご注意 ● **手順にしたがって操作をするときは、本体側面を持ち画面に指が触れないようにしてください。**

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。**
動作しない場合には、手順 **2** に進んでください。

2 **この製品に USB ケーブルや microSD カードなどを取り付けているときは、AC アダプター以外すべて取り外します。**

3 **リセットスイッチをスタイラスで押します。**
リセットされます。

4 **自動的に電源が入り、しばらくするとToday画面（待ち受け画面）が表示されます。**

電源が入らないときは、充電池ぶたがきっちり取り付けられているか確認し、充電してください。また、充電池を入れ直してください。
Today画面（待ち受け画面）表示後は、時刻が合っているか確認してください。

②フルリセットする

リセット（再起動）（☞前ページ）しても正常に動作しないときは、次の方法でフルリセットしてください。この方法も編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。設定している日付／時刻の再設定が必要になります。フルリセット後は必ず日付／時刻を設定（☞ 10-5ページの手順**8**）してください。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞ 1-9ページ）。**

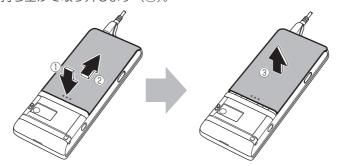
動作しない場合には、手順**2**に進んでください。

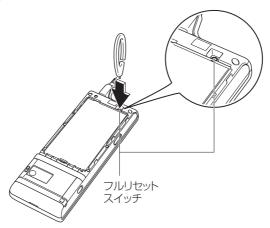
2 **この製品にUSBケーブルやmicroSDカードなどを取り付けているときは、ACアダプター以外すべて取り外します。**

3 **裏側の充電池ぶたを取り外します。**

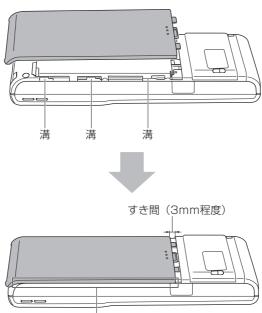
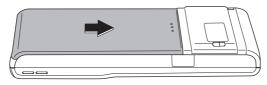
1 矢印の方向に押し（①）ながら、スライドします（②）。
2 持ち上げて取り外します（③）。

10
付録

異常が起きたとき

4 約 15 秒待って、フルリセットスイッチをスタイラスで押します。

フルリセットされます。

5 充電池ぶたを取り付けます。

充電池ぶたはきっちりと取り付けてください。充電池ぶたをきっちりと取り付けていないと電源が入りません。

1 充電池ぶたの裏の小さな突起が電池収納部の溝に合うようにして、本体とすき間を 3mm 程度あけて充電池ぶたを本体にのせます。

2 充電池ぶたをそのまま矢印方向にスライドさせて取り付けます。

ご注意 ● **誤った取り付けかた**

ツメを先にはめ込まないでください。

6 PWR キーを約 2 ～ 3 秒間押して電源を入れます。

電源が入らないときは、充電してください。

7 しばらくすると、Today 画面（待ち受け画面）が表示されます。

8 時計画面を表示し、日付／時刻を設定します。

時刻設定画面は、Today 画面（待ち受け画面）で をタップして「時計とアラーム」画面を表示します。

「時計とアラーム」画面については、9-26 ページをご覧ください。

ご注意 ● フルリセット後は必ず手順 **8** を行い、日付／時刻を合わせてください。

③完全消去する（フォーマット）

10-2 ～ 5 ページの①と②を行っても正常に動作しないときなどは、本体の全データを消去してフォーマットします。

ご注意
- **データがすべて消去されます。**
  ご購入後に入力したデータや設定、追加したプログラムなどがすべて消去されます (DicLand 辞書、NAVITIME も消去されます)。日付／時刻データも失われますので、フォーマット後は、必ず日付／時刻の設定を行ってください。
- DicLand 辞書は、付属の CD-ROM を使ってインストールすることができます。インストールの方法は、付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアルをご覧ください。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。**
動作しない場合には、手順 **2** に進んでください。

2 **この製品に USB ケーブルや microSD カードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

3 **裏側の充電池ぶたを取り外します（☞ 10-3 ページの手順 3）。**

4 **約 15 秒待って、フルリセットスイッチをスタイラスで押します（☞ 10-4 ページの手順 4）。**

5 **充電池ぶたを取り付けます（☞ 10-4 ページの手順 5）。**
さらに AC アダプターを接続します。

6 **本体を表にして、キーボードを開きます。**

7 **Fn キーと F キーの両方を押したままで、PWR キーを長く（約 2 ～ 3 秒）押します。**
しばらくすると本体が起動し、メンテナンスメニュー画面が表示されます。

8 **2 かABC キーを押します（「フォーマット」を選択します）。**

9 **確認画面が表示されたら、ok キーを押します。**
完全消去が始まりますので、終わるまで待ちます。
終了後はセットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってセットアップを行います。

MEMO
- セットアップの途中でタッチスクリーンの補正を行う画面が表示されます。タッチスクリーンの補正については 9-29 ページをご覧ください。
- スタートメニューから再度オンラインサインアップを行ってください（☞ 2-2 ページ）。

充電池について

充電池を安全にお使いいただくために、「安全にお使いいただくために」（☞ 0-7 ページ）をよくお読みください。

使用できる充電池

リチウムイオン充電池：EA-BL15
※ EA-BL15 以外の充電池は使用しないでください。
※充電池のシールは、剥がさないでください。

- 通常は、電源を切った状態や節電状態で充電し始めてから約 3.5 時間で満充電されますが、工場出荷時からの時間の経過により、ご購入直後の充電時間は変わります。
- 充電池は、ご使用にならなくても自然に放電します。充電池の消耗によるトラブルを避けるために、長期間ご使用にならないときは、使用される前に充電されることをおすすめします。

充電する

この製品に充電池を取り付け、AC アダプターを接続して充電します（☞ 1-8 ページ）。
使用しながら充電を行った場合、充電が完了するまで長い時間がかかるため、充電するときは電源を切ることをおすすめします。
充電中に温かくなることがありますが、故障ではありません。

残量を確認する

充電池の残量は、タイトルバーの充電池残量のアイコンで確認することができます（☞ 1-16 ページ）。
パワーマネージメント画面（バッテリ タブ）でも確認できます（☞ 9-18 ページ）。

充電池の交換について

充電池は繰り返し使用するうちに劣化し、使用できる時間が短くなってきます。満充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、充電池の寿命ですので、交換してください。

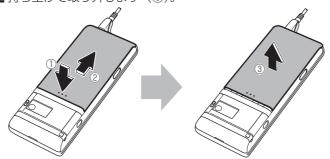
充電池を交換する

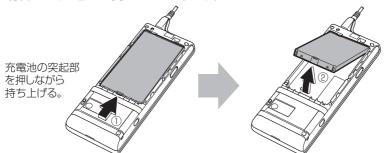
1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。
また、USB ケーブルを接続しているときは、取り外します。

2 表示が消えたことを確認してから、裏返します。

3 AC アダプターを接続します（☞ 1-8 ページ）。

4 裏側の充電池ぶたを取り外します。

1 矢印の方向に押し（①）ながら、スライドします（②）。

2 持ち上げて取り外します（③）。

5 消耗した充電池を持ち上げて取り外します。

ご注意

- 充電池は端子面と金属などの導電性物が接触しないようにしてください。ショートの原因になります。

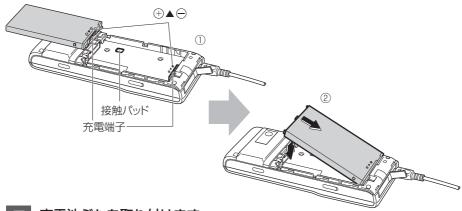
MEMO

- 充電池が取り外しにくいときは右図のように充電池を矢印の方向に押しながら、充電池の突起部を押して持ち上げてください。

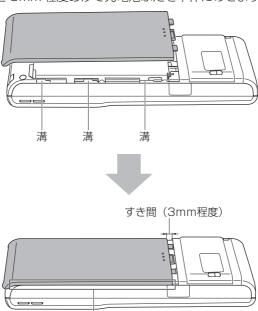
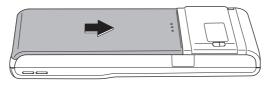
6 充電池を取り付ける。

1 充電池と本体の⊕▲⊖の表示を合わせる（①）。

2 上から充電池を奥に押しながら、しっかりと装着する（②）。

ご注意 ● 充電端子や接触パッドに金属片や鉛筆の芯などの導電性の物が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因になります。

7 充電池ぶたを取り付けます。

充電池ぶたはきっちりと取り付けてください。充電池ぶたをきっちりと取り付けていないと電源が入りません。

1 充電池ぶたの裏の小さな突起が電池収納部の溝に合うようにして、本体とすき間を 3mm 程度あけて充電池ぶたを本体にのせます。

2 充電池ぶたをそのまま矢印方向にスライドさせて取り付けます。

ご注意 ● **誤った取り付けかた**

ツメを先にはめ込まないでください。

8 **PWR キーを約2～3秒間押します。電源が入らないときは手順1からやり直してください。**

電源が入ります。

交換した充電池を充電するときは、いったんACアダプターを取り外し、再度、ACアダプターを取り付けてください。

ACアダプターを接続せずに充電池を交換したときは、日付と時刻が合っているか確認してください。合っていないときは、9-26ページをご覧になり設定してください。

W-SIM を取り外す／取り付ける

1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。

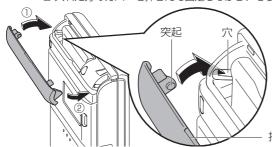
2 この製品に USB ケーブルや microSD カードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

3 W-SIM のスロットのカバーを開きます。

MEMO
- W-SIM のカバーは、一定以上の力を加えると外れることがあります。

カバーが外れたときは、次のように取り付けてください。

1 カバーの片方の突起と本体の穴が一致するように入れます（①）。

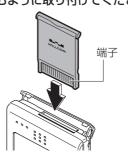
2 入れた方のカバーを押さえて固定しながら、もう片方を押し込みます（②）。

4 W-SIM を取り外します。または、取り付けます。

取り外す

W-SIM を指で押し込み、スロットから外れたカードを抜き取ります。

取り付ける

端子を見えるようにして端子側から W-SIM を取り付けます。指先で押し込むように取り付けてください。

5 スロットのカバーを閉じます。

※上記の方法で正常に動作しない場合は、フルリセットを行ってください（☞ 10-3 ページ）。

シフト JIS コード表

絵文字の入力と、シフト JIS コードを使って文字や記号を入力できるのはライトメールのみです（☞4-76 ページ）。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8140		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾
8150	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼
8160	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛
8170	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	
8180	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
8190	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆
81A0	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓			
81B0									∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩
81C0									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	・
81D0											∠	⊥	⌒	∂	∇	≡
81E0	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬							
81F0	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯			
8240																０
8250	１	２	３	４	５	６	７	８	９							
8260	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ
8270	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ						
8280		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
8290	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					ぁ
82A0	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け
82B0	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち
82C0	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
82D0	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め
82E0	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ
82F0	を	ん														
8340	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ
8350	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
8360	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ
8370	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	
8380	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
8390	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									Α
83A0	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ
83B0	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α
83C0	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
83D0	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω									
8440	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
8450	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
8460	Я															
8470	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
8480	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
8490	ю	я														─
84A0	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗
84B0	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	
8740	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
8750	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ		㍉
8760	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜
8770	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻	
8780	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
8790	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪			
8890																亜
88A0	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
88B0	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷
88C0	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
88D0	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣
88E0	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨
88F0	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			
8940	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓
8950	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲
8960	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴
8970	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	
8980	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
8990	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	押
89A0	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶
89B0	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価
89C0	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
89D0	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過
89E0	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会
89F0	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改			
8A40	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外
8A50	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣
8A60	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚
8A70	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	
8A80	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
8A90	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	粥
8AA0	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官
8AB0	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢
8AC0	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
8AD0	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩
8AE0	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇
8AF0	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄			
8B40	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌
8B50	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇
8B60	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍
8B70	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	
8B80	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
8B90	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	供
8BA0	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯
8BB0	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響
8BC0	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
8BD0	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近
8BE0	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具
8BF0	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈			
8C40	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫
8C50	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契
8C60	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経
8C70	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	
8C80	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
8C90	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	検
8CA0	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険
8CB0	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺
8CC0	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8CD0	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午
8CE0	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉
8CF0	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向			
8D40	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘
8D50	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩
8D60	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔
8D70	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	
8D80	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
8D90	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	此
8DA0	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮
8DB0	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐
8DC0	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
8DD0	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪
8DE0	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾
8DF0	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷			
8E40	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三
8E50	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸
8E60	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉
8E70	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	
8E80	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
8E90	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	次
8EA0	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識
8EB0	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質
8EC0	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
8ED0	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈
8EE0	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣
8EF0	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周			
8F40	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆
8F50	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔
8F60	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出
8F70	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	
8F80	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
8F90	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	勝
8FA0	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄
8FB0	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵
8FC0	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
8FD0	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾
8FE0	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾
8FF0	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾			
9040	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇
9050	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神
9060	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵
9070	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	
9080	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
9090	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	澄
90A0	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星
90B0	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請
90C0	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
90D0	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節
90E0	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰
90F0	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線			
9140	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前
9150	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙
9160	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双
9170	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	
9180	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
9190	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	臓
91A0	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊
91B0	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰
91C0	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
91D0	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮
91E0	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托
91F0	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只			
9240	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹
9250	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆
9260	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛
9270	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	
9280	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
9290	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	帖
92A0	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹
92B0	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍
92C0	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
92D0	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴
92E0	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵
92F0	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓			
9340	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹
9350	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点
9360	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登
9370	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
9380	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
9390	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	董
93A0	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同
93B0	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳
93C0	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
93D0	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那
93E0	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難
93F0	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入			
9440	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念
9450	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農
9460	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳
9470	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	
9480	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
9490	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	函
94A0	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪
94B0	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆
94C0	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
94D0	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲
94E0	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費
94F0	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美			
9540	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧
9550	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟
9560	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓
9570	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	
9580	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
9590	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	福
95A0	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮
95B0	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄
95C0	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
95D0	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕
95E0	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包
95F0	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋			
9640	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽
9650	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲
9670	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
9680	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
9690	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	漫
96A0	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民
96B0	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟
96C0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
96D0	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻
96E0	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄
96F0	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒			
9740	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌
9750	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉
9760	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔
9770	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	
9780	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
9790	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	痢
97A0	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留
97B0	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料
97C0	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
97D0	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令
97E0	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦
97F0	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯			
9840	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼
9850	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀
9870	湾	碗	腕													
9890																弌
98A0	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍
98B0	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭
98C0	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
98D0	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚
98E0	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假
98F0	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲			
9940	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖
9950	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩
9960	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩
9970	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	
9980	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
9990	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	辧
99A0	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹
99B0	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅
99C0	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
99D0	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽	呀	听
99E0	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻
99F0	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨			
9A40	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹
9A50	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟
9A60	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤
9A70	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	
9A80	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
9A90	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	圈
9AA0	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀
9AB0	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊
9AC0	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
9AD0	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥	壜	壤
9AE0	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲
9AF0	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩			
9B40	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑
9B50	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽
9B60	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃
9B70	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	
9B80	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
9B90	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	屐
9BA0	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷
9BB0	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛
9BC0	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
9BD0	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛	巫	已

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9BE0	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢
9BF0	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏			
9C40	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾
9C50	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑
9C60	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙
9C70	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	
9C80	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
9C90	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	悄
9CA0	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘
9CB0	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾
9CC0	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
9CD0	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚	憊	憑
9CE0	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶
9CF0	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛			
9D40	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂
9D50	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈
9D60	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐
9D70	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	
9D80	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
9D90	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	據
9DA0	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶
9DB0	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸
9DC0	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
9DD0	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻
9DE0	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢
9DF0	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼			
9E40	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧
9E50	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩
9E60	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞
9E70	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	
9E80	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
9E90	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	棔
9EA0	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡
9EB0	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞
9EC0	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
9ED0	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹	槲	槧
9EE0	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸
9EF0	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣			
9F40	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅
9F50	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙
9F60	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪
9F70	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	
9F80	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
9F90	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	沺
9FA0	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣
9FB0	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸
9FC0	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
9FD0	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝
9FE0	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂
9FF0	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌			
E040	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎
E050	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱
E060	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰
E070	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	
E080	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
E090	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	燹
E0A0	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘
E0B0	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒
E0C0	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
E0D0	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E0E0	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜
E0F0	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱			
E140	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍
E150	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧
E160	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂
E170	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	
E180	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
E190	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	癲
E1A0	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹
E1B0	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩
E1C0	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
E1D0	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚
E1E0	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌
E1F0	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬			
E240	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕
E250	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬
E260	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉
E270	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	
E280	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
E290	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	筺
E2A0	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟
E2B0	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩
E2C0	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
E2D0	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖	籥	籬
E2E0	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀
E2F0	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆			
E340	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨
E350	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫
E360	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊
E370	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷	
E380	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
E390	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	罅
E3A0	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆
E3B0	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱
E3C0	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
E3D0	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲
E3E0	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥
E3F0	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋			
E440	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂
E450	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉
E460	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與
E470	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	
E480	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
E490	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	茵
E4A0	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟
E4B0	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫
E4C0	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
E4D0	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬	葯	葹
E4E0	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡
E4F0	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈			
E540	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜
E550	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋
E560	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩
E570	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	
E580	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
E590	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	蝓
E5A0	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇
E5B0	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢
E5C0	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
E5D0	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E5E0	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃
E5F0	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞			
E640	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦
E650	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐
E660	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂
E670	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	
E680	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
E690	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	譟
E6A0	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈
E6B0	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼
E6C0	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
E6D0	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱
E6E0	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣
E6F0	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊			
E740	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇
E750	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅
E760	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟
E770	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜	
E780	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
E790	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	遏
E7A0	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽
E7B0	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙
E7C0	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
E7D0	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼	釵	釶
E7E0	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐
E7F0	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮			
E840	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔
E850	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇
E860	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰
E870	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙	
E880	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
E890	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	陝
E8A0	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸
E8B0	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑
E8C0	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
E8D0	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜
E8E0	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵
E8F0	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰			
E940	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔
E950	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑
E960	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮
E970	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	
E980	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
E990	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	髻
E9A0	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃
E9B0	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀
E9C0	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
E9D0	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇
E9E0	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆
E9F0	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈			
EA40	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲
EA50	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚
EA60	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸
EA70	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	
EA80	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
EA90	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	堯
EAA0	槇	遙	瑤	凜	熙											

Web 用絵文字

シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字
F89F		F8C3		F8E7		F976		F99A		F9B5		F9D9	秘
F8A0		F8C4		F8E8		F977		F99B		F9B6		F9DA	
F8A1		F8C5		F8E9		F978		F99C		F9B7		F9DB	
F8A2		F8C6		F8EA		F979		F99D		F9B8		F9DC	
F8A3		F8C7		F8EB		F97A		F99E		F9B9		F9DD	禁
F8A4		F8C8	BK	F8EC		F97B	FREE	F99F		F9BA		F9DE	空
F8A5		F8C9	ATM	F8ED		F97C	ID	F9A0		F9BB		F9DF	合
F8A6		F8CA		F8EE		F97D		F9A1		F9BC		F9E0	満
F8A7		F8CB	CVS	F8EF		F97E		F9A2		F9BD		F9E1	
F8A8		F8CC	GS	F8F0		F980	CL	F9A3		F9BE		F9E2	
F8A9		F8CD	P	F8F1		F981		F9A4		F9BF		F9E3	
F8AA		F8CE		F8F2		F982	NEW	F9A5		F9C0		F9E4	
F8AB		F8CF		F8F3		F983		F9A6	zzz	F9C1		F9E5	
F8AC		F8D0		F8F4		F984		F9A7		F9C2		F9E6	
F8AD		F8D1		F8F5		F985		F9A8		F9C3		F9E7	
F8AE		F8D2		F8F6		F986		F9A9		F9C4		F9E8	
F8AF		F8D3		F8F7		F987	1	F9AA		F9C5		F9E9	
F8B0		F8D4		F8F8		F988	2	F9AB		F9C6		F9EA	
F8B1		F8D5		F8F9		F989	3	F9AC		F9C7		F9EB	
F8B2		F8D6		F8FA		F98A	4	F9AD		F9C8		F9EC	
F8B3		F8D7		F8FB		F98B	5	F9AE		F9C9		F9ED	
F8B4		F8D8		F8FC		F98C	6	F9AF		F9CA		F9EE	
F8B5		F8D9		F940		F98D	7	F950		F9CB		F9EF	
F8B6		F8DA		F941		F98E	8	F951		F9CC		F9F0	
F8B7		F8DB		F942		F98F	9	F952		F9CD		F9F1	
F8B8		F8DC		F943		F990	0	F955		F9CE		F9F2	
F8B9		F8DD		F944		F9B0	OK	F956		F9CF		F9F3	
F8BA		F8DE		F945		F991		F957		F9D0		F9F4	
F8BB		F8DF		F946		F992		F95B	SOON	F9D1		F9F5	
F8BC		F8E0		F947		F993		F95C	ON!	F9D2		F9F6	
F8BD		F8E1		F948		F994		F95D	end	F9D3		F9F7	
F8BE		F8E2		F949		F995		F95E		F9D4	NG	F9F8	
F8BF		F8E3		F972		F996		F9B1		F9D5		F9F9	
F8C0		F8E4		F973		F997		F9B2		F9D6		F9FA	
F8C1		F8E5		F974	FAX	F998		F9B3		F9D7	TM	F9FB	
F8C2		F8E6		F975		F999		F9B4		F9D8		F9FC	

絵文字一覧

シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字	シフトJIS コード	文字
F040		F060		F080		F0A0		F0C0		F0E0	
F041		F061		F081		F0A1		F0C1		F0E3	
F042		F062		F082		F0A2		F0C2		F0E7	
F043		F063		F083		F0A3		F0C3		F0E9	
F044		F064		F084		F0A4		F0C4		F0F0	
F045		F065		F085		F0A5		F0C5		F0FC	
F046		F066		F086		F0A6		F0C6		F140	
F047		F067		F087		F0A7		F0C7		F148	
F048		F068		F088		F0A8		F0C8		F14D	
F049		F069		F089		F0A9		F0C9		F150	
F04A		F06A		F08A		F0AA		F0CA			
F04B		F06B		F08B		F0AB		F0CB			
F04C		F06C		F08C		F0AC		F0CC			
F04D		F06D		F08D		F0AD		F0CD			
F04E		F06E		F08E		F0AE		F0CE			
F04F		F06F		F08F		F0AF		F0CF			
F050		F070		F090		F0B0		F0D0			
F051		F071		F091		F0B1		F0D1			
F052		F072		F092		F0B2		F0D2			
F053		F073		F093		F0B3		F0D3			
F054		F074		F094		F0B4		F0D4			
F055		F075		F095		F0B5		F0D5			
F056		F076		F096		F0B6		F0D6			
F057		F077		F097		F0B7		F0D7			
F058		F078		F098		F0B8		F0D8			
F059		F079		F099		F0B9		F0D9			
F05A		F07A		F09A		F0BA		F0DA			
F05B		F07B		F09B		F0BB		F0DB			
F05C		F07C		F09C		F0BC		F0DC			
F05D		F07D		F09D		F0BD		F0DD			
F05E		F07E		F09E		F0BE		F0DE			
F05F		F07F		F09F		F0BF		F0DF			

アニメーション絵文字一覧

ローマ字→かな変換表

キーボードまたは文字入力パネルでローマ字入力することができます。

あア行	A	I	U	E	O
かカ行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さサ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
たタ行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
なナ行	NA	NI	NU	NE	NO
はハ行	HA	HI	HU FU	HE	HO
まマ行	MA	MI	MU	ME	MO
やヤ行	YA		YU		YO
らラ行	RA	RI	RU	RE	RO
わワ行	WA				WO（を）
んン	N		NN		

がガ行	GA	GI	GU	GE	GO
ざザ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だダ行	DA	DI	DU	DE	DO
ばバ行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱパ行	PA	PI	PU	PE	PO

きゃキャ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃシャ行	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃチャ行	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
にゃニャ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃヒャ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃミャ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃリャ行	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃギャ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃジャ行	ZYA JA JYA	ZYI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ぢゃヂャ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃビャ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃピャ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
いぇイェ行				YE	
くぁクァ行	QA KWA QWA	QI QWI	 QWU	QE QWE	QO QWO
ぐぁグァ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
つぁツァ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃテャ行	THA	THI	THU	THE	THO
でゃデャ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ふぁファ行	FA	FI		FE	FO
ふゃフャ行	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
うぃウィ行		WI			
うぇウェ行				WE	
とぅトゥ行			TWU		
どぅドゥ行			DWU		
ヴぁヴァ行	VA	VI	 VYU	VE	VO

●撥音（はつおん）の入力

・"ん、ン"の次に母音または"Y"がくるときや"ん、ン"で終わるとき"N"を2回入力する
　ほんやく→HONNYAKU
　はんい→HANNI
　ほん→HONN
・上記以外のとき
　ほんき→HONKI

●促音の入力

"N"と"Y"以外の子音を重ねる
けっか→KEKKA
トップ→TOPPU

●特殊な表現の入力

ヴゅ→VYU

● ［網掛け］：ATOKでは入力できません。

●小さい文字（ア、イ、ウ、エ、オ、カ、ケ、ツ、ヤ、ユ、ヨ、ワ）の単独入力

・"X"または"L"(エル)の次に、それぞれの文字を入力する。
　ティータイム→TEXI-TAIMU
　トップ→TOXTUPU
・"カ"と"ケ"はカタカナで入力される。

10 付録 ローマ字→かな変換表

仕様について

本体

形名	WS011SH
OS	Microsoft® Windows Mobile® 6 Classic 日本語版
CPU	Marvell® PXA270 プロセッサ 520MHz
本体メモリ	Flashメモリ256MB(本体システム領域等含む) SDRAM 128MB(ワークエリア)
表示部	480×800 ドット 3型 65,536色 モバイルASV液晶(バックライト付き)
通信機能	PHS(W-OAM対応W-SIM)
赤外線通信	IrDA®1.2方式/IrMC™1.1方式/IrSS™対応 ※1
内蔵ワイヤレスLAN	IEEE802.11b/g準拠
内蔵カメラ	有効画素数:約131万画素(接写機能付)
カードスロット	microSD™カードスロット×1、W-SIMスロット×1
接続端子	USB端子(USB 2.0 Full Speed(12Mbps))、 ACアダプター端子、イヤホンマイク端子(平型)
電源	DC 3.7V 充電池:リチウムイオン充電池(EA-BL15)
消費電力	W-SIM(装着時):3.0W W-SIM(取外時):3.0W
使用温度	0~40℃
外形寸法	(高さ)約135mm×(幅)約50mm×(厚さ)約17.9mm (キーボード収納時、最薄部)
質量	約157g(充電池、W-SIM含む)
付属品	W-SIM(※2)、充電池(EA-BL15)、USBケーブル、 ACアダプター(EA-83)、スタイラス、スペーサー、 『かんたん操作ガイド』、『取扱説明書』、CD-ROM、保証書
プログラム	電話、W-ZERO3メール、メール、ライトメール、Opera Browser、 Internet Explorer Mobile、予定表、連絡先、仕事、 メモ(クイックメモ)、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、 Word Mobile、Windows Media Player 10 Mobile、 画像とビデオ、名刺リーダ、電卓、ゲーム、Sprite Backup、 ホームメニュー、Picsel PDF Viewer、ActiveSync、 ブンコビューア、JBlend(Java™アプリ)、Messenger、 Windows Live、カメラ、データ交換、NAVITIME、バーコードリーダ、 DicLand辞書、リモートデスクトップモバイル、その他
連続待受時間 ※3	約500時間(電波状態ランプ消灯時) 約300時間(電波状態ランプ点灯時)
連続通話時間 ※3	約7時間

※1 すべての赤外線通信機器とデータ通信を保証するものではありません。
※2 W-SIMは、箱に入っています。
本体のみの販売の場合には、W-SIMは同梱されておりません。
※3 使用環境、機能の設定状況等により通話時間・待受時間は変動します。

充電池（EA-BL15）

公称電圧	3.7V
公称容量	1540mAh
充電時間	満充電になるまでの時間:約3.5時間（常温25℃、電源を切った状態や節電状態での目安）
使用温度	0～40℃
充電温度	5～35℃
充放電回数	約500回

AC アダプター（EA-83）

入力	100V-240V 50/60Hz
出力	DC 5V 1A

さくいん

■：付属の Getting Started CD に収録されているアプリケーションマニュアルのページ数

英数字

あ行

か行

さ行

10 付録 さくいん

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

困ったときは

この製品を使っていて、『使いかたが分からないとき』や『困ったときは』、ここに書いている内容をご覧ください。
“ActiveSync”については7-18ページもご覧ください。

電話操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください	参照
● 電話がかからない	● 市外局番からダイヤルしていますか。	3-2
	● 電波状態のアイコンがやになっていますか。やになる場所に移動してください。	1-3 1-15
	● インターネットに接続中ではありませんか。タイトルバーにアイコンが表示されていると、インターネットに接続中です。接続を切ってください。	5-5 5-16
	● 通話／通信機能が制限されていませんか。通話／通信機能の制限を解除してください。	3-33
	● W-SIMはきっちりと装着されていますか。W-SIMを一度取り外して、再度取り付けてみてください。	10-11
● 着信音が鳴らない	● 着信音の音量を確認してください。	9-22
	● マナーモードを設定していませんか。	3-30
	● 安全運転モードを設定していませんか。	3-31
● 電話がかかってこない	● 電波状態のアイコンがやになっていますか。やになる場所に移動してください。	1-3 1-15
	● 着信拒否の設定をしていませんか。	3-40 ～42
	● インターネットに接続中ではありませんか。タイトルバーにが表示されていると回線が接続したままになっています。ホームページを閲覧したあと、をタップしただけでは、回線は切れず接続したままになっています。 着信時に接続を切るように設定しても、パケット方式（※）以外で通信を行っている場合は着信しません。 回線を切断するときは、PWRキーを押します。またはタイトルバーのをタップし、表示されたウィンドウの切断をタップします。 ※タイトルバーにPTが表示されているときは着信します。またFCが表示されているときもパケット方式で通信しているときは着信します。、、が表示されていると着信しません。	5-5 5-16
	● 着信転送サービスを利用していませんか。	3-49
	● 電源を切っていませんか。	1-9
● 通話中、相手の声が聞き取りにくい、雑音が入る	● 電波状態のアイコンがやになっていますか。やになる場所に移動してください。	1-3 1-15
	● 周囲が高いビルに囲まれている場所ではありませんか。見通しのよい場所に移動してください。	
	● 受話音量が小さくなっていませんか。	3-11

本体操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください	参照
● 充電池の消耗がとても早い	● **使用していないプログラムを終了する。** Today 画面で をタップし、表示されたメモリ（実行中のプログラムタブ）画面で使用していないプログラムを選択して、終了をタップ、またはすべて終了をタップします。	1-26
	● **画面の明るさを下げる。** スタート－設定－システムタブ－バックライト－明るさタブをタップして、スライダーで画面の明るさを調節します。スライダーを左端にするとバックライトは消灯します。	9-17
	● **節電状態にする（画面の電源を切る）。** スタート－設定－システムタブ－パワーマネージメント－詳細設定タブをタップして、チェックを付けて時間を設定します。	9-18
	● ワイヤレス LAN がオン(有効)になっているときは､オフ(無効）にしてください。	2-15
● インストールしたプログラムや大きいファイルを保存していないのにメモリの空き領域がほとんどなくなっている	● データ記憶用メモリの空き領域が少ないときは、インターネットを閲覧した際のキャッシュ (前に表示した WEB コンテンツなどの記憶) でメモリを使用している場合があります。 このようなときはキャッシュを削除してください。 Opera の場合：メニュー－ツール－設定－履歴タブからキャッシュ削除をタップします。 Internet Explorer Mobile の場合：メニュー－ツール－オプション－メモリタブからファイルを削除をタップします。	5-11 5-21
	● プログラム実行用メモリの空き領域が少ないときは、Today 画面で をタップし表示されたメモリ（実行中のプログラムタブ）画面で、使用していないプログラムを選択して終了をタップ、またはすべて終了をタップします。	1-26
● 画面が暗い	● バックライトの明るさの設定が暗くなっていませんか。	9-17
● 電源が入らない	● 充電池ぶたが、しっかり閉まっているか確認してください。	10-9
	● 充電池が充電されているか確認してください。	9-18
● 充電ランプが点灯しない ● 充電ランプが点滅する	● 次の順で、充電ランプが点灯（オレンジ色）するかを確認してください。いずれの場合も点灯したときは充電池を 10 分程度充電してください。 ① AC アダプターを取り外してから、再度 AC アダプターを接続して点灯するか確認してください（点灯しないときは②へ)。 ② AC アダプターを接続した状態で、リセットを行ってください（点灯しないときは③へ)。 ③ AC アダプターを接続した状態で、フルリセットを行ってください。	1-8 10-2 10-3
	● 充電池ぶたをきっちり取り付けているか確認してください。 ● 充電池が取り付けられているか確認してください。充電池を取り付けずに充電池ぶたを取り付けて AC アダプターを接続すると、充電ランプが点滅します。	10-9

こんなときは	ここをお確かめください	参照
● 充電したが本体の電源が入らない ● 充電開始後所定の充電時間以上が経過しても充電ランプが消灯しない	● 長期間使用しなかったときなど充電池が過放電の状態になっている場合は、しばらく充電しても本体の電源が入らなかったり、所定の充電時間以上充電しても、充電ランプが黄緑色にならないことがあります。そのときには、ACアダプターを取り外してからリセットをして再度充電してみてください。	1-8 10-2
	● 指定の周囲温度（5 ～ 35℃）で充電してください。 ● 満充電後、そのままにしておくと、充電池を消費し、また充電がはじまる場合があります。	1-8 10-7
● 急に電源が切れた	● パワーマネージメントを設定していると、節電状態になり画面の電源が切れます。	9-18
	● 充電池が消耗すると、電源が切れます。すぐに AC アダプターを使って充電してください。	1-8
	● 強い静電気や電気的なノイズなどを受けたときに、電源が切れることがあります。	
● PWRキーを押しても何も表示されない（電源が入らない） ● 画面が明るくなるだけで文字などが表示されない	● PWRキーを約２～３秒以上押し続けていますか。すぐPWRキーを離すと電源は入りません。	1-9
	● 充電池が消耗していませんか。	1-16 9-18
	● リセットしてください。	10-2
● PWRキーを押すと、1、2 秒間隔で電源が入りそうになるが、入らない	● 充電池が消耗しています。AC アダプターを使って充電池を充電してください。	1-8
● AC アダプターを使用中や充電中に、AC アダプターやこの製品が温かくなる	● 故障ではありません。AC アダプター使用中や充電中は、AC アダプターやこの製品は温かくなります。また、ワイヤレス LAN を使用しているときも温かくなります。	1-8 10-7
● ACアダプター使用中、ピーと音がする	● 故障ではありません。AC アダプターの性質上充電時に小さくピーと音が鳴ることがあります。	
● すべてのキーがはたらかない ● データを正常に表示しない	●「異常が起きたとき」の対処方法を順に試してみてください。	10-2
	● キーロックにしていませんか。 キーロックがはたらいているとキーを押しても動作しません。キーロックを解除してください。	1-7
	● リモートロックしていませんか。 リモートロックしているときは、解除してください。	3-39
● 電源を入れたまま W-SIM の抜き差しを行い、動作しなくなった。	● リセットを行ってください。 リセットを行っても正常に動作しないときは、フルリセットを行ってください。	10-2 10-3
● microSD カードを認識しない	● 奥までしっかりと装着していることを確認してください。 ● 表裏が逆になっていませんか。	1-65
	● いったん本体からカードを取り外し、リセットをしてから、再度カードを装着してください。	1-67 10-2

こんなときは	ここをお確かめください	参照
●「シュルシュル」という音がする	● 静かな場所でご使用のとき、「シュルシュル」という音が聞こえる場合がありますが、これは構成回路の動作音であり、故障ではありません。	

インターネット接続／メール操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください	参照
● インターネットに接続できない	● プロバイダーのアクセスポイントの電話番号があっているか確認してください。	2-18
	● インターネットに接続するユーザー名 / パスワードが合っているか確認してください。文字を入力時、大文字と小文字、全角と半角、「0」（ゼロ）と「O」（英字のオー）、数字の「1」と「l」（英字のエル）などをまちがえていないか、よく確認してください。	2-19
	● サーバーアドレス（DNS サーバー）などが、プロバイダーから指定されたものと合っているか確認してください。	2-20
	● 電波状況が良好か確認してください。	1-3 1-15
● メールの送信や受信ができない	● メールアドレス、ユーザー名、パスワード、メールサーバーなどが、プロバイダーから指定されたものと合っているか確認してください。	
	● プロバイダーのアクセスポイントの電話番号が合っているか確認してください。	
	● メール（Outlook）の場合、設定によっては「送信トレイ」に入ったままになっています。画面右下の メニュー — 送受信 を行ってみてください。	4-54 ページの手順 **13**
● メールが途中で切れている／添付ファイルが受信できない	【W-ZERO3 メール】 ● メールの一部を受信するように設定していませんか？ アカウントの設定画面（動作設定 タブ）で「受信行数制限設定」にチェックを付けていると、メールの一部しか受信しません。 このような場合は、メールの全部（全体）を受信してください。	4-28
	【メール（Outlook）】 ● メールの一部しか受信していません。メールの全部（全体）を受信してください。	4-63
● 長い件名のメールを送受信すると、件名が文字化けするときがある（“メール”）	【メール（Outlook）】 ● 送受信するメールの件名が全角で 19 文字以上になると件名が文字化けする場合があります。件名は、全角 18 文字（半角 36 文字）までにしてお使いください。	
● 添付メールは何 MB まで対応できますか？	●【メール（Outlook）】 仕様としての制限はありません。 本体メモリーの空き容量やサーバーによって異なります。 ●【W-ZERO3 メール】 3MB 未満 なお、E メール（ウィルコム）アカウントでの添付可能なファイルサイズの上限は、約 1MB です。	

こんなときは	ここをお確かめください	参照
● メールアカウントは、複数設定できますか？	●【W-ZERO3 メール】：10 件 【メール（Outlook）】：7 件	
● 絵文字に対応していますか？	● メール（Outlook）は絵文字には対応していません。絵文字は送信／受信ともにお使いいただけません。	
● microSD カードに直接メールを受信できますか？	● microSD カードに、直接、メールを受信することはできません。 また、受信後のメールを microSD カードに移動／コピーすることもできません 。 添付ファイルのみ、データ保存領域を microSD カードに設定することができます。	
● メールが文字化けする	【メール（Outlook）】 ● 長文のメールの場合、文字化けすることがあります。改行を入れて文章を区切ったり、文章を短くしてください。	
● 設定したメールアカウントを削除する方法を教えてください。	【W-ZERO3 メール】 ● 受信トレイ一覧画面などで、メニュー－その他－アカウント設定から、削除したいアカウントを選択し削除－はいをタップします。	
	【メール（Outlook）】 ● メールの一覧画面でメニュー－ツール－オプションから、削除したいアカウントをタップしたままにして表示されたメニューから削除－はいをタップします。	
● メールを受信後にサーバーから消す設定はできますか？	【W-ZERO3 メール】 ● アカウントの設定で行います。	4-7
	【メール（Outlook）】 ● アカウントの設定で行います。	4-54
● ライトメールの送信ができない	● 宛先となる電話番号を間違えていませんか。ライトメールは、ライトメール対応電話機にのみ送信できます。	
	● 送信相手が電源を切っている、エリア外、話し中などになっていませんか。送信できないライトメールは送信待フォルダに入りますので、時間をおいて送信してください。	4-77
	● 連絡先に登録している電話番号を使ってライトメールを作成するとき、（電話番号）選択画面でまちがった電話番号を選び（ライトメールに対応していない電話機の電話番号）ライトメールを作成すると、その宛先には送信できません（そのライトメールは送信待フォルダに入ります）。宛先の電話番号を確認してください。	4-87
● ライトメールの受信ができない	● エリア外や電源を切っていませんか。エリア外にいると、ライトメールの受信はできません。	
● ホームページが表示できない	● サーバーアドレス（DNS サーバー）の設定をまちがえていないか確認してください。	2-20
● インターネットをしようとすると、不明なダイヤル先やエラーメッセージが表示されて接続ができない	●「ダイヤルルールを使用する」にチェックがついていないか、次の方法で確認してください。 スタート－設定－接続タブ－接続－詳細設定タブをタップし、ダイヤルルールをタップして、「ダイヤルルールを使用する」にチェックが付いているときは、チェックを外して ok をタップしてください。 ※チェックが付いていると、接続の際に国番号などの情報が追加されてダイヤルされるため、正しくダイヤルされず、接続できません。	2-23

その他のプログラムで困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください	参照
● プログラムの終了はどのようにするの	● ok や × をタップしただけでは、プログラムは終了しません。プログラムを終了してください。	1-26
● メモリー不足の画面が表示された	● 使っていないプログラムを終了してください。	1-26
● 画面の縦横切り替えなどが遅い	● 使っていないプログラムを終了してください。	1-26
● 他の機種から電話帳などを転送できない	● W-SIM を使っている機種は、「電話帳転送」を行ってください。	3-44
	● この製品は Microsoft Outlook と同期できます。お使いの機種が Outlook と同期できる場合は、その機種と Outlook を同期したのちこの製品と同期することで転送することができます。	7-2
	● 他の WS011SH に転送するときは赤外線通信を使って送ることができます。	7-29
● Excel Mobile や Word Mobile で作ったファイルを WS007SH などで開くことができない	● Excel Mobile や Word Mobile で新規に作ったファイルは、この製品に入っている Excel Mobile と Word Mobile でないと開くことができません。WS007SH/WS004SH/WS003SH にデータを送付する場合などは、以下のようにしてテンプレートを使用してファイルを作成してください。 **テンプレート選択方法** **1** Excel Mobile または Word Mobile を起動し、一覧画面を表示します。 **2** 画面上部の すべてのフォルダ をタップし、さらに テンプレート をタップします。 **3** Excel Mobile では、「空白の 97-2003 ブック」を選択し、Word Mobile では、「Word97-2003 文書」を選択します。 **4** 文章や表のデータを入力し保存します。	

パソコンとの同期操作で困ったとき

インストールできないときなど困ったときは、7-18 ページもご覧ください。

こんなときは	ここをお確かめください	参照
● ActiveSync または、WindowsMobile デバイスセンターがインストールできない ● 接続／同期ができない	● パソコンにウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトをお使いのときは、それらを停止してからインストールしてください（ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトを停止する方法は、各ソフトウェアの問い合わせ先へご確認ください）。	7-4 7-10
	● パソコンに Outlook がインストールされているか確認してください。	7-3
● 付属の USB ケーブルを使ってパソコンと接続しても、動作しない	● パソコンに正しく接続されているか確認してください。	7-6
	● ActiveSync の接続設定を確認してください。 1. パソコンの ActiveSync を起動させます。 2.［ファイル］－［接続の設定］で、「USB 接続を有効にする」にチェックが付いているか確認してください。	
	● 接続方法を変えてみてください。	7-18
● 同期がうまく取れなくなってしまったのですが	● 複数のアプリケーション（プログラム）を起動している場合は、起動しているアプリケーションを全て終了してから操作してください。	
	● 同期中に接続／切断を繰り返したり、USB ケーブルを取り外したりすると、正しく接続できなくなることがあります。このような時は、本体をリセットし、パソコンを再起動させてからもう一度接続してください。	

アフターサービスについて

保証について

①この製品には保証書がついています。

・保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

②保証期間は、お買いあげの日から 1 年間です。

・保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

③保証期間後の修理は…

・修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

・当社は、この製品の補修用性能部品を、製造打切後 5 年保有しています。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

① 「困ったときは」（☞ 10-28 ページ）をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
② それでも異常があるときは使用をやめて、下記のシャープドキュメントシステム株式会社、またはウィルコムサービスセンターにお申し付けください。ご自分での修理はしないでください。
③ 故障・修理のときは、本体のデータや追加ソフトウェアは消去されます。

修理に関するお問い合わせ先

● シャープドキュメントシステム株式会社
大阪フィールドサポートセンター
住所　　　　　：大阪市平野区加美南 3 丁目 7 番 19 号
ナビダイヤル　：0570-081010
受付時間　　　：月～金（午前 9 時～午後 5 時 40 分）
※全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
※ IP 電話・PHS からはご利用いただけません。06-6794-9708 へおかけください。

● ウィルコムサービスセンター
ウィルコムの電話から......................（局番なしの）116
一般加入電話・公衆電話から...........0120-921-156
（携帯電話・PHS からもかけられます）
受付時間　9：00 ～ 19：00（日・祝日を除く）

株式会社ウィルコムの電話・サービスに関する お問い合わせはウィルコムサービスセンターへ

ご利用のお申し込み・お問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ……………………………（局番なしの） **116**
一般加入電話・公衆電話から …………… **0120-921-156**
携帯電話・PHSからもかけられます

受付時間 ／ 9:00〜19:00（日・祝日を除く）

データ通信に関するお問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ……………………………（局番なしの） **157**
一般加入電話・公衆電話から …………… **0120-921-157**
携帯電話・PHSからもかけられます

受付時間 ／ 9:00〜19:00（日・祝日も受付）

ホームページもご覧ください

http://www.willcom-inc.com/

操作方法などわからないときは

Step1 この取扱説明書の「さくいん」（☞10-22ページ）や「もくじ」（☞0-2ページ）を使って説明を探す

Step2 この製品のホームページにある「Q&A」を探す

http://wssupport.sharp.co.jp/qa/

Step3 シャープ「お客様相談センター」へ問い合わせる

0120-606-512

受付時間 ／ 月曜〜土曜：午前9時〜午後6時
（日・祝日および年末・年始、当社の休業日は除く）

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

TINSJ1419YCZZ①